

2019.10 - 2020.3

研修サービスガイド



COURSE

日立製品 講座

JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK XDM/PDMI
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ Pentaho

デジタルトランスフォーメーション 講座

IT利活用 イノベーション IoT/AI/Lumada
ビッグデータ データ分析 サイバーセキュリティ
RPA

クラウド/サーバ仮想化 講座

ITサービスマネジメント 講座

システム基盤 講座

IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux Microsoft ネットワーク
ハードウェア セキュリティ データベース

IT戦略・IS企画 講座

システム開発 講座
要件定義/設計 モデリング
プログラミング

情報処理技術者試験対策 講座

ITリテラシ 講座

プロジェクトマネジメント 講座

コンプライアンス 講座

ビジネス/ヒューマン 講座

グローバル 講座

Topics 1

現場起点で進める

デジタルトランスフォーメーションを
人財育成で支援します

Topics 2

Society5.0時代のビジネスリテラシー

Topics 3

アジャイル/スクラム研修コースのご案内

Topics 4

制御システムのセキュリティリスク分析を
学ぼう!

Topics 5

業務の生産性を高めるには、
決断のスピードを上げる必要があります!

はじめに

平素は、株式会社日立製作所(以下、「日立」といいます。)および人財育成サービス会社である株式会社日立アカデミー(以下、「日立AC」といいます。)の各種研修サービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

日立および日立ACは、経済産業省が策定する、社会経済全体におけるIT利用の拡大と価値創造者としての高度人財育成のための各種スキル標準に対応する研修体系に基づき、本ガイドでご案内する研修サービス(以下、「日立講習会」といいます。)にてお客様の人財育成をご支援いたします。

本ガイドは、日立および日立ACが提供する2019年10月から2020年3月までの研修サービスをご紹介します。人財の可能性と価値を最大限に引き出すために、豊富なメニューをご用意しております。

お客様の人財育成に本研修サービスをご活用いただければ幸いです。

2019年7月

株式会社 日立製作所
株式会社 日立アカデミー

研修サービスに関するお問い合わせ先：
株式会社 日立アカデミー

東京地区	TEL 03-5471-8962	FAX 03-5471-2564
大阪地区	TEL 06-4797-7360	FAX 06-4797-7361
名古屋地区	TEL 052-269-8940	FAX 052-261-8276
広島地区	TEL 082-546-6172	FAX 082-546-6173
福岡地区	TEL 092-844-7522	FAX 092-844-7580

日立講習会開催時間のお知らせ

※コースカリキュラムの備考欄に開催時間をご案内しています。
正式には、ご受講前に送付いたします「日立講習会受講ご案内」(受講券)をご確認ください。



(株)日立アカデミーは、東京研修センターで開催する日立講習会の学習サービス全般について、学習サービス事業者向け国際規格ISO29990の認証をJAMOTE(JAMOTE 認証サービス株式会社)より取得しています

本ガイドに記載している内容および金額は、2019年7月時点のものであり、将来変更する場合があります。

CONTENTS

Topics

- Topics 1 現場起点で進めるデジタルトランスフォーメーションを人財育成で支援します
- Topics 2 Society 5.0 時代のビジネスリテラシー
- Topics 3 アジャイル/スクラム研修コースのご案内
- Topics 4 制御システムのセキュリティリスク分析を学ぼう!
- Topics 5 業務の生産性を高めるには、決断のスピードを上げることが必要です!

1	体系的にIT技術修得を進めるための日立講習会コース活用例	14
2	開催コース/スケジュール一覧	20
3	講座別コースフロー/コースカリキュラム	58
4	研修会場	266
5	お申込方法	268
6	受講規約	270

本ガイドで紹介する研修サービスは、お客様のご要望に合わせてカスタマイズできるオーダー研修サービスもございます。研修の実施だけでなく、研修企画、開発実施、アフターフォローまでワンストップでご提供も可能です。詳しくはお問い合わせください。

最新のコース開催情報・お薦めコースのご案内

<https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立アカデミーのホームページでは、最新のコース開催情報・お薦めコースを掲載しております。また、コースのお申し込みはホームページから行うことができますので、ぜひご利用ください。



コース最新情報 お薦めコース 臨時開催コース 話題のコース 人気コースランキング

講座別コース紹介 (PDFファイル) スキル標準対応研修コースマップ iCD対応研修コースマップ

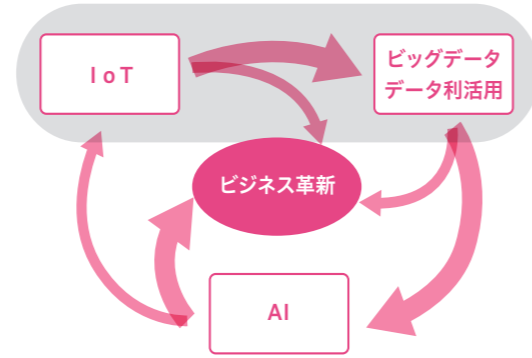
現場起点で進める デジタルトランスフォーメーションを 人財育成で支援します

デジタル技術とデータを活用し、業務やビジネスそのものを変革する「デジタルトランスフォーメーション」。実世界のデータをIoTにより収集し、仮想空間のIoTサービスによるデータ処理や分析をフィードバックして付加価値を高める循環をつくる。データを可視化、予測、意思決定に昇華させ価値の発見をもたらす。まさにデータ駆動型でビジネスを革新することが求められています。

1 IoTにより収集したデータを現場やビジネスシステムへ実装するための推奨コース群

IoTが実社会をビッグデータ化し、AIがビッグデータから価値を創出し、IoTやビジネスシステムを通して実社会にフィードバックする。このサイクルが、AIの高精度化を加速しさらなる価値を創出する。この価値創出サイクルと、コース群との位置付けを右図にて示します。で示した範囲が各頁で紹介するコース分野です。

IoTによるデータ収集の具体化、現場への適用方法を早分かりしたい方、IoTからのデータ処理の定石やコツを理解したい方には、本頁「現場での実装」および「ビジネスシステムへの実装」欄のコースをお勧めします。



ビジネス革新のテーマ

売上・シェア拡大・収益性向上	新事業・新製品・新サービスの開発	生産性/効率向上・改善
品質向上・現場力の強化	顧客満足度/ブランド力の向上	グローバル化・事業基盤の強化
異常検知 故障予知	最適運転 安全管理	遠隔監視 事故回避
決済と セキュリティ連携	移動追跡 在庫管理	見える化で節電 省エネ対策
業務自動化 自動運転	監視による 防犯、追跡	生育状況 収穫量調査
健康診断 ログ収集 体調管理	位置情報と 混雑対策 周辺娯楽	etc...

ビッグデータ解析
●HSJ109：データ分析手法の理論と適用
-ビジネスにおける統計的手法活用の広がり-
●HSJ162：BI・マイニング事例で学ぶデータ分析提案の進め方

AI (機械学習)
●DBJ088：体感!機械学習-ビッグデータ時代のシステムを支える技術-
●DBJ110：NVIDIA Deep Learning Institute (DLI) 認定コース
1日でできるディープラーニング-画像認識入門-

クラウド
●CLJ014：実機で学ぶ!クラウドコンピューティング入門
●CLJ003：クラウドコンピューティング技術解説

データ加工・統合関連機能 (ETL)※1
●DBJ081：ビッグデータ概説
●PTJ002：データ加工・統合入門- Pentaho を用いて-
●CLJ015：Hadoop入門- HBaseとSparkハンズオン-
●DBJ106：ビッグデータにおけるシステム設計実践-多様なデータを統合しビッグデータとして活用する-
●IOJ018：IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門- Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC)※2による故障予知診断を例にして-
●IOJ017：IoTにおけるイベント駆動型システム開発実践- Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC)※2によるアプリケーション、システム開発演習を通して-

スマートフォン向けアプリケーション開発
●NWJ142：HTML5プログラミング
●NWJ129：体験! iPhone・iPadアプリケーションの開発
●NWJ131：体験! SwiftではじめるiPhoneアプリケーションの開発
●NWJ135：体験! Androidアプリケーションの開発

ビジネスシステムへの実装

IoTアプリケーション

IoTアプリケーション

ビッグデータ解析

AI

IoTサーバー

IoTサーバー
インターフェース提供
遠隔監視・遠隔制御

データレイク

クラウド

IoTサービス/
IoTプラットフォーム

現場での実装

IoTゲートウェイ

エッジコンピューティング
センサー/デバイスの接続制御

センサー/
アクチュエータ

Webカメラ

AIスピーカー

スマートフォン/タブレット

アプリケーション開発
●DBJ107：0から始めるPython入門-データ分析での活用をテーマとして-
●SPJ064：スクラムの基礎と実践
●CLJ012：クラウドアプリケーション開発

アプリケーション開発環境
●SPJ060：体験!最新OSSを使用したDevOps入門- Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ-
●SPJ059：(PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発-お客様に素早く価値を届けるために-
●SPD002：DevOpsテスト入門-継続的デリバリーを実現するテスト自動化の基礎-
●SPD003：テストプロセス改善-評価・改善案策定を一日で習得!~

ワークフロー記述
(IoTデバイス→データストア→ダッシュボードなど)
●CTJ065：エンタープライズITアーキテクチャのセオリー
●IOJ016：体験!Node-REDによるIoTシステム入門- Raspberry Piを使用した風車のリアルタイム監視から予防診断まで-

サイバーセキュリティ管理
●IOE002：<eラーニング>IoT技術解説 セキュリティ編
●SCE703：<eラーニング>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-要素技術(暗号、認証)編-
●SCE705：<eラーニング>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編-
●SCJ051：ネットワークセキュリティ対策実習-FW/IDS/PKI-
●SCJ049：サイバー攻撃対応コミュニケーション訓練

IoTプラットフォームとの通信
●IOE003：<eラーニング>IoT技術解説 IoTネットワーク編
●IOJ019：IoT技術解説 5G編

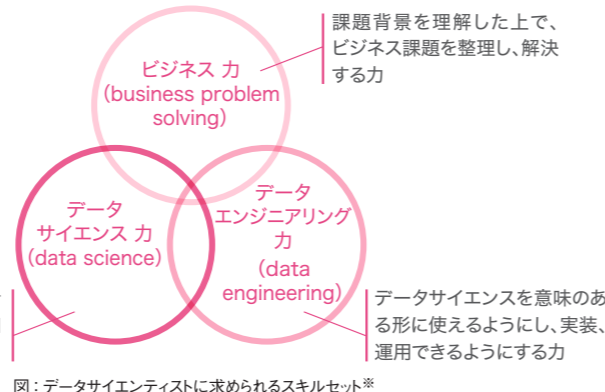
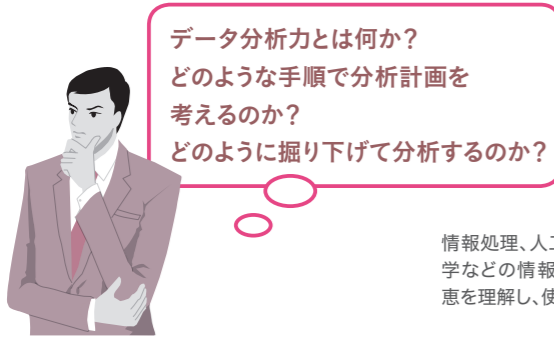
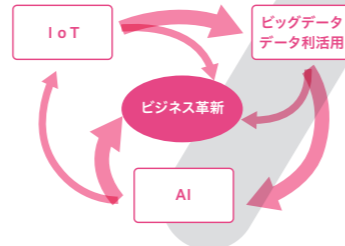
AIスピーカー/ Webカメラ
●IOJ011：スマートスピーカーの最新動向と社会インフラ適用の可能性

※1 ETL: Extract, Transform, Loadの略で、IoTや既存システム等複数個所からデータを抽出し、抽出したデータを変換/加工/統合した上でデータレイク等へ追加する処理、およびそれを支援するソフトウェア
※2 HAF/EDC:日立ミドルソフト。データ「格納」「分析」「参照」において高速に分散処理を行う

2 仮説検証/価値検証の推進者および関連する営業、エンジニアに求められるデータ分析

データ活用するためには、分析手法を理解して分析モデルを設計する能力と、AIやBIなどの分析ツールを活用して、実際に価値を検証する能力、および分析モデルに従って、有効なデータを用意する能力などが必要です。

実際の現場での経験を踏まえ、試行錯誤を行いながら分析や可視化による実務をイメージした、新たな価値を発見するためのデータ分析・利活用を学ぶコースをメニュー化しています。



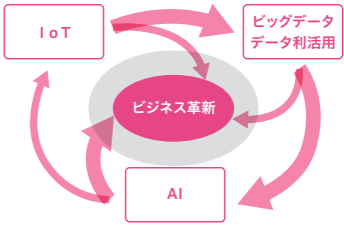
図：データサイエンティストに求められるスキルセット*

対象	分類	コースコード	コース名	日数/標準学習時間
中心のビジネス領域	ビジネス領域	HSJ175	データ利活用のパターンとビジネス着想	0.5日
		HSJ108	定量分析のスキル-問題解決の精度を高める-	2日
		HSJ112	仮説構築と調査検証-仮説構築の考え方を学び、仮説に沿った調査手法を選択し、調査結果を読み解く-	2日
ビジネス領域	ビジネス領域	OAJ048	Excelによるデータ可視化-Excelでビジュアルに強くなる-	1日
		OAJ047	Excelによる売上データ分析-Excelではじめるデータ活用の第一歩-	1日
		HSJ162	BI・マイニング事例で学ぶデータ分析提案の進め方	2日
		HSJ109	データ分析手法の理論と適用-ビジネスにおける統計的手法活用の広がり-	2日
		HSE116	<eラーニング>データ分析手法の理論と適用	14時間
		DBE037	<eラーニング>流れを体験! 予測モデル構築のプロセス(基礎知識編) -初めてでもOK! データ分析を身近に-	9時間
		DBJ117	流れを体験! 予測モデルの構築プロセス(ケーススタディ編) -データのバリュアアップから結果説明に至るまで-	2日
		DBJ100	データビジュアライゼーション基礎	1日
		PTJ001	New Pentahoによるデータの可視化・分析	0.5日
		DBJ112	試行錯誤から学ぶ! 統計理論抜きで学ぶRによる統計的手法のハンズオン	1日
サイエンス×エンジニアリング領域	サイエンス×エンジニアリング領域	DBD057	Rによる統計解析-分析結果を統計的に正しく理解し、次の意思決定に向けた提案へ-	2.5日
		DBJ111	試行錯誤から学ぶ! Rによるデータ可視化のハンズオン	1日
		DBJ115	データビジュアライゼーション実装 地図上への可視化編	1日
		DBJ116	データビジュアライゼーション実装 ネットワークの可視化編	1日
		DBJ088	体感! 機械学習-ビッグデータ時代のシステムを支える技術-	1日
		DBD059	機械学習による問題解決実践-機械学習で大量データを分析し、データからビジネス価値を創出-	2日
		DBJ090	データ分析に使えるSQL-SQLでビッグデータに立ち向かう-	1日
		DBD058	SQLによる集計・分析-分析の基本的なプロセスを修得し、自社DBデータの活用へ-	1.5日
		DBJ107	0から始めるPython入門-データ分析での活用をテーマとして-	2日
		DBE038	<eラーニング>【スキル定着】Pythonでのデータ可視化-オープン環境を活用した実装力の磨き方	4時間

* 一般社団法人データサイエンティスト協会 資料 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000005.000007312.html> より引用

3 デジタルトランスフォーメーションを企画・推進・提案するためのスキルセット

ビジネスで新たな価値を創出するには、イノベティブに考えるための思考技法、価値あるビジネスモデルを構想するプロセスとメソッド、サービスとしてn倍化することを実践できるツールを、スキルとして使いこなすことが必要です。新たなデジタルビジネスを企画・設計するためのスキルセット修得にご活用ください。



分類	コースコード	コース名	日数	コース概要
イノベティブ思考	HSJ163	クリエイティブシンキング	1日	イノベーションを切り開くために必須となる、クリエイティブなアイデアを閃くためのプロセスを実践演習を通して体感・学習します。
	HSJ157	システムシンキング基礎 -問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化する-	2日	システムとは、ITシステムではなく、より広い「系」を指します。社会・企業・人間集団を構成する要素の相互作用を捉え、「系」の全体最適で且つサステナブルな問題解決のアプローチを学びます。
	HSJ170	イノベティブ思考-単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた-	2日	イノベティブ思考が従来の思考と違う点を対比させながら、イノベティブな発想に必要な進め方、手法を演習主体で学習します。
ビジネス構想	HSJ158	イノベーションプロセスを強化するシナリオプランニング	1日	顧客ビジネスや要素技術の将来動向と捉え、顧客の真のニーズを引き出すために、シナリオプランニングの具体的な考え方・手法について学習します。
	HSJ182	(PDU) ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向 -イノベーション実現のために-	1日	ポジショニングやリソースベストビュー等の事業・企業戦略論を、自らの事業に適用できるようになるまで理解します。またITビジネスとして戦略上踏まえておくべき最新動向を紹介します。
	CTJ055	IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方	1日	DX(デジタルトランスフォーメーション)・AI・IoT...など、ITを全面的に活用することで新しいビジネスモデルを実現する取り組みを進めるうえでの実践的な最重要ポイントを、ビジネス系システムを中心に伝えます。
サービス企画・設計(ビジネスモデルデザイン)	HSJ159	顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン	2日	ビジネスモデルキャンパスを活用し、ビジネスモデルを可視化することで新たな価値の発見につなげます。お客さまの潜在的価値発見の部分に重点を置き、ビジネスモデルを検討します。
	HSJ178	新規事業における利益の健全性評価と収益性の高いビジネスモデルのデザイン -不確実性の高いビジネスにおける仮説検証、価値ベースのプライシングを身に付ける-	1日	ビジネスモデルが失敗する大きな原因の1つである「財務上の収支が合わない」点に焦点を当てます。「仮説指向型計画法」というアプローチを活用しながら、新規事業における不確実性要素を見つけ、次にプライシング戦略についてケーススタディで学習します。
	HSJ176	顧客との関係を深め続けられる顧客接点のビジネスモデルデザイナー-モバイル時代の消費者行動の変化を捉え、経験価値をデザインする-	1日	新しい消費者行動を描きながら、消費者のニーズに対する仮説を立て、このニーズを逃がさず新たなビジネス機会を獲得するために必要なチャネルやタッチポイント、それらの上で確立すべき顧客との関係や獲得すべきエンゲージメントについて考えます。
	HSJ177	実現可能性を高める! ユーザーの言葉を使って解決する成果志向型のサービスデザイン -事業開発の失敗リスクを最小化するための事業・競争環境、内部プロセスの検討-	1日	サービスを実現するための内部プロセスを、ダブルダイヤモンド、ジョブ理論の考え方をベースにサービス実現上の課題解決をデザインします。

2018年11月に一般社団法人 日本経済団体連合会（以下 経団連）より「Society5.0」についての提言が発表されました。（<http://www.keidanren.or.jp/policy/2018/095.html>）

当社では、この考えにもとづき、Society5.0時代に必要となるビジネスリテラシーを身につけるための人財育成研修を体系立ててご提供します。

This is Society 5.0 (創造社会)



※経団連 Society 5.0 提言資料より抜粋

● こんな方におすすめ!

経団連の提言資料のなかでは Society5.0 時代に必要となるリテラシーが掲げられています。今回はそのなかでも以下6点の要素に対応する主なコースをご紹介します。新時代に合わせて自社の社員の育成を見直したい方や、長期的な視点で部下の育成を考えられている方にご参考にしていただければと存じます。

必要となるリテラシー

知識を活用し自分で考える力	2日 問題解決!ロジカルシンキング×クリティカルマインドの実践ワークショップ	問題解決のワークシートを使い、自らが業務で直面する問題の解決を考えます。表面的な解決ではなく、原因を追究し、根本的な解決をめざします。
文章や情報を正確に読み解く力	2日 HSJ108 定量分析のスキル -問題解決の精度を高める-	「データの海に溺れない」を標語に、大量のデータをいかに論理的に読み解き問題解決に結びつけるかを学びます。
自らの意思や考えを正しく的確に表現し伝える力	2日 HSJ154 ロジカルプレゼンテーション基礎	正しく伝えるには論理、ストーリー性、表現力、熱意が大切です。研修では動画撮影を行い、自らのプレゼンテーションスキルの現状を正しく認識いただいたうえで、スキルアップをめざします。
科学的・論理的に思考する力	2日 HSJ116 ロジカルシンキング基礎 -論理の可視化と論理チェックのポイント-	アウトプットを良くするにはプロセスの改善が必要です。研修では自らの思考プロセスを可視化する技法を学び、ブラッシュアップすることで、論理力向上の第一歩を踏み出します。
感性、好奇心、探究力	2日 HSJ170 イノベティブ思考 -単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた-	Society5.0のコンセプトである、「ありたい社会を創造」し、「ロジカルシンキング」「システムシンキング」「デザインシンキング」といった思考法を組み合わせることでありたい社会の実現に向けた課題解決を考えます。
情報科学・数学・統計・生命科学などの基礎的な知識	2日 HSJ109 データ分析手法の理論と適用 -ビジネスにおける統計的手法活用の広がり-	統計的分析手法、検定、QC7つ道具など幅広くデータサイエンスを一度に学べます。また分析手法そのものだけでなく、分析手法を適用する際の考え方のポイントもセットで学習でき、実践的な内容となっています。

● コース概要

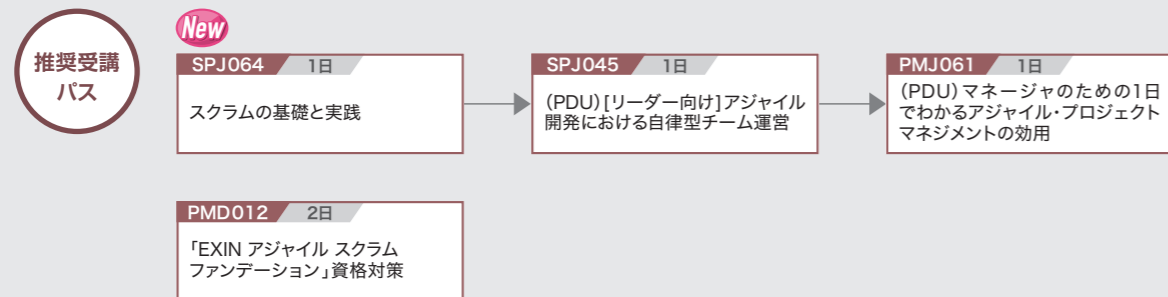
コースコード	コース名	日数	コース概要
-	問題解決!ロジカルシンキング×クリティカルマインドの実践ワークショップ	2日	ロジカルシンキングを知識として知っているが、実務へ活かしていない方の問題を解消します。自らが業務で直面している困り事や改善・解消したい現象について、問題解決のプロセスに則って問題・原因を分析し、解決策を決め、実行時計画を立てます。徹底的に分析するためには、どのような論点で情報を分解すれば良いか、複数の選択肢から最良のものを選ぶにはどのような優先順位をつければ良いかなどを学習できます。
HSJ108	定量分析のスキル -問題解決の精度を高める-	2日	ビジネスにおける問題発見と解決の流れに従い、データに基づいてお客様の課題を捉え、具体的に提案・解決する能力を高めます。問題発見と解決とは、課題の構造化と仮説立案、分析結果(グラフ・チャート)をイメージしたデータ収集、多面的な評価軸で比較・分析することです。サプライチェーンの実事例をもとにしたケース演習で問題発見と解決のステップ全体を具体的に学習します。
HSJ154	ロジカルプレゼンテーション基礎	2日	プレゼンテーションに必要な4スキル(ストラクチャリング、ストーリーデザイン、ビジュアルイゼーション、デリバリー)のポイントと、準備のプロセスを学習します。演習では、自らの業務に関するテーマでプレゼンテーションのストーリーを計画します。また、動画撮影しながら発表し、自身のプレゼンテーションを振り返ることで、改善点や改善方法を具体的に学習します。

コースコード	コース名	日数	コース概要
HSJ116	ロジカルシンキング基礎 -論理の可視化と論理チェックのポイント-	2日	問題解決に必要なスキルセットは「思考法」「マインド」「手順」です。このコースでは、論理的思考に必要な技法やツールといった「思考法」のみならず、「思考法」を使いこなすうえでの原動力となる、考え抜く「マインド」、「思考法」「マインド」をベースに正しく問題解決を進めるための「手順」を学習し、問題解決力の土台を作ります。
HSJ170	イノベティブ思考 -単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた-	2日	社会イノベーションを考えるうえで、問題を定義するには、社会・企業・人間集団といった複雑系の全容を捉える必要があります。全容を捉えるには観察や対話といったアプローチが重要な役割を果たします。この問題解決を進めるのに必要なシステム思考×デザイン思考を学習します。問題の定義から、事業機会の発見、サービスアイデアの創出とその価値の検証、プロトタイプの流れをひととおり体感します。
HSJ109	データ分析手法の理論と適用 -ビジネスにおける統計的手法活用の広がり-	2日	データ分析の理論や作業スキルに加え、各分析手法を適用する際の考え方を学習します。例えば、分析手法適用の際のインプットデータは、目的や仮説に基づいて抽出する必要があります。また、アウトプットの図表からは、「だから何が言えるのか」という、提言につながる考察を抽出する必要があります。このような、データを入手してからレポート作成までの一連の思考過程と作業を、Excelを利用した演習を通して学習します。

時代の変化に追従し対応していくためには、これまでのソフトウェア開発の方法を見直し変革していく必要があります。現在、ソフトウェア開発の手法として、アジャイル開発が脚光を浴び、中でもスクラム開発が代表的な手法として広く知られています。当社では、アジャイル/スクラム開発の最新技術動向を踏まえ、研修体系を整備しました。ぜひ、ご活用ください。

● こんな方におすすめ!

アジャイル関連コース



1 アジャイル / スクラム開発の基礎とメリットを1日で理解したい方

コースコード	コース名	日数	コース概要
SPJ064	New スクラムの基礎と実践	1日	アジャイル開発手法の中でも主流のスクラムを取り上げます。基礎知識の解説に加え、実際のプロジェクトの進め方や要素技術など、アジャイル開発/スクラムの基礎と実践について学習します。また演習やワークショップによってアジャイル開発のメリットを体験します。

2 アジャイル開発の導入を検討しているマネージャ、リーダーの方

アジャイル開発に適したチームを作りたいと考えている方
アジャイルに限らず、効果的なチームビルディングを行いたいリーダー (マネージャ)の方

コースコード	コース名	日数	コース概要
SPJ045	(PDU) [リーダー向け]アジャイル開発における自律型チーム運営	1日	アジャイル開発を担当するリーダーとして、その力量がもっとも発揮されるべき局面が自立的なチーム運営です。このコースでは、自律的なチームとは何か、どうすれば自律的なチームになるのかを、開発現場の状況を想定した講師とのディスカッション演習や質疑応答を通して考察します。
PMJ061	(PDU) マネージャのための1日でわかるアジャイル・プロジェクトマネジメントの効用	1日	マネジメント視点でのアジャイル開発の利点を理解し、顧客に提案できる従来、行われてきた計画重視型のプロジェクトマネジメントから、アジャイル開発導入への変化をマネジメント視点で学びます。経営管理上のメトリクスを残しながら、プロジェクトガバナンスをどのように確立するかを理解し、顧客に提案できる知識を身につけます。

3 アジャイル・プロジェクトマネジメント、スクラムの基本を体系的に把握したい方

コースコード	コース名	日数	コース概要
PMD012	「EXIN アジャイル スクラム ファンデーション」資格対策	2日	EXIN(www.exin.com)本部が公開する試験要件に沿ったカリキュラムにより基本事項の概念や用例を学習します。なお、研修の最後にアジャイル スクラム ファンデーション認定試験(60分)を用意しています。

なお、新規にご案内するコースについては、予告なく変更となる可能性がありますのでご了承願います。

社会の変化や技術の高度化により、サイバー攻撃の対象も大きく拡大・変化しています。これまでは、企業の情報システムにある機密情報や個人情報などを狙ったものが多くありましたが、近年は、工場やプラントなどの制御システムへの攻撃も増加しています。

実際に世界では、イランの核施設が機能停止させられたり、ウクライナで大規模な停電が起こされており、日本でも、このようなサイバー攻撃を受ける可能性が高まっています。

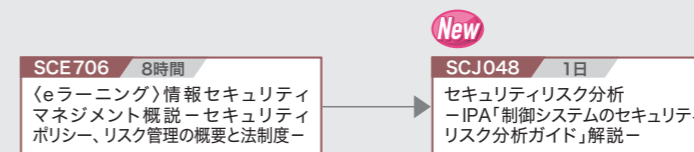
このような状況の中、私たちはどのように対応していく必要があるのでしょうか?サイバー攻撃に対応するために私たちが行う重要なことの1つに、セキュリティリスク分析があります。セキュリティリスク分析は、複数のリスクの中から、組織として「本当に対応が必要なものはどれか?」、「より優先的に対応すべきものはどれか?」を考える行為です。

このセキュリティリスク分析については、独立行政法人情報処理推進機構(以下 IPA)からガイドが公開されています。当社ではそのガイドを、効率的に、早く活用できるよう、事例を用いて学ぶコースをご用意しました。制御システムのセキュリティリスク管理を行う方、重要インフラのセキュリティに関わる方のスキル向上に、ぜひご活用ください。

● こんな方におすすめ!

制御システムのセキュリティリスク管理(現状分析)の関係者
重要インフラのセキュリティに関わる視野を広げたい方

管理系セキュリティコース



● コース概要

コースコード	コース名	日数/ 標準学習時間	コース概要
SCE706	<eラーニング>情報セキュリティマネジメント概説 -セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-	8時間	情報セキュリティ維持、個人情報保護のための管理システムと情報セキュリティに関連する規格、法律制度など管理的対策に関する概要を学びます。
SCJ048	New セキュリティリスク分析 -IPA「制御システムのセキュリティリスク分析ガイド」解説-	1日	「制御システムのセキュリティリスク分析ガイド」※1 (IPA発行)をベースに、リスク分析の代表的な手法である「資産/攻撃シナリオ(事業被害)ベース」の手順を学習します。また、制御システムの事例を用いて演習を行います。

情報セキュリティに関する基礎知識、セキュリティを考慮したシステム構築・管理に必要な技術に関するコースは下記をご参照ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/flow/sec/index.html>

※1 出典 独立行政法人情報処理推進機構 <https://www.ipa.go.jp/security/controlsystem/riskanalysis.html>

「制御システムのセキュリティリスク分析ガイド 第2版 ~セキュリティ対策におけるリスクアセスメントの実施と活用~」

業務の生産性を高めるには、

決断のスピードを上げることが必要です！

2019年4月より、働き方改革関連法案が施行されました。しかしそれらの法案は、労働時間短縮を目的としたものが多く、ビジネスパーソンの業務負担を直接的に減らすものではありません。

公益財団法人 日本生産性本部の調べによると、昨年の日本の労働生産性は、G7加盟国の中でも最下位です。なぜ懸命に業務に取り組んでも生産性が上がらないと言われているのでしょうか。今までの働き方の習慣や、組織文化にとらわれてしまい、【迅速な意思決定】ができず、時間を無駄にしているのも一つの要因になっているようです。決断のスピードを上げ、時間ロスを減らし、生産性を向上させてみませんか。

● こんな方におススメ！

以下のお悩みをお持ちの方に最適なコースをご用意しています。

●何も決まらない会議にイライラすることが多い

●上司の鶴の一声で施策が決まってしまう

●会議が脱線し、時間通りに終わらない

HSJ148 2日
(PDU)会議/プロジェクトを円滑に進めるためのファシリテーション・スキル向上

解決できること

- ・会議で建設的な意見が出て、物事の決定がスムーズになる
- ・時間通りに会議が終わる
- ・参加者全員が発言できるようになる
- ・議論の見える化ができる

●苦手な人と会話するのに躊躇し、仕事が前に進まない

●メンバーのモチベーションを上げることができず、成果を出してもらえない

New

HSJ197 2日
自分を知り他者を知るコミュニケーションマネジメント-DISCモデルによる-

解決できること

- ・苦手な人との会話がスムーズになる
- ・タイプの違うメンバーをどう動機づけすればよいかわかる
- ・自分が何をしたいのかが理解できる

●何を言っているかわからないと言われることが多い

●話がうまく伝わらず、手戻りが起きてしまう

HSJ127 2日
情報を整理して伝えるコミュニケーション技法-ロゴス・パトス・エトスを高める-

解決できること

- ・論理と感情のバランスを取りながらスムーズに会話ができる
- ・数多くの情報を整理し、端的に会話ができるようになる

●お客様に仕様書外のことを要求され、仕方なく対応している

●忙しいのにタスクを断れず、残業が増える

●強く言いすぎてしまい後悔したのち、フォローをしている

HSJ125 1日
(PDU)アサーティブコミュニケーション-職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上-

解決できること

- ・自分の言いたいことが言えるようになる
- ・言いたいことを言いながらも、他者と揉めない会話のフレームが手に入る

●相手が何を言っているか理解できず、結局また打ち合わせの時間を取っている

●相手の意図とは違うことを返答してしまい、会話がかみ合わずに終わる

HSJ124 1日
リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップ-職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上-

解決できること

- ・自分の聴き方のクセを修正し、相手の言いたいことが理解できる
- ・傾聴のスキルが身につく、相手が気持ちよく話してくれるようになる

コースコード	コース名	日数	コース概要
HSJ148	(PDU)会議/プロジェクトを円滑に進めるためのファシリテーション・スキル向上	2日	効率的、効果的な会議/プロジェクトを運営するために有効である、ミーティング・コミュニケーションと対応法を学習します。さらに、生産的会議に必要なファシリテーション・スキルを理解し、適切なコミュニケーション技術を修得できます。
HSJ174	(PDU)ストラクチャード・コミュニケーション-会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える-	1日	限られた時間の中で、できるだけ有効な情報を引き出し、整理し、考えを伝えることが求められる方が、相手とのコミュニケーションにおいて、情報を構造化し図で表現するために必要な知識を学びます。基本となる図解パターンを元に、考えを伝える演習や、聞く演習、また考えをまとめる演習を通して、相手の課題を解決するための図解スキルを修得します。
HSJ197	New 自分を知り他者を知るコミュニケーションマネジメント-DISCモデルによる-	2日	さまざまな考え方やキャリアを持つ他者と、どのようにコミュニケーションをとればよいか学習します。自己を知り、他者を推察し「違いは間違いではない」という考えのもと、具体的なアプローチ方法を学習します。
HSJ127	情報を整理して伝えるコミュニケーション技法-ロゴス・パトス・エトスを高める	2日	論理的なコミュニケーションをとるための手法を、演習を通して学習します。
HSJ125	(PDU)アサーティブ・コミュニケーション-職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上-	1日	自己尊重のマインドに基づいて、自分の考えや気持ちを明快に伝えるアサーティブコミュニケーションを学習します。
HSJ124	リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップ-職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上-	1日	対話のスキルとして重要な2つの要素「傾聴」と「アサーション」のうち「傾聴」を中心に学習します。

1 体系的にIT技術修得を進めるための日立講習会コース活用例

日立講習会では、企業や組織で必要となるITの修得に適したコースを各種ご用意しています。階層別研修とともに、IT研修の企画立案の際に日立講習会のコースをぜひご活用ください。

IT修得に必要な一連のコースをご用意しています!!

● 情報システム部門の方向け推奨 IT 研修体系

企業における情報システムの役割は、合理化・効率化を進めるツールから、他社との差別化・競争力強化を図るツールへと変遷しました。ITは、経営戦略や事業戦略を成功に導く重要な要素になりました。

これらの背景から、情報システム部門は、システムの実装技術だけでなく、戦略に結び付くITサービスを企画立案/開発し、継続して提供し続けるスキルが求められます。

日立講習会では、システム化戦略策定から運用管理や実装技術まで一連のIT修得に対応したコースをご用意しています。下記は、日立講習会を活用した情報システム部門の研修体系の一例です。

日立講習会を活用したIT修得コースマップの例

項目	初 級	中 級	上 級
IS 戦略 IS 戦略評価	HSJ181 / 1日間 (PDU)ソリューション提案のための経営と情報戦略 -経営・事業・情報戦略のあるべき関係性-	CTJ016 / 1日間 (PDU) IT投資対効果の考え方 -IT投資マネジメントの基礎-	HSJ017 / 1日間 (PDU) IT戦略の立案 -IT-BSCの活用による- SPJ008 / 2日間 (PDU) IT投資の評価手法 -IT投資の種類、パターンから効果を考える- CTJ062 / 2日間 (PDU)エンタープライズ・ ビジネスアナリシス
IS 企画 IS 企画評価		CTJ055 / 1日間 IT主導で攻めるビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方	CTJ060 / 2日間 (PDU)要求の引き出しと マネジメント CTJ005 / 2日間 (PDU)トラブルを防止する調達要件の分析 -RFPの作成と提案書の評価を中心に- SPJ036 / 2日間 システム化要求を 実現するための業務設計
システム開発	SJE707 / 4時間 eL【ナビ機能付き】 システム開発の基礎	SPJ037 / 2日間 システムのニーズ分析	CTJ046 / 1日間 情報システム導入を成功させる 要件定義とベンダー折衝の実践ポイント CTJ026 / 1日間 情報システムのユースケースと 移行・切替・本番稼働の準備実務 CTJ065 / 2日間 エンタープライズ ITアーキテクチャのセオリー
要件定義	SPJ024 / 2日間 システムの要件定義技法	CTJ052 / 1日間 現行システムのリプレイス/改修における 現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法	SPJ054 / 1日間 後工程で慌てないユーザー/業務要件の漏れを 未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ CTJ018 / 1日間 非機能要求の考え方 CTJ051 / 1日間 ビジネス要求引き出しのための 業務課題抽出のテクニック
設計技法	NWJ139 / 2日間 Webアプリケーション設計の 基礎	SPE017 / 5時間 eL 構造化モデリングによる システムの機能抽出	SPJ056 / 1日間 開発の手戻りを最小限にする 要件品質チェックのポイントと基本設計の肝
アプリケーション 開発	CBE006 / 16時間 eL アルゴリズムの基礎 -フローチャート編-	SPJ028 / 1日間 品質確保のための ソフトウェアテスト SPE019 / 3時間 eL 速習! Webシステム テストのポイント プログラミング言語ごとの コース群	SPE016 / 8時間 eL 実践! テストケース設計 (テスト技法演習編)
システム基盤	UXE003 / 4時間 eL クラウドコンピューティング 入門	サーバ製品ごとの コース群 CLJ005 / 1日間 実機で学ぶ! サーバ仮想化入門 -VMware vSphere, Microsoft Hyper-V, KVM-	SPJ060 / 1日間 体験最新OSSを活用したDevOps入門 -Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ- SPJ059 / 1日間 (PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発 -お客様に素早く価値を届けるために-
セキュリティ	SCE708 / 4時間 eL【ナビ機能付き】情報セキュリティテラー -セキュリティの必要性と対策-	SCE706 / 8時間 eL【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説 -セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-	SCE705 / 6時間 eL【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの 基礎-ネットワーク構成技術システム保護の概要編-
ネットワーク	NWJ103 / 2日間 ネットワーク基礎	NWE715 / 8時間 eL【ナビ機能付き】 LANの技術-高可用ネットワーク- NWE717 / 8時間 eL【ナビ機能付き】 WANの技術-VPNサービスへの変遷-	NWJ099 / 2日間 TCP/IPプロトコル解析 NWE704 / 6時間 eL【ナビ機能付き】 ネットワーク管理解説 NWE028 / 4時間 eL ネットワーク設計基礎 NWJ084 / 2日間 ネットワークトラブル解決
データベース	DBJ045 / 1日間 データベース入門 -解説と操作体験-	DBJ055 / 1日間 速習! 1日でわかる データベース設計の基礎	データベース製品ごとの コース群 DBJ054 / 2日間 データベース設計技法と演習
プロジェクトマネジメント	PMJ065 / 2日間 プロジェクトマネジメント基礎	PMJ066 / 2日間 (PDU)ワークショップで学ぶ プロジェクトマネジメント実践	CTJ022 / 2日間 情報システム部門のための開発 工程におけるベンダー・マネジメント プロジェクトマネージャ向けの コース群 CTJ037 / 2日間 (PDU) SEのための ベンダーマネジメント PMJ067 / 1日間 (PDU) PMO視点からのプロジェクト 運営の勘所(アセスメント) PMD009 / 2日間 (PDU)プログラムマネジメント-より価値の 高いプロジェクトを提供するために-
IT サービスマネジメント 運用管理・保守	ITJ008 / 1日間 情報システム運用入門 -運用からITサービスへ-	ITJ009 / 1日間 IT運用における ヒューマンエラー予防	ITJ012 / 3日間 (PDU) ITIL® ファンデーション (認定試験付)
システム監査		ITJ004 / 2日間 システム運用の現状分析・ 設計力養成ワークショップ SPJ033 / 1日間 保守開発における トラブル対策の考え方 HSJ062 / 1日間 事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方 -高信頼性システム実現のために-	HSJ018 / 2日間 システムトラブルの予防と是正 -ISMS・システム監査の視点から-

eL eラーニング

TOPICS

1 日立講習会
コース活用例

2 開催コース/
スケジュール一覧

3 講座別コースフロー/
コースカリキュラム

4 研修会場

5 お申込方法

6 受講規約

● SI 企業 / IT 開発ベンダ向け推奨 IT 研修体系

現在のIT産業は、ハードウェアやソフトウェアといったプロダクトの提供だけでなく、顧客企業がめざす経営戦略や事業戦略を実現する IT サービスの提供が重要です。これを実現するために、高い専門性を持つ人材の必要性が高まっています。そのため、企業の競争力強化に向けた体系的な人材育成が重要です。

高い専門性を身につける「基礎体力」として、IT の基本をしっかりと身につけることが重要です。日立講習会では、JP1 や HiRDB といった製品技術修得のコースに留まらず、IT 基本、情報セキュリティ、ネットワークやデータベースといった汎用的な IT の修得に対応したコースをご用意しています。下記は、日立講習会を活用した研修体系の一例です。

日立講習会を活用した情報システム/ソフトウェア開発技術者のITスキル(ITの基礎体力)修得コースマップの例

項目	初級	中級	上級
IT 基本	<p>SJJ009 / 5日間 コンピュータ基礎</p> <p>SJE701 / 8時間 eL【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-ハードウェア編-</p> <p>SJE702 / 8時間 eL【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-ソフトウェア編-</p> <p>SJE703 / 4時間 eL【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-情報の基礎理論編-</p> <p>SJE704 / 4時間 eL【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-情報システム編-</p> <p>SCE708 / 4時間 eL【ナビ機能付き】情報セキュリティ入門-セキュリティの必要性と対策-</p> <p>NWJ103 / 2日間 ネットワーク基礎</p> <p>DBJ045 / 1日間 データベース入門-解説と操作体験-</p>		
クラウド / サーバ仮想化	<p>CLJ005 / 1日間 実機で学ぶ！サーバ仮想化入門-VMware vSphere, Microsoft Hyper-V, KVM-</p> <p>CLJ007 / 1日間 実機で学ぶ！デスクトップ仮想化入門-Citrix XenDesktopとVMware vSphere-</p>	<p>仮想化製品提供ベンダーごとのコース群</p>	
クラウド	<p>UXE003 / 4時間 eL クラウドコンピューティング入門</p> <p>CLJ003 / 1日間 クラウドコンピューティング技術解説</p> <p>CLJ014 / 1日間 実機で学ぶ！クラウドコンピューティング入門</p>	<p>CLD001 / 2日間 事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理-Cloud Essentials-</p> <p>SPJ040 / 0.5日間 クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向</p> <p>クラウドサービス提供ベンダーごとのコース群</p>	
システム基盤			
サーバOS	<p>UNIX/Linux</p> <p>UXJ061 / 2日間 UNIX/Linux 基礎-コマンド編-</p> <p>UXJ049 / 2日間 UNIX/Linux 基礎-シェルスクリプト編-</p> <p>UXJ029 / 2日間 Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム ネットワーク管理の基礎-</p> <p>UXJ030 / 2日間 Linuxシステム管理 後編-システム起動の仕組みとディスク管理技術-</p> <p>UXE004 / 3時間 eL オープンソースソフトウェア(OSS)概説</p> <p>Windows</p> <p>MSJ042 / 2日間 Windows Server 2016 管理概説</p> <p>MSE305 / 13時間 eL【ナビ機能付き】[マシナ]演習付き Windows Server 2012 管理概説</p> <p>Windows Serverの運用目的に応じたコース群</p>	<p>UXJ062 / 2日間 Linuxトラブルシューティング</p> <p>Windows Serverの運用目的に応じたコース群</p>	
データベース	<p>DBJ055 / 1日間 速習1日でわかるデータベース設計の基礎</p> <p>DBJ043 / 2日間 基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-</p> <p>OBE706 / 4時間 eL【ナビ機能付き】データベース入門概説</p> <p>データベース製品ごとのコース群</p>	<p>DBJ047 / 1日間 脱初心者のためのSQL-SQLでどこまでできる-</p> <p>DBJ054 / 2日間 データベース設計技法と演習</p> <p>データベース製品ごとのコース群</p>	
ネットワーク	<p>ネットワークシステムの要素技術</p> <p>NWE715 / 8時間 eL【ナビ機能付き】LANの技術-高可用ネットワーク</p> <p>NWE717 / 8時間 eL【ナビ機能付き】WANの技術-VPNサービスへの変遷-</p> <p>NWJ147 / 1日間 ネットワークインフラ構築-基礎編-</p> <p>ネットワーク設計</p> <p>NWE028 / 4時間 eL ネットワーク設計基礎</p> <p>NWE703 / 12時間 eL【ナビ機能付き】IPv6の基礎と移行技術</p>	<p>NWJ133 / 2日間 ネットワークインフラ構築-スイッチ編-</p> <p>NWJ138 / 2日間 ネットワークインフラ構築-ルータ編-</p> <p>NWJ120 / 2日間 ネットワークインフラ構築-冗長化・負荷分散編-</p> <p>NWE708 / 4時間 eL【ナビ機能付き】Software Defined Networking (SDN)概説-ネットワーク仮想化-</p>	
セキュリティ	<p>要素技術、セキュリティ計画、リスクマネジメント</p> <p>SCE706 / 8時間 eL【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説-セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制編-</p> <p>SCE703 / 6時間 eL【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-要素技術(暗号、認証)編-</p> <p>SCE705 / 6時間 eL【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編-</p> <p>SCE704 / 4時間 eL【ナビ機能付き】データベースセキュリティ概説</p> <p>SCJ038 / 1日間 情報セキュリティマネジメント運用</p> <p>SCJ039 / 1日間 情報セキュリティマネジメントの評価と改善</p> <p>SCD001 / 5日間 CEH (Certified Ethical Hacker)</p> <p>SCJ047 / 1日間 ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント</p>		
システム設計 / システム開発	<p>ソフトウェアエンジニアリング</p> <p>SJE707 / 4時間 eL【ナビ機能付き】システム開発の基礎</p> <p>SPJ058 / 2日間 演習で学ぶ！情報システムの役割と開発の進め方</p> <p>ニーズ分析、要件定義</p> <p>SPJ024 / 2日間 システムの要件定義技法</p> <p>CTJ052 / 1日間 eL【ナビ機能付き】現行システムのリプレイス/改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法</p> <p>SPJ037 / 2日間 システムのコース分析</p> <p>システム設計、業務アプリケーション設計</p> <p>NWJ139 / 2日間 Webアプリケーション設計の基礎</p> <p>NWJ144 / 1日間 スマートフォンの特性を踏まえたWebアプリケーション設計の考え方</p> <p>SPE017 / 5時間 eL 構造化モデリングによるシステムの機能抽出</p> <p>モデリング / オブジェクト指向</p> <p>OJJ024 / 2日間 UMLによるオブジェクト指向モデリング</p> <p>アプリケーション開発</p> <p>Javaテクノロジー</p>	<p>PMJ006 / 1日間 ソフトウェア開発の品質管理と信頼性-日立の取り組み紹介-</p> <p>CTJ018 / 1日間 非機能要求の考え方</p> <p>SPJ054 / 1日間 後工程で使えないユーザ・業務要件の漏れを未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ</p> <p>CTJ059 / 2日間 (PDU)ビジネスアナリシスの基礎</p> <p>CTJ051 / 1日間 ビジネス要求引き出しのための業務課題抽出のテクニック</p> <p>CTJ050 / 2日間 (PDU)要求の引き出しとマネジメント</p> <p>CTJ062 / 2日間 (PDU)エンタープライズ・ビジネスアナリシス</p> <p>SPJ038 / 2日間 アプリケーション・アーキテクチャ策定演習</p> <p>SPJ036 / 2日間 システム化要求を実現するための業務設計</p> <p>SPJ056 / 1日間 開発での手戻りを最小限にする要件品質チェックのポイントと基本設計の肝</p> <p>CTJ065 / 2日間 エンタープライズITアーキテクチャのセオリー</p> <p>SPJ039 / 0.5日間 事例から学ぶSaaS活用提案のポイント</p> <p>CLJ012 / 2日間 クラウドアプリケーション開発</p> <p>SPJ060 / 1日間 体験最新OSSを活用したDevOps入門-Lumadaに学ぶアプリケーション開発の進化-</p> <p>SPJ059 / 1日間 (PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発-お客様に素早く価値を届けるために-</p>	
プログラミング	<p>アルゴリズム / プログラミング</p> <p>CBJ001 / 2日間 アルゴリズムの基礎-フローチャート編-</p> <p>CBE006 / 13時間 eL アルゴリズムの基礎-フローチャート編-</p> <p>プログラミング言語ごとのコース群</p> <p>テスト技法</p> <p>SPE701 / 4時間 eL【ナビ機能付き】プログラムのテスト技法</p> <p>SPJ028 / 4日間 品質確保のためのソフトウェアテスト</p> <p>SPE016 / 4時間 eL 実践! テストケース設計(テスト技法演習編)</p> <p>SPJ051 / 1日間 実践! テストケース設計(テスト設計実践編)</p>	<p>SPE019 / 2時間 eL 速習! Webシステムテストのポイント</p> <p>SPJ042 / 1日間 Javaによるテスト駆動開発演習</p> <p>SPJ025 / 1日間 SeleniumによるWebアプリケーションテスト自動化演習</p>	
評価、改善、信頼性向上 / リスクマネジメント		<p>SPJ033 / 1日間 保守開発におけるトラブル対策の考え方</p> <p>HSJ062 / 1日間 事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方-高信頼性システム実現のために-</p>	<p>HSJ018 / 2日間 システムトラブルの予防と是正-ISMS・システム監査の視点から-</p>
プロジェクトマネジメント	<p>PMJ065 / 2日間 プロジェクトマネジメント基礎</p>	<p>PMJ066 / 2日間 (PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践</p> <p>CTJ037 / 2日間 (PDU) SEのためのベンダーマネジメント</p> <p>知識エリアごとのコース群</p>	<p>PMJ067 / 1日間 (PDU) PMO視点からのプロジェクト運営の勘所(アセスメント)</p> <p>PMD009 / 2日間 (PDU)プログラママネジメント-より価値の高いプロフェッタルを育てるために-</p>

eL eラーニング

日立講習会を活用したITサービス企画/開発/運用管理技術者のITスキル(ITの基礎体力)修得コースマップの例

分野	ITサービス企画/開発/運用管理技術者のITスキル(ITの基礎体力)修得コースマップの例							項目	初級	中級	上級		
	ITサービス戦略	システム構想	システム化計画	業務設計	業務詳細設計	テスト・移行	投資対効果						
新事業・サービスの創成								戦略/マーケティング		HSJ181 1日間 (PDU)ソリューション提案のための経営と情報戦略 -経営・事業・情報戦略のあるべき関係性-	HSJ182 1日間 (PDU)ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向 -イノベーション実現のために-	HSJ017 1日間 (PDU) IT戦略の立案 -IT-BSCの活用による-	CTD011 2日間 (PDU) IT経営ストラテジ (IT戦略コース)
								イノベーション	HSJ163 1日間 クリエイティブシンキング	HSJ157 2日間 システムシンキング基礎 -問題を構成する互いに影響しあふ要素の「つながり」を可視化する-	HSJ170 2日間 イノベティブ思考-単なるアイデアで終わらせないための ロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた-	HSJ159 2日間 顧客価値発見と ビジネスモデルのデザイン	HSJ158 1日間 イノベーションプロセスを強化する シナリオプランニング
								超上流工程		CTJ059 2日間 (PDU)ビジネスアナリシスの 基礎	SPJ037 2日間 システムのニーズ分析	CTJ051 1日間 ビジネス要求引き出しのための 業務課題抽出のテクニック	CTJ060 2日間 (PDU)要求の引き出しと マネジメント
サービス企画/開発								サービスプロデュース		HSJ177 1日間 実現可能性を高めるユーザーの言葉を使って解決する成果志向型のサービスデザイン -事業開発の失敗リスクを最小化するための事業・競争環境・内部プロセスの検討-	CTJ055 1日間 IT主導で攻めのビジネスを実現する ための構想立案とIT化企画の作り方		
								サービスレベル設計	ITE006 4時間 eL SLAにおける サービスレベル設計の基礎	CTJ018 1日間 非機能要求の考え方			
システム化企画/導入								システム企画	SPJ058 2日間 演習で学ぶ!情報システムの 役割と開発の進め方	CTJ054 1日間 IT活用による業務改善を実現するための 問題分析と新業務プロセス設計技法	SPJ036 2日間 システム化要求を 実現するための業務設計		
								要件定義	CTJ053 1日間 現場主導で現状業務の見える化を 推進するための業務フロー作成技法	CTJ052 1日間 現行システムのリリース/改修における現状洗い 出しを確実にするための業務フロー作成技法	SPJ024 2日間 システムの要件定義技法	CTJ018 1日間 非機能要求の考え方	CTJ065 2日間 エンタープライズ ITアーキテクチャのセオリー
								運用テスト・移行	SPJ028 1日間 品質確保のための ソフトウェアテスト	CTJ026 1日間 情報システムのユーザーテストと 移行・切替・本番稼働の準備実務			
ITサービス運用								ITシステム運用	ITJ008 1日間 情報システム運用入門 -運用からITサービスへ-	ITJ009 1日間 IT運用における ヒューマンエラー予防	ITE006 4時間 eL SLAにおける サービスレベル設計の基礎		
								クラウド	UXE003 4時間 eL クラウドコンピューティング 入門	CLJ014 1日間 実機で学ぶ! クラウドコンピューティング入門	CLD001 2日間 事業と技術の観点から検討するクラウド への移行と管理-Cloud Essentials-	SPJ040 0.5日間 クラウドコンピューティングで読み解く ITサービスの最新動向	SPJ039 0.5日間 事例から学ぶ SaaS活用提案のポイント
								セキュリティ	SCE708 4時間 eL 【ナビ機能付き】情報セキュリティテラシー -セキュリティの必要性と対策-	SCE706 8時間 eL 【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説 -セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-	SCJ038 1日間 情報セキュリティマネジメント運用	SCJ047 1日間 ケーススタディから学ぶ 情報セキュリティリスクマネジメント	
								ネットワーク	SCJ050 1日間 情報セキュリティ基礎 -セキュリティ全体を俯瞰する-	SCE705 6時間 eL 【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの 基礎-ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編-	SCJ039 1日間 情報セキュリティマネジメントの 評価と改善		
								UNIX/Linuxサーバ	NWJ103 2日間 ネットワーク基礎	NWE715 8時間 eL 【ナビ機能付き】 LANの技術-高可用ネットワーク-	NWJ099 2日間 TCP/IPプロトコル解析	NWE704 6時間 eL 【ナビ機能付き】 ネットワーク管理解説	NWJ084 2日間 ネットワークトラブル解決
								Windowsサーバ	UXJ061 2日間 UNIX/Linux 基礎 -コマンド編-	UXJ049 2日間 UNIX/Linux 基礎 -シェルスクリプト編-	UXJ029 2日間 Linuxシステム管理 前編 -Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-	UXJ030 2日間 Linuxシステム管理 後編 -システム起動の仕組みとディスク管理技術-	UXJ062 2日間 Linuxトラブルシューティング
								DB	MSJ042 2日間 Windows Server 2016 管理概説	MSJ045 2日間 実践! Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-	MSJ047 1日間 実践! Windows PowerShellを用いたシステム 管理の効率化-Windows Server 2016編-	MSJ048 2日間 実践! Windows Server 2016によるインフラ 構築演習-Windows Server 2016編-	
										DBJ045 1日間 データベース入門 -解説と操作体験-	DBJ063 2日間 基礎から学ぶSQL -現場で使える力をつける-	SCE704 4時間 eL 【ナビ機能付き】 データベースセキュリティ概説	データベース製品ごとの コース群
ITサービスの評価								IT投資評価		CTJ016 1日間 (PDU) IT投資対効果の考え方 -IT投資マネジメントの基礎-		SPJ008 2日間 (PDU) IT投資の評価手法 -IT投資の種類・パターンから効果を考える-	
								ITサービスの品質向上		HSJ062 1日間 事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方 -高信頼性システム実現のために-		HSJ018 2日間 システムトラブルの予防と是正 -ISMS・システム監査の視点から-	
ITサービスのライフサイクル全体								ITJ012 3日間 (PDU) ITIL®ファンデーション (認定試験付)	ITJ004 2日間 システム運用の現状分析・ 設計力養成ワークショップ				

eL eラーニング : コース内で主に扱う工程 : コース内で概要もしくは副次的に扱う工程

TOPICS

1 日立講習会
コース活用例

2 開催コース/
スケジュール一覧

3 講座別コースフロー/
コースカリキュラム

4 研修会場

5 お申込方法

6 受講規約

1 日立講習会
コース活用例

2 開催コース／スケジュール一覧

日立講習会は下記の通り「日立製品研修」と「IT/ビジネス研修」からなり、ITの利活用に必要なコースを多数取り揃えております。

「日立製品研修」、「IT/ビジネス研修」の概要および提供するコースをご紹介します。

日立製品研修

日立製品

日立製作所のオープンミドルウェア、プラットフォームソフトウェアなどを扱うために必要な技術が修得できます。

● JP1

統合システム運用管理ソフトウェアJP1を扱うために必要となる機能や操作、設定方法等の技術が修得できます。

● uCosminexus Application Server

uCosminexus Application Serverを使用したアプリケーション開発やシステム構築を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

● HiRDB

データベースマネジメントシステムであるHiRDBのシステム運用やアプリケーション開発を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

● OpenTP1

TPモニタであるOpenTP1システムの構築や運用、およびアプリケーションを開発するうえで必要となる知識と技術が修得できます。

● VOS3 / VOS1 / VOSK

日立メインフレームOSであるVOS3、VOS1、VOSKの使用法や機能、システム運用管理技術が修得できます。

● XDM / PDM II

日立メインフレームDB/DCであるXDM、PDM IIの機能や設定、システム運用管理技術が修得できます。

● Hitachi Advanced Data Binder

情報系システム向け超高速データベースエンジン、Hitachi Advanced Data Binderのアーキテクチャや導入までのWBS、設計や構築・運用管理に必要なスキルが修得できます。

● 日立ストレージ

日立ブロックストレージに関する製品・機能について必要な知識やスキルを修得できます。

● Pentaho

データ統合・分析基盤であるPentahoを使用したデータの統合処理や、分析・可視化に必要な機能や操作等の技術が修得できます。

IT/ビジネス研修

デジタルトランスフォーメーション

デジタル化の波に対応するための要素技術やデジタルビジネスに必要なスキルが修得できます。

● IT活用

デジタルソリューション (IoT/AI/Lumada) の概要を理解し、ビジネスを展開するためのスキルが修得できます。

● イノベーション

イノベーションのプロセス、思考技法、必要な事業戦略の知識が修得できます。

● IoT/AI/Lumada

IoTやAIなどのデジタル化に必要なシステム開発技術が修得できます。

● ビッグデータ

ビッグデータの概要と、関連する要素技術や活用手法の概要が修得できます。

● データ分析

データ可視化、統計的機械学習手法の計画の立て方、手法、考察の仕方が修得できます。

● サイバーセキュリティ

サイバー攻撃に伴う予防およびインシデント発生時の初動の対応するためのスキルが修得できます。

● RPA

RPA (Robotic Process Automation) 製品を使用して業務自動化のロボットを開発するために必要な基礎知識と技術が修得できます。

クラウド／サーバ仮想化

クラウド/サーバ仮想化やクラウドという最新システムについての基礎知識と技術が修得できます。

ITサービスマネジメント

情報システムを活用し、ビジネスを支援するITサービスの業務プロセスを管理・改善するITサービスマネジメントの基礎知識・手法が修得できます。

システム基盤

ネットワーク、データベースやOSなどのシステム基盤構築、管理するために必要な技術が修得できます。

● IT基本

IT基礎力に必要な知識や技術が修得できます。

● オープンソースソフトウェア (OSS)

OSSの概要や活用方法を理解し、OSSによるシステム運用やサーバ構築に関する技術が修得できます。

● Linux

Linuxの機能や操作方法を理解し、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● Microsoft

Windows ServerなどのMicrosoft製品を使用した、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● ネットワーク

ネットワークの構成を理解し、LANおよびWANに接続したシステム設計・構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● ハードウェア

サーバ・ストレージシステムの構築・活用に有効なハードウェア技術が修得できます。

● セキュリティ

個人情報保護や情報セキュリティに関する基礎知識、セキュリティを考慮したシステム構築・管理に必要な技術が修得できます。

● データベース

データベースの概念を理解し、データベースシステムを構築するための技術が修得できます。

IT戦略・IS企画

IT戦略・企画立案やプロセス評価、BA (Business Analysis) に関する知識や手法が修得できます。

システム開発

システム開発/アプリケーション開発を行うために必要な技術が修得できます。

● 要件定義/設計

情報システムの開発に必要な基礎知識や、開発手順、分析、設計技法が修得できます。

● モデリング

オブジェクト指向の基本概念やUMLによるシステム分析、設計、プログラミングが修得できます。

● プログラミング

各種プログラミング言語を使用したプログラム開発を行うために必要な基本文法やプログラミング技術、Webアプリケーションの開発技術が修得できます。

情報処理技術者試験対策

情報処理技術者試験の資格取得に向け、知識や解答技法が修得できます。

ITリテラシ

情報の扱い方、特にコンピュータを利用して業務を行うための基礎的な知識や技術が修得できます。

プロジェクトマネジメント

情報システム開発プロジェクトの計画・実行を行うために必要な知識や手順、技法が修得できます。

コンプライアンス

個人情報保護や情報セキュリティ、内部統制といった、コンプライアンス意識向上に不可欠な知識が修得できます。

ビジネス/ヒューマン

仕事を進めるうえで必要となるスキル(ロジカルシンキング、コミュニケーション、ライティング、リーダーシップ、業務知識など)が修得できます。

グローバル

グローバルでビジネスを進めるうえで必要となるスキル(グローバルマインドセット、各国の動機付け要因、反発要因など)が修得できます。

 新設コース

分野	コースコード	コース名	日数*	
● 日立製品				
JP1	JPE322	<eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-	12時間	
	JPE323	<eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2-システム設定・運用管理-	12時間	
Pentaho	PTJ001	Pentahoによるデータの可視化・分析	0.5日	
	PTJ002	データ加工・統合入門-Pentahoを用いて-	1日	
● デジタルトランスフォーメーション				
IoT/AI/Lumada	IOE002	<eラーニング>IoT技術解説 セキュリティ編	3時間	
	IOE003	<eラーニング>IoT技術解説 IoTネットワーク編	3時間	
RPA	RPJ001	RPA入門-概説と操作体験(Automation Anywhere) -	1日	
	RPD001	Mastering Bots: Design and Build an Advanced Digital Workforce	3日	
● システム基盤				
Microsoft	MSJ051	ここが新しい! Windows Server 2019新機能	1日	
セキュリティ	情報セキュリティ	SCJ048	セキュリティリスク分析-IPA「制御システムのセキュリティリスク分析ガイド」解説-	1日
データベース	Oracle	DBE346	<eラーニング>【マシン演習付き】MySQL 5.7 データベース管理 I	14時間
		DBE347	<eラーニング>【マシン演習付き】MySQL 5.7 データベース管理 II	21時間
● IT戦略・IS企画				
IT戦略・IS企画	CTD010	(PDU) IT経営ストラテジ(経営戦略コース) PDU	2日	
	CTD011	(PDU) IT経営ストラテジ(IT戦略コース) PDU	2日	
● システム開発				
要件定義/設計	CTJ065	エンタープライズ ITアーキテクチャのセオリー	2日	
	SPD002	DevOpsテスト入門~継続的デリバリーを実現するテスト自動化の基礎~	1日	
	SPD003	テストプロセス改善~評価・改善案策定を一日で習得!~	1日	
プログラミング	Web関連技術	NWE031	<eラーニング>Webアプリケーション設計の基礎	8時間
● 情報処理技術者試験対策				
情報処理技術者試験対策	春期実施試験対策	SJD004	データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座(合格に必要な知識と解答力を養う)	3日
		SJD005	データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座(試験直前に模擬試験で得点をUPする)	1日
		SJD011	春期高度試験【PM】【AU】対策講座 実践!論文を書く-添削指導で合格するための論述力を養成する-	2日
● プロジェクトマネジメント				
プロジェクトマネジメント	SPJ064	スクラムの基礎と実践	1日	

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

分野	コースコード	コース名	日数*
● ビジネス/ヒューマン			
ビジネス/ヒューマン	マネジメント/リーダーシップ	HSJ197 自分を知り他者を知るコミュニケーションマネジメント-DISCモデルによる-	2日
	セールス	CTJ305 体系的に学ぶ提案活動の進め方-プロポーザルマネジメント 戦略策定と骨子づくり編-	2日
		CTJ306 はかどる・伝わる!提案書作成-プロポーザルマネジメント 顕在・潜在ニーズ訴求編-	1日

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

改訂コース

コース内容の大幅な変更(改訂)と、コース名称を変更したものは下記の通りです。改訂したコースについては、表右側の「改訂のポイント」をご覧ください。

分野	コースコード	コース名	日数*	改訂のポイント
----	--------	------	-----	---------

● 日立製品(コースコード末尾に「T」を表示しているコースは「試験付」です。)

JP1	JPJ277	JP1操作入門 旧コースコードおよび名称>> JPJ235 JP1操作入門(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ278 (JPJ278T)	JP1エンジニア-機能概説- 旧コースコードおよび名称>> JPJ236/JPJ236T JP1エンジニア-機能概説-(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ279	JP1プロフェッショナル 統合管理 1-システム監視- 旧コースコードおよび名称>> JPJ237 JP1プロフェッショナル 統合管理1-システム監視-(Version 12)	2日	コース名称変更
	JPJ280 (JPJ280T)	JP1プロフェッショナル 統合管理 2-システム設定- 旧コースコードおよび名称>> JPJ238/JPJ238T JP1プロフェッショナル 統合管理2-システム設定-(Version 12)	2日	コース名称変更
	JPJ281 (JPJ281T)	JP1プロフェッショナル 統合管理 セットコース 旧コースコードおよび名称>> JPJ239/JPJ239T JP1プロフェッショナル 統合管理セットコース(Version 12)	4日	コース名称変更
	JPJ282 (JPJ282T)	JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 旧コースコードおよび名称>> JPJ240/JPJ240T JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理(Version 12)	2日	コース名称変更
	JPJ283	JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視- 旧コースコードおよび名称>> JPJ241 JP1プロフェッショナル ジョブ管理1-ジョブ定義・監視-(Version 12)	2日	コース名称変更
	JPJ284 (JPJ284T)	JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2-システム設定・運用管理- 旧コースコードおよび名称>> JPJ242/JPJ242T JP1プロフェッショナル ジョブ管理2-システム設定・運用管理-(Version 12)	2日	コース名称変更
	JPJ285 (JPJ285T)	JP1プロフェッショナル ジョブ管理 セットコース 旧コースコードおよび名称>> JPJ243/JPJ243T JP1プロフェッショナル ジョブ管理セットコース(Version 12)	4日	コース名称変更
	JPJ286	JP1プロフェッショナル IT運用自動化 旧コースコードおよび名称>> JPJ244 JP1プロフェッショナル IT運用自動化(Version 12)	2日	コース名称変更

JP1	JPJ288	JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1-ネットワーク管理基盤- 旧コースコードおよび名称>> JPJ246 JP1プロフェッショナル ネットワーク管理1-ネットワーク管理基盤-(Version 12)	2日	コース名称変更
	JPJ289 (JPJ289T)	JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2-システムリソース管理- 旧コースコードおよび名称>> JPJ247/JPJ247T JP1プロフェッショナル ネットワーク管理2-システムリソース管理-(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ290 (JPJ290T)	JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース 旧コースコードおよび名称>> JPJ248/JPJ248T JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース(Version 12)	3日	コース名称変更
	JPJ291	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1-資産管理編- 旧コースコードおよび名称>> JPJ249 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理1-資産管理編-(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ292	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2-セキュリティ管理編- 旧コースコードおよび名称>> JPJ250 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理2-セキュリティ管理編-(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ293 (JPJ293T)	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3-配布管理編- 旧コースコードおよび名称>> JPJ251/JPJ251T JP1プロフェッショナル 資産・配布管理3-配布管理編-(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ294 (JPJ294T)	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース 旧コースコードおよび名称>> JPJ276/JPJ276T JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース(Version 12)	3日	コース名称変更
	JPJ295 (JPJ295T)	JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 旧コースコードおよび名称>> JPJ252/JPJ252T JP1プロフェッショナル セキュリティ管理(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ287 (JPJ287T)	JP1プロフェッショナル バックアップ管理 旧コースコードおよび名称>> JPJ245/JPJ245T JP1プロフェッショナル バックアップ管理(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ296 (JPJ296T)	JP1コンサルタント 統合管理 旧コースコードおよび名称>> JPJ253/JPJ253T JP1コンサルタント 統合管理(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ297 (JPJ297T)	JP1コンサルタント パフォーマンス管理 旧コースコードおよび名称>> JPJ254/JPJ254T JP1コンサルタント パフォーマンス管理(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ298	JP1コンサルタント ジョブ管理-システム設計編- 旧コースコードおよび名称>> JPJ255 JP1コンサルタント ジョブ管理-システム設計編-(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ299 (JPJ299T)	JP1コンサルタント ジョブ管理-チューニング編- 旧コースコードおよび名称>> JPJ256/JPJ256T JP1コンサルタント ジョブ管理-チューニング編-(Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ301 (JPJ301T)	JP1コンサルタント ネットワーク管理 旧コースコードおよび名称>> JPJ258/JPJ258T JP1コンサルタント ネットワーク管理(Version 12)	1日	コース名称変更

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

TOPICS

1 日立講習会
コース活用例

2 開催コース/スケジュール一覧

3 講座別コースプロフィール
コースカリキュラム

4 研修会場

5 お申込方法

6 受講規約

2 開催コース/スケジュール一覧

分野	コースコード	コース名	日数*	改訂のポイント
JP1	JPJ300 (JPJ300T)	JP1コンサルタント 資産・配布管理 旧コースコードおよび名称>> JPJ257/JPJ257T JP1コンサルタント 資産・配布管理 (Version 12)	1日	コース名称変更
	JPJ302	【日立パートナー様 限定コース】JP1セールスコーディネーター 旧コースコードおよび名称>> JPJ259 【日立パートナー様 限定コース】JP1セールスコーディネーター (Version 12)	1日	コース名称変更
	JPE324	<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3管理 1-ジョブ定義・監視-(Version 11) 旧コースコードおよび名称>> JPE313 <eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナルジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-(Version 11)	12時間	コース名称変更
	JPE325	<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3管理 2-システム設定・運用管理-(Version 11) 旧コースコードおよび名称>> JPE314 <eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナルジョブ管理 2-システム設定・運用管理-(Version 11)	12時間	コース名称変更

● デジタルトランスフォーメーション

IoT/AI/Lumada	IOJ020	「IoTシステム技術検定(基礎検定)」対策講座 旧コースコードおよび名称>> IOJ008 「IoTシステム技術検定(基礎検定)」対策講座	1日	解説項目の追加に伴い、開催時間の変更
	IOJ021	「IoTシステム技術検定(中級)」対策講座 旧コースコードおよび名称>> IOJ015 「IoTシステム技術検定(中級)」対策講座	2日	解説項目の追加に伴い、開催時間の変更
ビッグデータ	CLJ015	Hadoop入門-HBaseとSpark ハンズオン- 旧コースコードおよび名称>> CLJ002 Hadoop入門-インストールと操作体験-	1.5日	コース名称、演習の拡充による日数の変更、および受講料の改訂
サイバーセキュリティ	SCJ049	サイバー攻撃対応コミュニケーション訓練 旧コースコードおよび名称>> SCJ045 サイバー攻撃対応コミュニケーション訓練(実習編)	0.5日	コース名称変更

● クラウド / サーバ仮想化

クラウド / サーバ仮想化	CLD012	Architecting on AWS 旧コースコードおよび名称>> CLD005 Architecting on AWS	3日	コースコードの変更
	CLD013	Developing on AWS 旧コースコードおよび名称>> CLD007 Developing on AWS	3日	コースコードの変更
	VMD010	VMware vSphere:Install, Configure, Manage[V6.7] 旧コースコードおよび名称>> VMD007 VMware vSphere:Install, Configure, Manage[V6.5]	5日	製品のバージョンアップに伴い、コース名称変更

● システム基盤

オープンソースソフトウェア (OSS)	UXJ077	Linuxで実現! Zabbixによるシステム監視 旧コースコードおよび名称>> UXJ064 Linuxで実現! Zabbixによるシステム監視	1日	Zabbixのバージョンアップに伴うインストール手順の短縮による日数の変更、および受講料の改訂
セキュリティ	SCJ050	情報セキュリティ基礎-セキュリティ全体を俯瞰する- 旧コースコードおよび名称>> SCJ043 情報セキュリティ基礎-セキュリティ全体を俯瞰する-	1日	受講料の改訂

セキュリティ	SCJ051	ネットワークセキュリティ対策実習-FW/IDS/PKI- 旧コースコードおよび名称>> SCJ044 ネットワークセキュリティ対策実習	2日	コース名称変更
--------	--------	--	----	---------

● システム開発

プログラミング	OJJ032	Javaプログラミング3-StreamAPI、モジュールシステム編- 旧コースコードおよび名称>> OJJ021 ハンズオン Java8/9新機能	2日	コース名称変更
---------	--------	--	----	---------

● 情報処理技術者試験対策

情報処理技術者試験対策	SJE293	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 ITパスポート試験【IP】 旧コースコードおよび名称>> SJE284 <eラーニング>集中演習 2019年 秋期 ITパスポート試験【IP】	80時間	コース名称変更
	SJE294	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 基本情報技術者試験【FE】 旧コースコードおよび名称>> SJE286 <eラーニング>集中演習 2019年 秋期 基本情報技術者試験【FE】	200時間	コース名称変更
	SJE295	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 応用情報技術者試験【AP】 旧コースコードおよび名称>> SJE287 <eラーニング>集中演習 2019年 秋期 応用情報技術者試験【AP】	162時間	コース名称変更
	SJE296	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 情報セキュリティマネジメント試験【SG】 旧コースコードおよび名称>> SJE285 <eラーニング>集中演習 2019年 秋期 情報セキュリティマネジメント試験【SG】	162時間	コース名称変更
	SJE300	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 情報処理安全確保支援士試験【SC】 旧コースコードおよび名称>> SJE288 <eラーニング>集中演習 2019年 秋期 情報処理安全確保支援士試験【SC】	162時間	コース名称変更
	SJE298	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 データベーススペシャリスト試験【DB】 旧コースコードおよび名称>> SJE025 <eラーニング>集中演習 2019年 春期 データベーススペシャリスト試験【DB】	162時間	コース名称変更
	SJE297	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 プロジェクトマネージャ試験【PM】 旧コースコードおよび名称>> SJE026 <eラーニング>集中演習 2019年 春期 プロジェクトマネージャ試験【PM】	162時間	コース名称変更
	SJE299	<eラーニング>集中演習 2020年 春期 システム監査技術者試験【AU】 旧コースコードおよび名称>> SJE027 <eラーニング>集中演習 2019年 春期 システム監査技術者試験【AU】	162時間	コース名称変更

● ビジネス/ヒューマン

ビジネス/ヒューマン	思考法	HSE126	<eラーニング>ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント- 旧コースコードおよび名称>> HSE035 <eラーニング>【学び直し】ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント-	8時間	コース名称変更
	プレゼンテーション	HSE127	<eラーニング>ロジカルプレゼンテーション基礎-レクチャ編- 旧コースコードおよび名称>> HSE039 <eラーニング>【学び直し】ロジカルプレゼンテーション基礎	8時間	コース名称変更
	コミュニケーション	HSE123	<eラーニング>報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎-レクチャ編- 旧コースコードおよび名称>> HSE041 <eラーニング>【学び直し】報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎	4時間	コース名称変更

TOPICS

1 日立講習会
コース活用例

2 開催コース/
スケジュール一覧

3 講座別コース/
コースカリキュラム

4 研修会場

5 お申込方法

6 受講規約

2 開催コース/
スケジュール一覧

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

分野	コースコード	コース名	日数*	改訂のポイント	
ビジネス/ ヒューマン	コミュニケーション	HSE124 <eラーニング>リスニング力を高めるコミュニケーションスキルアップ-レクチャ編- 旧コースコードおよび名称>> HSE042 <eラーニング>【学び直し】リスニング力を高めるコミュニケーションスキルアップ	4時間	コース名称変更	
		HSE125 <eラーニング>アサーティブ・コミュニケーション-レクチャ編- 旧コースコードおよび名称>> HSE043 <eラーニング>【学び直し】アサーティブ・コミュニケーション	4時間	コース名称変更	
	マネジメント/ リーダーシップ	HSE122 <eラーニング>メンバーシップとチームワーク-レクチャ編- 旧コースコードおよび名称>> HSE045 <eラーニング>【学び直し】メンバーシップとチームワーク	4時間	コース名称変更	
		HSE128 <eラーニング>リーダーシップの原理・原則 旧コースコードおよび名称>> HSE108 <eラーニング>【学び直し】リーダーシップの原理・原則	4時間	コース名称変更	
		HSJ196 リーダーのためのマインドフルネス基礎 -成果発揮へのセルフリーダーシップとマインドフル- 旧コースコードおよび名称>> HSJ166 マインドフルリーダーシップ基礎	1日	コース名称変更	
	HSE121 <eラーニング>コーチング基礎-レクチャ編- 旧コースコードおよび名称>> HSE047 <eラーニング>【学び直し】コーチング基礎	4時間	コース名称変更		
	HSJ194 (PDU)半日でレベルアップ!コーチング実習 PDU 旧コースコードおよび名称>> HSJ179 半日でレベルアップ!コーチング実習	0.5日	PDU対象コースに改訂		
	HSJ195 (PDU)部下のパフォーマンスを高める 1 on 1 ミーティングとフィードバック PDU 旧コースコードおよび名称>> HSJ186 部下のパフォーマンスを高めるOne on Oneミーティングとフィードバック	1日	PDU対象コースに改訂		
	● グローバル				
	グローバル	GBE025 <eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) A. アジア編 旧コースコードおよび名称>> GBE006 <eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) A. アジア編	3時間	ミャンマーの文化/思想/価値観/習慣の内容を追加	
GBE026 <eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) B. ロシア、インド、イスラム編 旧コースコードおよび名称>> GBE007 <eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) B. ロシア、インド、イスラム編		3時間	UAEの文化/思想/価値観/習慣の内容を追加		

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

廃止コース

新設コースの実施や大幅な内容改訂を図り、ニーズの高いコース・お役に立てるコースの充実に努めております。そのため、大変ご迷惑をお掛けしますが、次のコースを廃止とさせていただきます。なお、下記廃止コースのうち、内容が同等または類似のコースがある場合は、廃止コース名の下段に対象のコース名をご紹介します。コースの詳細は日立アカデミーのホームページをご覧ください。

分野	コースコード	コース名	日数*
● 日立製品 (コースコード末尾に「T」を表示しているコースは「試験付」です。)			
JP1	JPJ090	JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-(Version 11) >>同等または類似のコースコードおよび名称>> JPJ283 JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-	2日
	JPJ091	JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2-システム設定・運用管理-(Version 11) >>同等または類似のコースコードおよび名称>> JPJ284/JPJ284T JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2-システム設定・運用管理-	2日
	JPJ092	JP1プロフェッショナル ジョブ管理セットコース(Version 11) >>同等または類似のコースコードおよび名称>> JPJ285/JPJ285T JP1プロフェッショナル ジョブ管理 セットコース	4日
Pentaho	PTD006 (Pentaho認定) PentahoとHadoopフレームワークの基本	2日	
● デジタルトランスフォーメーション			
IoT/AI/Lumada	IOJ012 IoT技術解説-セキュリティ編- >>同等または類似のコースコードおよび名称>> IOE002 <eラーニング>IoT技術解説 セキュリティ編	0.5日	
	IOJ013 IoT技術解説-IoTネットワーク編- >>同等または類似のコースコードおよび名称>> IOE003 <eラーニング>IoT技術解説 IoTネットワーク編	0.5日	
	IOJ014 IoT技術解説-センサ編-	0.5日	
	● クラウド / サーバ仮想化		
クラウド / サーバ仮想化	CLD005T Architecting on AWS (受験バウチャーチケット付き) >>同等または類似のコースコードおよび名称>> CLD012 Architecting on AWS	3日	
	CLD006T Systems Operations on AWS (受験バウチャーチケット付き) >>同等または類似のコースコードおよび名称>> CLD006 Systems Operations on AWS	3日	
	CLD007T Developing on AWS (受験バウチャーチケット付き) >>同等または類似のコースコードおよび名称>> CLD013 Developing on AWS	3日	
	CLD009 AWS認定試験準備ワークショップ: ソリューションアーキテクトアソシエイト	0.5日	
	CLD011 AWS Security Fundamental	1日	
	● システム基盤		
オープンソースソフトウェア (OSS)	UXJ071 Linuxで構築するクラウド基盤-OpenStack編-	2日	
	UXJ074 <研修室自習型>Linuxで構築するKVM仮想化環境	1日	

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

分野	コースコード	コース名	日数※	
オープンソースソフトウェア (OSS)	UXJ073	<研修室自習型>Linuxで実現!DNS、Webサーバの構築- BIND、Apache編- >>同等または類似のコースコードおよび名称>> NWJ148 インターネットプロトコル(DNS、メール、HTTP)解説とサーバ構築	1日	
	UXJ075	Linuxで実現!社内ネットワークサーバの構築-LDAP/SambaによるWindowsネットワークとの統合-	2日	
	UXE302	<eラーニング>【マシン演習付き】OSSによるWebシステム構築-Linux、Apache、PostgreSQL、PHP-	13時間	
データベース	Oracle	DBE344	<eラーニング>【マシン演習付き】MySQL データベース管理 I/II >>同等または類似のコースコードおよび名称>> DBE346 <eラーニング>【マシン演習付き】MySQL 5.7 データベース管理 I、および DBE347 <eラーニング>【マシン演習付き】MySQL 5.7 データベース管理 II	35時間
● IT戦略・IS企画				
IT戦略・IS企画	CTD006	IT経営ストラテジ >>同等または類似のコースコードおよび名称>> CTD010 (PDU) IT経営ストラテジ(経営戦略コース)、および CTD011 (PDU) IT経営ストラテジ(IT戦略コース)	2日	
	CTJ050	情報システム導入の社内企画・準備、外部委託先選定の実務	1日	
● プロジェクトマネジメント				
プロジェクトマネジメント	PMJ033	(PDU)ファンクションポイント法基礎 PDU	1日	
	SPJ044	アジャイル開発プロセスの基礎知識 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> SPJ064 スクラムの基礎と実践	1日	
	SPJ043	(PDU)スクラムの基礎と実践 PDU >>同等または類似のコースコードおよび名称>> SPJ064 スクラムの基礎と実践	1日	
● コンプライアンス				
コンプライアンス	HSJ105	システム監査で学ぶ開発・保守とリスク評価	2日	
● ビジネス/ヒューマン				
ビジネス/ヒューマン	マネジメント/リーダーシップ	HSJ071	個人と組織のマネジメント-部長・課長コース-	1泊3日

※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

開催コース/スケジュール一覧

日立製品(コースコード末尾に「T」を表示しているコースは「試験付」です。「試験」は研修終了後に実施します。)

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
JPJ277	Renewal	JP1操作入門	¥44,000	1日	マシン実習	東京(大森)		1	3	10	3		-
JPJ278 (JPJ278T)	Renewal	JP1エンジニア-機能概説-	¥44,000 (¥50,600)	1日	レクチャ	東京(大森)	11	8	2	20	21		-
JPJ279	Renewal	JP1プロフェッショナル 統合管理 1 -システム監視-	¥110,000	2日	マシン実習	東京(大森) 大阪		18~19	17~18	28~29	25~26	12~13	-
JPJ280 (JPJ280T)	Renewal	JP1プロフェッショナル 統合管理 2 -システム設定-	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	東京(大森)		20~21	19~20	30~31	27~28		-
JPJ281 (JPJ281T)	Renewal	JP1プロフェッショナル 統合管理 セットコース	¥198,000 (¥206,800)	4日	マシン実習	東京(大森)		18~21	17~20	28~31	25~28		-
JPJ282 (JPJ282T)	Renewal	JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	東京(大森)		14~15		20~21	20~21		-
JPJ283	Renewal	JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 -ジョブ定義・監視-	¥110,000	2日	マシン実習	東京(大森) 大阪 名古屋	15~16	5~6, 18~19 12~13	2~3, 17~18	7~8, 21~22	4~5, 25~26	10~11, 23~24	-
JPJ284 (JPJ284T)	Renewal	JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 -システム設定・運用管理-	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	東京(大森) 大阪 名古屋	17~18	7~8, 20~21 14~15	4~5, 19~20	9~10, 23~24	6~7, 27~28	12~13, 25~26	-
JPJ285 (JPJ285T)	Renewal	JP1プロフェッショナル ジョブ管理 セットコース	¥198,000 (¥206,800)	4日	マシン実習	東京(大森) 大阪 名古屋	15~18	5~8, 18~21 12~15	2~5, 17~20	7~10, 21~24	4~7, 25~28	10~13, 23~26	-
JPE322	New	<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 -ジョブ定義・監視-	¥110,000	12時間	eラーニング マシン実習	学習開始日	11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
JPE323	New	<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 -システム設定・運用管理-	¥110,000	12時間	eラーニング マシン実習	学習開始日	11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
JPJ286	Renewal	JP1プロフェッショナル IT運用自動化	¥110,000	2日	マシン実習	東京(大森)			9~10				-
JPJ288	Renewal	JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 -ネットワーク管理基盤-	¥110,000	2日	マシン実習	東京(大森)		5~6	9~10	14~15		2~3	-
JPJ289 (JPJ289T)	Renewal	JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 -システムリソース管理-	¥55,000 (¥63,800)	1日	マシン実習	東京(大森)		7	11	16		4	-
JPJ290 (JPJ290T)	Renewal	JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース	¥143,000 (¥151,800)	3日	マシン実習	東京(大森)		5~7	9~11	14~16		2~4	-
JPJ291	Renewal	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1 -資産管理編-	¥55,000	1日	マシン実習	東京(大森)			2		17		-
JPJ292	Renewal	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2 -セキュリティ管理編-	¥55,000	1日	マシン実習	東京(大森)			3		18		-
JPJ293 (JPJ293T)	Renewal	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3 -配布管理編-	¥55,000 (¥63,800)	1日	マシン実習	東京(大森)			4		19		-
JPJ294 (JPJ294T)	Renewal	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース	¥143,000 (¥151,800)	3日	マシン実習	東京(大森)			2~4		17~19		-
JPJ295 (JPJ295T)	Renewal	JP1プロフェッショナル セキュリティ管理	¥55,000 (¥63,800)	1日	マシン実習	東京(大森)				10			-
JPJ287 (JPJ287T)	Renewal	JP1プロフェッショナル バックアップ管理	¥55,000 (¥63,800)	1日	マシン実習	東京(大森)				22			-
JPJ296 (JPJ296T)	Renewal	JP1コンサルタント 統合管理	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	東京(大森)						9	-
JPJ297 (JPJ297T)	Renewal	JP1コンサルタント パフォーマンス管理	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	東京(大森)						10	-

New: 新設コース **Renewal**: 改訂コース **休講**: 今期の定期開催はありません

PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング) サービス有効期間 / 学習終了日
JPJ298	Renewal	JP1コンサルタント ジョブ管理 -システム設計編-	¥55,000	1日	レクチャ	東京(大森)			19			18	-
JPJ299 (JPJ299T)	Renewal	JP1コンサルタント ジョブ管理 -チューニング編-	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	東京(大森)			20			19	-
JPJ301 (JPJ301T)	Renewal	JP1コンサルタント ネットワーク管理	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	東京(大森)						17	-
JPJ300 (JPJ300T)	Renewal	JP1コンサルタント 資産・配布管理	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	東京(大森)						16	-
JPJ302	Renewal	【日立パートナー様 限定コース】 JP1セールスコーディネーター	¥25,300	1日	レクチャ	東京(大森)		1			3		-
JPE016		<eラーニング> JP1機能概説 (Version 11)	¥30,800	6時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日になります
JPE017		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /IM管理 1 -システム監視-(version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
JPE018		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /IM管理 2 -システム設定-(version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
JPE324	Renewal	<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /AJS3管理 1 -ジョブ定義・監視-(Version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
JPE325	Renewal	<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /AJS3管理 2 -システム設定・運用管理-(Version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
JPJ102		JP1 /AJS3 エキスパート育成講座 -開発編-	¥55,000	1日	マシン演習	東京(大森)						23	-
JPJ103		JP1 /AJS3 エキスパート育成講座 -運用編-	¥55,000	1日	マシン演習	東京(大森)						24	-
JPE019		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /PFM (Version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
JPE308		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /IM管理 1 -システム監視-(Version 10)	¥88,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
JPE309		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /IM管理 2 -システム設定-(Version 10)	¥88,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
JPE310		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /PFM (Version 10)	¥88,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
JPE006		<eラーニング> JP1機能概説 (Version 10)	¥28,050	6時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日になります
JPE311		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /AJS3管理 1 -ジョブ定義・監視-(Version 10)	¥88,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
JPE312		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1 /AJS3管理 2 -システム設定・運用管理-(Version 10)	¥88,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です

uCosminexus Application Server (掲載ページ: P. 75 ~)

CSE302		<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 入門-構築基礎-	¥33,000	6時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
CSE303		<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 実践1-設計・構築-	¥88,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
CSE304		<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 実践2-トラブルシューティング-	¥44,000	6時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
CSE001		<eラーニング> uCosminexus Application Server 実践3-性能設計・性能対策-	¥33,550	6時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日になります

※下記集合研修のコースについてお問い合わせがある場合は、日立オープンミドルウェア技術者認定センターまでご連絡願います。
 「CSJ017 uCosminexus Application Server 入門-構築基礎-」
 「CSJ018 uCosminexus Application Server 実践1-設計・構築-」
 【日立オープンミドルウェア技術者認定センター問い合わせ窓口】
https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時時点の税率を適用した金額となります。
 ※日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。
 ※自習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 ※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング) サービス有効期間 / 学習終了日
--------	------	------	----------	-----------	------	------	-----	-----	-----	----	----	----	---------------------------

HiRDB (掲載ページ: P. 77 ~)

DBJ064		HiRDB入門 -データベース構築編-	¥33,000	1日	マシン演習	東京(大森)						17	-
DBE338		<eラーニング>【ナビ機能付き】【マシン演習付き】 HiRDB入門-データベース構築編-	¥33,000	7時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
DBE307		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB入門 -GUIによる構築・運用・チューニング操作体験編-	¥33,000	7時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
DBE015		<eラーニング> HiRDB機能解説	¥26,950	7時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日になります
DBJ092		HiRDBデータベース管理	¥66,000	2日	マシン演習	東京(大森)				11~12		3~4	-
DBE305		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDBデータベース管理	¥66,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
DBE306		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB アプリケーションプログラミング	¥33,000	6時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
DBE026		<eラーニング> HiRDBデータベースチューニング	¥30,800	6.5時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日になります
DBE318		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB アプリケーションチューニング	¥88,000	13時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
DBE330		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDBバックアップリカバリとクラスタリング	¥88,000	12時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
DBE329		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDBパラレルサーバ構築	¥88,000	13時間	eラーニング マシン演習		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です

OpenTP1 (掲載ページ: P. 81 ~)

DBJ009		OpenTP1基礎	¥33,000	1日	レクチャ	東京(大森)						13	-
DBE709		<eラーニング>【ナビ機能付き】 OpenTP1基礎	¥20,900	6時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日になります
DBJ041		OpenTP1の設計と運用 -Server Base編-	¥88,000	2日	マシン演習	東京(大森)						23~24	-
DBE023		<eラーニング> OpenTP1の設計と運用-MCF編-	¥19,800	6時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日になります
DBE014		<eラーニング> OpenTP1性能チューニング解説	¥11,000	4時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日になります

VOS3/VOS1/VOSK (掲載ページ: P. 83 ~)

-		オペレーティングシステム入門(自習テキスト)	¥2,200	平均 15時間	自習テキスト								-	
VSJ016		VOS3基礎1 -はじめてのメインフレーム-	¥33,000	1日	レクチャ	東京(大森)						10	8	-
VSE003		<eラーニング> VOS3基礎1 -はじめてのメインフレーム-	¥18,700	8時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日になります	
VSJ015		VOS3基礎2-JCL-	¥61,600	2日	レクチャ	東京(大森)					11~12	9~10	-	
VSE004		<eラーニング> VOS3基礎2-JCL-	¥36,300	16時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日になります	
VSJ011		VOS3システム解説	¥33,000	1日	レクチャ	東京(大森)						13	14	-
VSJ017		VOS3応用 -VSAMデータセットの活用-	¥33,000	1日	レクチャ	東京(大森)						15	-	
VSJ018	休講	VOS3ジョブ管理解説	¥61,600	2日	レクチャ								-	

New: 新設コース | 改訂コース | 休講: 今期の定期開催はおりません

POU: PMP®資格更新に必要なポイント(POU)を取得できます。

学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
-		VOS1使用法(自習テキスト)	¥8,800	平均12時間	自習テキスト								-
-		VOS1機能解説(自習テキスト)	¥8,800	平均12時間	自習テキスト								-
-		VOSK使用法(自習テキスト)	¥8,800	平均12時間	自習テキスト								-
-		VOSKシステム運用と管理(自習テキスト)	¥8,800	平均12時間	自習テキスト								-

XDM/PDMII (掲載ページ: P. 87 ~)

DBE016		<eラーニング> XDMリレーショナルDB機能と設定 -環境構築編-	¥15,620	4時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
DBE017		<eラーニング> XDMリレーショナルDB機能と設定 -データベース作成編-	¥15,620	4時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
DBE018		<eラーニング> XDMリレーショナルDB機能と設定 -運用編-	¥15,620	4時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
DBJ104	休講	XDMリレーショナルDB機能と設定	¥55,000	2日	レクチャ								-
DBE024		<eラーニング> XDM構造型DB機能と設定	¥55,000	18時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
DBJ105	休講	XDM構造型DB機能と設定	¥82,500	3日	レクチャ								-
DBE025		<eラーニング> XDM/DCCM3機能解説とシステム運用	¥37,400	12時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
DBJ103	休講	XDM/DCCM3機能解説とシステム運用	¥55,000	2日	レクチャ								-
DBE028		<eラーニング> XDMシステムの設計と運用	¥78,650	18時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
-		XDM RDBプログラミング(自習テキスト)	¥2,750	平均15時間	自習テキスト								-
-		XDM構造型DBプログラミング(自習テキスト)	¥5,280	平均24時間	自習テキスト								-
-		DCCM3入門(自習テキスト)	¥3,520	平均15時間	自習テキスト								-
-		DCCM3プログラミング(自習テキスト)	¥4,180	平均25時間	自習テキスト								-
-		PDMII入門(自習テキスト)	¥2,200	平均10時間	自習テキスト								-
-		PDMIIデータベース機能と設定(自習テキスト)	¥8,800	平均15時間	自習テキスト								-
-		PDMIIプログラミング(自習テキスト)	¥4,620	平均20時間	自習テキスト								-

Hitachi Advanced Data Binder (掲載ページ: P. 93 ~)

DBJ118		Hitachi Advanced Data Binder 概説	¥17,600	0.5日	レクチャ	東京(大森)						4	-
--------	--	---------------------------------	---------	------	------	--------	--	--	--	--	--	---	---

日立ストレージ (掲載ページ: P. 94 ~)

SPL063		日立ストレージ製品概要 -ストレージ基礎・製品紹介編-	¥25,300	1日	レクチャ	東京(大森)		8		21			-
SPL064		日立ストレージハードウェア -ミッドレンジストレージ編-	¥38,500	1日	レクチャ	東京(大森)		26		28	21		-

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時時点の税率を適用した金額となります。

*日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「TJ」)の受講料はカッコ内に表示しています。

*自習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

SPL070		日立ストレージハードウェア -ハイエンドストレージ編-	¥38,500	1日	レクチャ	東京(大森)			6		14		-
SPL066		日立ストレージ機能 -バックアップ編-	¥38,500	1日	レクチャ	東京(大森)		27		29		9	-
SPL067		日立ストレージ機能 -仮想化編-	¥38,500	1日	レクチャ	東京(大森)		28		30		10	-
SPL068		日立ストレージ機能 -リモートコピー編-	¥38,500	1日	レクチャ	東京(大森)		29				11	-
SPL069		日立ストレージ機能 -無停止運用管理編-	¥38,500	1日	レクチャ	東京(大森)						12	-
SPL071		REST APIを使用したストレージ運用・管理	¥38,500	1日	マシン実習	東京(大森)						24	-

Pentaho (掲載ページ: P. 97 ~)

PTD001		(Pentaho認定) ビジネスアナリティクス ユーザーコンソール	¥110,000	1日	マシン実習	東京(大森)		19		15			-
PTJ001	New	Pentahoによるデータの可視化・分析	¥38,500	0.5日	マシン実習	東京(大森)	31		30			5	-
PTD002		(Pentaho認定) ビジネスアナリティクス レポートデザイナー	¥209,000	2日	マシン実習	東京(大森)		20~21			25~26		-
PTD003		(Pentaho認定) ビジネスアナリティクス データモデリング	¥209,000	2日	マシン実習	東京(大森)		25~26			16~17		-
PTD004		(Pentaho認定) CToolsの基本	¥209,000	2日	マシン実習	東京(大森)			5~6		27~28		-
PTJ002	New	データ加工・統合入門 -Pentahoを用いて-	¥66,000	1日	マシン実習	東京(大森)		1		31		6	-
PTD005		(Pentaho認定) データ統合の基本	¥308,000	3日	マシン実習	東京(大森)		27~29			5~7		-

デジタルトランスフォーメーション

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
--------	------	------	----------	-----------	------	------	-----	-----	-----	----	----	----	------------------------

IT利活用 (掲載ページ: P. 100 ~)

IOE001		<eラーニング> デジタルソリューションで活用するIT技術概説	¥19,800	8時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
--------	--	------------------------------------	---------	-----	--------	-------	------------------	---------------	---------------	---------------	---------------	-------	-----------------------------------

イノベーション (掲載ページ: P. 101 ~)

HSJ170		イノベティブ思考 -単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた-	¥96,800	2日	グループ実習	東京(大森)	31~	1	5~6	9~10, 27~28, 29~30			-
HSJ163		クリエイティブシンキング	¥44,000	1日	グループ実習	東京(大森) 大阪	11	29	3, 19	27	19	6	-
HSJ158		イノベーションプロセスを強化する シナリオプランニング	¥49,500	1日	グループ実習	東京(大森)	15			20			-
HSJ157		システムシンキング基礎 -問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化する-	¥96,800	2日	グループ実習	東京(大森)	8~9	7~8		30~31		4~5	-
HSJ175		データ利活用のパターンとビジネス着想	¥28,600	0.5日	レクチャ	東京(大森) 名古屋		6	9				-
HSJ159		顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン	¥66,000	2日	グループ実習	東京(大森)	28~29		16~17		3~4		-
HSJ177		実現可能性を高める!ユーザーの言葉を使って 解決する成果志向型のサービスデザイン -事業開発の失敗リスクを最小化するための事業・競争環境、内部プロセスの検討-	¥38,500	1日	グループ実習	東京(大森)				17			-

New: 新設コース PDU: 改訂コース 休講: 今期の定期開催はありません

PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
HSJ178		新規事業における利益の健全性評価と収益性の高いビジネスモデルのデザイン -不確実性の高いビジネスにおける仮説検証、価値ベースのプライシングを身に付ける-	¥38,500	1日	グループ学習	東京(大森)		18					-
HSJ176		顧客との関係を深め続けられる顧客接点のビジネスモデルデザイン -モバイル時代の消費者行動の変化を捉え、経験価値をデザインする-	¥38,500	1日	グループ学習	東京(大森)			2				-

IoT/AI/Lumada (掲載ページ: P. 104 ~)

IOJ001		IoT概説	¥20,900	0.5日	レクチャ	東京(大森) 大阪 名古屋	29	29	13	24			-
IOE002	New	<eラーニング>IoT技術解説 セキュリティ編	¥12,100	3時間	eラーニング	学習開始日			4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
IOE003	New	<eラーニング>IoT技術解説 IoTネットワーク編	¥12,100	3時間	eラーニング	学習開始日			4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
IOJ019		IoT技術解説 5G編	¥28,600	0.5日	レクチャ	東京(大森)			18			6	-
IOJ020	Renewal	[IoTシステム技術検定(基礎検定)]対策講座	¥33,000	1日	レクチャ	東京(大森)	25	13, 18, 25					-
IOJ021	Renewal	[IoTシステム技術検定(中級)]対策講座	¥92,400	2日	レクチャ	東京(大森) 大阪		7~8, 20~21					-
IOJ016		体験!Node-REDによるIoTシステム入門 -Raspberry Piを使用した 風車のリアルタイム監視から予兆診断まで-	¥41,800	1日	マシン学習	東京(大森)			6	17	5		-
SPJ060		体験!最新OSSを活用したDevOps入門 -Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ-	¥44,000	1日	マシン学習	東京(大森)		18	12	17	14		-
SPJ059		(PDU)実践!DevOpsによるアジャイル開発 -お客様に素早く価値を届けるために-	¥44,000	1日	マシン学習	東京(大森) 大阪		25				17	-
IOJ018		IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門 -Hitachi Application Framework/ Event Driven Computing (HAF/EDC)による 故障予知診断を例にして-	¥22,000	0.5日	レクチャ	東京(大森)		1	2	15	18		-
IOJ017		IoTにおけるイベント駆動型システム開発実践 -Hitachi Application Framework/ Event Driven Computing (HAF/EDC)による アプリケーション、システム開発演習を通して-	¥83,600	2日	マシン学習	東京(大森)			17~18		25~26		-
DBJ088		体験!機械学習 -ビッグデータ時代のシステムを支える技術-	¥44,000	1日	マシン学習	東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡	18	8			6		-
DBJ110		NVIDIA Deep Learning Institute (DLI) 認定コース 1日できるディープラーニング -画像認識入門-	¥88,000	1日	マシン学習	東京(大森)	25	25	18		7, 28		-
IOJ011		スマートスピーカの最新動向と 社会インフラ適用の可能性	¥40,700	0.5日	レクチャ	東京(大森)			16		21		-

ビッグデータ (掲載ページ: P. 109 ~)

DBJ081		ビッグデータ概説	¥22,000	0.5日	レクチャ	東京(大森) 大阪 名古屋	30		6		19		-
DBE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】 ビッグデータ概説	¥19,800	8時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
DBJ089		NoSQL入門 -ビッグデータ時代のデータベース-	¥33,000	1日	マシン学習	東京(大森)			10		12		-

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時点の税率を適用した金額となります。

*日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「TJ」)の受講料はカッコ内に表示しています。

*自習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

CLJ015	Renewal	Hadoop入門 -HBaseとSparkハンズオン-	¥57,750	1.5日	マシン学習	東京(大森)					19~20		-
DBE706		<eラーニング>【ナビ機能付き】 データウェアハウス概説	¥22,000	6時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
DBE705		<eラーニング>【ナビ機能付き】 データウェアハウスにおけるデータモデリング解説	¥22,000	6時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
DBJ106		ビッグデータにおけるシステム設計実践 -多様なデータを統合しビッグデータとして活用する-	¥48,125	1日	グループ学習	東京(大森) 大阪				1	16		-

データ分析 (掲載ページ: P. 114 ~)

HSJ108		定量分析のスキル -問題解決の精度を高める-	¥82,500	2日	グループ学習	東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡	16~17, 28~29	7~8		21~22, 30~31	5~6, 18~19, 25~26	5~6, 9~10, 16~17	-
OAJ048		Excelによるデータ可視化 -Excelでビジュアルに強くなる-	¥37,400	1日	マシン学習	東京(大森) 大阪 広島		6		12			-
OAJ047		Excelによる売上データ分析 -Excelではじめるデータ活用の第一歩-	¥37,400	1日	マシン学習	東京(大森) 大阪 福岡	1			22			-
HSJ112		仮説構築と調査検証 -仮説構築の考え方を学び、仮説に沿った調査手法を 選択し、調査結果を読み解く-	¥82,500	2日	グループ学習	東京(大森) 大阪 名古屋		14~15		23~24	25~26	19~20	-
HSJ162		BI・マイニング事例で学ぶ データ分析提案の進め方	¥82,500	2日	グループ学習	東京(大森)		28~29		22~23		4~5	-
HSJ109		データ分析手法の理論と適用 -ビジネスにおける統計的手法活用の広がりに-	¥82,500	2日	マシン学習	東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡	8~9, 23~24	25~26, 28~29	12~13		23~24		5~6
HSE116		<eラーニング> データ分析手法の理論と適用	¥36,300	14時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
DBJ100		データビジュアライゼーション基礎	¥53,900	1日	マシン学習	東京(大森)		7		2			-
DBE037		<eラーニング>流れを体験! 予測モデル構築のプロセス(基礎知識編) -初めてでもOK!データ分析を身近に-	¥39,600	9時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
DBJ117		流れを体験! 予測モデルの構築プロセス(ケーススタディ編) -データのバリュアアップから結果説明に至るまで-	¥108,900	2日	マシン学習	東京(大森)			14~15		27~28		-
DBJ115		データビジュアライゼーション実装 地図上への可視化編	¥38,500	1日	マシン学習	東京(大森)				27			-
DBJ116		データビジュアライゼーション実装 ネットワークの可視化編	¥38,500	1日	マシン学習	東京(大森)					12		-
DBJ112		試行錯誤から学ぶ!統計理論抜きで学ぶ Rによる統計的手法のハンズオン	¥38,500	1日	マシン学習	東京(大森) 大阪			27		15		-
DBJ111		試行錯誤から学ぶ! Rによるデータ可視化のハンズオン	¥38,500	1日	マシン学習	東京(大森) 大阪					31		-
DBJ107		0から始めるPython入門 -データ分析での活用をテーマとして-	¥77,000	2日	マシン学習	東京(大森) 大阪 名古屋				5~6			-

New: 新設コース | Renewal: 改訂コース | 休講: 今期の定期開催はありません

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
DBE038		<eラーニング>【スキル定着】Pythonでのデータ可視化 -オープン環境を活用した実装力の磨き方-	¥11,000	4時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBD057		Rによる統計解析 -分析結果を統計的に正しく理解し、次の意思決定に向けた提案へ-	¥220,000	2.5日		白台金 (BrainPad)			4~6		17~19	11~13	-
DBD059		機械学習による問題解決実践 -機械学習で大量データを分析し、データからビジネス価値を創出-	¥220,000	2日		白台金 (BrainPad)			9~10		20~21	16~17	-
DBD058		SQLによる集計・分析 -分析の基本的なプロセスを修得し、自社DBデータの活用へ-	¥132,000	1.5日		白台金 (BrainPad)			2~3		13~14	9~10	-

サイバーセキュリティ (掲載ページ: P. 119 ~)

SCE011		<eラーニング>サイバー攻撃対応基礎(知識修得編)	¥11,000	3時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SCJ049		サイバー攻撃対応コミュニケーション訓練	¥28,600	0.5日		東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡		18 18 25 13		21 27		19	-

RPA (掲載ページ: P. 121 ~)

RPJ001		RPA入門 -概説と操作体験(Automation Anywhere)-	¥66,000	1日		東京(大森)	29		13				-
RPD001		Mastering Bots: Design and Build an Advanced Digital Workforce	¥231,000	3日		東京(大森)		11~13		27~29		2~4	-

クラウド/サーバ仮想化

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
--------	------	------	----------	-----------	------	------	-----	-----	-----	----	----	----	------------------------

クラウド/サーバ仮想化(掲載ページ: P. 122 ~)

CLE703		<eラーニング>【ナビ機能付き】ストレージ関連者向けサーバ仮想化技術概説	¥9,900	3時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CLJ005		実機で学ぶ!サーバ仮想化入門 -VMware vSphere, Microsoft Hyper-V, KVM-	¥38,500	1日		東京(大森)		5	2		3		-
CLJ007		実機で学ぶ!デスクトップ仮想化入門 -Citrix XenDesktopとVMware vSphere-	¥38,500	1日		東京(大森)		8	24	29	28		-
CLJ014		実機で学ぶ!クラウドコンピューティング入門	¥38,500	1日		東京(大森)	7	29				13	-
CLE702		<eラーニング>【ナビ機能付き】デスクトップ仮想化概説	¥12,100	4時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
UXE003		<eラーニング>クラウドコンピューティング入門	¥7,700	4時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CLE002		<eラーニング>Cloud beginnerのためのインフラストラクチャ基礎	¥19,800	6時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CLJ003		クラウドコンピューティング技術解説	¥38,500	1日		東京(大森) 大阪		17				13	-
CLJ012		クラウドアプリケーション開発	¥82,500	2日		東京(大森)			4~5			4~5	-
CLD001		事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理-Cloud Essentials-	¥121,000	2日		東京(大森)				9~10		18~19	-
CLJ011		Microsoft Azure概説	¥38,500	1日		東京(大森) 名古屋		25			26	19	-
CLJ009		Microsoft Azureを用いたWebアプリ開発入門	¥38,500	1日		東京(大森)		8					-

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時点の税率を適用した金額となります。

*日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。

*学習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

CLD010		AWS Technical Essentials	¥154,000	2日		東京(大森)	15~16	18~19	5~6	29~30	19~20	9~10	-
CLD012		Architecting on AWS	¥231,000	3日			別途ご案内いたします						-
CLD006		Systems Operations on AWS	¥231,000	3日			別途ご案内いたします						-
CLD013		Developing on AWS	¥231,000	3日		東京(大森)						5~7	-
VMJ006		VMware vSphere システム構築実習[V6.5] -実装編-	¥110,000	2日		東京(大森)	31~	1	12~13	9~10		12~13	-
VMD010		VMware vSphere: Install, Configure, Manage[V6.7]	¥544,500	5日		東京(大森)		25~29		20~24		2~6	-

ITサービスマネジメント

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
--------	------	------	----------	-----------	------	------	-----	-----	-----	----	----	----	------------------------

ITサービスマネジメント(掲載ページ: P. 128 ~)

ITE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】運用管理概説	¥20,900	6時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
ITJ008		情報システム運用入門 -運用からITサービスへ-	¥33,000	1日		東京(大森)				29			-
ITJ012		(PDU) ITIL® ファンデーション(認定試験付) PDU	¥171,600	3日		東京(大森)	8~10	11~13	9~11	14~16	19~21		-
ITE006		<eラーニング>SLAにおけるサービスレベル設計の基礎	¥11,000	4時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
ITJ009		IT運用におけるヒューマンエラー予防	¥44,000	1日		東京(大森) 大阪	3	19		9		17	-
ITJ004		システム運用の現状分析・設計力養成ワークショップ	¥83,600	2日		東京(大森)	9~10						-

システム基盤

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
--------	------	------	----------	-----------	------	------	-----	-----	-----	----	----	----	------------------------

IT基本(掲載ページ: P. 131 ~)

SJJ009		コンピュータ基礎	¥132,000	5日		東京(大森)	7~11						-
SJE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-ハードウェア編-	¥19,800	8時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJE702		<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-ソフトウェア編-	¥19,800	8時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJE703		<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-情報の基礎理論編-	¥9,900	4時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJE704		<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-情報システム編-	¥9,900	4時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJJ030		アプリケーション開発者のための文字コード入門 -アプリケーションの文字化けを防ぐ-	¥33,000	1日		東京(大森)	11						-
ESE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】組込みシステムとは	¥20,900	7時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

オープンソースソフトウェア(OSS)(掲載ページ: P. 134 ~)

UXE004		<eラーニング>オープンソースソフトウェア(OSS)概説	¥9,900	3時間		学習開始日	2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
--------	--	------------------------------	--------	-----	--	-------	------------------	---------------	---------------	---------------	---------------	-------	---------------------------

: 新設コース : 改訂コース : 今期の定期開催はおりません

: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
UXJ077	Renewal	Linuxで実現!Zabbixによるシステム監視	¥44,000	1日	マシン演習	東京(大森)			16		18		-
UXJ076		Linuxにおけるコンテナ環境の管理 -Kubernetes編-	¥44,000	1日	マシン演習	東京(大森)	18		2			6	-
UXJ028		OSSによるWebシステム構築 -Linux, Apache, PostgreSQL, PHP-	¥77,000	2日	マシン演習	東京(大森)		25~26			6~7		-
UXJ072		OSS-DB PostgreSQL 導入と運用	¥88,000	2日	マシン演習	東京(大森)						2~3	-

Linux (掲載ページ: P. 137 ~)

UXJ061		UNIX/Linux 基礎-コマンド編-	¥66,000	2日	マシン演習	東京(大森)		18~19			13~14		-
UXJ049		UNIX/Linux 基礎-シェルスクリプト編-	¥66,000	2日	マシン演習	東京(大森)		25~26	19~20	23~24		16~17	-
UXE303		<eラーニング>【ナビ機能付き】UNIX/Linux基本使用法	¥38,500	8時間	eラーニング	学習開始日	11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は21日間です
UXJ069		UNIX/Linux実践シェルスクリプト -sed awk編-	¥77,000	2日	マシン演習	東京(大森)				21~22			-
UXJ029		Linuxシステム管理 前編 -Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-	¥77,000	2日	マシン演習	東京(大森)	7~8	5~6	10~11		25~26	9~10	-
UXJ030		Linuxシステム管理 後編 -システム起動の仕組みとディスク管理技術-	¥77,000	2日	マシン演習	東京(大森)	9~10	7~8	12~13		27~28		-
UXJ062		Linuxトラブルシューティング	¥88,000	2日	マシン演習	東京(大森)			5~6		3~4		-
UXJ063		Linuxで実現!セキュリティ対策手法の解説と要案化実習	¥82,500	2日	マシン演習	東京(大森)					20~21		-

Microsoft (掲載ページ: P. 140 ~)

MSJ051	New	ここが新しい!Windows Server 2019新機能	¥44,000	1日	マシン演習	東京(大森)		12		28		17	-
MSJ042		Windows Server 2016管理概説	¥82,500	2日	マシン演習	東京(大森)	10~11			23~24	6~7		-
MSE306		<eラーニング>【ナビ機能付き】Windows Server 2016管理概説	¥82,500	13時間	eラーニング	学習開始日	11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は21日間です
MSJ045		実践!Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-	¥77,000	2日	マシン演習	東京(大森)		14~15			13~14		-
MSE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-	¥22,000	6時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
MSE307		<演習環境>Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-	¥22,000	4時間	演習環境	学習開始日	11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は21日間です
SCE707		<eラーニング>【ナビ機能付き】グループポリシーを使用したセキュリティ強化 -Windows Server 2016編-	¥9,900	4時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
MSE308		<演習環境>グループポリシーを使用したセキュリティ強化 -Windows Server 2016編-	¥22,000	4時間	演習環境	学習開始日	11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は21日間です
MSJ047		実践!Windows PowerShellを用いたシステム管理の効率化 -Windows Server 2016編-	¥38,500	1日	マシン演習	東京(大森)		21				10	-
CLJ010		実践!Hyper-Vのインストールから可用性向上まで -Windows Server 2016編-	¥38,500	1日	マシン演習	東京(大森)			13			4	-

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時時点の税率を適用した金額となります。

*日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。

*自習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

MSJ048		実践!Windows Server 2016によるインフラ構築演習 -Windows Server 2016編-	¥93,500	2日	マシン演習	東京(大森)						17~18		12~13	5~6	-
MSJ049		【短縮版】Windows Server 2016のセキュリティ	¥110,000	2日	マシン演習	東京(大森)						5~6		18~19		-
MSE305		<eラーニング>【ナビ機能付き】Windows Server 2012管理概説	¥82,500	13時間	eラーニング	学習開始日	11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は21日間です			
MSE304		<eラーニング>【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎	¥82,500	13時間	eラーニング	学習開始日	11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は21日間です			
OAE026		<eラーニング>SharePointによる社内ポータル作成入門	¥11,000	3時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります			

ネットワーク (掲載ページ: P. 145 ~)

NWJ103		ネットワーク基礎	¥55,000	2日	レクチャ	東京(大森)	16~17	14~15		15~16		2~3		-
NWE706		<eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク基礎I-イーサネットの仕組み	¥41,800	12時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります	
NWE707		<eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク基礎II-TCP/IPの仕組み	¥41,800	12時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります	
NWE715		<eラーニング>【ナビ機能付き】LANの技術-高可用ネットワーク	¥22,000	8時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります	
NWE714		<eラーニング>【ナビ機能付き】TCP/IP機能概説-ルーティング編-	¥22,000	8時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります	
NWJ099		TCP/IPプロトコル解析	¥77,000	2日	マシン演習	東京(大森)			4~5	15~16		12~13	-	
NWE717		<eラーニング>【ナビ機能付き】WANの技術-VPNサービスへの変遷	¥22,000	8時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります	
NWE001		<eラーニング>インターネット技術入門	¥16,500	6時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります	
NWJ148		インターネットプロトコル(DNS、メール、HTTP)解説とサーバ構築	¥77,000	2日	マシン演習	東京(大森)				27~28			-	
NWE028		<eラーニング>ネットワーク設計基礎	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります	
NWJ146		ネットワーク設計基礎と演習	¥38,500	1日	グループ演習	東京(大森)		7		10			-	
NWJ147		ネットワークインフラ構築-基礎編-	¥38,500	1日	マシン演習	東京(大森)	18	29	13	17		4	-	
NWJ138		ネットワークインフラ構築-ルーティング編-	¥77,000	2日	マシン演習	東京(大森)				12~13		9~10	-	
NWJ133		ネットワークインフラ構築-スイッチ編-	¥81,400	2日	マシン演習	東京(大森)				2~3		5~6	-	
NWJ120		ネットワークインフラ構築-冗長化・負荷分散編-	¥81,400	2日	マシン演習	東京(大森)				17~18		12~13	-	
NWJ134		ネットワークインフラ構築-VPN編-	¥77,000	2日	マシン演習	東京(大森)					21~22		-	
NWE703		<eラーニング>【ナビ機能付き】IPv6の基礎と移行技術	¥41,800	12時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります	

New: 新設コース | 改訂コース | 休講: 今期の定期開催はおりません

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング) サービス有効期間/学習終了日
NWJ084		ネットワークトラブル解決	¥81,400	2日	マシン演習	東京(大森) 大阪 福岡		14~15	9~10		26~27	18~19 5~6	-
NWE704		<eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク管理解説	¥22,000	6時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
NWJ109		無線LAN環境構築	¥77,000	2日	マシン演習	東京(大森)					6~7		-
NWE708		<eラーニング>【ナビ機能付き】Software Defined Networking (SDN) 概説 - ネットワーク仮想化 -	¥12,100	4時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
NWE712		<eラーニング>【ナビ機能付き】基礎から学ぶネットワーク運用管理	¥40,700	12時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります

ハードウェア (掲載ページ: P. 152 ~)

SJE705		<eラーニング>【ナビ機能付き】SAN概説	¥22,000	5時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
SJE016		<eラーニング> Fibre Channel 概説 - 日立ストレージ - ホストの接続を理解するために -	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
SJE028		<eラーニング> SCSI 入門 - ストレージインタフェースを理解するために -	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
SJE018		<eラーニング> SAS (Serial Attached SCSI) 入門 - ストレージインタフェースを理解するために -	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
SJE017		<eラーニング> SATA 入門	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります

セキュリティ (掲載ページ: P. 154 ~)

情報セキュリティ													
SCE708		<eラーニング>【ナビ機能付き】情報セキュリティリテラシー - セキュリティの必要性と対策 -	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
SCJ050	Renewal	情報セキュリティ基礎 - セキュリティ全体を俯瞰する -	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森) 大阪 名古屋	15			14	21	7	-
SCJ041		セキュリティ最新動向	¥30,800	0.5日	レクチャ	東京(大森)	23					9	-
SCE706		<eラーニング>【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説 - セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度 -	¥22,000	8時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
SCJ048	New	セキュリティリスク分析 - IPA「制御システムのセキュリティリスク分析ガイド」解説 -	¥55,000	1日	グループ演習	東京(大森)						3	-
SCJ047		ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)	4		5		4		-
SCJ038		情報セキュリティマネジメント運用	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)			13				-
SCJ039		情報セキュリティマネジメントの評価と改善	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)					13		-
セキュリティ技術													
SCE703		<eラーニング>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎 - 要素技術(暗号、認証)編 -	¥20,900	6時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
SCE705		<eラーニング>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎 - ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編 -	¥20,900	6時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
SCJ051	Renewal	ネットワークセキュリティ対策実習 - FW/IDS/PKI -	¥77,000	2日	マシン演習	東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡	24~25	28~29	24~25 12~13			3~4 27~28 18~19 13~14	-

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時時点の税率を適用した金額となります。
 *日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「TJ」)の受講料はカッコ内に表示しています。
 *自習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 *eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

SCE704		<eラーニング>【ナビ機能付き】データベースセキュリティ概説	¥12,100	4時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
SCE010		<eラーニング> IPsecによるVPN構築	¥11,000	3時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
SCJ037		インターネットにおける電子認証技術 - PKI -	¥38,500	1日	マシン演習		別途ご案内いたします						-
SCD001		CEH(Certified Ethical Hacker)	¥547,800	5日	マシン演習		別途ご案内いたします						-

データベース (掲載ページ: P. 161 ~)

共通													
DBJ045		データベース入門 - 解説と操作体験 -	¥33,000	1日	マシン演習	東京(大森) 大阪 名古屋 福岡		7	3	30	7		-
DBE711		<eラーニング>【ナビ機能付き】データベース基礎	¥20,900	8時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
DBJ063		基礎から学ぶSQL - 現場で使える力をつける -	¥66,000	2日	マシン演習	東京(大森) 大阪 名古屋	28~29		5~6		20~21		-
DBE703		<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門	¥19,800	8時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
DBE339		<演習環境>SQL操作入門	¥22,000	3時間	演習環境	学習開始日	11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
DBJ055		速習!1日でわかるデータベース設計の基礎	¥33,000	1日	レクチャ	東京(大森) 大阪 名古屋	18		9	14			-
DBE710		<eラーニング>【ナビ機能付き】データベース概説 - 入門・設計・SQL編 -	¥39,600	12時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
DBE708		<eラーニング>【ナビ機能付き】速習!1日でわかるデータベース設計の基礎	¥30,250	6時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
DBJ054		データベース設計技法と演習	¥72,600	2日	レクチャ	東京(大森) 大阪 名古屋	24~25		19~20			17~18 17~18	-
DBE707		<eラーニング>【ナビ機能付き】データベース設計基礎	¥22,000	6時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
DBE304		<eラーニング>【マシン演習付き】SQLによる標準データベースプログラミング - 体感!埋め込みSQL -	¥33,000	6時間	eラーニング マシン演習	学習開始日	11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
DBJ067		脱初心者のためのSQL - SQLでここまでできる -	¥44,000	1日	マシン演習	東京(大森) 大阪 名古屋			14			17	-
DBJ090		データ分析に使えるSQL - SQLでビッグデータに立ち向かう -	¥44,000	1日	マシン演習	東京(大森) 大阪	23	15	9	24		10	-
DBE704		<eラーニング>【ナビ機能付き】OLTP概説	¥22,000	7時間	eラーニング	学習開始日	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
SQL Server													
DBE337		<eラーニング>【マシン演習付き】SQL Server 2016 データベース管理	¥82,500	14時間	eラーニング マシン演習	学習開始日	11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は 21日間です
DBJ113		SQL Server 2016 データベース管理	¥88,000	2日	マシン演習	東京(大森)				16~17			-
Oracle													
DBE346	New	<eラーニング>【マシン演習付き】MySQL 5.7 データベース管理 I	¥112,200	14時間	eラーニング マシン演習	学習開始日	10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は 90日間です

New: 新設コース | 改訂コース | 休講: 今期の定期開催はありません
 PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング) サービス有効期間/学習終了日
DBE347	New	<eラーニング>【マシン演習付き】MySQL 5.7 データベース管理II	¥168,300	21時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE345		<eラーニング>【マシン演習付き】MySQL パフォーマンス・チューニング	¥314,160	28時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE316		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c 新機能	¥392,700	35時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBD048		Oracle Database 12c 入門 SQL 基礎I	¥235,620	3日	マシン演習	東京(大森) 大阪 名古屋			19~21 16~18			8~10	-
DBE333		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c SQL 基礎II	¥157,080	14時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBD060		Oracle Database 12c R2 管理クイック・スタート	¥157,080	2日	マシン演習	東京(大森) 大阪 名古屋				20~21 21~22		9~10	-
DBD061		Oracle Database 12c R2 管理ネクスト・ステップ	¥235,620	3日	マシン演習	東京(大森) 大阪						3~5 12~14	-
DBE332		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQL 基礎	¥157,080	14時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE309		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQL プログラム開発	¥235,620	21時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBD052		Oracle Database 12c SQL チューニングワークショップ	¥235,620	3日	マシン演習	東京(大森)					25~27		-
DBE308		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c バックアップ・リカバリ	¥392,700	35時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE310		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c パフォーマンス・チューニング	¥392,700	35時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBD062		Oracle Database 実例から学ぶ! パフォーマンス・チューニング	¥78,540	1日	レクチャ	東京(大森)					27		-
DBE311		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c インストール&アップグレード	¥157,080	14時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE315		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 11g R2 管理 ワークショップII	¥392,700	35時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE319		<eラーニング>【マシン演習付き】Exadata Database Machine 管理ワークショップ	¥654,500	35時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE322		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c Clusterware 管理	¥392,480	28時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE331		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c RAC 管理	¥392,480	28時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE321		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c ASM 管理	¥196,240	14時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE324		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c セキュリティ	¥490,600	35時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE323		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c Database Vault	¥157,080	14時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE325		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c マルチテナント・アーキテクチャ	¥157,080	14時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE341		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c R2 新機能 for 12c R1 管理者	¥392,700	35時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE343		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Enterprise Manager Cloud Control 12c による管理	¥294,360	21時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE019		<eラーニング> Oracle ではじめる統計入門	¥78,540	7時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時時点の税率を適用した金額となります。
 *日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。
 *自習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 *eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング) サービス有効期間/学習終了日
DBE342		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c データ・マイニング手法	¥157,080	14時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
DBE029		<eラーニング>資格試験準備セミナー: ORACLE MASTER Bronze 12c(受験チケット付)	¥73,480	7時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は180日間です
DBE030		<eラーニング>資格試験準備セミナー: ORACLE MASTER Silver 12c(受験チケット付)	¥58,520	7時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は180日間です
DBE031		<eラーニング>資格試験準備セミナー: ORACLE MASTER Gold 12c(受験チケット付)	¥58,520	7時間	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は180日間です
DBE340		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Unlimited Product Learning Subscription	¥923,340	-	eラーニング 演習コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は365日間です

IT戦略・IS企画

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング) サービス有効期間/学習終了日
--------	------	------	----------	-----------	------	------	-----	-----	-----	----	----	----	-------------------------

IT戦略・IS企画(掲載ページ: P. 178 ~)

HSJ017		(PDU) IT戦略の立案 -IT-BSCの活用による- PDU	¥33,000	1日	グループ演習	東京(大森)		27			18		-
SPJ008		(PDU) IT投資の評価手法 -IT投資の種類・パターンから効果を考える- PDU	¥82,500	2日	グループ演習	東京(大森)			3~4				-
CTJ016		(PDU) IT投資対効果の考え方 -IT投資マネジメントの基礎- PDU	¥38,500	1日	グループ演習	東京(大森)			9			2	-
CTJ005		(PDU)トラブルを防止する調達要件の分析 -RFPの作成と提案書の評価を中心に- PDU	¥110,000	2日	グループ演習	東京(大森)				27~28			-
SPJ033		保守開発におけるトラブル対策の考え方	¥38,500	1日	グループ演習	東京(大森)			10			3	-
CTD010	New	(PDU) IT経営ストラテジ(経営戦略コース) PDU	¥66,000	2日	レクチャ	六本木(FXLI)		7~8					-
CTD011	New	(PDU) IT経営ストラテジ(IT戦略コース) PDU	¥66,000	2日	レクチャ	六本木(FXLI)				20~21			-
CTD007		ITC資格試験対策 PDU	¥44,000	1日	レクチャ	六本木(FXLI)				10			-
CTJ059		(PDU)ビジネスアナリシスの基礎 PDU	¥99,000	2日	グループ演習	東京(大森)		17~18					-
CTJ060		(PDU)要求の引き出しとマネジメント PDU	¥99,000	2日	グループ演習	東京(大森)		31~	1				-
CTJ062		(PDU)エンタープライズ・ビジネスアナリシス PDU	¥99,000	2日	グループ演習	東京(大森)					5~6		-
CTD008		(PDU) CBAP® 試験対策コース PDU	¥165,000	3日	レクチャ								別途ご案内いたします
CTJ046	休講	情報システム導入を成功させる要件定義とベンダー折衝の実践ポイント	¥44,000	1日	グループ演習								-
CTJ026		情報システムのユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備実務	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)		13					-
CTJ022		情報システム部門のための開発工程におけるベンダー・マネジメント	¥77,000	2日	グループ演習	東京(大森)					25~26		-
CTJ037		(PDU) SEのためのベンダーマネジメント PDU	¥88,000	2日	グループ演習	東京(大森)		7~8		2~3	27~28		-
CTJ054		IT活用による業務改善を実現するための問題分析と新業務プロセス設計技法	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)		1					-
CTJ055		IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)			10				-
CTJ053		現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)		23					-

New: 新設コース PDU: 改訂コース 休講: 今期の定期開催はおりません

PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング) サービス有効期間/学習終了日
CTJ052		現行システムのリリース/改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)	4						-
CTJ064		業務参照モデルを利用したバリューチェーンの紐解き方	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)					19		-
CTJ063		ビジネスアナリスト体験一源流と超上流をつなげる	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)			25				-
CTJ051		ビジネス要求引き出しのための業務課題抽出のテクニック	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)			6				-
CTJ056		新時代に向けたビジネスモデル創造の進め方	¥132,000	2日	グループ演習		別途ご案内いたします						-
CTJ057		これからのIT技術者のための超上流要求開発入門-いま、必要とされるサービスデザインメソッドジョー-	¥132,000	2日	グループ演習		別途ご案内いたします						-
CTJ058		ビジネスモデリングからはじめる要求分析モデリング	¥132,000	2日	グループ演習		別途ご案内いたします						-

システム開発

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング) サービス有効期間/学習終了日
要件定義/設計(掲載ページ:P.186~)													
SPJ058		演習で学ぶ!情報システムの役割と開発の進め方	¥66,000	2日	グループ演習	東京(大森)		28~29					-
SJE707		<eラーニング>【ナビ機能付き】システム開発の基礎	¥11,000	4時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPJ037		システムのニーズ分析	¥82,500	2日	グループ演習	東京(大森)	7~8					4~5	-
SPJ036		システム化要求を実現するための業務設計	¥82,500	2日	グループ演習	大阪						10~11	-
SPJ036		システム化要求を実現するための業務設計	¥82,500	2日	グループ演習	東京(大森)	9~10					16~17	-
SPJ024		システムの要件定義技法	¥70,400	2日	グループ演習	大阪				30~31			-
CTJ018		非機能要求の考え方	¥38,500	1日	グループ演習	東京(大森)	28						-
CTD009		ビジネスプロセスの分析と設計	¥49,500	1日	グループ演習	東京(大森)			13				-
SPE702		<eラーニング>【ナビ機能付き】待ち行列理論	¥22,000	7時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CTJ065	New	エンタープライズITアーキテクチャのセオリー	¥99,000	2日	グループ演習	東京(大森)			19~20				-
SPE017		<eラーニング>構造化モデリングによるシステムの機能抽出	¥19,800	5時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CTE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】アプリケーション・アーキテクチャ基礎	¥20,900	6時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPJ038		アプリケーション・アーキテクチャ策定演習	¥77,000	2日	マンシミュ	東京(大森)		20~21		8~9			-
SPJ039		事例から学ぶSaaS活用提案のポイント	¥29,700	0.5日	グループ演習	東京(大森)		6					-
SPJ040		クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向	¥29,700	0.5日	グループ演習	東京(大森)		6		14			-
UXJ070		gitによるソフトウェア構成管理	¥38,500	1日	マンシミュ	東京(大森)	25						-
SPJ054		後工程で慌てない!ユーザー/業務要件の漏れを未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)	3	5		20		3	-
SPJ055		業務要件とユーザビリティを確保するための要件定義のポイント	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)	30				21		-

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時時点の税率を適用した金額となります。

*日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表記しています。

*自習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング) サービス有効期間/学習終了日
SPJ056		開発での手戻りを最小限にする要件品質チェックのポイントと基本設計の肝	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)	16			31		19	-
SPJ028		品質確保のためのソフトウェアテスト	¥33,000	1日	グループ演習	東京(大森)	7		16		26		-
						大阪			16				
						名古屋			5				
SPJ063		ソフトウェアテストの管理手法	¥38,500	1日	グループ演習		別途ご案内いたします						-
SPE016		<eラーニング>実践!テストケース設計(テスト技法演習編)	¥18,700	8時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPJ051		実践!テストケース設計(テスト設計実践編)	¥33,000	1日	マンシミュ	大阪			10				-
						名古屋			13				
SPE019		<eラーニング>速習!Webシステムテストのポイント	¥8,800	3時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWJ149		実践!Webシステムの性能テスト	¥38,500	1日	マンシミュ		別途ご案内いたします						-
SPJ032		Javaモジュールテスト演習	¥33,000	1日	マンシミュ	東京(大森)		18					-
SPJ062		Javaによるテスト駆動開発演習	¥33,000	1日	マンシミュ	東京(大森)					21		-
SPJ035		SeleniumによるWebアプリケーションテスト自動化演習	¥33,000	1日	マンシミュ	東京(大森)	29						-
SPE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】プログラムのテスト技法	¥20,900	7時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPD002	New	DevOpsテスト入門~継続的デリバリーを実現するテスト自動化の基礎~	¥46,200	1日	グループ演習	麻布台(SHIFT)			19		21	27	-
SPD003	New	テストプロセス改善~評価・改善案策定を一日で習得!~	¥55,000	1日	グループ演習	麻布台(SHIFT)			15		17	13	-

モデリング(掲載ページ:P.194~)

OJE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説	¥20,900	6時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
OJE005		<eラーニング>UML 2.0入門	¥7,700	6時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
OJJ024	休講	UMLによるオブジェクト指向モデリング	¥66,000	2日	グループ演習								-
OJJ025	休講	UMLによるオブジェクト指向設計とプログラミング	¥66,000	2日	マンシミュ								-
OJJ027	休講	定石から学ぶオブジェクト指向設計	¥77,000	2日	マンシミュ								-

プログラミング(掲載ページ:P.196~)

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング) サービス有効期間/学習終了日
共通													
CBJ001	休講	アルゴリズムの基礎-フローチャート編-	¥55,000	2日	グループ演習								-
CBE006		<eラーニング>アルゴリズムの基礎-フローチャート編-	¥11,220	16時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
Java													
OJJ016		Javaプログラミング1(基本文法編)	¥99,000	3日	マンシミュ	東京(大森)	30~	1		20~22			-
						名古屋		27~29					
						福岡				5~7			
OJE702		<eラーニング>【ナビ機能付き】Javaプログラミング1(基本文法編)	¥60,500	24時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
OJE020		<eラーニング>【スキル定着】Javaプログラミング1(前編)	¥11,000	4時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

New: 新設コース | 改訂コース | 休講: 今期の定期開催はありません

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン(凡例(P.59))を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
OJE021		<eラーニング>【スキル定着】Javaプログラミング1(後編)	¥11,000	4時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
OJJ017		Javaプログラミング2(基本クラス編)	¥66,000	2日	マンシブ	東京(大森) 名古屋 広島		18~19	10~11	28~29	12~13		-
OJE703		<eラーニング>【ナビ機能付き】Javaプログラミング2-基本クラス編-	¥40,700	16時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
OJJ032	Renewal	Javaプログラミング3-StreamAPI, モジュールシステム編-	¥66,000	2日	マンシブ	東京(大森)						9~10	-
OJJ026		Javaによるデータベース・プログラミング	¥66,000	2日	マンシブ	東京(大森)			9~10			9~10	-
OJJ018		サーバサイド Javaプログラミング(Servlet/JSP編)	¥99,000	3日	マンシブ	東京(大森) 大阪 名古屋 福岡			17~19	22~24	4~6		-
OJJ020		実践!Javaプログラミング	¥66,000	2日	マンシブ	東京(大森) 大阪	10~11		5~6			5~6	-
NWJ145		システムを危険から守る!セキュアプログラミング	¥44,000	1日	マンシブ	東京(大森)			20			6	-
OJJ028		Javaによる保守開発のためのリファクタリング	¥77,000	2日	マンシブ	東京(大森)				27~28			-
OJE025		<eラーニング>【マシン演習付き】Java SE 7 パフォーマンス・チューニング	¥294,360	21時間	eラーニング 専用コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は90日間です
OJE022		<eラーニング>資格試験準備セミナー: OCJP Bronze SE 7/8(受験チケット付)	¥44,220	7時間	eラーニング 専用コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は180日間です
OJE023		<eラーニング>資格試験準備セミナー: OCJP Silver SE 8(受験チケット付)	¥58,520	7時間	eラーニング 専用コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は180日間です
OJE024		<eラーニング>資格試験準備セミナー: OCJP Gold SE 8(受験チケット付)	¥58,520	7時間	eラーニング 専用コース		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は180日間です
COBOL													
-		PAD入門(自習テキスト)	¥1,650	平均6時間	自習テキスト								-
CBJ002		COBOLプログラミング基礎編(PAD)	¥82,500	3日	マンシブ	東京(大森)				22~24			-
CBJ004	休講	COBOLプログラミング応用編(PAD)	¥107,800	4日	マンシブ								-
CBJ007		COBOLプログラミング基礎編(フローチャート)	¥82,500	3日	マンシブ	東京(大森)				22~24			-
CBJ008	休講	COBOLプログラミング応用編(フローチャート)	¥107,800	4日	マンシブ								-
CBE301		<eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング基礎編(PAD)	¥99,000	24時間	eラーニング 専用コース		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は21日間です
CBE302		<eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング応用編(PAD)	¥124,300	32時間	eラーニング 専用コース		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は21日間です
CBE303		<eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング基礎編(フローチャート)	¥99,000	24時間	eラーニング 専用コース		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は21日間です
CBE304		<eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング応用編(フローチャート)	¥124,300	32時間	eラーニング 専用コース		11	8	6	10	7	6	サービス有効期間は21日間です
CBE002		<eラーニング>COBOLプログラミング基礎編(PAD)	¥25,300	16時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CBE003		<eラーニング>COBOLプログラミング応用編(PAD)	¥25,300	16時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CBE004		<eラーニング>COBOLプログラミング基礎編(フローチャート)	¥25,300	16時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時点の税率を適用した金額となります。
 *日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。
 *自習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 *eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
CBE005		<eラーニング>COBOLプログラミング応用編(フローチャート)	¥25,300	16時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
-		COBOLプログラミング基礎編(PAD)(自習テキスト)	¥4,180	平均18時間	自習テキスト								-
-		COBOLプログラミング応用編(PAD)(自習テキスト)	¥4,180	平均18時間	自習テキスト								-
-		COBOLプログラミング基礎編(フローチャート)(自習テキスト)	¥4,180	平均18時間	自習テキスト								-
-		COBOLプログラミング応用編(フローチャート)(自習テキスト)	¥4,180	平均18時間	自習テキスト								-
C/C++													
CCJ009		C言語プログラミング1-基本マスタ編-	¥99,000	3日	マンシブ	東京(大森) 名古屋		6~8					-
CCJ014		C言語プログラミング2-ポインタ実践編-	¥99,000	3日	マンシブ	東京(大森)		26~28				12~14	-
CCE005		<eラーニング>C言語プログラミング2-ポインタ実践編-	¥78,650	24時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CCE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】C言語プログラミング1(前編)-制御文と関数を学ぶ-	¥20,900	8時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CCE702		<eラーニング>【ナビ機能付き】C言語プログラミング1(後編)-データ構造とポインタを学ぶ-	¥40,700	16時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
ESJ001		リアルタイム OS を利用したソフトウェアプログラミング	¥66,000	2日	マンシブ	東京(大森)					18~19		-
VB/V/C#													
VBJ038		Visual Basic プログラミング	¥77,000	2日	マンシブ	東京(大森)	17~18					30~31	-
VBJ037		ASP.NET プログラミング	¥77,000	2日	マンシブ	東京(大森)		26~27					-
VCJ010		Visual C# プログラミング	¥77,000	2日	マンシブ	東京(大森)			5~6				-
Web関連技術													
NWE711		<eラーニング>【ナビ機能付き】Webシステム入門	¥20,900	6時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWE031	New	<eラーニング>Webアプリケーション設計の基礎	¥18,700	8時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWJ139		Webアプリケーション設計の基礎	¥66,000	2日	マンシブ	東京(大森) 大阪		31~1	11~12	22~23			-
NWE709		<eラーニング>【ナビ機能付き】CSSによるWebコンテンツ制作	¥20,900	8時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWE710		<eラーニング>【ナビ機能付き】HTMLによるWebコンテンツ制作	¥20,900	8時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWJ141		JavaScriptプログラミング-ECMAScript 2015対応-	¥77,000	2日	マンシブ	東京(大森) 大阪				17~18	2~3		-
NWJ142		HTML5プログラミング	¥38,500	1日	マンシブ	東京(大森)				21~22	28	11	-
NWJ140		HTML5/JavaScriptによるWebアプリケーション開発実践	¥110,000	2日	マンシブ	東京(大森)					27~28	16~17	-
スマートデバイス													
NWE029		<eラーニング>スマートデバイス活用システムの提案概説	¥11,000	3時間	eラーニング		2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWJ144		スマートフォンの特性を踏まえたWebアプリケーション設計の考え方	¥33,000	1日	マンシブ	東京(大森)					5		-

New: 新設コース 改訂コース 休講: 今期の定期開催はありません
 PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

Table with 14 columns: Course Code, Division, Course Name, Tuition, Days/Avg. Learning Time, Learning Format, Region, and months Oct-Mar. Includes courses NWJ135, NWJ129, NWJ131.

情報処理技術者試験対策

Table with 14 columns: Course Code, Division, Course Name, Tuition, Days/Avg. Learning Time, Learning Format, Region, and months Oct-Mar.

情報処理技術者試験対策 (掲載ページ: P. 213 ~)

Table with 14 columns: Course Code, Division, Course Name, Tuition, Days/Avg. Learning Time, Learning Format, Region, and months Oct-Mar. Includes sub-header '春期実施試験対策'.

ITリテラシ

Table with 14 columns: Course Code, Division, Course Name, Tuition, Days/Avg. Learning Time, Learning Format, Region, and months Oct-Mar.

ITリテラシ (掲載ページ: P. 218 ~)

Table with 14 columns: Course Code, Division, Course Name, Tuition, Days/Avg. Learning Time, Learning Format, Region, and months Oct-Mar. Includes course OAE027.

※受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時時点の税率を適用した金額となります。

Table with 14 columns: Course Code, Division, Course Name, Tuition, Days/Avg. Learning Time, Learning Format, Region, and months Oct-Mar. Includes courses OAE028, OAJ046, OAE029, OAE030, OAE031, OAE032.

プロジェクトマネジメント

Table with 14 columns: Course Code, Division, Course Name, Tuition, Days/Avg. Learning Time, Learning Format, Region, and months Oct-Mar.

プロジェクトマネジメント (掲載ページ: P. 221 ~)

Table with 14 columns: Course Code, Division, Course Name, Tuition, Days/Avg. Learning Time, Learning Format, Region, and months Oct-Mar. Includes course PMJ065.

※新設コース ※改訂コース ※休講: 今期の定期開催はありません
PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例 (P.59)を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング) サービス有効期間 / 学習終了日
PMJ025		(PDU)プロジェクトマネジメントのネゴシエーション PDU	¥99,000	2日	グループ学習	東京(大森)			16~17			2~3	-
PMJ048		(PDU)プロジェクトマネジメントの契約・調達マネジメント PDU	¥99,000	2日	グループ学習	東京(大森)			23~24			18~19	-
PMJ032		(PDU)プロジェクトマネジメントの品質マネジメント PDU	¥99,000	2日	グループ学習	東京(大森)						16~17	-
PMJ068		(PDU)プロジェクトマネジメントのリスクマネジメント PDU	¥93,500	2日	グループ学習	東京(大森)		20~21					-
PMD009		(PDU)プログラムマネジメント -より価値の高いプロジェクトを提供するために- PDU	¥99,000	2日	グループ学習	六本木(FXLI)					6~7		-
PMJ039		(PDU)プロジェクトマネージャのためのファイナンシャルマネジメント PDU	¥99,000	2日	グループ学習	東京(大森)	28~29				20~21		-
PMJ006	休講	ソフトウェア開発の品質管理と信頼性 一日の取り組み紹介	¥33,000	1日	レクチャ								-
PMJ041		(PDU)プロジェクトマネジメントの要求マネジメント PDU	¥99,000	2日	グループ学習	東京(大森)						18~19	-
PME701		<eラーニング>【ナビ機能付き】(PDU)ファンクションポイント法基礎 PDU	¥12,100	4時間	eラーニング	東京(大森)	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PMJ014		(PDU)ファンクションポイント法による見積り実践トレーニング -コストマネジメント実践- PDU	¥77,000	2日	レクチャ	東京(大森)						16~17	-
PME005		<eラーニング>(PDU)2時間でわかるファンクションポイント法 PDU	¥8,800	2時間	eラーニング	東京(大森)	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PMJ053	休講	(PDU) Microsoft Office Projectによるタイムマネジメント PDU	¥77,000	2日	マシン学習								-
PMJ063		(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー PDU	¥92,400	2日	レクチャ	東京(大森) 大阪 名古屋 広島	3~4, 15~16 24~25	11~12	3~4 2~3 23~24	7~8	13~14	9~10	-
PME013		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナープロジェクトとは PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	東京(大森)	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME014		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナープロジェクトの運営環境とプロジェクト・マネージャーの役割 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	東京(大森)	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME018		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー統合マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	東京(大森)	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME011		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナースコープ・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	東京(大森)	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME010		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナースケジュール・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	東京(大森)	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME008		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナーコスト・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	東京(大森)	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME019		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー品質マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	東京(大森)	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME016		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー資源マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	東京(大森)	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME009		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナーコミュニケーション・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	東京(大森)	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME015		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナーリスク・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	東京(大森)	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時時点の税率を適用した金額となります。
 *日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾[T])の受講料はカッコ内に表示しています。
 *自習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 *eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング) サービス有効期間 / 学習終了日
PME017		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー調達マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	東京(大森)	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME012		<eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナーステークホルダー・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	東京(大森)	2, 9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	8, 15, 22, 29	5, 12, 19, 26	4, 11	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PMJ064		(PDU) PMBOK®ガイド第5版と第6版の差分講座 -半日でわかる第6版- PDU	¥33,000	0.5日	レクチャ	東京(大森) 大阪			11 10			23	-
PMJ056		PMP®対策講座(2日間)	¥88,000	2日	レクチャ	東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡	3~4, 17~18	13~14, 25~26 7~8	4~5, 17~18 18~19	30~31	20~21		-
PMJ028		PMP®直前講座(模試)(1日間)	¥49,500	1日	レクチャ	東京(大森) 大阪 名古屋 福岡		5, 18	13, 23 9	7, 17	27	23	-
SPJ064	New	スクラムの基礎と実践	¥55,000	1日	グループ学習	東京(大森)			18		13		-
SPJ045		(PDU) [リーダー向け] アジャイル開発における自律型チーム運営 PDU	¥46,200	1日	グループ学習	東京(大森)			4				-
PMJ061		(PDU) マネージャーのための1日でわかるアジャイル・プロジェクトマネジメントの効用 PDU	¥38,500	1日	グループ学習	東京(大森)						6	-
PMD012		[EXIN アジャイル スクラム ファンデーション] 資格対策	¥157,300	2日	レクチャ	麹町(ITブレイズ)			5~6			26~27	-
PMD013		(PDU) 1日でわかるPRINCE2® PDU	¥44,000	1日	グループ学習	東京(大森)				27			-
PMD014		(PDU) PRINCE2® ファンデーション(認定試験付き) PDU	¥292,600	3日	グループ学習	麹町(ITブレイズ)		6~8	23~25	14~16			-
PMD015		(PDU) PRINCE2® プラクティショナ(認定試験付き) PDU	¥256,300	2日	グループ学習	麹町(ITブレイズ)			16~17			26~27	-

コンプライアンス

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング) サービス有効期間 / 学習終了日
HSJ062		事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方 -高信頼性システム実現のために-	¥38,500	1日	グループ学習	東京(大森)		28			19		-
HSJ018		システムトラブルの予防と是正 -ISMS・システム監査の視点から-	¥77,000	2日	グループ学習	東京(大森)					3~4		-

ビジネス/ヒューマン

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング) サービス有効期間 / 学習終了日
HSJ116		ロジカルシンキング基礎 -論理の可視化と論理チェックのポイント-	¥82,500	2日	グループ学習	東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡	10~11 24~25	5~6 26~27	2~3, 16~17 14~15 6~7		27~28	12~13	-

New : 新設コース 改訂コース 休講 : 今期の定期開催はありません
 PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

Table with columns for Course Code, Course Name, Fee, Duration, Start Date, and various months from October to March. Includes sub-sections like 'ライティング' and 'プレゼンテーション'.

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時時点の税率を適用した金額となります。

Table with columns for Course Code, Course Name, Fee, Duration, Start Date, and various months from October to March. Includes sub-sections like 'コミュニケーション' and 'マネジメント/リーダシップ'.

New : 新設コース 改訂コース : 改訂コース 休講 : 今期の定期開催はありません PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

2 開催コース/スケジュール一覧

TOPICS

1 日立講習会 コース活用例

2 開催コース/スケジュール一覧

3 講座別コースプロフィール コースカリキュラム

4 研修会場

5 お申込み方法

6 受講規約

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
HSJ148		(PDU)会議/プロジェクトを円滑に進めるためのファシリテーション・スキル向上 PDU	¥88,000	2日	グループ学習	東京(大森)	24~25		2~3	16~17			-
HSJ152		SEのためのサービスマインド醸成 -顧客対応の質を高め、他社と差別化を図る-	¥44,000	1日	グループ学習	東京(大森)		13		16		6	-
HSJ195	Renewal	(PDU)部下のパフォーマンスを高める 1 on 1 ミーティングとフィードバック PDU	¥38,500	1日	グループ学習	東京(大森)	28				7		-
HSJ187		共に勝つ人生戦略 ウィナーシップ研修 -ビジネスパーソンとして「本気づくり」に挑戦する-	¥44,000	1日	グループ学習	東京(大森)			9		14		-
戦略・マーケティング													
HSE107		<eラーニング>(PDU)知っておくべきビジネスモデルの基本 -顧客のビジネスをより理解するために- PDU	¥33,000	10時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は56日間です
HSJ181		(PDU)ソリューション提案のための経営と情報戦略 -経営・事業・情報戦略のあるべき関係性- PDU	¥38,280	1日	グループ学習	東京(大森) 大阪	18	29		15			-
HSJ182		(PDU)ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向 -イノベーション実現のために- PDU	¥55,000	1日	グループ学習	東京(大森)		13	6	22	13		-
セールス													
HSJ180		顧客協創を促す ディスカッションペーパーの作成・活用の仕方	¥38,500	1日	グループ学習	東京(大森)				20			-
CTJ305	New	体系的に学ぶ提案活動の進め方 -プロポーザルマネジメント 戦略策定と骨子づくり編-	¥88,000	2日	グループ学習	東京(大森)		14~15					-
CTJ306	New	はかどる・伝わる!提案書作成 -プロポーザルマネジメント 顕在・潜在ニーズ訴求編-	¥66,000	1日	グループ学習	東京(大森)			13				-
アカウントティング/ファイナンス													
HSE709		<eラーニング>【ナビ機能付き】 WHYで学ぶアカウントティング(基礎知識編)	¥19,800	8時間	eラーニング 学習開始日		2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSE710		<eラーニング>【ナビ機能付き】 業務に活かす簿記入門	¥22,000	8時間	eラーニング 学習開始日		2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSE705		<eラーニング>【ナビ機能付き】 (PDU)財務諸表の基礎知識 PDU	¥12,100	4時間	eラーニング 学習開始日		2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSE103		<eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス1 -投資の判断、リスクとリターン- PDU	¥17,600	4時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は28日間です
HSE104		<eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス2 -企業価値評価- PDU	¥17,600	4時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は28日間です
HSE105		<eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス3 -資金調達の方法- PDU	¥17,600	6時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は28日間です
HSE106		<eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス4 -M&A、コーポレートガバナンス、財務計画- PDU	¥17,600	6時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は28日間です
ビジネスセンスアップ													
HSE118		<eラーニング>(PDU)よくわかるビジネス・ミクロ経済1 -経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論- PDU	¥17,600	6時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は28日間です
HSE098		<eラーニング>(PDU)よくわかるビジネス・ミクロ経済2 -不完全な情報、期待効用、行動経済学- PDU	¥17,600	4時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は28日間です
HSE099		<eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済1 -効率性と公平性、アダムスミスとケインズ- PDU	¥17,600	4時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は28日間です
HSE100		<eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済2 -GDP、為替、財政- PDU	¥17,600	6時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は28日間です
HSE101		<eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済3 -金融政策、ハイエク、フリードマン、シュンペーター- PDU	¥17,600	4時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は28日間です
HSE102		<eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済4 -景気循環、経済成長、格差社会と少子高齢化- PDU	¥17,600	6時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は28日間です

*受講料(税込)は、2019年10月時点の消費税(10%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時時点の税率を適用した金額となります。

*日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。

*講習テキストの受講料欄には教材費(テキスト販売費)を表記しています。

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
HSE115		<eラーニング>(PDU)中国古典に見る指導者の条件 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は56日間です
HSE113		<eラーニング>(PDU)「貞観政要」に学ぶリーダーの心得 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は56日間です
HSE114		<eラーニング>(PDU)「書経」に学ぶリーダーの心得 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は56日間です
HSE112		<eラーニング>(PDU)「韓非子」のリーダー学 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は56日間です
HSE109		<eラーニング>経世済民の哲学としての朱子学	¥33,000	10時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は56日間です
HSE111		<eラーニング>(PDU)孫子の兵法を現代に役立てる方法 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は56日間です
HSE110		<eラーニング>(PDU)リーダーに必要な人間力 三国志から学ぶリーダー学 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は56日間です
TOEIC® 試験対策													
HSE006	休講	<eラーニング>TOEIC® TEST 完全達成 470	¥13,200	40時間	eラーニング								開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSE007	休講	<eラーニング>TOEIC® TEST 完全達成 650	¥13,200	40時間	eラーニング								開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
HSE008	休講	<eラーニング>TOEIC® TEST 完全達成 730	¥13,200	40時間	eラーニング								開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります

グローバル

コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(eラーニング)サービス有効期間/学習終了日
グローバル(掲載ページ: P. 263 ~)													
GBE010		<eラーニング>(PDU)グローバルビジネスの基礎 -ビジネスルールと多様性-(基本セット) PDU	¥22,000	4時間	eラーニング 学習開始日		2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
GBE025	Renewal	<eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) A. アジア編	¥5,500	3時間	eラーニング 学習開始日		2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
GBE026	Renewal	<eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) B. ロシア、インド、イスラム編	¥5,500	3時間	eラーニング 学習開始日		2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
GBE008		<eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) C. ヨーロッパ編	¥5,500	3時間	eラーニング 学習開始日		2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
GBE009		<eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) D. アメリカ、オセアニア編	¥5,500	3時間	eラーニング 学習開始日		2. 9, 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	8. 15, 22, 29	5. 12, 19, 26	4. 11	開始日にかかわらず 学習終了日は3月31日 になります
GBD001		情理と論理のグローバルコミュニケーション -日本文化に根ざし、人間力で考える戦略思考-	¥55,000	1日	グループ学習	東京(大森)			18				-
GBE023		<eラーニング>(PDU)中国ビジネスの鉄則 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は56日間です
GBE024		<eラーニング>(PDU)インドビジネスの鉄則 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング 学習開始日		10	21	19	16	13	12	サービス有効期間は56日間です

New : 新設コース Renewal : 改訂コース 休講 : 今期の定期開催はありません

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.59)を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

eラーニングコースのご紹介

ビジネススタイルやライフスタイルが多様化する中、自分の空いた時間を有効活用して知識やスキルを修得できる「eラーニング」は、非常に有効な研修方法です。

オリジナルeラーニング	マシン演習付き オリジナルeラーニング	提携コースeラーニング
<ul style="list-style-type: none"> ナビ機能付きeラーニング スキル定着を支援するeラーニング 動画型eラーニング 		<ul style="list-style-type: none"> Oracleトレーニング・オンデマンド eラーニング アイテック社 情報処理技術者試験対策 eラーニング SBI大学院 eラーニング ライトワークス社 Microsoft Officeシリーズ eラーニング

種類やコースによってサービス提供期間や学習利用環境(PCおよびWeb環境)が異なります。サービス提供期間については、「開催コース/スケジュール一覧」(P.29～)または当社のホームページでご確認ください。学習利用環境については、当社のホームページでご確認いただけます。

ナビ機能付きeラーニング

1つのコースを細かく複数の学習コンテンツ(チャック)に分離し、プレテストで学習の必要度を判断しながら学習を進められるeラーニングです(既に理解しているチャックは、スキップが可能)。また、学習コンテンツへのメモの書き込みやブックマーク保存、キーワードのWeb検索機能により、受講者の学習を支援します。

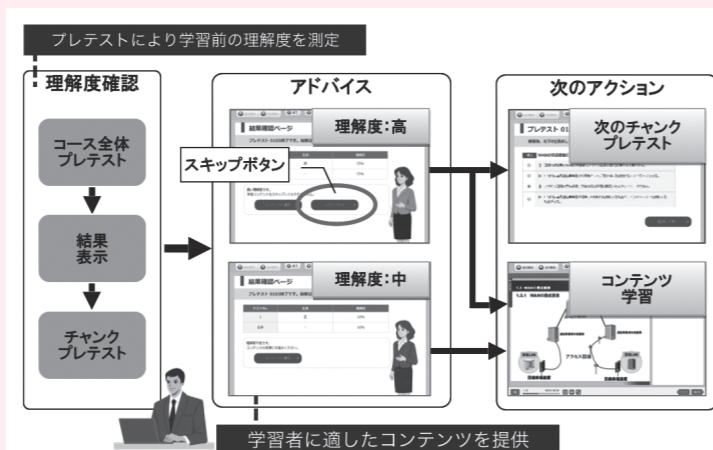
ナビ機能付きeラーニングの特長

学習者毎に学習内容を最適化し、提供するeラーニングです。学習をチャック*と呼ばれる短い単位で区切ることで、細かく理解度を測りながら段階的に学習を進めることができます。

また、修了試験の結果から、理解度が不十分な箇所のみ、再学習できるようになっています。

*チャック: 5~15分程度の短い学習コンテンツ

- Point 1** 学習前の知識レベルに応じて必要な学習内容を判断しながら進めるため、学習時間を短縮できます。
- Point 2** 学習前に自分の理解度を知ること、学習への動機が明確になります。



スキル定着を支援するeラーニング

「知識(わかる)」を「スキル(できる)」に! スキル定着を支援するeラーニングです。

スキル定着を支援するeラーニングの特長

学習者の「知識(わかる)」を「スキル(できる)」にレベルアップさせる学習経験の機会を拡大し、さらなる主体的、継続的な学習や「実践力(使える)」の養成に向けたスキル定着のプロセスを支援します。

- Point 1** 繰り返し設問に取り組むことにより、知識がスキルとして定着することを支援します。
- Point 2** 実務ベースで起こりうるシーンを設問に取り入れているため、すぐに業務に活用できます。

設問に取り組みます。 回答を載せる。 設問に取り組み 繰り返す 回答を載せる

さらなるレベルアップをめざした継続的な学習や実践力養成をめざしたスキル定着を支援するeラーニング!

動画型eラーニング

講義のプレゼンテーション画面や業務用アプリケーションなどのソフトウェア操作画面を、講師の説明音声とともに、動画にて学習できるeラーニングです。

マシン演習付きオリジナルeラーニング

従来のコンテンツによる学習やテストに加え、クラウド上のマシン環境で操作演習できるeラーニングです。

マシン演習付きオリジナルeラーニングの特長

学習者主体の学びが実現できるeラーニングに、クラウド上のマシン演習環境を合わせてご提供いたします。eラーニングで理解した内容をクラウド上のマシンで操作演習し、知識とスキルを定着させます。

- Point 1** Webブラウザとインターネット環境があれば、実機演習を用いた学習をすぐに開始できます。
*学習教材はPDFファイルにて提供いたします。
- Point 2** ご自身のペースで実機演習に取り組みます。
- Point 3** 受講期間中は、何度でもマシン演習環境を利用できます。

知識の修得 → 知る! → 試す! → 実機演習

操作演習用テキスト(PDF)をダウンロード クラウド活用により迅速に演習環境を提供

実機演習を中心に知識とスキルを身につけるタイプのeラーニング!

提携コースeラーニング

提携コースeラーニングは、各社に委託し提供しているeラーニングです。

このeラーニングは、提携各社のサービスを利用します。

(学習利用環境、学習要領など提携各社ごとに異なりますので、あらかじめご了承ください)

- 提携コースeラーニングには、以下のコースがあります。
- Oracleトレーニング・オンデマンド eラーニング
 - アイテック社 情報処理技術者試験対策 eラーニング
 - SBI大学院 eラーニング
 - ライトワークス社 Microsoft Officeシリーズ eラーニング

eラーニングの学習利用環境

eラーニングのコースによって学習利用環境が異なります。

学習利用環境

学習利用環境については、下記のページをご確認ください。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/el/index.html>

eラーニングシステム変更についてのお知らせ

2019年4月からeラーニングシステムの環境が新しく変わりました。これに伴う変更点は下記のとおりです。

(1) オリジナルeラーニングのサービス提供期間終了日

開始日にかかわらずサービス提供期間終了日は各期の当社最終営業日となります。(9月末または3月末)

開始日によっては従来のサービス期間3ヶ月から、最大6ヶ月まで期間が延長されますが、期末に近い開始日では学習期間が短くなりますので、お申し込み時に確認をお願いいたします。

なお、マシン演習付きオリジナルeラーニングと提携コースeラーニングは、従来どおりコースごとに設定されたサービス提供期間で変更はございません。

(2) ご利用時間

メンテナンス日を除き、サービスの提供時間は24時間365日となります。メンテナンスの日程は当社のホームページでお知らせします。

受講レベル確認サービスのご紹介

いつでもどなたでもご利用できるサービスです。事前にコースの前提知識を確認することにより、効果的に受講することができます。また、実力の把握などに活用することもできます。

詳細は、当社のホームページからご利用ください。

お客様の人財育成に役立てていただけるよう適切な体系を考え、また各種スキル標準に沿ったかたちで、さまざまなカリキュラムをご用意しています。36の講座カテゴリーに分類し、体系的に学習し、効率的なスキルアップを図れるよう、コースフローを紹介しています。

コースフロー参照の **POINT!**

講座カテゴリー

JP1

統合システム運用管理ソフトウェア JP1を扱うために必要となる機能や操作、設定方法等の技術が修得できます。バージョン表記の無いコースは、JP1の最新バージョンに対応しています。旧バージョンの製品を限定してご利用したい方は、eラーニングもご用意しています。

修得したいスキルや目標とした内容を表記しています。

各講座カテゴリーの概要を紹介しています。

1 JP1製品の導入を検討する方

2 JP1統合管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

3

コースコード

コース名

1日間

JP1操作入門

JP1認定エンジニア資格対応

JP1認定プロフェッショナル(統合管理)資格対応

JP1277 マシン実習

JP1278/JP1278T レクチャ

JP1操作入門

JP1エンジニア機能概説

JP1操作入門

JP1操作入門

JP1279 マシン実習

JP1280/JP1280T マシン実習

JP1プロフェッショナル 統合管理1-システム監視

JP1プロフェッショナル 統合管理2-システム設定

1日間

2日間

2日間

日立製品

JP1

uCosminexus Application Server

HiRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/VOSK

XDM/PDM II

Hitachi Advanced Data Binder

日立ストレージ

Pentaho

デジタルトランスフォーメーション

IT 活用

イノベーション

IoT/AI/Lumada

ビッグデータ

データ分析

サイバーセキュリティ

RPA

クラウド/サーバ仮想化

IT サービスマネジメント

システム基盤

IT 基本

講座カテゴリー

日立製品研修

- 日立製品**
- JP1
 - uCosminexus Application Server
 - HiRDB
 - OpenTP1
 - VOS3/VOS1/VOSK
 - XDM/PDM II
 - Hitachi Advanced Data Binder
 - 日立ストレージ
 - Pentaho

IT/ビジネス研修

- デジタルトランスフォーメーション**
- IT 活用
 - イノベーション
 - IoT/AI/Lumada
 - ビッグデータ
 - データ分析
 - サイバーセキュリティ
 - RPA
- クラウド/サーバ仮想化**
- IT サービスマネジメント**
- システム基盤**
- IT 基本
 - オープンソースソフトウェア (OSS)
 - Linux
 - Microsoft
 - ネットワーク
 - ハードウェア
 - セキュリティ
 - データベース
- IT 戦略・IS 企画**
- システム開発**
- 要件定義 / 設計
 - モデリング
 - プログラミング
- 情報処理技術者試験対策**
- IT リテラシ**
- プロジェクトマネジメント**
- コンプライアンス**
- ビジネス / ヒューマン**
- グローバル**

コースカリキュラム参照の **POINT!**

コースコード

コース名

分野名

3 JPJ277 JP1

2 マシン実習

1日間

JP1操作入門

JP1の代表的な5製品の基本操作を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- JP1の主要5製品の特徴を説明できる。
- JP1/Automatic Job Management System3 (ジョブ管理)で業務を自動実行するための基本操作ができる。
- JP1/IT Desktop Management2(資産・配布管理)で資産管理をするための基本操作ができる。
- JP1/Cm2/Network Node Manager i(ネットワーク管理)でネットワークの監視をするための基本操作ができる。
- JP1/Performance Management (パフォーマンス管理)で稼働情報を監視するための基本操作ができる。
- JP1/Integrated Management Manager (統合管理)でシステム監視するための基本操作ができる。

対象者 JP1を使用してシステム運用管理をする方。JP1の導入を検討する方。

前置知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語をご存知で、かつMicrosoft Windowsの操作経験があること。

内容

- システム運用管理とJP1
- ジョブ管理の操作入門
- 資産・配布管理の操作入門
- ネットワーク管理の操作入門
- パフォーマンス管理の操作入門
- 統合管理の操作入門

備考

- このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

コースコード

コース名

分野名

2 JPJ300/JPJ300T JP1

1 レクチャ

1日間

JP1コンサルタント 資産・配布管理

JP1資産・配布管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標 JP1資産・配布管理製品の導入・構築のための設計ができる。

対象者 JP1資産・配布管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方。

前置知識 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1、2、3」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- 設計
- 構築
- JP1製品との連携
- 障害事例

備考

- このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、「JP1認定コンサルタント(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
- コースコード: JPJ300 (研修のみ)
- コースコード: JPJ300T (試験付)
- 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

アイコン凡例

1 開催区分

- New** 新設コース
- Renewal** 改訂コース
- 休講 今期の定期開催はありません

2 開催日数/平均学習時間

コースの開催日数となります。eラーニング、自習テキスト・演習環境の場合は平均学習時間を表記しています。

3 学習形態

学習形態により学習利用環境が異なりますので、ホームページをご参照のうえ、事前に環境をご確認ください。

【集合研修】

- 原則として1人1台のマシンを使用しながらの研修
- グループ演習を中心とした研修
- 座学による研修

【eラーニング】

- オリジナルeラーニング**
 - ナビ機能付き eラーニング
 - スキル定着 eラーニング
 - 動画型 eラーニング

【演習環境】

- 職場・ご自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習

マシン演習付きオリジナルeラーニング

【自習テキスト】

- 職場・ご自宅など自習テキストによる自己学習

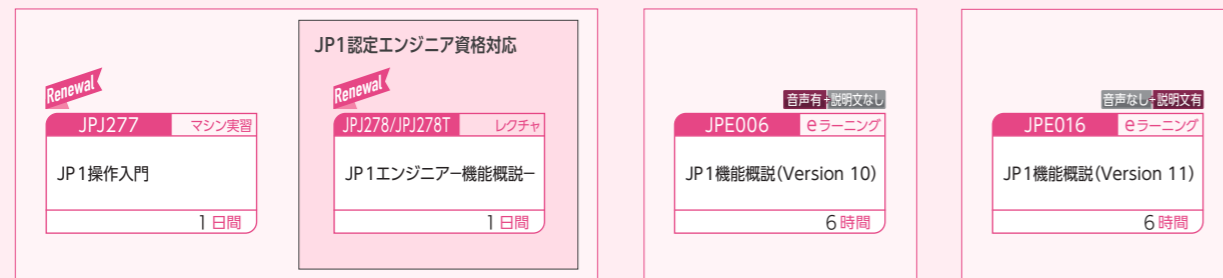
提携コースeラーニング

- Oracleトレーニング・オンデマンド eラーニング
- アイテック社 情報処理技術者試験対策 eラーニング
- SBI大学院 eラーニング
- ライトワークス社 Microsoft Officeシリーズ eラーニング

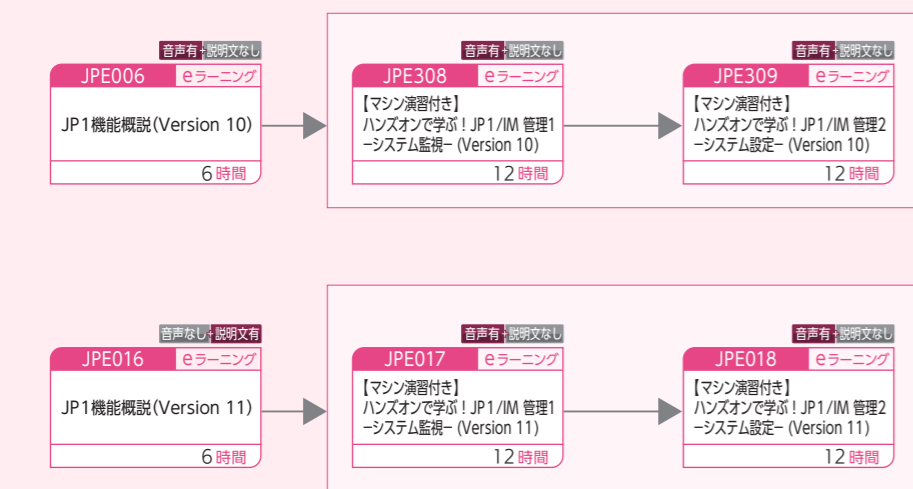
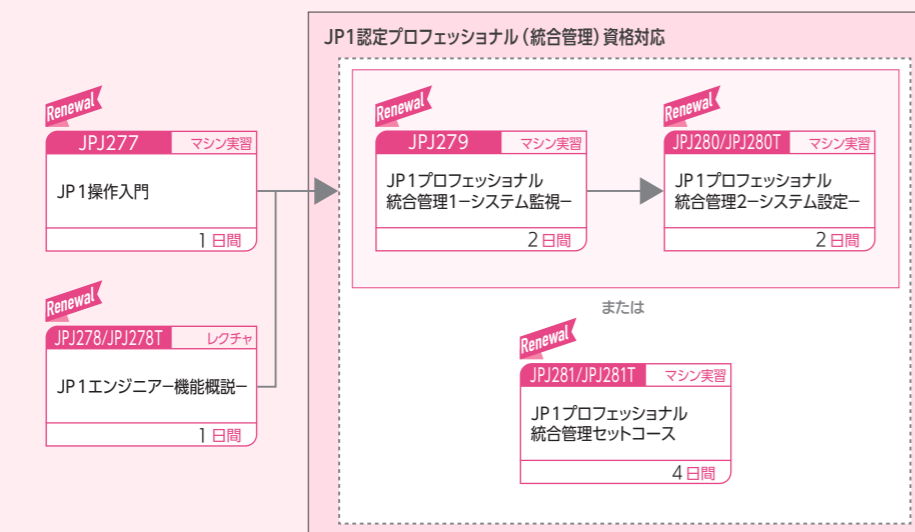
JP1

統合システム運用管理ソフトウェア JP1を扱うために必要となる機能や操作、設定方法等の技術が修得できます。バージョン表記の無いコースは、JP1の最新バージョンに対応しています。旧バージョン製品をご利用の方も受講できます。なお、旧バージョン製品を限定してご利用したい方は、eラーニングもご用意しています。

● JP1 製品の導入を検討する方



● JP1 統合管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

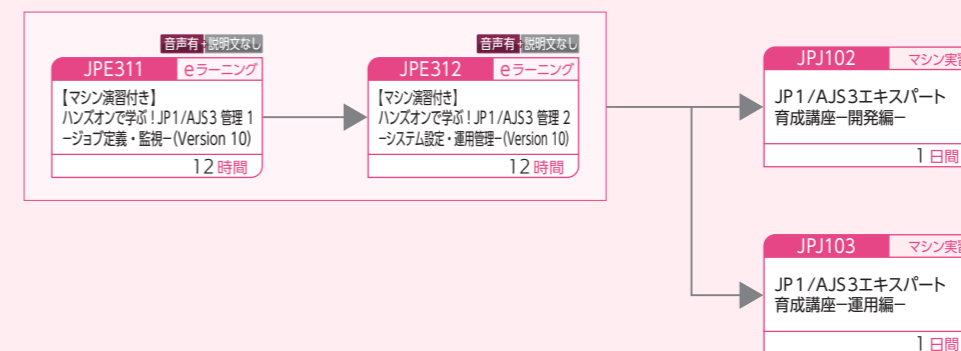
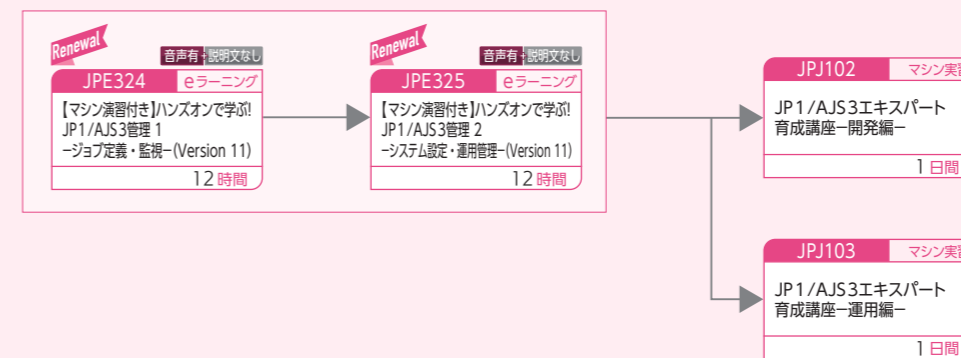
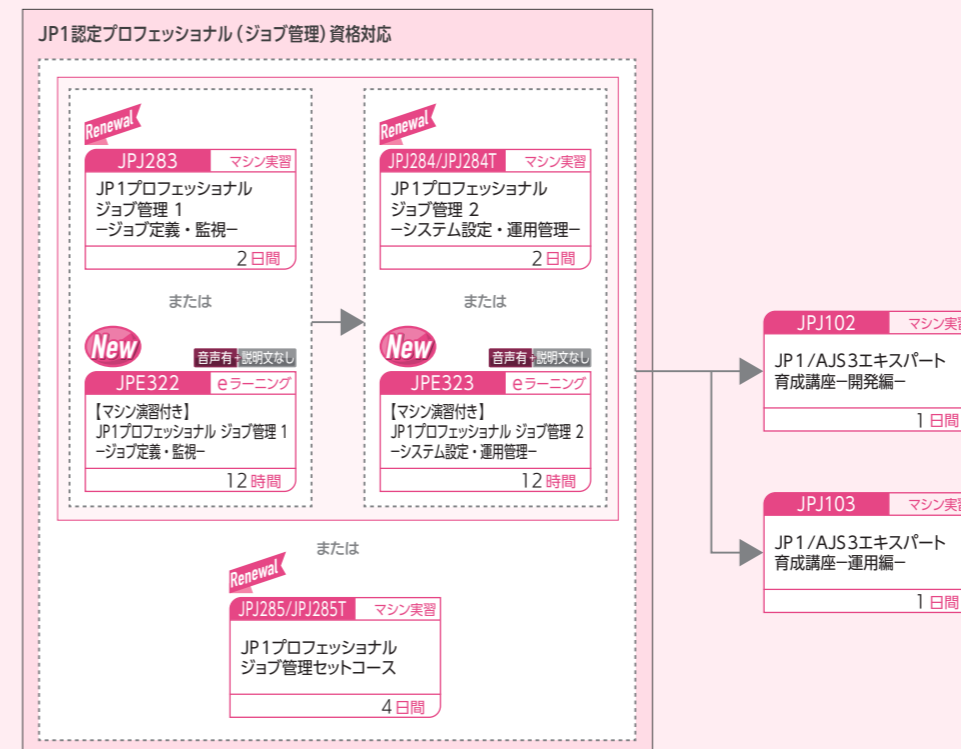
初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシーン実習 (マシン実習) | グループ実習 (グループ実習) | レクチャ (レクチャ) | 演習環境 (演習環境) | eラーニング (eラーニング) | 自習テキスト (自習テキスト)

● JP1 IT運用自動化製品を使用したシステムを構築・運用する方

JPJ286 マシン実習
JP1プロフェッショナル
IT運用自動化
2日間

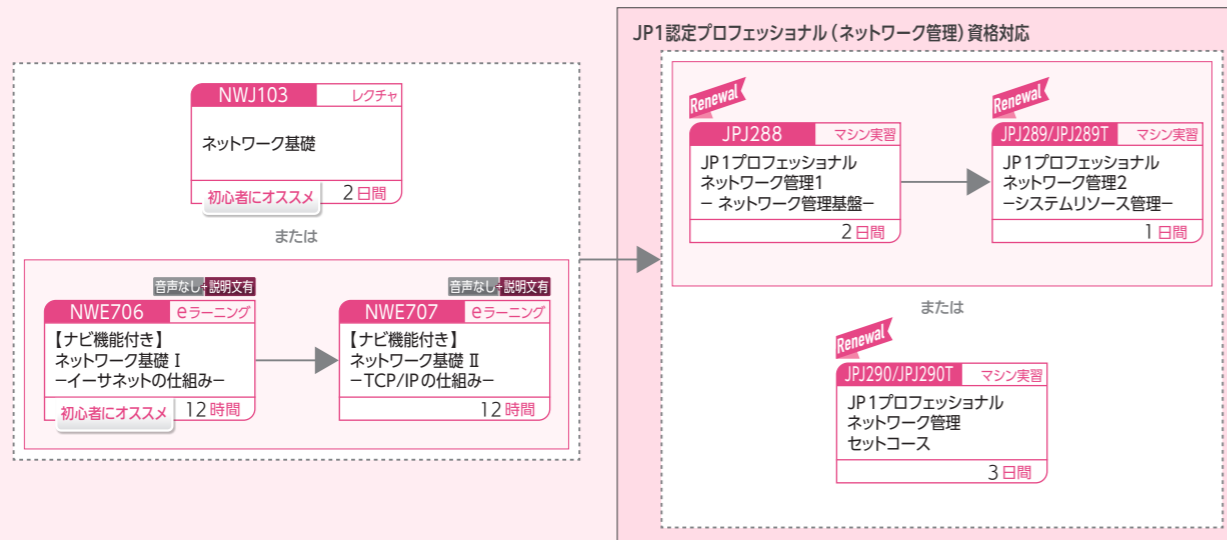
● JP1 ジョブ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



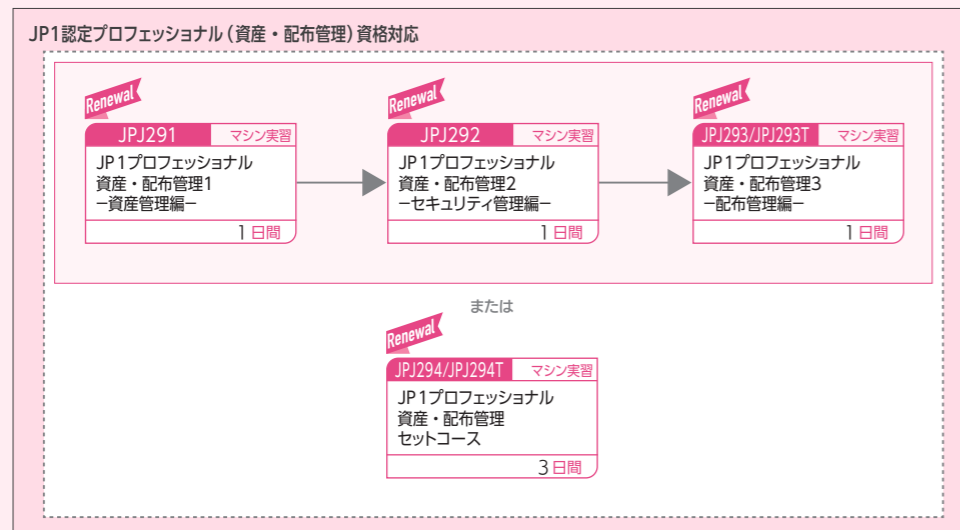
休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

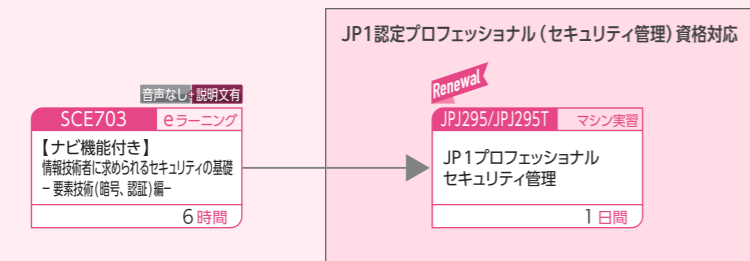
● JP1 ネットワーク管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



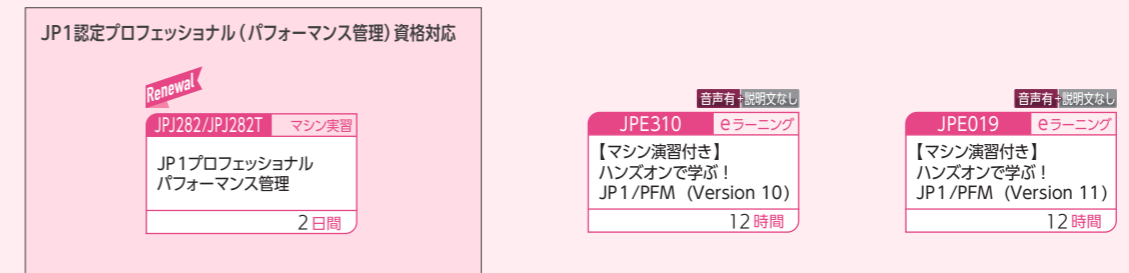
● JP1 資産・配布管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



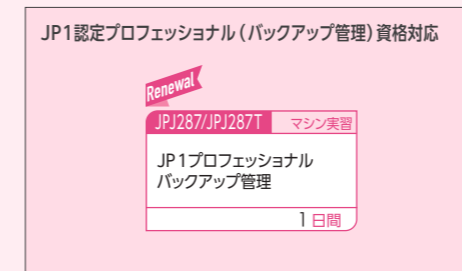
● JP1 セキュリティ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



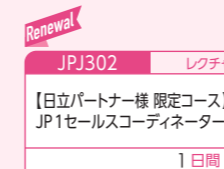
● JP1 パフォーマンス管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



● JP1 バックアップ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



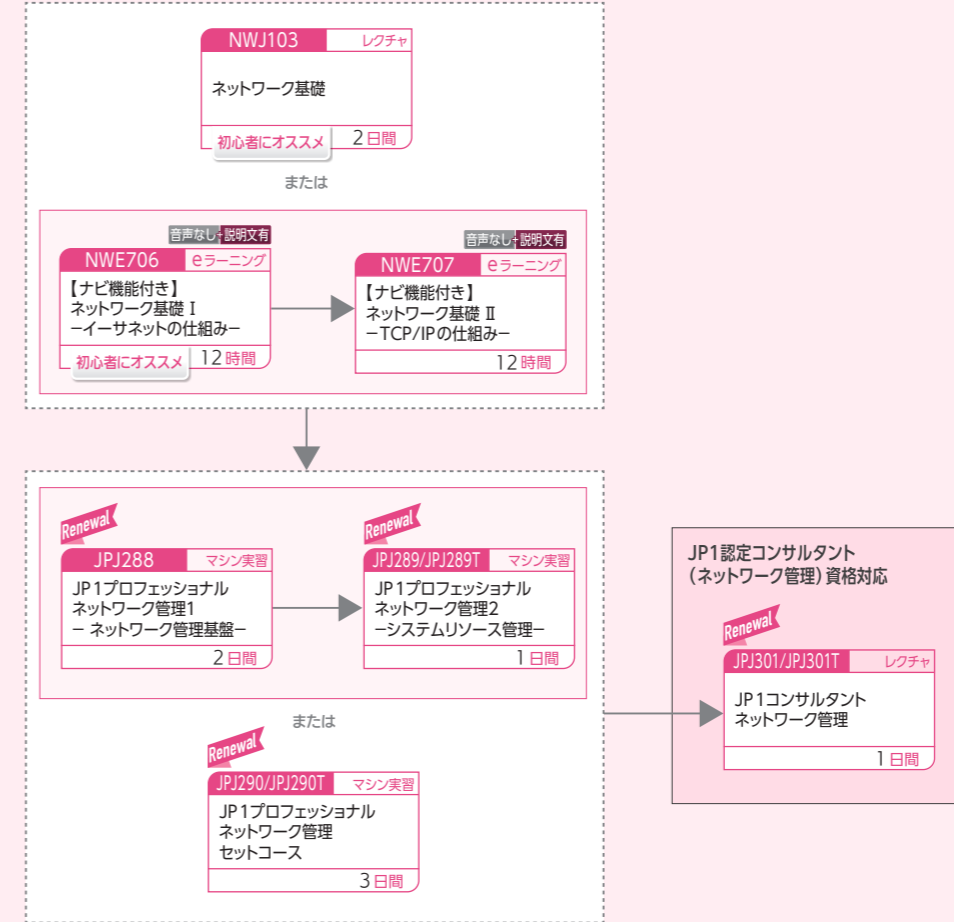
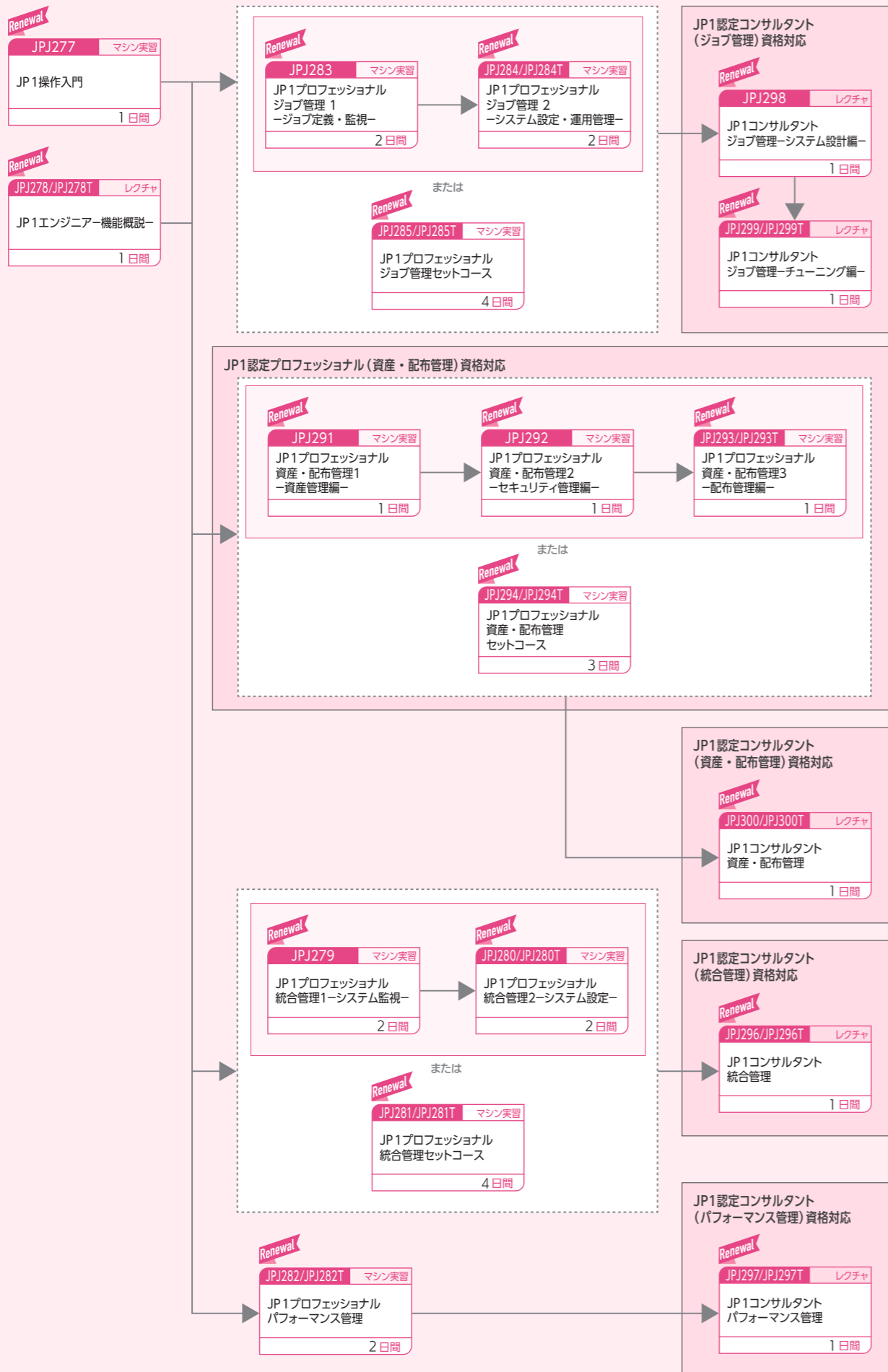
● JP1 の販売に携わる方



音声有+説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
 音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
 音声なし+説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● JP1の各カテゴリ製品のシステム設計をする方



音声有+説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有;説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし;説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者にオススメ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

休講 休講
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント

システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング

情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン

グローバル

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度 ― オープンミドルウェア編

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度(オープンミドルウェア編)は、JP1製品を対象に、一定以上のスキルを有する技術者を日立が認定する制度です。セールスからシステム構築・運用、アプリケーション開発まで目的ごと、さらにレベルごとに資格を設け、「試験」により、厳格・公正な評価基準でそのスキルレベルを認定します。

資格取得をサポート

試験合格をサポートする学習コース「講座」もご用意しております。講座は、試験に準拠した内容となっており、かつ高度な知識やノウハウを体系的・効率的に学べる、と大変好評をいただいております。

信頼と安心の技術者資格認定

資格取得者は、そのスキルレベルを客観的に示すことができ、日立オープンミドルウェア各製品をご利用いただくお客様、ソリューションやサービスを提供する方々から高い信頼と評価を得ることができます。また、人材育成や技術者のテクニカルスキルをはかる尺度としても活用できます。

資格取得者の特典

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度では、資格取得者に対して専用のWebサイトをご用意し、資格のバージョンアップや継続してスキルアップを図るための技術情報をご提供しております。(ご希望の方にはメールでもご案内しております。)また、認定証や名刺に貼ってご利用いただける認定ロゴシールや印刷して使用できるロゴも資格者専用の会員サイトにてご提供しております。

<受験にあたってのお願い>

- 受験当日は、ご本人を確認できる顔写真付き証明書(免許証、従業員証、パスポートなど)を忘れずにご持参ください。ご持参いただかない場合は、受験が無効になることがありますので、ご注意ください。
- 認定試験はマークシート方式のため、鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック製消しゴムをご持参ください。
- 試験付コースをお申し込みの場合は、お申し込みの情報を日立オープンミドルウェア技術者認定センターに提供いたします。

JP1 技術者資格認定試験一覧

	試験名	試験内容	認定基準	試験時間
JP1認定エンジニア	CBT 日立	試験問題20問	70%以上正解	40分
JP1認定プロフェッショナル (各カテゴリ別認定)	CBT 日立	試験問題30問	70%以上正解	60分
JP1認定コンサルタント (各カテゴリ別認定)	CBT 日立	試験問題30問	70%以上正解	60分
JP1認定セールスコーディネーター [※]	CBT 日立	試験問題20問	70%以上正解	30分

CBT CBT試験サービス会社で受験できる試験 **日立** 当社で研修とともに受験できる試験

[※]日立パートナー様のみ受験可能です。

資格認定試験は、(株)日立製作所が提供するものです。

運営は、(株)日立アカデミーおよびCBT試験サービス会社に委託しています。

※受験可能なCBT試験サービス会社は下記のホームページでお確かめください。

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度サイト ▶▶ **JP1** <http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/jp1/event/cert/index.html>

● JP1 技術者資格認定制度の詳細・最新情報について

<http://www.hitachi.co.jp/products/it/cert/middleware/index.html>

● (株)日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 日立オープンミドルウェア技術者認定センター お問い合わせ窓口

https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp

マシン学習 マシンを使用しながらの研修	グループ演習 グループ演習を中心とした研修	レクチャ 座学による研修	演習環境 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習	eラーニング インターネット接続による自己学習	自己テキスト 自習書による自己学習
------------------------	--------------------------	-----------------	----------------------------------	----------------------------	----------------------

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント

システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング

情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン

グローバル

JP1技術者資格認定制度 (Version 12対応)

[※]Version 11については日立オープンミドルウェア技術者認定センターまでお問い合わせください。

JP1技術者資格認定制度は、JP1の一定以上のスキルを有する技術者を日立が認定する制度です。

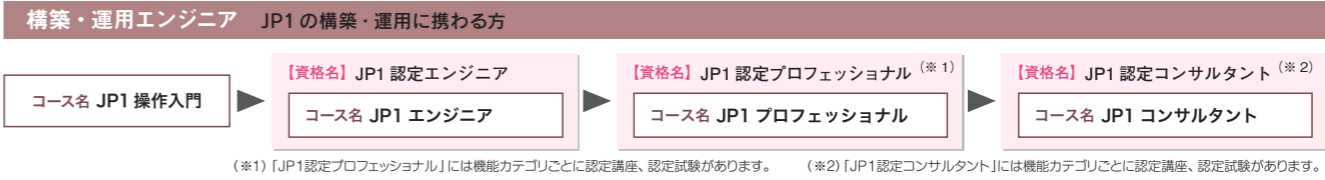
セールスからシステム構築・運用まで目的ごと、さらにレベルごとに資格を設け、「JP1試験」により、厳格・公正な評価基準でそのスキルレベルを認定します。

JP1 技術者資格認定一覧

資格名	認定スキル
JP1認定エンジニア <Certified JP1 Engineer>	JP1全般の理解、および運用に必要なテクニカルスキルを修得したエンジニアを認定します。
JP1認定プロフェッショナル <Certified JP1 Professional>	JP1各カテゴリ製品の導入とシステム構築ができるテクニカルスキルを修得したエンジニアをカテゴリごとに認定します。
JP1認定コンサルタント <Certified JP1 Consultant>	JP1各カテゴリ製品について、最適なコンサルテーションができるテクニカルスキルを修得したエンジニアを、カテゴリごとに認定します。
JP1認定セールスコーディネーター <Certified JP1 Sales Coordinator> [※]	お客様に対し最適なJP1の提案・見積もりができるセールススキルを修得したエンジニアを認定します。

[※]日立パートナー様のみ受験可能です。

JP1 技術者資格認定制度の体系



セールスエンジニア JP1の販売に携わる方






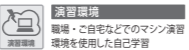


JP1 技術者資格認定制度における出題範囲




試験名	試験の出題範囲
JP1認定エンジニア	「JP1エンジニア機能概説-」(コースコード:JPJ278)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル 統合管理	「JP1プロフェッショナル 統合管理 1-システム監視-」(コースコード:JPJ279)、 「JP1プロフェッショナル 統合管理 2-システム設定-」(コースコード:JPJ280)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル パフォーマンス管理	「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理」(コースコード:JPJ282)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル ジョブ管理	「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-」(コースコード:JPJ283)、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2-システム設定・運用管理-」(コースコード:JPJ284)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル 資産・配布管理	「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1-資産管理編-」(コースコード:JPJ291)、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2-セキュリティ管理編-」(コースコード:JPJ292)、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3-配布管理編-」(コースコード:JPJ293)、のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル ネットワーク管理	「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1-ネットワーク管理基盤-」(コースコード:JPJ288)、 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2-システムリソース管理-」(コースコード:JPJ289)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル バックアップ管理	「JP1プロフェッショナル バックアップ管理」(コースコード:JPJ287)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル セキュリティ管理	「JP1プロフェッショナル セキュリティ管理」(コースコード:JPJ295)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント 統合管理	「JP1コンサルタント 統合管理」(コースコード:JPJ296)、 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1-システム監視-」(コースコード:JPJ279)、 「JP1プロフェッショナル 統合管理 2-システム設定-」(コースコード:JPJ280)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント パフォーマンス管理	「JP1コンサルタント パフォーマンス管理」(コースコード:JPJ297)、 「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理」(コースコード:JPJ282)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント ジョブ管理	「JP1コンサルタント ジョブ管理-システム設計編-」(コースコード:JPJ298)、 「JP1コンサルタント ジョブ管理-チューニング編-」(コースコード:JPJ299)、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-」(コースコード:JPJ283)、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2-システム設定・運用管理-」(コースコード:JPJ284)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント 資産・配布管理	「JP1コンサルタント 資産・配布管理」(コースコード:JPJ300)、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1-資産管理編-」(コースコード:JPJ291)、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2-セキュリティ管理編-」(コースコード:JPJ292)、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3-配布管理編-」(コースコード:JPJ293)、のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント ネットワーク管理	「JP1コンサルタント ネットワーク管理」(コースコード:JPJ301)、 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1-ネットワーク管理基盤-」(コースコード:JPJ288)、 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2-システムリソース管理-」(コースコード:JPJ289)のテキスト内容から出題
JP1認定セールスコーディネーター [※]	「JP1セールスコーディネーター」(コースコード:JPJ302)のテキスト内容から出題 [※]日立パートナー様のみ受験可能です。




休講 **休講**
今期の定期開催はありません




コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>




日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
インバージョン
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者 試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル




 マシン実習 マシンを使用しながらの研修	 グループ演習 グループ演習を中心とした研修	 レクチャ 座学による研修	 演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習	 eラーニング インターネット接続による自己学習	 自習テキスト 自習書による自己学習
--	--	---	---	--	---




 マシン実習	 レクチャ	
JPJ277	JP1	
JP1操作入門		
1日間		
JP1の代表的な5製品の基本操作を、マシン実習を通して学習します。		
到達目標	・ JP1の主要5製品の特徴を説明できる。 ・ JP1/Automatic Job Management System3（ジョブ管理）で業務を自動実行するための基本操作ができる。 ・ JP1/IT Desktop Management2（資産・配布管理）で資産管理をするための基本操作ができる。 ・ JP1/Network Node Manager i（ネットワーク管理）でネットワークの監視をするための基本操作ができる。 ・ JP1/Performance Management（パフォーマンス管理）で稼働情報を監視するための基本操作ができる。 ・ JP1/Integrated Management 2 - Manager（統合管理）でシステム監視するための基本操作ができる。	
対象者	JP1を使用してシステム運用管理をする方。JP1の導入を検討する方。	
前提知識	オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語をご存知で、かつMicrosoft Windowsの操作経験があること。	
内 容	1. システム運用管理とJP1 2. ジョブ管理の操作入門 3. 資産・配布管理の操作入門 4. ネットワーク管理の操作入門 5. パフォーマンス管理の操作入門 6. 統合管理の操作入門	
備考	・ このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・ このコースは、最新のバージョンに対応します。 ・ 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 ・ マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。	




 マシン実習	 レクチャ	
JPJ280/JPJ280T	JP1	
JP1プロフェッショナル 統合管理 2 –システム設定–		
2日間		
JP1/Integrated Management 2 (JP1/IM) のインストール、設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。		
到達目標	・ インストールする上で必要な製構成を説明できる。 ・ 認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。 ・ マネージャ・エージェントを構築できる。 ・ ログファイル監視の設定ができる。 ・ 監視ツールの作成やカスタマイズができる。 ・ ビジュアル監視の設定ができる。	
対象者	JP1/IMのシステム構築をする方。JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。	
前提知識	「JP1プロフェッショナル 統合管理 1–システム監視–」コースを修了しているか、または同等の知識があること。	
内 容	1. 統合管理の概要 2. 統合管理の導入 (1)インストール (2)IMデータベースの構築 (3)サービスの起動・終了 3. JP1イベントの集中管理設定 (1)構成管理設定 (2)JP1イベントの転送設定 (3)リモート監視構成管理の設定 4. ユーザー管理機能 (1)ユーザー 認証の設定 (2)認証サーバの閉塞 (3)ユーザーマッピングの設定 5. 監視対象の設定 (1)アプリケーションが出力するログの監視 (2)Windowsイベントログの監視 (3)リモート監視ホストのログ監視 (4)イベントストーム発生時のイベント転送抑制設定 6. 監視画面の設定 (1)セントラルスコープのセットアップ (2)監視ツール画面の設定 (3)ビジュアル監視画面の設定	
備考	・ このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・ このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（統合管理）」資格に準拠したコースです。 ・ このコースは、最新のバージョンに対応します。 ・ マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・ 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 ・ このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ280（研修のみ） コースコード：JPJ280T（試験付） ・ 試験付コースは、研修終了後（16：30以降）にJP1試験を行います。 ・ 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 ・ JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。	

 マシン実習	 レクチャ	
JPJ278/JPJ278T	JP1	
JP1エンジニア機能概説–		
1日間		
すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。		
到達目標	・ JP1製品の特徴が説明できる。 ・ 各管理製品ごどのような製品があるか説明できる。 ・ 各管理の主要製品の主な機能を説明できる。	
対象者	JP1製品の導入を検討する方、JP1のシステム構築・販売する方、JP1認定エンジニア資格の取得をめずす方。	
前提知識	オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があること。	
内 容	1. JP1の基礎知識 2. Intelligence 3. Intelligent Monitoring 4. Intelligent Automation 5. Intelligent Governance	
備考	・ このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・ このコースは、「JP1認定エンジニア」資格に準拠したコースです。 ・ このコースは、最新のバージョンに対応します。 ・ マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・ 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 ・ このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ278（研修のみ） コースコード：JPJ278T（試験付） ・ 試験付コースは、研修終了後（16：30以降）にJP1試験を行います。 ・ 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 ・ JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。	




 マシン実習	 レクチャ	
JPJ279	JP1	
JP1プロフェッショナル 統合管理 1 –システム監視–		
2日間		
JP1/Integrated Management 2 (JP1/IM) を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。		
到達目標	セントラルコントロールとセントラルスコープの概要を説明できる。 ・ 各管理製品の概要を説明できる。 ・ セントラルコントロール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。 ・ イベント監視ページのカスタマイズができる。 ・ セントラルコントロールに表示するイベントの設定（フィルター設定）ができる。 ・ 自動アクションの設定ができる。 ・ 重要イベントページのカスタマイズができる。 ・ 必要なイベントを検索できる。 ・ 他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。 ・ コマンド実行の操作ができる。	
対象者	JP1/IMを使用してシステムを監視する方。JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。	
前提知識	「JP1エンジニア機能概説–」コース、または「JP1操作入門」コースを修了しているか、または同等の知識があること。	
内 容	1. 統合管理の全体像 2. システム監視 (1)システム監視の基本操作 (2)繰り返しイベントの表示抑制 (3)フィルターによるJP1イベントの絞り込み 3. システム障害の検知 (1)自動アクション (2)ローカルアクション (3)重要イベントページ (4)ビジュアル監視 (5)監視ツール 4. システム障害の調査・対処 (1)ガイド情報の表示 (2)メモ情報の設定 (3)コマンド実行	
備考	・ このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・ このコースは、「JP1認定プロフェッショナル」資格に準拠したコースです。 ・ このコースは、最新のバージョンに対応します。 ・ 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 ・ マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。	




 マシン実習	 レクチャ	
JPJ282/JPJ282T	JP1	
JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理		
2日間		
ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management (JP1/PFM) 製品の機能について、マシン実習を通して学習します。		
到達目標	・ JP1/PFMのインストールとセットアップができる。 ・ パフォーマンスデータの収集ができる。 ・ レポート、アラームの作成、操作ができる。 ・ 統合コントロールとの連携設定ができる。	
対象者	JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方。JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。	
前提知識	オペレーティングシステムや各種サーバーの基礎的な知識があること。	
内 容	1. アプリケーション管理の概要 2. JP1/PFMによる稼働情報の監視 (1)監視コントロールサーバへのログイン (2)サーバの稼働監視 (3)アラームによる稼働監視 (4)レポートによるパフォーマンスデータの参照 3. JP1/PFMのシステム構築 (1)JP1/PFMのシステム構築 (2)JP1/PFMのインストールとセットアップ (3)JP1/PFM-RMのセットアップ（エージェントレス構成） (4)JP1/PFMの起動と停止 (5)ユーザーアカウントの管理 4. 監視エージェントの設定 (1)エージェント階層の設定 (2)パフォーマンスデータの収集設定 (3)レポート定義のカスタマイズ (4)新規レポートの定義 5. アラームの設定 (1)アラームの概要 (2)アラームガイドでのアラームの作成 (3)アラーム階層でのアラーム作成 (4)プロセス、サービスの稼働状況監視 (5)複数アラームテーブルの監視 (6)稼働状況のサマリ表示 6. 統合コントロールとの連携 (1)統合コントロールとの連携の概要 (2)サーバ稼働管理と統合コントロールの連携	
備考	・ このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・ このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（パフォーマンス管理）」資格に準拠したコースです。 ・ このコースは、最新のバージョンに対応します。 ・ マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・ 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 ・ このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ282（研修のみ） コースコード：JPJ282T（試験付） ・ 試験付コースは、研修終了後（16：30以降）にJP1試験を行います。 ・ 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 ・ JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。	




 マシン実習	 レクチャ	
JPJ283	JP1	
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 –ジョブ定義・監視–		
2日間		
JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3) を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。		
到達目標	・ JP1/AJS3の機能概要が説明できる。 ・ 自動化する業務（ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ）の定義ができる。 ・ 運用スケジュール（運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど）の設定ができる。 ・ 業務を実行する条件（イベント監視、起動条件）の定義ができる。 ・ ジョブネットの実行（即時、計画、確定）および監視（ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況）の操作ができる。	
対象者	JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。	
前提知識	Windowsの基本的な操作経験があること。	
内 容	1. JP1/AJS3の概要 2. 業務の自動化 (1)ジョブ定義 (2)即時実行登録 (3)ジョブ実行状況の監視 3. スケジュールに基づいた業務の自動運用 (1)カレンダー情報の設定 (2)スケジュール設定 (3)計画/確定実行登録 (4)実行スケジュールの確認 4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用 (1)ファイル更新契機のジョブの実行 (2)起動条件の設定 5. 業務の実行監視	
備考	・ このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・ このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（ジョブ管理）」資格に準拠したコースです。 ・ このコースは、最新のバージョンに対応します。 ・ マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・ 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。	

 eラーニング	 マシン実習	
JPE322	JP1	
<eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1–ジョブ定義・監視–		
12時間		
JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)の業務自動化定義や監視操作を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。		
到達目標	・ JP1/AJS3の機能概要が説明できる。 ・ 自動化する業務（ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ）の定義ができる。 ・ 運用スケジュール（運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど）の設定ができる。 ・ 業務を実行する条件（イベント監視、起動条件）の定義ができる。 ・ ジョブネットの実行（即時、計画、確定）および監視（ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況）の操作ができる。	
対象者	・ JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方。 ・ JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。	
前提知識	Windowsの基本的な操作経験があること。	
内 容	1. JP1/AJS3の概要 2. 業務の自動化 (1)ジョブ定義 (2)即時実行登録 (3)ジョブ実行状況の監視 3. スケジュールに基づいた業務の自動運用 (1)カレンダー情報の設定 (2)スケジュール設定 (3)計画/確実行登録 (4)実行スケジュールの確認 4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用 (1)ファイル更新契機のジョブの実行 (2)起動条件の設定 5. 業務の実行監視 6. 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません) ・ サービス有効期間は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必要です。） ・ このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必要です。） ・ このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。このコースのマシン演習環境を利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・ このコースは、最新バージョンに対応しております。 ・ 旧バージョンをご利用の方もご受講できます。 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・ 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご確認ください。 ・ 学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・ このコースは、「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1–ジョブ定義・監視–」コース（集合研修）と同等内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないうちにご注意ください。 ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。	

休講	休講 今期の定期開催はありません
-----------	---------------------

 マシン実習	 レクチャ	
JPJ284/JPJ284T	JP1	
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 –システム設定・運用管理–		
2日間		
JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3) のインストール、設定、運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。		
到達目標	・ JP1/AJS3製品のインストールができる。 ・ エージェントの追加・変更ができる。 ・ JP1/AJS3を操作するためのユーザー情報の設定ができる。 ・ ジョブネットの定義の選定・回復、運用状況監視の操作ができる。 ・ 運用中のジョブネットの変更（ジョブネット変更・リリース管理）ができる。	
対象者	JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。	
前提知識	「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1–ジョブ定義・監視–」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。	
内 容	1. JP1/AJS3のインストール (1)JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View 2. ジョブ実行環境の設定 (1)エージェント管理機能の設定 3. ユーザー管理機能の設定 (1)JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング 4. JP1/AJS3システムの運用 (1)複数スケジュールサービス (2)スケジュールサービス参照制限 (3)実行エージェントの制限 (4)同時接続数制限 5. ジョブネットの運用 (1)ジョブネット定義の選定・回復 (2)運用中のジョブネット変更 (3)運用状況の監視	
備考	・ このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・ このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（ジョブ管理）」資格に準拠したコースです。 ・ このコースは、最新のバージョンに対応します。 ・ マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・ 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 ・ このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ284（研修のみ） コースコード：JPJ284T（試験付） ・ 試験付コースは、研修終了後（16：30以降）にJP1試験を行います。 ・ 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 ・ JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。	

 マシン実習	 レクチャ	
JPJ285/JPJ285T	JP1	
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 セットコース		
4日間		
JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3) を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/AJS3のインストール・設定・運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。		
●このコースは、セットコースのご案内となります。各コースの詳細情報をご参照ください。		
<JPJ283>	JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1–ジョブ定義・監視–	
<JPJ284/JPJ284T>	JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2–システム設定・運用管理–	
備考	・ このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・ このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（ジョブ管理）」資格に準拠したコースです。 ・ このコースは、最新のバージョンに対応します。 ・ マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・ 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。 ・ このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 コースコード：JPJ285（研修のみ） コースコード：JPJ285T（試験付） ・ 試験付コースは、研修終了後（16：30以降）にJP1試験を行います。 ・ 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 ・ JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。	

 マシン実習	 レクチャ	
JPJ286	JP1	
JP1プロフェッショナル IT運用自動化		
2日間		
JP1/Automatic Operation (JP1/AO) を使用してIT運用自動化のための定義や監視を行う機能をマシン実習を通して学習します。		
到達目標	・ JP1/AOの概要が説明できる。 ・ JP1/AOのインストールができる。 ・ サービスの登録、設定、実行の操作ができる。 ・ サービステンプレートの作成、部品の作成、カスタマイズができる。 ・ JP1/Navigation Platform (JP1/NP)と連携した運用ができる。	
対象者	JP1/AOを使用してシステム構築・運用管理をする方。	
前提知識	Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。	
内 容	1. JP1/AOの概要 2. 設計と構築 3. JP1/AO運用 4. サービステンプレートの作成 5. JP1/NPとの連携	
備考	・ このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・ このコースは、最新のバージョンに対応します。 ・ マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・ 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。	

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
インバージョン
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者 試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

JPJ288 JP1

JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 –ネットワーク管理基礎–

ネットワーク接続機器の監視、管理を行うJP1/Network Node Manager i (JP1/NNMI) 製品の機能について、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/NNMI のシステム構成と基本機能を説明できる。
- ・JP1/NNMI のインストール後のセットアップができる。
- ・監視環境の構築（検出、ポーリング設定）ができる。
- ・インシデントの管理ができる。

対象者

- ・JP1/NNMI を使用したネットワーク管理、システム構築を行う方。
- ・JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識

「ネットワーク基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。「ネットワーク管理概説と演習」コースを修了しているか、ネットワーク管理プロトコルであるSNMPに関する知識があること。

内容

- JP1によるネットワーク管理の概要
 - JP1によるネットワーク管理
 - ネットワーク管理オプション製品
 - JP1/NNMIを使ったネットワーク管理の概要
- セットアップ
 - システム構成
 - ユーザアカウントの作成
 - 通信の基本設定
 - 監視対象の登録
 - ノードの登録
 - 管理モード
 - ノードグループの作成
- 障害監視・性能監視
 - 障害監視の動作
 - 監視設定
 - 性能情報の利用
- インシデント管理
 - インシデントの監視
 - インシデントへの対応
 - インシデント管理の設定

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（ネットワーク管理）」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、最新のバージョンに対応します。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

JPJ289/JPJ289T JP1

JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 –システムリソース管理–

JP1/SNMP System Observer (JP1/SSO) を使用したサーバのリソース管理、プロセス監視の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/SSOのシステム構成と基本機能を説明できる。
- ・JP1/SSOのインストールができる。
- ・システムリソースの参照、収集設定ができる。
- ・プロセスリソースの状態監視、監視設定ができる。
- ・JP1/NNMIとの連携設定ができる。

対象者

- ・JP1/SNMP System Observer (JP1/SSO) を使用してサーバのリソース管理、プロセス管理を行う方。
- ・JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識

「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1–ネットワーク管理基礎–」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- JP1によるリソース管理の概要
- セットアップ
 - システム構成
 - 監視マネジ、監視サーバ、リモート操作端末のセットアップ
 - SSOコンソールのユーザ認証
- システムリソース管理
 - システムリソースの収集、参照
 - レポート機能
- プロセスおよびサービス監視
 - 監視設定、状態参照

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（ネットワーク管理）」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、最新のバージョンに対応します。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
- ・コースコード：JPJ289（研修のみ）
- ・コースコード：JPJ289T（試験付）
- ・試験付コースは、研修終了後（16：30以降）にJP1試験を行います。
- ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ290/JPJ290T JP1

JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース

ネットワーク接続管理の監視、管理を行うJP1/Network Node Manager i (JP1/NNMI) 製品の機能について、マシン実習を通して学習します。また、JP1/SNMP System Observer (JP1/SSO) を使用したサーバのリソース管理、プロセス監視の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。各コースの詳細情報をご参照ください。

<JPJ288>
JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 –ネットワーク管理基礎–

<JPJ289/JPJ289T>
JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 –システムリソース管理–

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（ネットワーク管理）」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、最新のバージョンに対応します。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
- ・コースコード：JPJ290（研修のみ）
- ・コースコード：JPJ290T（試験付）
- ・試験付コースは、研修終了後（16：30以降）にJP1試験を行います。
- ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ291 JP1

JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1 –資産管理編–

JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用した資産管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・コンピュータなどの機器の状態を把握してメンテナンスができる。
- ・ハードウェア資産やソフトウェアのライセンス過不足の状況を把握できる。

対象者

- ・JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用してコンピュータの資産管理を実施する方。
- ・JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識

Microsoft Windowsを操作できること。

内容

- 資産管理の概要
- JP1/ITDM2の導入
- 機器管理
- リモートコントロール
- 資産管理
- Asset Console

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（資産・配布管理）」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、最新のバージョンに対応します。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

JPJ292 JP1

JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2 –セキュリティ管理編–

JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用したセキュリティ管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

セキュリティ状況の把握と対策を検討できる。

対象者

- ・JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用してコンピュータのセキュリティ管理を実施する方。
- ・JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識

Microsoft Windowsを操作できること。

内容

- セキュリティ管理の概要
- セキュリティポリシーの作成
- セキュリティ状況の確認
- 更新プログラムの管理
- ネットワークの接続制御
- スマートデバイス管理

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（資産・配布管理）」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、最新のバージョンに対応します。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

JPJ293/JPJ293T JP1

JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3 –配布管理編–

JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用した配布管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

パッチやファイルをコンピュータに配布し、インストールできる。

対象者

- ・JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用してコンピュータの配布管理を実施する方。
- ・JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識

Microsoft Windowsを操作できること。

内容

- 配布管理の概要
- リモートインストールマネージャを利用した配布
- ITDM互換配布

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（資産・配布管理）」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、最新のバージョンに対応します。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
- ・コースコード：JPJ293（研修のみ）
- ・コースコード：JPJ293T（試験付）
- ・試験付コースは、研修終了後（16：30以降）にJP1試験を行います。
- ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

マシン実習

マシンを使用しながらの研修

グループ演習

グループ演習を中心とした研修

レクチャ

座学による研修

演習環境

職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習

eラーニング

インターネット接続による自己学習

自己テスト

自習書による自己学習

JPJ294/JPJ294T JP1

JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース

JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用した資産管理、セキュリティ管理、配布管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。各コースの詳細情報をご参照ください。

<JPJ291>
JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1 –資産管理編–

<JPJ292>
JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2 –セキュリティ管理編–

<JPJ293/JPJ293T>
JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3 –配布管理編–

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（資産・配布管理）」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、最新のバージョンに対応します。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
- ・コースコード：JPJ294（研修のみ）
- ・コースコード：JPJ294T（試験付）
- ・試験付コースは、研修終了後（16：30以降）にJP1試験を行います。
- ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ296/JPJ296T JP1

JP1コンサルタント 統合管理

JP1統合管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標

JP1統合管理製品の導入・構築のための設計ができる。

対象者

- ・JP1統合管理製品の導入・構築コンサルタントを行う方。
- ・JP1認定コンサルタント資格（統合管理）の取得をめざす方。

前提知識

「JP1プロフェッショナル 統合管理 1–システム監視–」コースおよび「JP1プロフェッショナル 統合管理 2–システム設定–」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- JP1による運用管理システムの構築工程
- 想定する顧客システムの構成
- 要件定義
- 設計
- 構築作業
- 運用に向けて
- 障害事例

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定コンサルタント（統合管理）」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、最新のバージョンに対応します。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
- ・コースコード：JPJ296（研修のみ）
- ・コースコード：JPJ296T（試験付）
- ・試験付コースは、研修終了後（16：30以降）にJP1試験を行います。
- ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

休講

今期の定期開催はありません

JPJ295/JPJ295T JP1

JP1プロフェッショナル セキュリティ管理

JP1/秘文を使用したセキュリティ管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/秘文のシステム構成と基本機能を説明できる。
- ・JP1/秘文のインストールとセットアップができる。
- ・秘文DCによる持ち出し/読み込み制御の操作ができる。
- ・秘文DEによるHD、リムーバブルディスク、ファイルの暗号化の操作ができる。
- ・秘文 Serverの設定と操作ができる。

対象者

- ・JP1/秘文を使用してセキュリティ管理を行う方。
- ・JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識

セキュリティの基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容

- JP1/秘文の概要
- 秘文DC、秘文Serverの主要機能
- 秘文DEの主要機能
- 秘文DE (FS)、秘文 Sever (ファイルサーバ)の主要機能
- 秘文Server (秘文LM)
- 秘文DPの主要機能

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（セキュリティ管理）」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、最新のバージョンに対応します。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
- ・コースコード：JPJ295（研修のみ）
- ・コースコード：JPJ295T（試験付）
- ・試験付コースは、研修終了後（16：30以降）にJP1試験を行います。
- ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ297/JPJ297T JP1

JP1コンサルタント パフォーマンス管理

JP1パフォーマンス管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標

JP1パフォーマンス管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を修得できる。

対象者

- ・JP1パフォーマンス管理製品の導入・構築コンサルタントを行う方。
- ・JP1認定コンサルタント（パフォーマンス管理）資格の取得をめざす方。

前提知識

「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- パフォーマンス管理の導入事例
- 想定するお客様とシステムの概要
- 稼働監視システムの運用サイクル
- 稼働監視システムの設計
- 環境構築
- 運用に向けた留意事項
- 他のJP1製品との連携
- 障害事例

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定コンサルタント（パフォーマンス管理）」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、最新のバージョンに対応します。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
- ・コースコード：JPJ297（研修のみ）
- ・コースコード：JPJ297T（試験付）
- ・試験付コースは、研修終了後（16：30以降）にJP1試験を行います。
- ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ287/JPJ287T JP1

JP1プロフェッショナル バックアップ管理

JP1/VERITAS NetBackupによるバックアップ管理機能を理解し、その使い方を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/VERITAS NetBackupの主な機能を説明できる。
- ・JP1/VERITAS NetBackupのシステム構成を説明できる。
- ・JP1/VERITAS NetBackupのインストールと環境設定ができる。
- ・バックアップジョブとリストアジョブを作成し実行できる。
- ・JP1/VERITAS NetBackupを使用してバックアップ管理を行う方。
- ・JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識

Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。また、一般的なバックアップの基礎知識があること。

内容

- JP1/VERITAS NetBackupの概要
 - バックアップとリストアの基礎知識
 - JP1/VERITAS NetBackupの製品概要
 - JP1/VERITAS NetBackupのシステム構成
- インストールと環境設定
 - JP1/VERITAS NetBackupのインストール
 - JP1/VERITAS NetBackupの環境設定
- バックアップとリストア
 - JP1/VERITAS NetBackupによるデータバックアップ
 - JP1/VERITAS NetBackupによるデータのリストア
- 高度なバックアップ

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（バックアップ管理）」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、最新のバージョンに対応します。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
- ・コースコード：JPJ287（研修のみ）
- ・コースコード：JPJ287T（試験付）
- ・試験付コースは、研修終了後（16：30以降）にJP1試験を行います。
- ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ298 JP1

JP1コンサルタント ジョブ管理 –システム設計編–

JP1/AJS3を中心としたジョブ設計、運用設計に関する知識を学習します。要件の確認からシステム設計、ジョブ運用までの一連の流れを学習します。

到達目標

JP1/AJS3を中心としたジョブ設計、運用設計に関する知識を修得できる。

対象者

- ・JP1ジョブ管理製品の導入・構築コンサルタントを行う方。
- ・JP1コンサルタント資格（ジョブ管理）をめざす方。

前提知識

「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1–ジョブ定義・監視–」、「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2–システム設計・運用管理–」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- 顧客要件の確認
- システム設計
- JP1設計ポイント
- トラブルシューティング

備考

- ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定コンサルタント（ジョブ管理）」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、最新のバージョンに対応します。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

ITリテラシ

プロジェクト マネジメント

コンプライアンス

CSE302 uCosminexus Application Server

<eラーニング>【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 入門-構築基礎-

6時間

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの構築手法を学習します。uCosminexus Application ServerのインストールからWebシステムの構築までを扱います。

到達目標

- ・uCosminexus Application Serverの機能概要を説明できる。
- ・uCosminexus Application Serverを用いた基本的な構成のWebシステムを構築できる。

対象者

uCosminexus Application Serverを用いてWebシステムを構築する方、uCosminexus Application Serverの導入を検討している方。

前提知識

Webアプリケーションに関する基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容

1. アプリケーションサーバ概要
2. uCosminexus Application Serverシステム構築の流れ
3. uCosminexus Application Serverのインストール
4. セットアップウィザードを用いたシステム構築
5. 運用管理ポータルを用いた操作・設定
6. 修了試験

備考

- ・サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf
- ・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、集合研修「uCosminexus Application Server 入門-構築基礎-」コース(CSJ017)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、【マシン演習付き】<eラーニング>Cosminexus エンジニア アプリケーションサーバシステム構築基礎-」コースの名称を変更したものです。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CSE303 uCosminexus Application Server

<eラーニング>【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 実践1-設計・構築-

12時間

uCosminexus Application Serverを用いたシステムの設計・構築・運用に必要なノウハウを学習します。

到達目標

- ・要件にあった運用方法や信頼性確保手順を説明できる。
- ・システム構築に使用するパラメータを設計できる。
- ・システムの構築・運用ができる。

対象者

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの設計・構築をする方。

前提知識

【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 入門-構築基礎-Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにWebシステムの構築または運用に携わった経験があること。

内容

1. 作業概要とシステム基本構成
2. システム基本設計
3. システム詳細設計
4. システム構築
5. 修了試験

備考

- ・サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf
- ・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、集合研修「uCosminexus Application Server 実践 1-設計・構築-」コース(CSJ018)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CSE304 uCosminexus Application Server

<eラーニング>【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 実践2-トラブルシュート-

6時間

uCosminexus Application Serverを用いたシステムのトラブルシュートについて学習します。トラブルが発生したときの対処方法を理解できます。

到達目標

- ・トラブルシュートの流れを説明できる。
- ・代表的なトラブルについて、原因を切り分けができる。

対象者

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの障害対応をする方、JavaEEアプリケーションの開発をする方。

前提知識

【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 実践 1-設計・構築-Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにJavaEEアプリケーション開発に携わった経験があること。

内容

1. トラブルシュートの概要
2. トラブルシュート手順
3. 代表的なトラブルの原因切り分け方法
4. 修了試験

備考

- ・サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf
- ・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、旧「uCosminexus Application Server 実践 2-トラブルシュート-」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CSE001 uCosminexus Application Server

<eラーニング>uCosminexus Application Server 実践3-性能設計・性能対策-

6時間

uCosminexus Application Server を用いたWebシステムにおいて、要件を満たす性能設計、性能対策について学習します。

到達目標

- ・性能設計と性能検証の関係について説明できる。
- ・要件を満たす性能設計ができる。
- ・ボトルネックの要因を分析し、性能対策ができる

対象者

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの性能設計および性能対策をする方。

前提知識

【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 実践 1-設計・構築-」および【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 実践 2-トラブルシュート-」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 性能設計と性能検証
2. 性能設計
3. 性能検証とチューニング
4. 修了試験

備考

- ・学習終了日は3月31日になります。
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
- ・このコースは、旧「uCosminexus Application Server実践3-性能設計・性能対策-」コース(集合研修)をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

マシ演習
マシンを使用しながらの研修

グループ演習
グループ演習を中心とした研修

レクチャ
座学による研修

演習環境
職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習

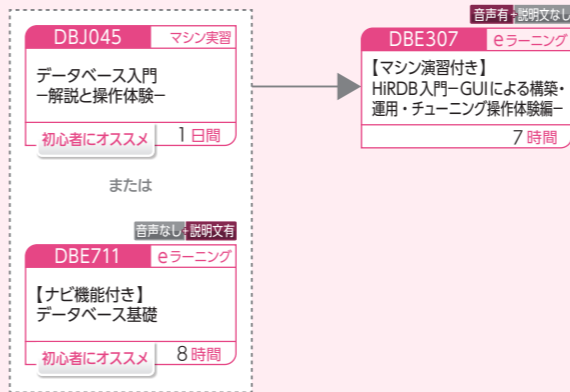
eラーニング
インターネット接続による自己学習

自己テキスト
自習書による自己学習

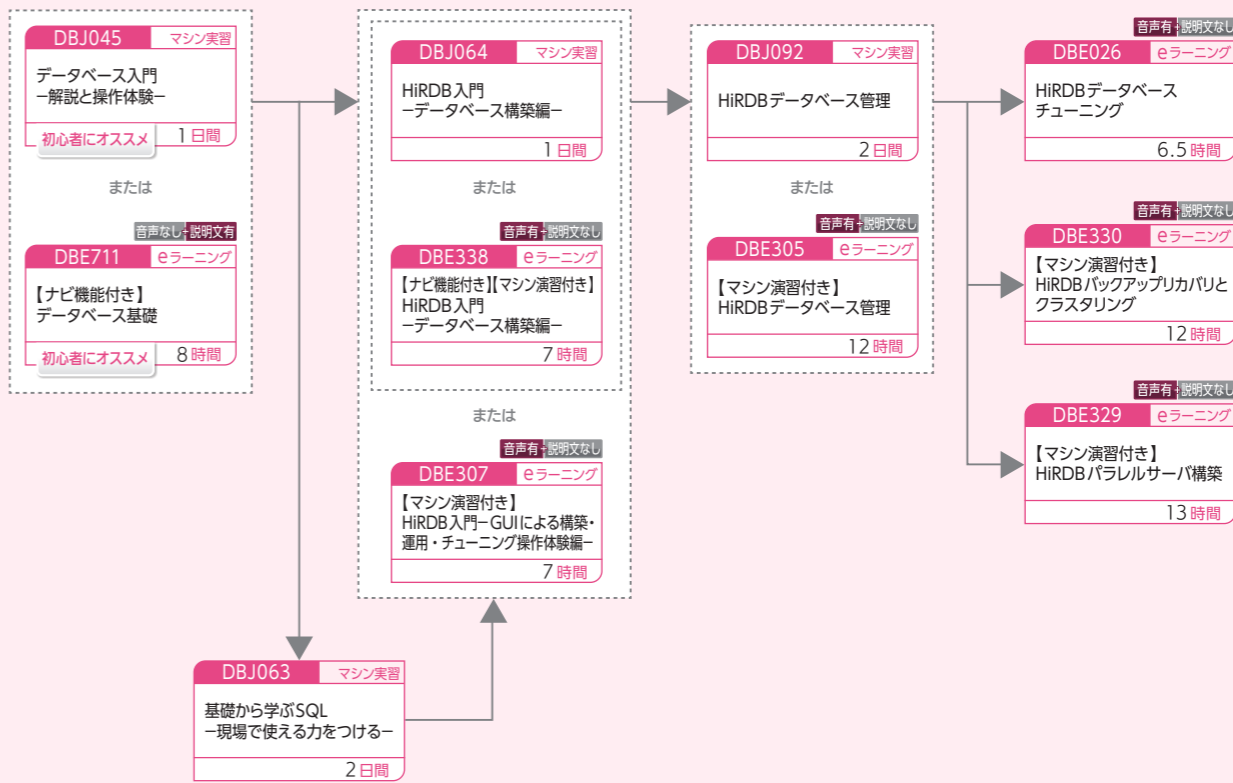
HiRDB

データベースマネジメントシステムであるHiRDBのシステム運用やアプリケーション開発を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

● HiRDBが提供するGUIツールの操作概要を修得したい方



● HiRDBを使用してデータベースを構築・運用する方

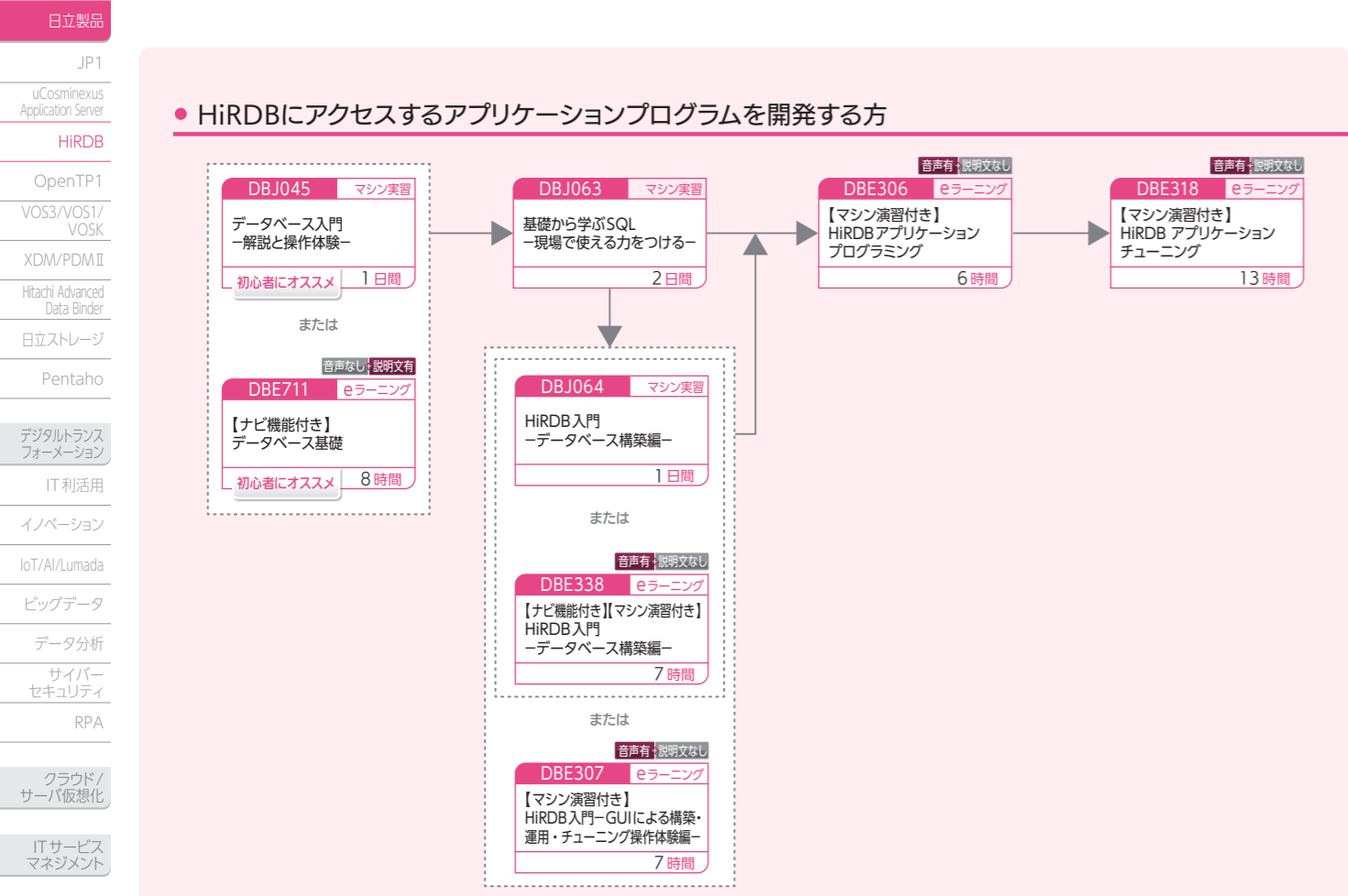


- 音声有/説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有/説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし/説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

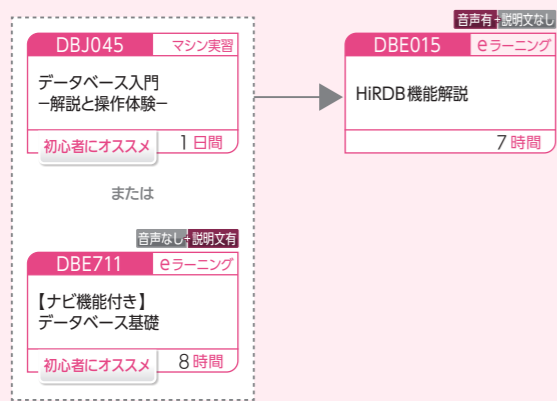
初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>



● HiRDBの機能概要を修得したい方



DBJ064 HiRDB
HiRDB入門
-データベース構築編-
1日間

HiRDBを初めて使用するにあたって必要なHiRDBのアーキテクチャや、HiRDBにおけるユーザ・表・インデックスの概念、およびその定義方法に関する基礎知識を学習します。HiRDB講座の導入コースとしてお薦めです。

到達目標
・ HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。
・ 定義系SQLを用いて、HiRDB上にユーザ、スキーマ、テーブル、ビュー、インデックスを作成できる。

対象者
HiRDBシステムの基礎的な知識を必要とする方、現在HiRDBの導入を検討している方。

前置知識
「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
1. HiRDBの概要
2. HiRDBインストール
3. HiRDB環境設定
4. HiRDBの開始と終了
5. ユーザの作成
6. スキーマの作成
7. 表の作成
8. インデックスの作成

備考
・ このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
・ マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。

DBE338 HiRDB
<eラーニング>
【ナビ機能付き】【マシン演習付き】
HiRDB入門-データベース構築編-
7時間

HiRDBを初めて使用するにあたって必要なHiRDBのアーキテクチャやHiRDBにおけるユーザ・表・インデックスに関する基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。HiRDB講座の導入コースとしてお薦めです。

到達目標
・ HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。
・ 定義系SQLを用いて、HiRDB上にユーザ、スキーマ、テーブル、ビュー、インデックスを作成できる。

対象者
ITエンジニア職、若手・中堅HiRDB初学者の方で、データベース構築を基礎から学習したい方。

前置知識
「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
1. HiRDBの概要
2. HiRDBのインストール
3. HiRDBの環境設定
4. HiRDBの開始と終了
5. ユーザの作成
6. スキーマの作成
7. 表の作成
8. インデックスの作成
9. 修了試験

備考
・ サービス有効期限は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・ このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・ このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
・ 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご確認ください。
・ 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
・ このコースは、「HiRDB入門-データベース構築-」コースと同一内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE307 HiRDB
<eラーニング>【マシン演習付き】
HiRDB入門-GUIによる構築・運用・
チューニング操作体験編-
7時間

HiRDBのGUIツールによる操作体験を通して、HiRDBの環境構築から運用・チューニングまでの概要を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・ 各種GUIツールの概要を理解し説明できる。
・ HiRDBの構築から運用・チューニングまでの概要を理解し説明できる。

対象者
HiRDBを使用したシステムの提案・構築・運用・アプリケーション開発に携わる方。

前置知識
「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
1. HiRDBの概要
2. HiRDBのアーキテクチャ
3. データベースの構築
4. HiRDBの開始/終了
5. ユーザ管理
6. 表とインデックスの作成
7. データロード
8. RDエリアのメンテナンス
9. パフォーマンスチューニング
10. バックアップ/リカバリ/オプション
11. 修了試験

備考
・ サービス有効期限は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・ このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・ このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
・ 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご確認ください。
・ 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
・ このコースは、旧「HiRDB入門-GUIによる構築・運用・チューニング操作体験-」コース(集合研修)をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE015 HiRDB
<eラーニング>
HiRDB機能解説
7時間

HiRDBの特長、システム構成およびデータベース活用のための各種機能について学習します。

到達目標
・ HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。
・ HiRDBシステムの各種機能の概要を理解し説明できる。

対象者
HiRDBシステムの設計・運用を行う方、HiRDBシステムの導入を検討している方。

前置知識
「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
1. 並列データベースの技術
2. HiRDBの概要
3. データベースの構造
4. HiRDBの各種機能
5. 修了試験

備考
・ 学習終了日は3月31日になります。
・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ092 HiRDB
HiRDBデータベース管理
2日間

HiRDBのデータベース物理設計から環境構築、定期的な運用(バックアップ/リカバリ、再編成、セキュリティ等)など、データベース管理者として必要な基礎知識を学習します。

到達目標
・ HiRDBシステムの設計を行える。
・ HiRDBのコマンドを用いHiRDBシステムを構築できる。
・ HiRDBシステムの基本的な管理作業の概要を理解し説明できる。

対象者
HiRDBのデータベース管理者としての基本的な知識を必要とする方。

前置知識
「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
1. HiRDBのアーキテクチャ
2. 構築と運用要件の確認
3. データベース設計
4. データベース構築
5. データベースセキュリティ
6. データベースの運用と保守
7. トラブルシューティング

備考
・ このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
・ このコースは、「HiRDBプラットフォームエンジニアデータベース管理-」コースの名称を変更したものです。

DBE305 HiRDB
<eラーニング>【マシン演習付き】
HiRDBデータベース管理
12時間

HiRDBのデータベース物理設計から環境構築、定期的な運用(バックアップ/リカバリ、再編成、セキュリティ等)など、データベース管理者として必要な基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・ HiRDBシステムの設計を行える。
・ HiRDBのコマンドを用い、HiRDBシステムを構築できる。
・ HiRDBシステムの基本的な管理作業の概要を理解し、説明できる。

対象者
HiRDBのデータベース管理者としての基本的な知識を必要とする方。

前置知識
「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
1. HiRDBのアーキテクチャ
2. 構築と運用要件の確認
3. データベース設計
4. データベース構築
5. データベースセキュリティ
6. データベースの運用と保守
7. トラブルシューティング
8. 修了試験

備考
・ サービス有効期限は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・ このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・ このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
・ 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご確認ください。
・ 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
・ このコースは、「【マシン演習付き】<eラーニング>HiRDBプラットフォームエンジニアデータベース管理-」コースと同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
・ このコースは、「【マシン演習付き】<eラーニング>HiRDBプラットフォームエンジニアデータベース管理-」コースの名称を変更したものです。
・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

HIRDB

DBE306	HIRDB
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>マシン演習</div></div><div><div></div><div>マシン演習</div></div></div></div></div> <div>マシンの演習</div>	
6時間	
 <div>HIRDBにアクセスするアプリケーションを開発するために必要な知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。</div>	

到達目標	各種アプリケーション開発技術を用い、HIRDBにアクセスするアプリケーションを作成できる。
対象者	HIRDBにアクセスするアプリケーションを開発する方。
前提知識	「基礎から学ぶSQL－現場で使える力をつける－」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. HIRDBのアーキテクチャ 2. HIRDBのアプリケーションプログラミング概要 3. 表のデータ型 4. アプリケーションプログラムの実装 5. ストアドプロシージャ、ストアドファンクションとトリガー 6. データベースセキュリティ 7. 修了試験
備 考	・サービス有効期限は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、集合研修「HIRDBアプリケーションプログラミング」コース(DBJ093)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、「[マシン演習付き]<eラーニング>HIRDBアプリケーションエンジニアデータベースプログラミング」コースの名称を変更したものです。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE330	HIRDB
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>マシン演習</div></div><div><div></div><div>マシン演習</div></div></div></div></div> <div>マシンの演習</div>	
12時間	
 <div>HIRDBを安定して運用するための技術や、各種障害に応じたりカバリ方法およびクラスタリング (系切り替え) 技術を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。</div>	
到達目標	・HIRDBシステムに対する各種バックアップ・リカバリ作業を行える。 ・HIRDBシステムに対するクラスタリング技術の概要を理解し、説明できる。
対象者	HIRDB管理者として障害対策に関する知識を必要とする方。
前提知識	「HIRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. バックアップリカバリとクラスタリングの概要 2. バックアップリカバリにあたっての基礎知識 3. データベースのバックアップ 4. データベースのリカバリ 5. システムファイルの障害対処 6. クラスタリングの概要 7. クラスタリング環境の構築と運用 8. 修了試験
備 考	・サービス有効期限は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・マシン演習は、Microsoft Windows環境で行います。クラスタリングに関するマシン演習はありません。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE026	HIRDB
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>マシン演習</div></div><div><div></div><div>マシン演習</div></div></div></div></div> <div>マシンの演習</div>	
6.5時間	
 <div>HIRDBを効率良く運用するために必要なパフォーマンス診断や、チューニング方法を学習します。</div>	

到達目標	HIRDBサーバ上の各種要素に対するパフォーマンス診断、チューニング方針を理解し、説明できる。
対象者	HIRDBのパフォーマンスチューニングの知識を必要とする方。
前提知識	「HIRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. パフォーマンスチューニング概要 2. データベース設計 3. グローバルバッファのチューニング 4. ログバッファのチューニング 5. SQLオブジェクトバッファのチューニング 6. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

到達目標	HIRDBサーバ上の各種要素に対するパフォーマンス診断、チューニング方針を理解し、説明できる。
対象者	HIRDBのパフォーマンスチューニングの知識を必要とする方。
前提知識	「HIRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. パフォーマンスチューニング概要 2. データベース設計 3. グローバルバッファのチューニング 4. ログバッファのチューニング 5. SQLオブジェクトバッファのチューニング 6. 修了試験
備 考	・サービス有効期限は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、集合研修「HIRDBアプリケーションプログラミング」コース(DBJ093)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、「[マシン演習付き]<eラーニング>HIRDBアプリケーションエンジニアデータベースプログラミング」コースの名称を変更したものです。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE329	HIRDB
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>マシン演習</div></div><div><div></div><div>マシン演習</div></div></div></div></div> <div>マシンの演習</div>	
13時間	
 <div>HIRDBパラレルサーバを使ったHIRDBシステムの構築や運用に必要な基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。</div>	

到達目標	・HIRDB/パラレルサーバシステムの物理設計ができる。 ・HIRDB/パラレルサーバシステムの構築ができる。 ・HIRDB/パラレルサーバシステムが持つ機能について理解し、説明できる。
対象者	HIRDBのデータベース管理者としてHIRDB/パラレルサーバシステムの構築に関する知識を必要とする方。
前提知識	「HIRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. HIRDB/パラレルサーバのアーキテクチャ (1)HIRDB/パラレルサーバの構成 (2)HIRDB/パラレルサーバの特長 (3)HIRDB/パラレルサーバの採用基準 2. 要件確認 (1)要件確認の目的 (2)要件確認項目一覧 (3)項目の確認および調査 (4)BES数見積もりに必要な項目の確認および調査 3. BESとFESの配置方針と必要台数の見積り (1)基本的なサーバの配置方針 (2)BESの配置および必要台数の決定 (3)FESの配置および必要台数の決定 4. リソースの配置方針と容量見積り (1)リソースの配置方針 (2)容量見積り 5. データベース構築手順 (1)サーバベース構築手順 (2)サーバマシン環境・データベース環境の決定 (3)システム定義ファイルの作成 (4)HIRDBファイルシステム領域の作成 (5)システムファイルの作成 (6)RDエリアの作成とHIRDBシステムの開始 (7)表の定義 6. HIRDB/パラレルサーバのその他の機能 (1)高性能を実現するHIRDB/パラレルサーバの機能 (2)HIRDB/パラレルサーバシステムにおけるHAクラスタ 7. 修了試験
備 考	・サービス有効期限は21 日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

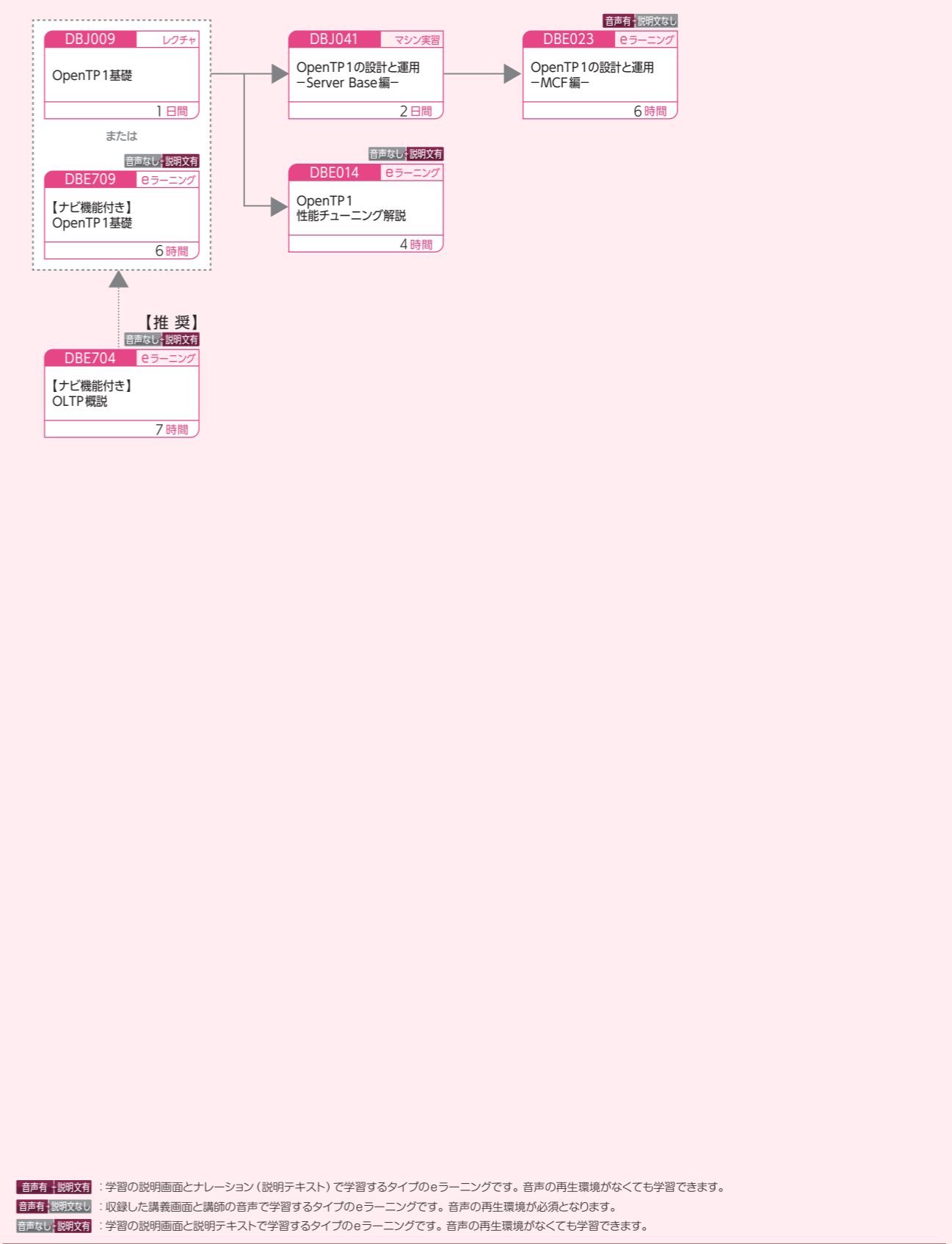
DBE318	HIRDB
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>マシン演習</div></div><div><div></div><div>マシン演習</div></div></div></div></div> <div>マシンの演習</div>	
13時間	
 <div>HIRDBに適した処理効率の良い業務アプリケーションの開発技術や、アプリケーションのパフォーマンス診断およびチューニング方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。</div>	

到達目標	・応用的なSQLを用い、HIRDBを効率的に使用するための技術を実装できる。 ・HIRDBに接続するアプリケーションの、パフォーマンス診断、チューニング作業を行える。
対象者	HIRDBにアクセスする処理効率の良いアプリケーションの開発技術が必要とする方。
前提知識	【[マシン演習付き] HIRDBアプリケーションプログラミング】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. SQLコーディングテクニック (1) 応用的なSQL (2) APの保守性/性能を高めるためのSQLの書き方 2. 排他制御 (1) 排他制御の概要 (2) Isolationレベルの制御 (3) デッドロック対策 3. アクセス効率の良いアプリケーションプログラムの作成 (1) アクセシバ (2) SQLとインデックス (3) SQL最適化 4. SQLチューニング (1) 統計情報の収集 (2) SQLチューニング (3) HIRDB SQL Tuning Advisorを使用したSQLチューニング 5. 修了試験
備 考	・サービス有効期限は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、集合研修「HIRDBアプリケーションチューニング」コース(DBJ095)と同等の内容です。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OpenTP1

TPモニターであるOpenTP1システムの構築や運用、およびアプリケーションを開発するうえで必要となる知識と技術が修得できます。

● OpenTP1を使用してOLTPシステムを構築・運用・設計する方



音声有 + 説明文有	：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有 + 説明文なし	：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし + 説明文有	：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
初心者にオススメ	：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

休 講 休 講
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

81

DBJ009 OpenTP1

OpenTP1基礎

1日間

OLTPシステムの構築に必要なOLTPの基礎知識、およびTPモニタとしてのOpenTP1の役割、構成、機能を学習します。

到達目標

- ・トランザクションの定義を説明できる。
- ・OLTPを説明できる。
- ・OpenTP1の機能を説明できる。

対象者 OpenTP1システムを構築・管理する方、OpenTP1システムにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 OS、データベースおよびネットワークの基礎知識があること。

内容

1. OLTPの基礎知識
 - (1) クライアントサーバシステム
 - (2) OLTPの基礎知識
 - (3) インターネット連携
2. OpenTP1の機能
 - (1) アプリケーション間の通信形態
 - (2) リモートプロシジャコール (RPC)
 - (3) メッセージ送受信形態
 - (4) メッセージキューイング形態
 - (5) OpenTP1のプロセス制御
 - (6) トランザクション制御
3. OpenTP1の日常的な運用
 - (1) システムファイル
 - (2) OpenTP1の開始および終了

備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

DBE709 OpenTP1

<eラーニング> [ナビ機能付き] OpenTP1基礎

6時間

OLTPシステムを構築するにあたり必要となるOLTPの基礎知識、およびTPモニタとしてのOpenTP1の役割、構成、機能について学習します。

到達目標

- ・トランザクションの特徴とOLTPについて理解し説明できる。
- ・OpenTP1の役割、構成、機能について理解し説明できる。

対象者 OpenTP1システムを構築および管理する方、OpenTP1システムにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 【【ナビ機能付き】OLTP概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. OLTPの基礎知識
 - (1) クライアントサーバシステム
 - (2) OLTPの基礎知識
 - (3) OpenTP1の特徴
 - (4) インターネット連携
2. OpenTP1の機能
 - (1) アプリケーション間の通信形態
 - (2) リモートプロシジャコール
 - (3) メッセージ送受信形態
 - (4) メッセージキューイング形態
 - (5) OpenTP1のプロセス制御
 - (6) トランザクション制御
 - (7) OpenTP1のソフトウェア製品
3. OpenTP1の日常的な運用
 - (1) システムファイル
 - (2) OpenTP1の運用

備考

- ・学習終了日は3月31日になります。
- ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ041 OpenTP1

OpenTP1の設計と運用 -Server Base編-

2日間

OpenTP1によるOLTPシステムの構築に必要なOpenTP1のシステムの作成、運用方法を学習します。

到達目標

- ・OpenTP1のコマンドを用いOpenTP1システムを構築できる。
- ・OpenTP1システムの基本的な管理ができる。

対象者 OpenTP1システムを構築する方、OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. OpenTP1の概要
2. OpenTP1システム構築
3. システムファイルの作成
4. システム定義の作成
5. リソースマネージャの登録
6. OpenTP1の運用
7. ユーザーバの設定と運用
8. システムファイルの障害対策
9. OpenTP1クライアントの設定

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

DBE023 OpenTP1

<eラーニング> OpenTP1の設計と運用 -MCF編-

6時間

MCFを使用するOpenTP1のシステムの作成、運用方法について学習します。

到達目標

- ・OpenTP1のコマンドを用い、MCFの機能を実装したOpenTP1システムを構築できる。
- ・MCFの機能を実装したOpenTP1システムの基本的な管理作業ができる。

対象者 OpenTP1システムを構築する方、OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1設計と運用-Server Base編-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. メッセージ送受信形態
2. OpenTP1システムの構築
3. ネットワークコミュニケーション定義の作成
4. OpenTP1の運用
5. 修了試験

備考

- ・学習終了日は3月31日になります。
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE014 OpenTP1

<eラーニング> OpenTP1性能チューニング解説

4時間

OpenTP1における性能見積りの考え方と、さまざまな性能チューニング方法について学習します。

到達目標

- ・OpenTP1における性能見積りの考え方を理解し説明できる。
- ・さまざまな性能チューニング方法を理解し説明できる。

対象者 OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. OpenTP1の通信性能
2. OpenTP1のトランザクション性能
3. OpenTP1のプロセス・メモリ性能
4. OpenTP1の性能全般
5. 修了試験

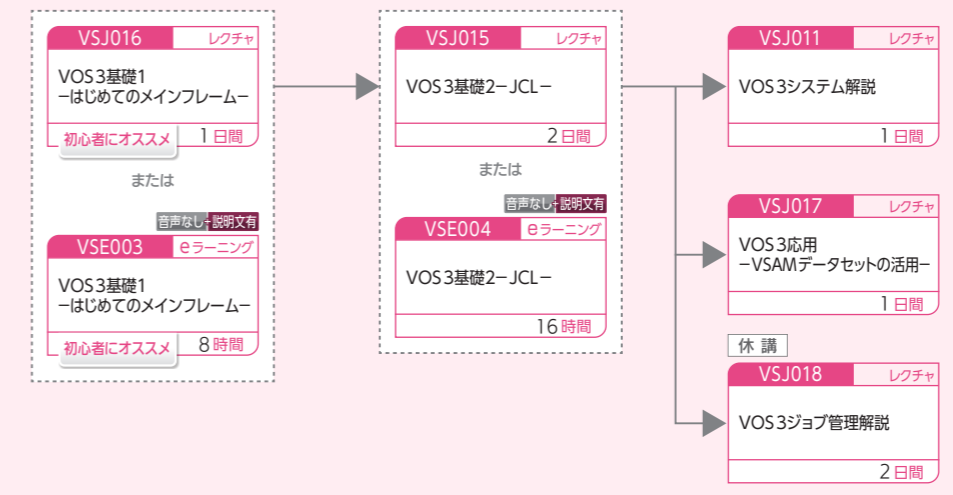
備考

- ・学習終了日は3月31日になります。
- ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

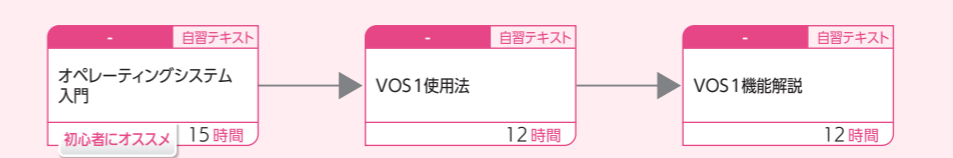
VOS3/VOS1/VOSK

日立メインフレーム OSであるVOS3、VOS1、VOSKの使用法や機能、システム運用管理技術が修得できます。

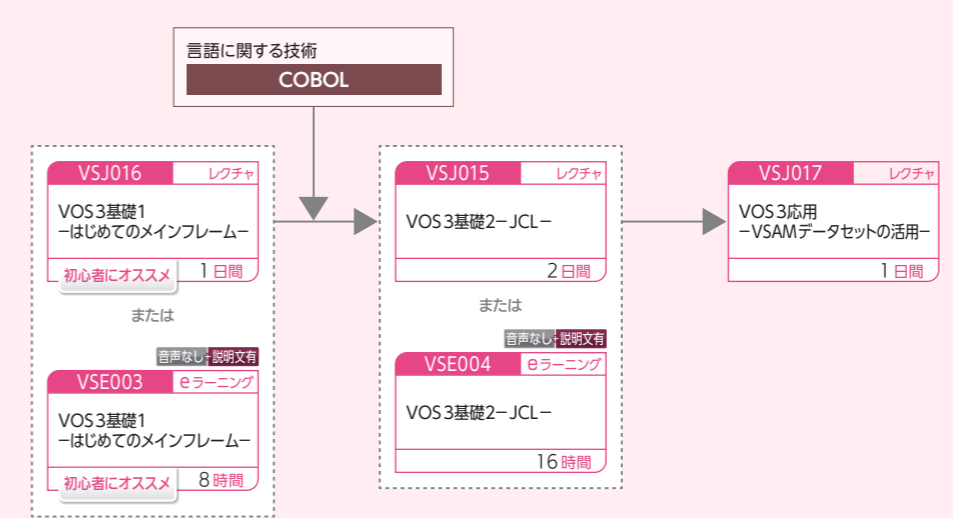
● VOS3システムの運用設計および実装・運用する方



● VOS1システムの運用設計および実装・運用する方



● VOS3システムでアプリケーションを開発する方



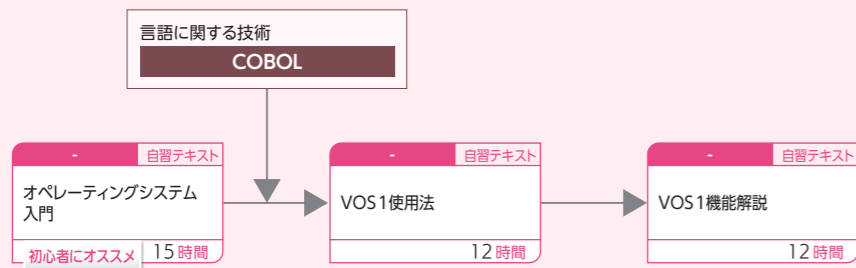
音声有+説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし+説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

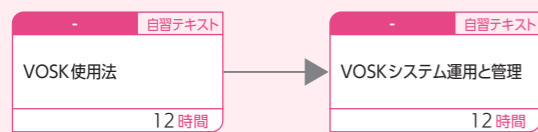
休講 休講 今期の定期開催はありません

- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDM II
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- IT 利活用
- イノベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- IT サービス マネジメント
- システム基盤
- IT 基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT 戦略・IS 企画
- システム開発
- 要件定義 / 設計
- モデリング
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクト マネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス / ヒューマン
- グローバル

● VOS1システムでアプリケーションを開発する方



● VOSKシステムの運用設計および実装・運用する方



- 音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



VOS3/VOS1/VOSK

オペレーティングシステム入門 (自習テキスト)

平均15時間

オペレーティングシステムの基本概念、構成要素とその機能、およびハードウェアの関連知識を学習します。

到達目標

- ・オペレーティングシステムの目的や構成を説明できる。
- ・プログラムの翻訳、結合・編集を説明できる。
- ・入力リダー、ジョブスケジューラ、出力ライタの役割が説明できる。
- ・入出力装置、ボリューム、データセットを説明できる。
- ・ファイル編成とアクセス方法を説明できる。
- ・マルチプログラミングのしくみを説明できる。

対象者 VOS3およびVOS1システムのシステム設計、またはプログラミングを行う方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. オペレーティングシステムとはなにか
2. プログラムの翻訳、結合・編集
3. ジョブの実行過程
4. データ入出力のしくみ
5. マルチプログラミングのしくみ

備考 お申し込みについては、下記URLをご覧ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

VSJ015 VOS3/VOS1/VOSK

VOS3基礎2-JCL-

2日間

VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL (ジョブ制御文) や、システムメッセージリストの見方を学習します。

到達目標

- ・JCL (ジョブ制御文) の役割を説明できる。
- ・JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。
- ・システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。

対象者 VOS3システムでJCL (ジョブ制御文) を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。

前提知識 「VOS3基礎1-はじめてのメインフレーム-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. JCL (ジョブ制御文) の役割
2. ジョブの実行過程
3. ジョブ制御文
 - (1) JOB文
 - (2) EXEC文
 - (3) DD文
4. システムメッセージリストの見方

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、旧「VOS3使用法」コース(集合研修)と同等の内容です。すでにご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。

休講 休講 今期の定期開催はありません

VSJ016 VOS3/VOS1/VOSK

VOS3基礎1 -はじめてのメインフレーム-

1日間

メインフレームシステムの構成要素 (ハードウェア/ソフトウェア)、および日立メインフレームのオペレーティングシステムであるVOS3の基本的な機能を学習します。

到達目標

- ・メインフレームシステムの概要を説明できる。
- ・メインフレームシステムのデータ管理方式を説明できる。
- ・メインフレームシステムでのプログラム開発手順を説明できる。
- ・メインフレームシステムでのジョブの実行手順を説明できる。
- ・メインフレームシステムの運用管理機能を説明できる。

対象者 はじめてVOS3を学習する方で、今後アプリケーション開発や運用・管理をする方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. メインフレームシステムの概要
2. メインフレームシステムのデータ管理方式
3. メインフレームシステムでのプログラム開発手順
4. メインフレームシステムでのジョブの実行手順
5. メインフレームシステムの運用管理機能

備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

VSE004 VOS3/VOS1/VOSK

<eラーニング> VOS3基礎2-JCL-

16時間

VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL (ジョブ制御文) や、システムメッセージリストの見方を学習します。

到達目標

- ・JCL (ジョブ制御文) の役割を説明できる。
- ・JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。
- ・システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。

対象者 VOS3システムでJCL (ジョブ制御文) を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。

前提知識 「VOS3基礎1-はじめてのメインフレーム-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. JCL (ジョブ制御文) の役割
2. ジョブの実行過程
3. ジョブ制御文
 - (1) JOB文
 - (2) EXEC文
 - (3) DD文
4. システムメッセージリストの見方
5. 修了試験

備考

- ・学習終了日は3月31日になります。
- ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、旧「VOS3使用法」コース(集合研修)、または「VOS3基礎2-JCL-」コース (VSJ015) と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDM II
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- IT 利活用
- イノベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- IT サービス マネジメント
- システム基盤
- IT 基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT 戦略・IS 企画
- システム開発
- 要件定義 / 設計
- モデリング
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクト マネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス / ヒューマン
- グローバル

VSJ017 VOS3/VOS1/VOSK

VOS3応用 -VSAMデータセットの活用-

1日間

VOS3システムを管理、およびVOS3システムでアプリケーションプログラムを開発するうえで必要となるVSAMの基礎知識や機能を学習します。

到達目標

- VSAMデータセットの特長を説明できる。
- VSAMユーティリティの機能を説明できる。
- ライブラリ管理システム LIME E2の機能を説明できる。
- カタログの役割、機能を説明できる。

対象者 VOS3システムの運用を行う方、VOS3システムでアプリケーションの開発を行う方。

前提知識 「VOS3基礎2-JCL-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- データセットとディスクボリューム
- VSAMデータセットの特長
- ライブラリ管理システム LIME E2の機能
- データセットのカタログ機能
- VSAMユーティリティの機能

備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

VSJ018 VOS3/VOS1/VOSK

VOS3ジョブ管理解説

2日間

VOS3のシステム管理をするために必要となるJSS3の機能と設定方法を学習します。

到達目標

- JSS3の機能を説明できる。
- JSS3の起動の流れや仕組みを説明できる。
- ジョブ入出力に関するパラメタを説明できる。
- ジョブの実行スケジュールに関するパラメタを説明できる。

対象者 VOS3システムの運用管理に携わる方。

前提知識 「VOS3基礎2-JCL-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- JSS3の概要
- JSS3の起動と初期設定
 - JSS3起動用カタログプロシジャ
 - JSS3初期設定パラメタ
- ジョブの実行管理
 - ジョブの流れ
 - ジョブの入力
 - ジョブの実行スケジュール
 - ジョブの実行制御
 - ジョブ結果の出力
 - スプールとジョブキューの管理

備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

VOS1/VOS1/VOSK

VOS1使用法 (自習テキスト)

平均12時間

VOS1のワークステーションを使ったプログラム作成、ジョブ作成、ジョブの実行、ライブラリ操作、ファイル操作およびパネル作成について、その方法を学習します。

到達目標

- ワークステーションの操作ができる。
- プログラムの作成ができる。
- JCLプロシジャの作成ができる。
- ジョブの実行ができる。
- メンバの操作ができる。
- ファイルの操作ができる。
- バッチジョブの実行ができる。
- パネルの作成ができる。

対象者 VOS1を使用してワークステーションからジョブを実行する方。

前提知識 「オペレーティングシステム入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- ワークステーションの操作
- プログラムの作成
- JCLプロシジャの作成
- ジョブの実行
- メンバの操作
- ファイルの操作
- バッチジョブの実行
- パネルの作成

備考 お申し込みについては、下記URLをご覧ください。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html>

VOS3/VOS1/VOSK

VOS1機能解説 (自習テキスト)

平均12時間

VOS1システムを運用するために必要となるOSの諸機能と、その設定方法、ボリュームやファイルの運用方法、およびシステムの操作方法を学習します。

到達目標

- ジョブの実行環境の設定ができる。
- 対話処理環境の設定ができる。
- ボリュームとファイルの運用ができる。
- システムの操作ができる。

対象者 VOS1システムを運用・管理する方。

前提知識 「VOS1使用法」自習テキストコースを修了し、かつOJTを経験しているか、または同等の知識があること。

内容

- ジョブの実行環境の設定
- 対話処理環境の設定
- ボリュームとファイルの運用
- システムの操作

備考 お申し込みについては、下記URLをご覧ください。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html>

VOS3/VOS1/VOSK

VOSK使用法 (自習テキスト)

平均12時間

VOSKの基本的な操作方法、ワークステーションを使ったジョブ作成、ジョブの実行、ファイル操作等を学習します。

到達目標

- VOSKシステムの概要を説明できる。
- VOSKの基礎知識を説明できる。
- ワークステーションの基本操作ができる。
- ファイルの取扱いができる。
- ジョブの作成と実行ができる。
- ジョブの実行結果の出力ができる。

対象者 VOSKを使用してワークステーションからジョブを実行する方。

前提知識 コンピュータに関する基礎知識があること。

内容

- VOSKシステムの概要
- VOSKの基礎知識
- VOSKでの業務の開始と終了 (ワークステーションの基本操作)
- ファイルの取扱い
- ジョブの作成と実行
- ジョブの実行結果の出力

備考 お申し込みについては、下記URLをご覧ください。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html>

VOS3/VOS1/VOSK

VOSKシステム運用と管理 (自習テキスト)

平均12時間

VOSKシステムの機能を理解し、利用者管理、DB管理、ジョブ実行環境の管理、およびシステム全体の管理ができるために必要な知識を学習します。

到達目標

- システムの運用と管理の概要を説明できる。
- 使用者管理ができる。
- ファイルシステムの運用と管理ができる。
- ジョブ実行環境の設定ができる。
- システムの操作ができる。
- システムの管理ができる。

対象者 VOSKシステム全体を運用管理する方。

前提知識 「VOSK使用法」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

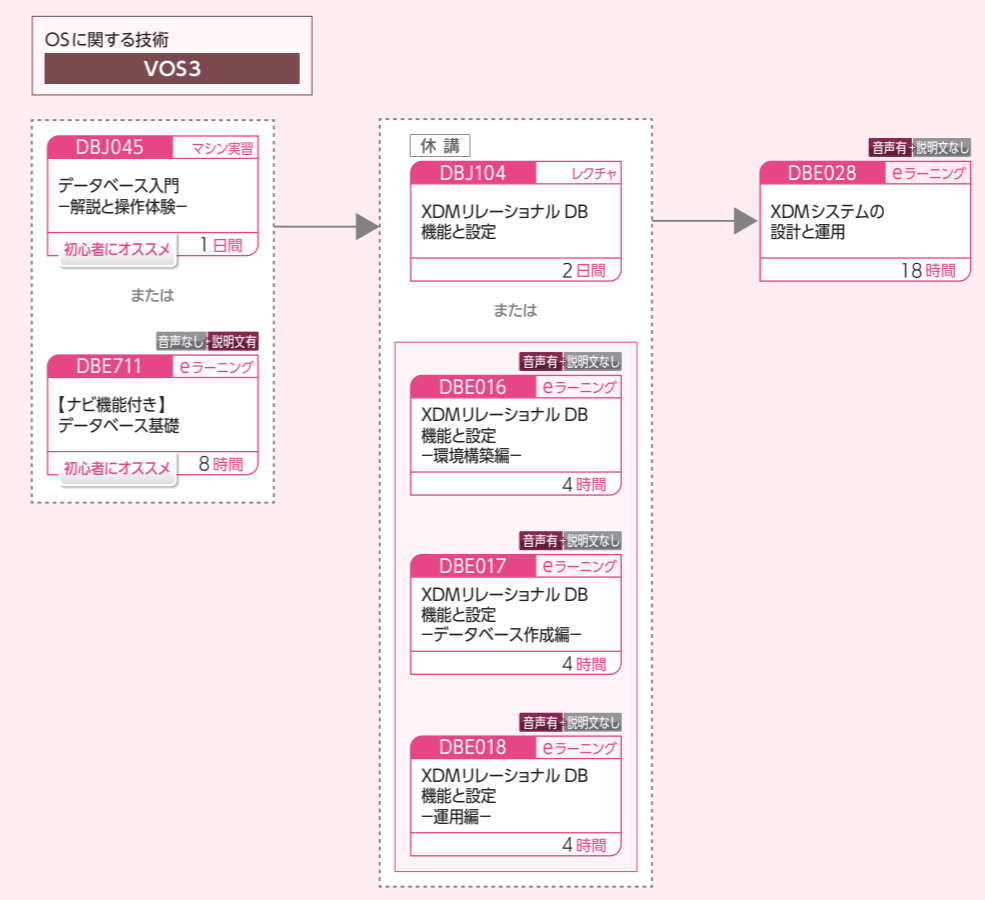
- システムの運用と管理の概要
- 使用者管理
- ファイルシステムの運用と管理
- ジョブ実行環境の設定
- システムの操作
- システムの管理

備考 お申し込みについては、下記URLをご覧ください。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html>

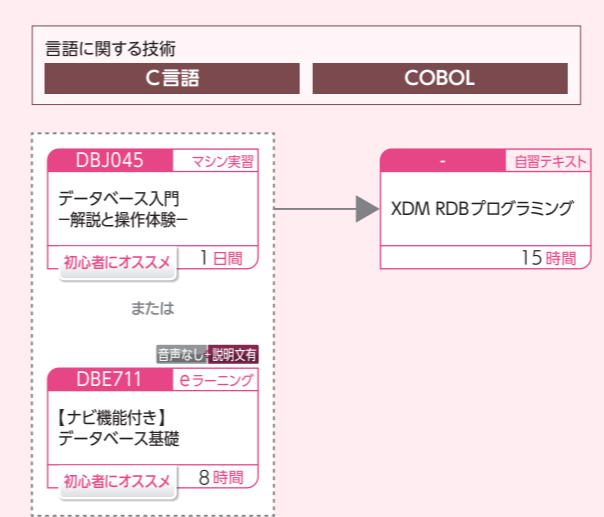
XDM / PDM II

日立メインフレーム DB/DCであるXDM、PDMIIの機能や設定、システム運用管理技術が修得できます。

● XDMを使用してリレーショナルデータベースを構築・運用・設計する方



● XDMリレーショナルデータベースを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



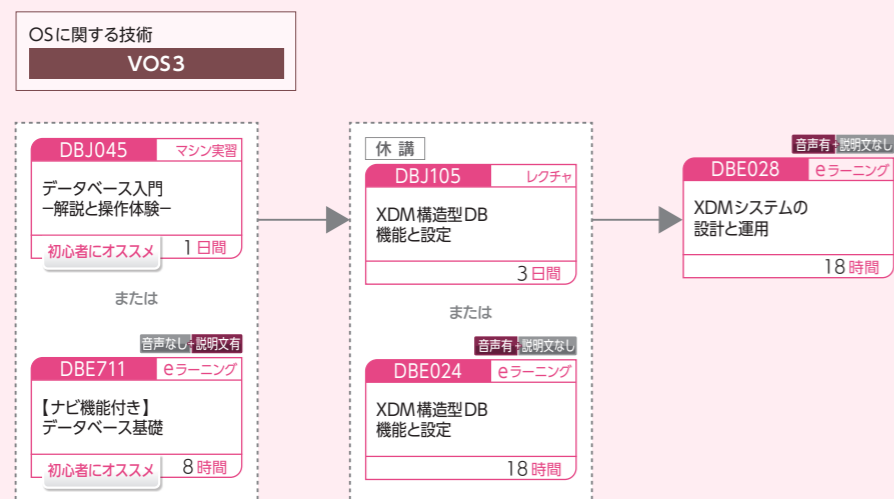
音声有+説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし+説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

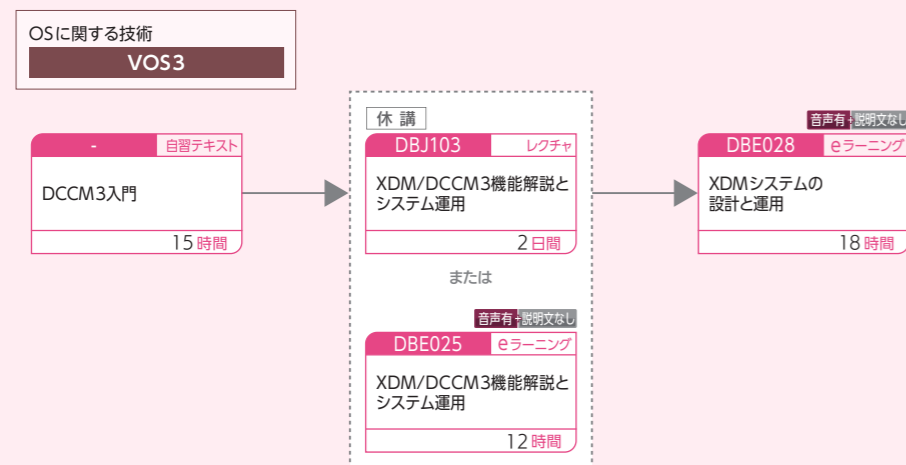
● XDMを使用して構造型データベースを構築・運用・設計する方



● XDM構造型データベースを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



● XDM/DCCM3オンラインシステムを構築・運用・設計する方



音声有+説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

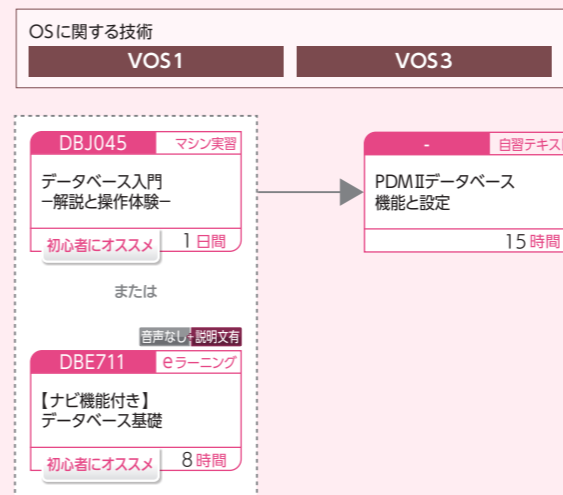
音声なし+説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

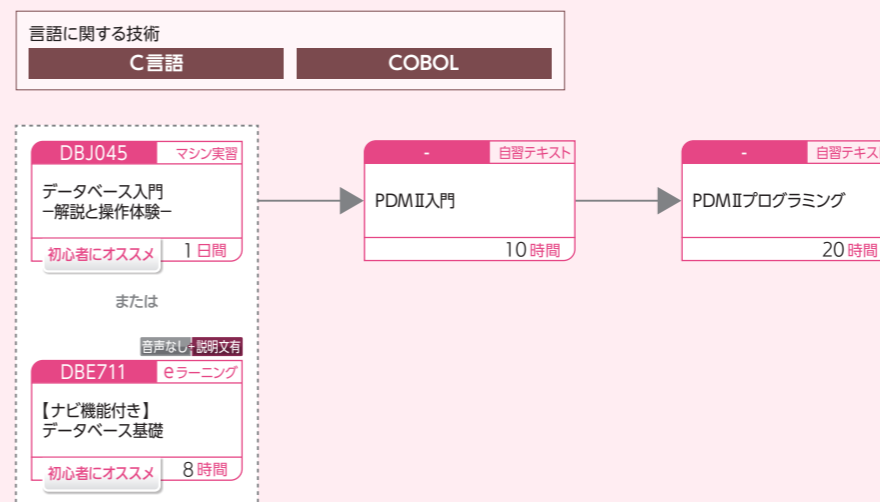
● XDM/DCCM3オンラインシステムを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



● PDMIIデータベースを構築・運用する方



● PDMIIを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



XDM/PDM II	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 日立製品 JP1 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> uCosminexus Application Server HIRDB </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> OpenTP1 VOS3/VOS1/VOSK </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> XDM/PDM II Hitachi Advanced Data Binder </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 日立ストレージ Pentaho </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> デジタルトランスフォーメーション IT 利活用 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> イノベーション IoT/AI/Lumada </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ビッグデータ データ分析 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> サイバーセキュリティ RPA </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> クラウド/サーバ仮想化 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT サービスマネジメント </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> システム基盤 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT 基本 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> オープンソースソフトウェア(OSS) </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> Linux </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> Microsoft </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ネットワーク </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ハードウェア </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> セキュリティ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> データベース </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT 戦略・IS 企画 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> システム開発 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 要件定義/設計 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> モデリング </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> プログラミング </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 情報処理技術者試験対策 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ITリテラシ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> プロジェクトマネジメント </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> コンプライアンス </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ビジネス/ヒューマン </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> グローバル </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 日立製品 JP1 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> uCosminexus Application Server HIRDB </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> OpenTP1 VOS3/VOS1/VOSK </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> XDM/PDM II Hitachi Advanced Data Binder </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 日立ストレージ Pentaho </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> デジタルトランスフォーメーション IT 利活用 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> イノベーション IoT/AI/Lumada </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ビッグデータ データ分析 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> サイバーセキュリティ RPA </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> クラウド/サーバ仮想化 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT サービスマネジメント </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> システム基盤 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT 基本 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> オープンソースソフトウェア(OSS) </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> Linux </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> Microsoft </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ネットワーク </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ハードウェア </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> セキュリティ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> データベース </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT 戦略・IS 企画 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> システム開発 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 要件定義/設計 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> モデリング </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> プログラミング </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 情報処理技術者試験対策 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ITリテラシ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> プロジェクトマネジメント </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> コンプライアンス </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ビジネス/ヒューマン </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> グローバル </div>

XDM/PDM II	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 日立製品 JP1 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> uCosminexus Application Server HIRDB </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> OpenTP1 VOS3/VOS1/VOSK </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> XDM/PDM II Hitachi Advanced Data Binder </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 日立ストレージ Pentaho </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> デジタルトランスフォーメーション IT 利活用 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> イノベーション IoT/AI/Lumada </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ビッグデータ データ分析 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> サイバーセキュリティ RPA </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> クラウド/サーバ仮想化 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT サービスマネジメント </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> システム基盤 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT 基本 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> オープンソースソフトウェア(OSS) </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> Linux </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> Microsoft </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ネットワーク </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ハードウェア </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> セキュリティ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> データベース </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT 戦略・IS 企画 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> システム開発 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 要件定義/設計 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> モデリング </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> プログラミング </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 情報処理技術者試験対策 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ITリテラシ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> プロジェクトマネジメント </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> コンプライアンス </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ビジネス/ヒューマン </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> グローバル </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 日立製品 JP1 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> uCosminexus Application Server HIRDB </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> OpenTP1 VOS3/VOS1/VOSK </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> XDM/PDM II Hitachi Advanced Data Binder </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 日立ストレージ Pentaho </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> デジタルトランスフォーメーション IT 利活用 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> イノベーション IoT/AI/Lumada </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ビッグデータ データ分析 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> サイバーセキュリティ RPA </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> クラウド/サーバ仮想化 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT サービスマネジメント </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> システム基盤 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT 基本 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> オープンソースソフトウェア(OSS) </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> Linux </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> Microsoft </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ネットワーク </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ハードウェア </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> セキュリティ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> データベース </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT 戦略・IS 企画 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> システム開発 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 要件定義/設計 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> モデリング </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> プログラミング </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 情報処理技術者試験対策 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ITリテラシ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> プロジェクトマネジメント </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> コンプライアンス </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ビジネス/ヒューマン </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> グローバル </div>

XDM/PDM II	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 日立製品 JP1 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> uCosminexus Application Server HIRDB </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> OpenTP1 VOS3/VOS1/VOSK </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> XDM/PDM II Hitachi Advanced Data Binder </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 日立ストレージ Pentaho </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> デジタルトランスフォーメーション IT 利活用 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> イノベーション IoT/AI/Lumada </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ビッグデータ データ分析 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> サイバーセキュリティ RPA </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> クラウド/サーバ仮想化 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT サービスマネジメント </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> システム基盤 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT 基本 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> オープンソースソフトウェア(OSS) </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> Linux </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> Microsoft </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ネットワーク </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ハードウェア </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> セキュリティ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> データベース </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT 戦略・IS 企画 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> システム開発 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 要件定義/設計 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> モデリング </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> プログラミング </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 情報処理技術者試験対策 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ITリテラシ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> プロジェクトマネジメント </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> コンプライアンス </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ビジネス/ヒューマン </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> グローバル </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 日立製品 JP1 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> uCosminexus Application Server HIRDB </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> OpenTP1 VOS3/VOS1/VOSK </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> XDM/PDM II Hitachi Advanced Data Binder </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 日立ストレージ Pentaho </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> デジタルトランスフォーメーション IT 利活用 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> イノベーション IoT/AI/Lumada </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ビッグデータ データ分析 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> サイバーセキュリティ RPA </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> クラウド/サーバ仮想化 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT サービスマネジメント </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> システム基盤 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT 基本 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> オープンソースソフトウェア(OSS) </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> Linux </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> Microsoft </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ネットワーク </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ハードウェア </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> セキュリティ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> データベース </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT 戦略・IS 企画 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> システム開発 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 要件定義/設計 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> モデリング </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> プログラミング </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 情報処理技術者試験対策 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ITリテラシ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> プロジェクトマネジメント </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> コンプライアンス </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ビジネス/ヒューマン </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> グローバル </div>

XDM/PDM II	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 日立製品 JP1 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> uCosminexus Application Server HIRDB </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> OpenTP1 VOS3/VOS1/VOSK </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> XDM/PDM II Hitachi Advanced Data Binder </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 日立ストレージ Pentaho </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> デジタルトランスフォーメーション IT 利活用 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> イノベーション IoT/AI/Lumada </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ビッグデータ データ分析 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> サイバーセキュリティ RPA </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> クラウド/サーバ仮想化 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT サービスマネジメント </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> システム基盤 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT 基本 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> オープンソースソフトウェア(OSS) </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> Linux </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> Microsoft </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ネットワーク </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ハードウェア </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> セキュリティ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> データベース </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT 戦略・IS 企画 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> システム開発 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 要件定義/設計 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> モデリング </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> プログラミング </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 情報処理技術者試験対策 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ITリテラシ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> プロジェクトマネジメント </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> コンプライアンス </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ビジネス/ヒューマン </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> グローバル </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 日立製品 JP1 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> uCosminexus Application Server HIRDB </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> OpenTP1 VOS3/VOS1/VOSK </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> XDM/PDM II Hitachi Advanced Data Binder </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 日立ストレージ Pentaho </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> デジタルトランスフォーメーション IT 利活用 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> イノベーション IoT/AI/Lumada </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ビッグデータ データ分析 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> サイバーセキュリティ RPA </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> クラウド/サーバ仮想化 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT サービスマネジメント </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> システム基盤 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT 基本 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> オープンソースソフトウェア(OSS) </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> Linux </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> Microsoft </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ネットワーク </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ハードウェア </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> セキュリティ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> データベース </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> IT 戦略・IS 企画 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> システム開発 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 要件定義/設計 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> モデリング </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> プログラミング </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 情報処理技術者試験対策 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ITリテラシ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> プロジェクトマネジメント </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> コンプライアンス </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ビジネス/ヒューマン </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> グローバル </div>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

XDM/PDM II
DCCM3プログラミング (自習テキスト)
平均25時間
DCCM3、XDM/DCCM3によるオンラインシステムの業務プログラムを作成するにあたり必要なユーザアプリケーションプログラムの作成方法、パネル定義について例を中心に学習します。
到達目標
・DCCM3とXDM/DCCM3を使用する場合のユーザアプリケーションプログラムでのメッセージ処理の概要を理解し説明できる。 ・COBOL言語によるユーザアプリケーションプログラムを作成できる。 ・XMAPを使用したメッセージの基本的な編集ができる。
対象者
DCCM3、XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムの業務プログラムを作成する方。
前提知識
COBOL言語を修了し、かつ「DCCM3入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
1. DCCM3、XDM/DCCM3の特徴 2. ユーザアプリケーションプログラムの作成方法 3. パネル定義
備考
お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

XDM/PDM II
PDM II入門 (自習テキスト)
平均10時間
PDM IIデータベースシステムの構築や運用、あるいはデータベースを利用する際に必要な基礎知識を学習します。
到達目標
・PDM IIシステムのねらいを理解し説明できる。 ・PDM IIシステムによるデータベースシステムの実現方法を理解し説明できる。 ・データベース構造を理解し説明できる。 ・PDM IIシステムが提供する機能を理解し説明できる。
対象者
PDM IIデータベースシステムの設計・運用を行う方、または業務プログラムを開発する方。
前提知識
「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「データベース入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
1. PDM IIの基本機能 2. PDM IIデータベースの構造 3. データベースの操作機能
備考
お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

XDM/PDM II
PDM IIデータベース機能と設定 (自習テキスト)
平均15時間
PDM IIデータベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、またデータベースの管理や維持の方法を紹介します。
到達目標
・論理/物理構造についてさまざまなオプションを選択し機能設定できる。 ・PDM IIシステムによるデータベースシステムの実現方法を理解し説明できる。 ・データベース定義/アクセス定義を定義できる。 ・運用・管理・生成と保守についてさまざまなオプションを選択し機能設定できる。
対象者
PDM IIデータベースシステムの設計・運用を行う方、または業務プログラムを開発する方。
前提知識
「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「データベース入門」eラーニングコース、および「PDM II入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
1. PDM IIデータベースシステムの概要 2. データベースの論理構造 3. データベースの物理構造 4. データベースの定義 5. アクセス仕様定義 6. PDM IIシステムの運用 7. PDM IIシステムの管理 8. PDM IIシステムの生成と保守
備考
お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

XDM/PDM II
PDM IIプログラミング (自習テキスト)
平均20時間
PDM IIデータベースを作成、検索、更新する業務プログラムの作成方法を学習します。
到達目標
・PDM IIとプログラムのインターフェースを理解し説明できる。 ・検索・更新・追加/削除処理プログラムを作成できる。
対象者
PDM IIデータベースを使用した業務プログラムを開発する方。
前提知識
COBOL、PL/IまたはNHHELPのいずれかの言語を理解し、かつ「PDM II入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
1. PDM IIの機能概要 2. プログラムとPDM IIのインターフェース 3. データベースの作成方法 4. データベースの検索方法 5. データベースの更新方法
備考
お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

XDM/PDM II
PDM IIデータベース機能と設定 (自習テキスト)
平均15時間
PDM IIデータベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、またデータベースの管理や維持の方法を紹介します。
到達目標
・論理/物理構造についてさまざまなオプションを選択し機能設定できる。 ・PDM IIシステムによるデータベースシステムの実現方法を理解し説明できる。 ・データベース定義/アクセス定義を定義できる。 ・運用・管理・生成と保守についてさまざまなオプションを選択し機能設定できる。
対象者
PDM IIデータベースシステムの設計・運用を行う方、または業務プログラムを開発する方。
前提知識
「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「データベース入門」eラーニングコース、および「PDM II入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
1. PDM IIデータベースシステムの概要 2. データベースの論理構造 3. データベースの物理構造 4. データベースの定義 5. アクセス仕様定義 6. PDM IIシステムの運用 7. PDM IIシステムの管理 8. PDM IIシステムの生成と保守
備考
お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

XDM/PDM II
DCCM3プログラミング (自習テキスト)
平均25時間
DCCM3、XDM/DCCM3によるオンラインシステムの業務プログラムを作成するにあたり必要なユーザアプリケーションプログラムの作成方法、パネル定義について例を中心に学習します。
到達目標
・DCCM3とXDM/DCCM3を使用する場合のユーザアプリケーションプログラムでのメッセージ処理の概要を理解し説明できる。 ・COBOL言語によるユーザアプリケーションプログラムを作成できる。 ・XMAPを使用したメッセージの基本的な編集ができる。
対象者
DCCM3、XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムの業務プログラムを作成する方。
前提知識
COBOL言語を修了し、かつ「DCCM3入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
1. DCCM3、XDM/DCCM3の特徴 2. ユーザアプリケーションプログラムの作成方法 3. パネル定義
備考
お申し込みについては、下記URLをご覧ください。 https://www.hitachi-ac.co.jp/course/guide/apply/free/index.html

Hitachi Advanced Data Binder

情報系システム向け超高速データベースエンジン、Hitachi Advanced Data Binderのアーキテクチャや導入までのWBS、設計や構築・運用管理に必要なとなるスキルが修得できます。

● Hitachi Advanced Data Binderを使用したシステムを設計・開発する方

DBJ045
マシン実習

データベース入門
-解説と操作体験-

初心者におススメ 1 日間

または

DBE711
eラーニング

【ナビ機能付き】
データベース基礎

初心者におススメ 8 時間

DBJ118
レクチャ

Hitachi Advanced
Data Binder 概説

0.5 日間

音声有/説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有/説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし/説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

DBJ118	Hitachi Advanced Data Binder
レクチャ	Hitachi Advanced Data Binder 概説
0.5日間	Hitachi Advanced Data Binderの概要、導入から保守までの作業概要(WBS)および設計・構築・運用の基礎知識を学習します。
到達目標	・Hitachi Advanced Data Binderの概要を理解し、説明できる。 ・Hitachi Advanced Data Binderの導入から保守までの作業概要(WBS)を理解し、説明できる。 ・Hitachi Advanced Data Binderの設計・構築・運用の基礎知識を理解し、説明できる。
対象者	Hitachi Advanced Data Binderの導入をご検討中の方。
前提知識	「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. HADBの概要 2. HADBの設計 3. HADBの構築の概要 4. HADBのテストおよびチューニングの概要
備考	このコースは、13:00~17:00の開催とさせていただきます。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

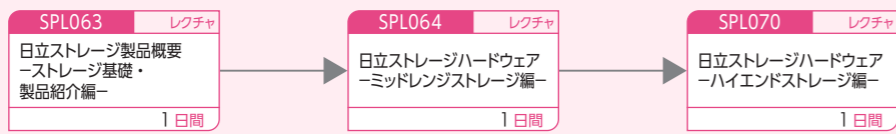
日立ストレージ

日立ブロックストレージに関する製品・機能について必要な知識やスキルを修得できます。

● ストレージの基礎および周辺知識を知りたい方

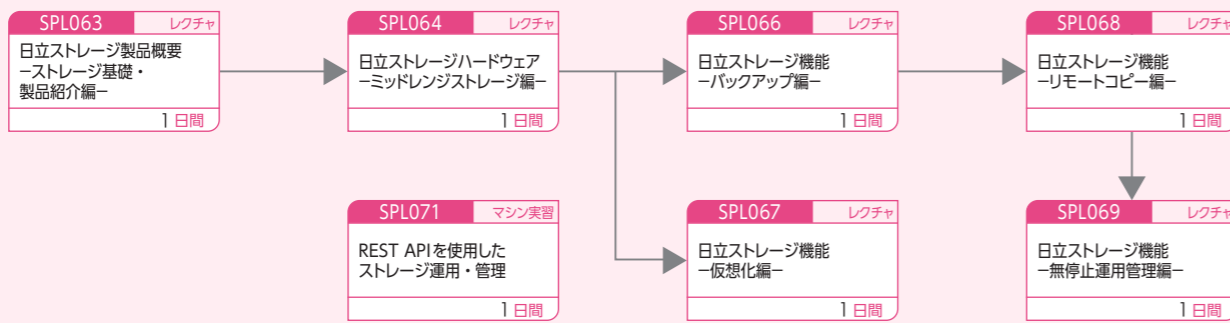
<p>【ストレージ】</p> <p>CLE703 eラーニング 【ナビ機能付き】 ストレージ関連者向け サーバ仮想化技術概説 3 時間</p> <p>SPL063 レクチャ 日立ストレージ製品概要 -ストレージ基礎・ 製品紹介編- 1 日間</p>	<p>【周辺知識】</p> <p>SJE705 eラーニング 【ナビ機能付き】 SAN概説 5 時間</p> <p>SJE016 eラーニング Fibre Channel概説 -日立ストレージ・ホストの 接続を理解するために- 4 時間</p> <p>SJE017 eラーニング SATA入門 2 時間</p> <p>SJE028 eラーニング SCSI入門 -ストレージインタフェースを 理解するために- 2 時間</p> <p>SJE018 eラーニング SAS (Serial Attached SCSI) 入門-ストレージインタフェース を理解するために- 2 時間</p>
---	---

● 日立ストレージのハードウェア製品特長・構成を知りたい方



※SPL064は、製品シミュレータを使用したストレージ設定操作が体験できます。

● 日立ストレージの各機能を使用したシステムの構築・運用技術を知りたい方



※SPL064、SPL066、SPL067、SPL068は、製品シミュレータを使用したストレージ設定操作が体験できます。

音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

SPL063 日立ストレージ

**日立ストレージ製品概要
-ストレージ基礎・製品紹介編-**

1 日間

Hitachi Storage Solutions製品の基礎知識、提案および見積りの手順について学習します。

到達目標 Hitachi Storage Solutionsの基礎知識、提案、見積りに必要な事項を修得し、カタログを用いてHitachi Storage Solutionsの製品説明ができるようになり、かつ顧客のニーズを把握できるようになる。

対象者 顧客に対しHitachi Storage Solutionsに関する最適なシステムの提案技術の修得をめざす営業・SEの方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. ストレージと基礎知識
2. ストレージ製品ラインアップと特徴
3. 日立ストレージソフトウェアおよびリユース
4. 日立ストレージ管理ソフトウェア
5. 日立ストレージ提案・見積り

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

SPL064 日立ストレージ

**日立ストレージハードウェア
-ミッドレンジストレージ編-**

1 日間

ハードウェアについては、製品ラインアップとオプション構成などハードウェアシステム構成ができる知識、ソフトウェア関連では、基本ソフトウェアの操作・設定ができる知識について学習します。なお、GUI操作も体験していただけます。

到達目標 ・ハードウェアシステム構成ができる知識を修得できる。
・オープン系ソフトウェアの操作・設定ができる。

対象者 日立ミッドレンジストレージについて基本的な技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージ製品概要-ストレージ基礎・製品紹介編-」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内容 1. 日立ストレージ概要
2. ハードウェア
(1) 全体構成
(2) ハードウェアコンポーネント
3. 内部動作
(1) Read・Write時の内部動作
4. 基本ソフトウェア (オープンシステム)
(1) LUN Manager (機能・操作)
(2) Performance Monitorなど
(3) Hitachi Dynamic Provisioning概要

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

SPL070 日立ストレージ

**日立ストレージハードウェア
-ハイエンドストレージ編-**

1 日間

ハイエンドストレージを担当する初級技術者・SEを対象にミッドレンジストレージとハイエンドストレージの異なりについて解説します。また、ハイエンドストレージの特徴であるメインフレーム接続について、接続構成や機能詳細を解説します。

到達目標 ハイエンドストレージのハードウェア・メインフレーム接続を修得し、構成設計ができるようになる。

対象者 ハイエンドストレージに関連したハード/ソフト開発を行う技術者、またシステム構成設計を行うSEの方。

前提知識 「日立ストレージハードウェア-ミッドレンジストレージ編-」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内容 1. ハイエンドストレージ概要
2. ハードウェア
(1) ハードウェアアーキテクチャと内部動作
(2) 全体構成
(3) 各コンポーネント
3. ソフトウェア
(1) オープンシステム向けソフトウェア
(2) メインフレーム向けソフトウェア
4. メインフレームサポート
(1) メインフレーム接続概要
5. Hitachi Command Suiteストレージ設定

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

SPL066 日立ストレージ

**日立ストレージ機能
-バックアップ編-**

1 日間

ShadowImage、Thin Imageの基本機能、ペア操作(Storage Navigator、RAID Manager)について学習します。なお、GUIおよびCLI操作も体験していただけます。

到達目標 ・ShadowImageの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Thin Imageの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ブロックストレージのボリュームコピー系機能 ShadowImage、Thin Imageの技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージハードウェア-ミッドレンジストレージ編-」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内容 1. ShadowImage
(1) 基本機能 状態遷移 ペア操作
(2) RAID Managerを使用したシステム構成 (構成定義 ファイルなどを含む)
2. Thin Image
(1) 基本機能 状態遷移 ペア操作
3. GUIによる基本操作 (ボリュームコピー系機能)
4. Hitachi Command Suiteペア設定

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

SPL067 日立ストレージ

日立ストレージ機能-仮想化編-

1 日間

日立ストレージの仮想化機能Universal Volume Manager、Dynamic Provisioning、Dynamic Tieringの基本機能、システム構成、設定について学習します。なお、GUI操作も体験していただけます。

到達目標 ・Universal Volume Managerの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Dynamic Provisioningの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Dynamic Tieringの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ブロックストレージの仮想化機能Universal Volume Manager、Dynamic Provisioning、Dynamic Tieringの技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージ機能-バックアップ編-」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内容 1. Universal Volume Manager (UVM)
(1) 基本機能 内部動作 システム構成 操作
2. Dynamic Provisioning (HDP)
(1) 基本機能 システム構成、操作 (仮想ボリューム、プール作成、閾値設定)
3. Dynamic Tiering (HDT)
(1) 基本機能 システム構成、操作
4. active flash
(1) 基本機能 設定 操作
5. Hitachi Command Suite階層管理

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

SPL068 日立ストレージ

**日立ストレージ機能
-リモートコピー編-**

1 日間

日立ストレージリモートコピー機能 (TrueCopy、Universal Replicator) の基本機能、システム構成、ペア操作について学習します。なお、GUIおよびCLI操作も体験していただけます。

到達目標 ・TrueCopyの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Universal Replicatorの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ブロックストレージのリモートコピー機能TrueCopy、Universal Replicatorの技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージ機能-バックアップ編-」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内容 1. TrueCopy
(1) 基本機能 状態遷移 システム構成 (RAID Manager 含む) ペア操作
2. Universal Replicator
(1) 基本機能 状態遷移 システム構成 (RAID Manager 含む) ペア操作

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

SPL066 日立ストレージ

**日立ストレージ機能
-バックアップ編-**

1 日間

ShadowImage、Thin Imageの基本機能、ペア操作(Storage Navigator、RAID Manager)について学習します。なお、GUIおよびCLI操作も体験していただけます。

到達目標 ・ShadowImageの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Thin Imageの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ブロックストレージのボリュームコピー系機能 ShadowImage、Thin Imageの技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージハードウェア-ミッドレンジストレージ編-」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内容 1. ShadowImage
(1) 基本機能 状態遷移 ペア操作
(2) RAID Managerを使用したシステム構成 (構成定義 ファイルなどを含む)
2. Thin Image
(1) 基本機能 状態遷移 ペア操作
3. GUIによる基本操作 (ボリュームコピー系機能)
4. Hitachi Command Suiteペア設定

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

SPL067 日立ストレージ

日立ストレージ機能-仮想化編-

1 日間

日立ストレージの仮想化機能Universal Volume Manager、Dynamic Provisioning、Dynamic Tieringの基本機能、システム構成、設定について学習します。なお、GUI操作も体験していただけます。

到達目標 ・Universal Volume Managerの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Dynamic Provisioningの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Dynamic Tieringの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ブロックストレージの仮想化機能Universal Volume Manager、Dynamic Provisioning、Dynamic Tieringの技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージ機能-バックアップ編-」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内容 1. Universal Volume Manager (UVM)
(1) 基本機能 内部動作 システム構成 操作
2. Dynamic Provisioning (HDP)
(1) 基本機能 システム構成、操作 (仮想ボリューム、プール作成、閾値設定)
3. Dynamic Tiering (HDT)
(1) 基本機能 システム構成、操作
4. active flash
(1) 基本機能 設定 操作
5. Hitachi Command Suite階層管理

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

SPL068 日立ストレージ

**日立ストレージ機能
-リモートコピー編-**

1 日間

日立ストレージリモートコピー機能 (TrueCopy、Universal Replicator) の基本機能、システム構成、ペア操作について学習します。なお、GUIおよびCLI操作も体験していただけます。

到達目標 ・TrueCopyの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Universal Replicatorの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ブロックストレージのリモートコピー機能TrueCopy、Universal Replicatorの技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージ機能-バックアップ編-」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内容 1. TrueCopy
(1) 基本機能 状態遷移 システム構成 (RAID Manager 含む) ペア操作
2. Universal Replicator
(1) 基本機能 状態遷移 システム構成 (RAID Manager 含む) ペア操作

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

JP1
uCosminexus
Application Server

HIRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/
VOSK

XDM/PDM II

Hitachi Advanced
Data Binder

日立ストレージ

Pentaho

デジタルトランス
フォーメーション

IT 利活用

イノベーション

IoT/AI/Lumada

ビッグデータ

データ分析

サイバー
セキュリティ

RPA

クラウド/
サーバ仮想化

IT サービス
マネジメント

システム基盤

IT 基本

オープンソース
ソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

ハードウェア

セキュリティ

データベース

IT 戦略・IS 企画

システム開発

要件定義 / 設計

モデリング

プログラミング

情報処理技術者
試験対策

ITリテラシ

プロジェクト
マネジメント

コンプライアンス

ビジネス/
ヒューマン

グローバル

日立製品	SPL069 日立ストレージ	SPL071 日立ストレージ
JP1 uCosminexus Application Server HIRDB OpenTP1 VOS3/VOS1/ VOSK XDM/PDMII Hitachi Advanced Data Binder	日立ストレージ機能 —無停止運用管理編— 1日間 global virtualizationの概要と、global virtualizationをベースとした機能であるnondisruptive migration、global-active deviceの基本機能、システム構成、操作について学習します。	REST APIを使用した ストレージ運用・管理 1日間 REST APIの基本的な使用方法から、ストレージの設定・管理方法をマシン実習を通して学習します。
日立ストレージ Pentaho	到達目標 global virtualizationの概要を修得し、操作・設定ができる。 nondisruptive migrationやglobal-active deviceの知識を修得し、操作・設定ができる。 対象者 ストレージの仮想化機能global virtualizationの技術の修得をめざす方。 前提知識 「日立ストレージ機能 —リモートコピー編—」コースを修了しているか、同等の知識があること。 内容 1. global virtualization (1) 仮想ストレージ概要、仮想ストレージの作成 2. nondisruptive migration (1) 基本機能 システム構成 操作 (データ移行) 3. global-active device (1) 基本機能 システム構成、操作 備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。	到達目標 REST APIの基本的な使用方法が理解できる。 REST APIを使用してストレージの設定ができる。 REST APIを使用してストレージの情報を確認できる。 対象者 ストレージの運用・管理を行う方。 前提知識 日立ストレージに関する知識をお持ちのこと。 内容 1. REST APIとは (1) REST API概要 2. REST API操作 (1) RESTクライアントインストール (2) 認証 (ベーシック認証、セッション認証) (3) ストレージ情報確認、設定操作 3. REST API演習 (1) ストレージ設定、情報の確認などの演習 備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
デジタルトランスフォーメーション IT 利活用 イノベーション IoT/AI/Lumada ビッグデータ データ分析 サイバーセキュリティ RPA クラウド/サーバ仮想化 IT サービスマネジメント システム基盤 IT 基本 オープンソースソフトウェア(OSS) Linux Microsoft ネットワーク ハードウェア セキュリティ データベース IT 戦略・IS 企画 システム開発 要件定義/設計 モデリング プログラミング 情報処理技術者試験対策 ITリテラシ プロジェクトマネジメント コンプライアンス ビジネス/ヒューマン グローバル		

Pentaho

データ統合・分析基盤であるPentahoを使用したデータの統合処理や、分析・可視化に必要な機能や操作等の技術が修得できます。

● Pentahoを使ってデータ操作・参照したい方

PTD001 マシン実習
(Pentaho認定)
ビジネスアナリティクス
ユーザーコンソール
1 日間

● PentahoのBI機能を使ったデータ分析をしたい方



● Pentahoを使用してデータ統合をしたい方



- 音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。


初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。


休講 休講 今期の定期開催はありません


コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>


日立製品	JP1 uCosminexus Application Server HIRDB OpenTP1 VOS3/VOS1/ VOSK XDM/PDMII Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ	日立ストレージ Pentaho
デジタルトランスフォーメーション	デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用	IT 利活用
イノベーション	イノベーション
IoT/AI/Lumada	IoT/AI/Lumada
ビッグデータ	ビッグデータ
データ分析	データ分析
サイバーセキュリティ	サイバーセキュリティ
RPA	RPA
クラウド/サーバ仮想化	クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント	IT サービスマネジメント
システム基盤	システム基盤
IT 基本	IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)	オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux	Linux
Microsoft	Microsoft
ネットワーク	ネットワーク
ハードウェア	ハードウェア
セキュリティ	セキュリティ
データベース	データベース
IT 戦略・IS 企画	IT 戦略・IS 企画
システム開発	システム開発
要件定義/設計	要件定義/設計
モデリング	モデリング
プログラミング	プログラミング
情報処理技術者試験対策	情報処理技術者試験対策
ITリテラシ	ITリテラシ
プロジェクトマネジメント	プロジェクトマネジメント
コンプライアンス	コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン	ビジネス/ヒューマン
グローバル	グローバル


日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル


PTD001	Pentaho
	(Pentaho認定) ビジネスアナリティクス ユーザーコンソール
1日間	
<p>ビジネス上の意思決定にビジネスインテリジェンスを利用するユーザーに対して、Pentaho製品の円滑なスタートを提供します。また、このコースはすべてのビジネス・アナリティクスとデータ統合の学習のための出発点となり、より高度なトピックのための前提条件となります。</p>	
到達目標	インタラクティブレポート、アナライザ、レポートデザイナー、およびダッシュボードデザイナーの主な機能を説明できる。
対象者	ビジネスユーザーの方、ビジネスアナリストをめざす方、データアナリスト・Pentaho管理者・Pentahoサポートを担当する方。
前置知識	特に必要としません。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. Pentahoビジネスアナリティクス入門 2. インタラクティブレポートによるレポート作成 3. アナライザによるレポート作成 4. ダッシュボードデザイナーによるダッシュボード作成
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。


PTD003	Pentaho
	(Pentaho認定) ビジネスアナリティクス データモデリング
2日間	
<p>Pentahoメタデータエディターやスキーマワークベンチを使って、インタラクティブレポートやアナライザーで使用するデータモデルの作成を行います。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・データソースウィザードを使用してCSVファイルからデータモデルを作成できる。 ・Pentahoメタデータエディターを使って、複雑なDBテーブルやレポートデータに対するセキュリティパラメータの設定をするためのビジネス言語定義が行える。 ・OLAP、ROLAP、ディメンショナル・モデリングを説明できる。 ・Mondrianスキーマの機能と目的を説明できる。 ・Pentahoアナライザーの基本的なキューブを作成するために、スキーマワークベンチを使う。 ・ヒエラルキー・レベル・計算メンバーを含むスタースキーマを作成するために、スキーマワークベンチを使う。 ・スキーマワークベンチ内でMondrianスキーマをテストするために基本的なMDXクエリを書く。 ・Mondrianスキーマへのアクセスを管理するため、どのようにスキーマワークベンチのロールを使うか説明できる。
対象者	ビジネスアナリスト、データアナリストをめざす方、Pentahoサポートを担当する方。
前置知識	特に必要としません。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. Pentahoビジネスアナリティクス入門 2. OLAPによるデータソースの働き 3. OLAP/ROLAPとディメンショナル・モデリング 4. スキーマワークベンチの使用
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。

PTJ001	Pentaho
	Pentahoによる データの可視化・分析
0.5日間	
<p>Pentahoのアナライザーレポート機能などを用いた、データの可視化および分析について学習します。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・データ分析の処理方法であるOLAP (Online Analytical Processing) の概要を説明できる。 ・Pentahoを用いてデータを可視化、分析できる。
対象者	Pentahoによるデータの可視化、分析について学びたい方。
前置知識	Microsoft Windowsの基本的な操作についての知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. Pentahoのデータ可視化、分析機能概要 <ol style="list-style-type: none"> (1) 概要 (2) アナライザーレポート機能 (3) その他のレポート機能 2. アナライザーレポート機能による可視化、分析 <ol style="list-style-type: none"> (1) OLAP分析の概要 (2) グラフ種別 (3) データ分析操作 3. データ分析演習 <ol style="list-style-type: none"> (1) 仮説の作成 (2) 分析と仮説の検証
備考	このコースは、13:00～17:00の開催とさせていただきます。

PTD004	Pentaho
	(Pentaho認定) CToolsの基本
2日間	
<p>リッチなユーザー体験を提供するピクセルパーフェクトなダッシュボードの作成方法について学習します。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ダッシュボードデザインのためのトッパーボトムアプローチが説明できる。 ・DCFのようなダッシュボードフレームワークの目的を説明できる。 ・コアのCTools (CDA、CDE、CCC) が使えて、その目的が説明できる。 ・CToolsの中で使用されるテクノロジが説明できる。 ・CToolsトレーニング環境が説明できる。 ・CDEを使ったダッシュボードのためのレイアウトが作成できる。 ・CDEのライフサイクルの背景となる主要コンセプトが説明できる。 ・CDEデータソースパースベクティブが説明できる。 ・Mondrianデータソースをダッシュボードに追加できる。 ・CCCとCCC2が説明できる。 ・チャートや表がダッシュボードに追加できる。 ・チャートカスタマイズのための拡張ポイントを見つけるためドキュメントを使う。 ・パラメータコンポーネントをダッシュボードに追加できる。 ・セレクターやウィジェットをダッシュボードに追加できる。
対象者	ビジネスアナリストをめざす方。
前置知識	(Pentaho認定) ビジネスアナリティクスコースを修了しているか、同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ダッシュボードデザイン 2. CToolsのアーキテクチャ 3. CDF/CDE入門 4. CDAによるダッシュボードデータソースの作成 5. ダッシュボードへのコンポーネント追加 6. CCCによるチャートの設定 7. コンポーネント間の相互利用 8. CGGとCDAのエクスポート機能
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。

PTD002	Pentaho
	(Pentaho認定) ビジネスアナリティクス レポートデザイナー
2日間	
<p>Pentahoレポートデザイナーにより、レポートのデザイン、作成、パブリッシュ方法を修得します。また、データソースへのアクセスからデザイン要素の追加までビジネスレポート作成に必要なすべてのステップを学習できます。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートデザイナーの主要な特徴を説明できる。 ・データソースに接続してクエリーデザインツールによりレポートのためのクエリーが書ける。 ・さまざまなデータを使用して要素をデザインできる。 ・レポート要素をフォーマットして、条件フォーマットをレポート要素に適用できる。 ・ハイパーリンクとパラメーターをレポートに追加できる。 ・レポートデザイナーでチャートとサブレポートを使える。 ・レポート内でリソースファイルを使うことができる。 ・レポートウィザードを使ってレポートを作成できる。
対象者	ビジネスアナリストをめざす方、Pentahoサポートを担当する方。
前置知識	特に必要としません。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. Pentahoビジネスアナリティクス入門 2. レポートデザイナーによるレポート作成 3. 高度なレポートインポート 4. レポートウィザードによるレポート作成
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。

PTJ002	Pentaho
	データ加工・統合入門 -Pentahoを用いて-
1日間	
<p>データ統合に必要なETL処理について、データ加工の考え方やポイントを学習します。また、PentahoのPDI (Pentaho Data Integration) 機能を使用した、ETL処理の定義・実行操作を学習します。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・データ統合を目的としたETL (Extract/Transform/Load) 処理のポイントを説明できる。 ・Pentahoを用いてETL処理を定義・実行できる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・業務でデータ統合を実現する方法を学びたい方。 ・Pentahoを使用したシステムの提案、導入を担当する営業、SEの方。
前置知識	Microsoft Windowsの基本的な操作についての知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ETL概要 <ol style="list-style-type: none"> (1) ETLとは (2) ETLにおけるデータ加工のポイント 2. Pentaho概要 <ol style="list-style-type: none"> (1) Pentahoの概要と構成 (2) PDIの用語・概念 3. データの名寄せ <ol style="list-style-type: none"> (1) 名寄せとは (2) 名寄せのポイント (3) PDIでの設定・実行例 (4) 演習 4. データのクレンジング <ol style="list-style-type: none"> (1) クレンジングとは (2) クレンジングのポイント (3) PDIでの設定・実行例 (4) 演習
備考	このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

PTD005	Pentaho
	(Pentaho認定) データ統合の基本
3日間	
<p>Pentahoデータ統合を活用し、生産性を向上させるスキルを修得できます。また、Pentahoのデータ統合機能を使用して、さまざまなアプリケーションにデータを配信する方法を学習できます。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップやホップを含む基本的なデータ変換の作成、プレビュー、実行ができる。 ・データ変換の結果をメトリクスビューやログビューで確認できる。 ・基本的なセキュリティを含むPentahoエンタープライズレポジトリを設定できる。 ・Pentahoエンタープライズレポジトリを使用できる。 ・データ変換ステップのためのエラーハンドリングができる。 ・データベース接続を作成してデータベース探索が行える。 ・データ変換の作成が行える。 ・ストリーム上での複雑な計算を行うデータ変換の作成できる。 ・パラメータや環境変数を使った繰り返しデータのデータ変換を作成できる。 ・データ補正データクレンジングにPentahoデータ統合を使用できる。 ・異なるデータソースへデータをロードできる。 ・ジョブを作成できる。 ・データ変換やジョブのためのログを設定し、結果を検証できる。 ・Pentahoデータ統合、Pentahoエンタープライズコンソールから、スケジュールしてモニタリングできる。
対象者	データアナリストをめざす方。
前置知識	特に必要としません。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的なデータ変換の作成、プレビュー、実行 2. メトリクスビューやログビュー 3. Pentahoエンタープライズレポジトリ 4. エラーハンドリング 5. データベース接続 6. 各種データ変換 7. データ統合 8. ジョブの作成
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。

 マシン実習	 グループ演習	 レクチャ	 演習環境	 セミナー	 オンライン	 自己テスト
マシンを使用しながらの研修	グループ演習を中心とした研修	座学による研修	職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習	セミナー	インターネット接続による自己学習	自習書による自己学習

休講	休講
	今期の定期開催はありません

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

IT活用

デジタルソリューション(IoT/AI/Lumada)の概要を理解し、ビジネスを展開するためのスキルが修得できます。

● イノベーションとデジタルビジネスの概要を知りたい方

《オーダー研修》

イノベーションとデジタル化に
どう向き合うか

音声有 + 説明文なし

IOE001 eラーニング

デジタルソリューションで
活用するIT技術概説

8 時間

《オーダー研修》：ご希望に応じて個別開催いたします。
開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

- 音声有 + 説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有 + 説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし + 説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

IOE001 IT活用

<eラーニング>
デジタルソリューションで活用する
IT技術概説

8時間

社会イノベーション事業などITを活用したビジネスを企画・提案する
方に必要となるIT技術の概要を学習します。

到達目標

- ・各ビジネス領域でIT化を実現するためにどのようなIT技術が活用されているかを説明できる。
- ・ビジネスに活用される主なIT技術を説明できる。
- ・IT化を実現するための体制、プロセス、提供モデルが説明できる。

対象者

業務にITを活用する方、ITを活用したビジネスを企画・提案する方。

前提知識

特に必要としません。

内 容

1. IT活用の変遷とビジネスへのかかわり
 - (1) ITとは何か
 - (2) ソリューションの変遷
2. 各種ビジネス領域で活用されるIT
 - (1) ITシステムのアーキテクチャ
 - (2) IoT
 - (3) クラウドコンピューティング
 - (4) ビッグデータ
 - (5) AI、BI
 - (6) セキュリティ
3. 提供形態
 - (1) ソリューション
 - (2) 提供形態
 - (3) サービス
4. 提供プロセス
 - (1) 開発プロセス
 - (2) デジタルソリューション開発プロセス
 - (3) PoC
 - (4) アジャイル開発
5. まとめ
 - (1) 技術の整理

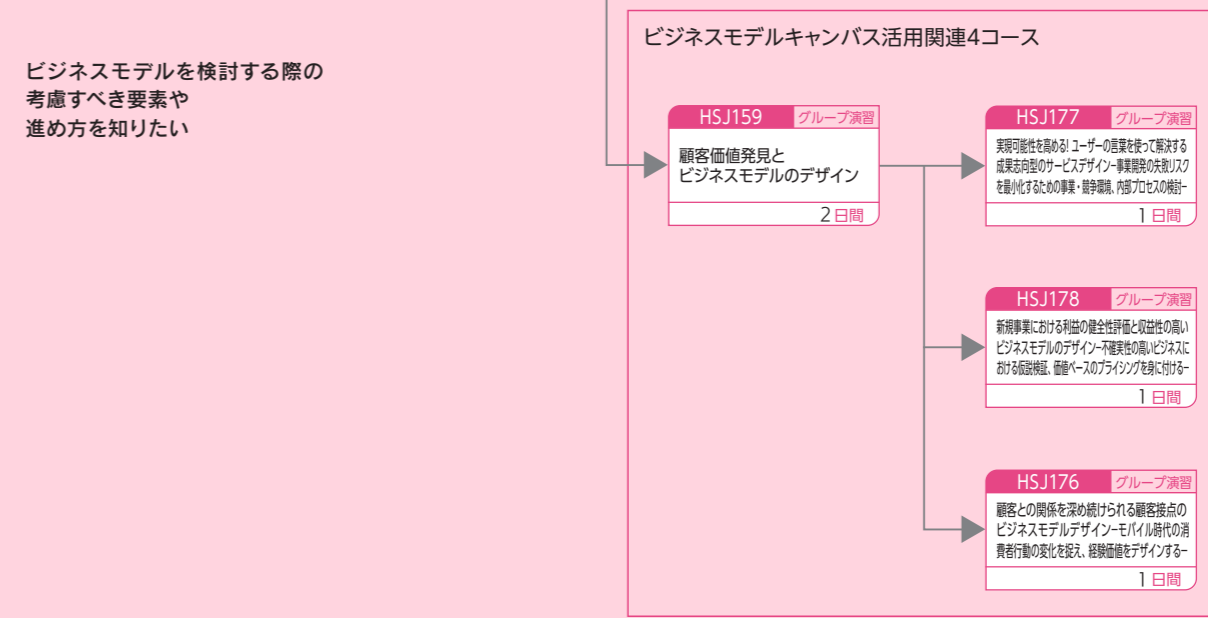
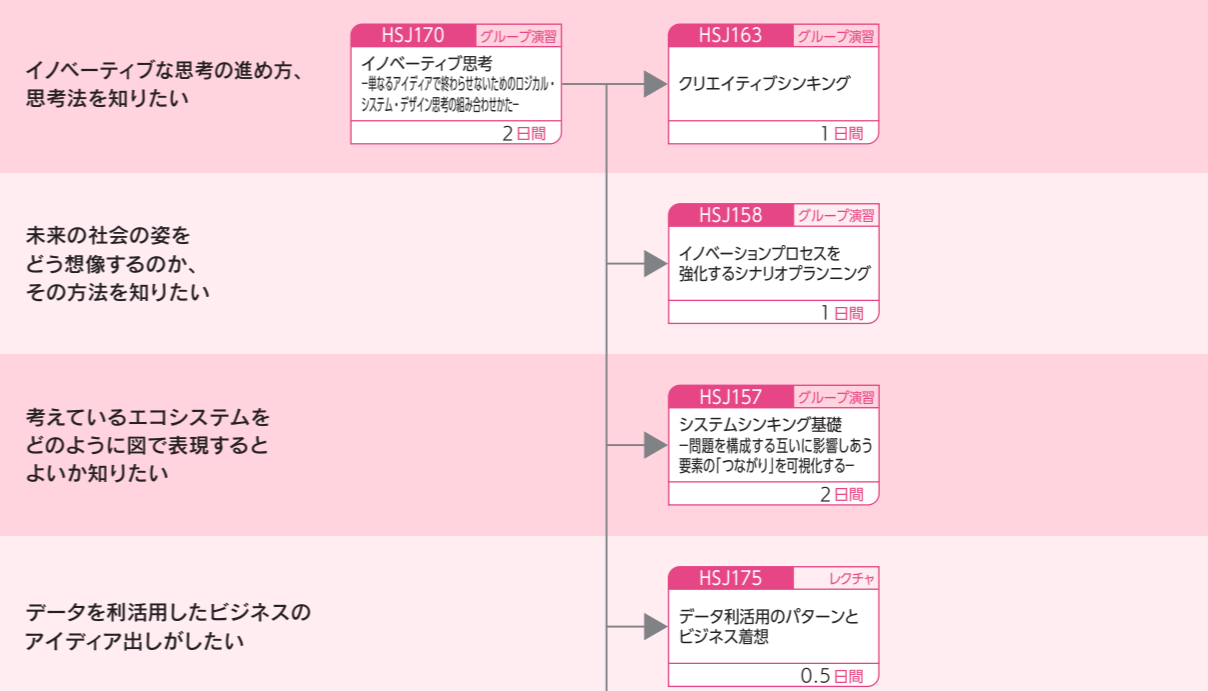
備 考

- ・学習終了日は3月31日になります。
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

イノベーション

イノベーションのプロセス、思考技法、必要な事業戦略の知識が修得できます。

● イノベティブな考え・行動を強化したい方



- 音声有 + 説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有 + 説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし + 説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

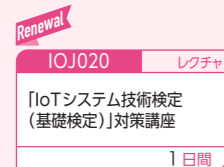
IoT/AI/Lumada

IoTやAIなどのデジタル化に必要なシステム開発技術が
修得できます。

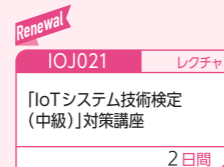
IoT技術を身につけたい方



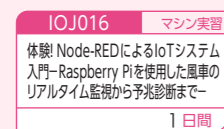
<基礎検定受検者向け>



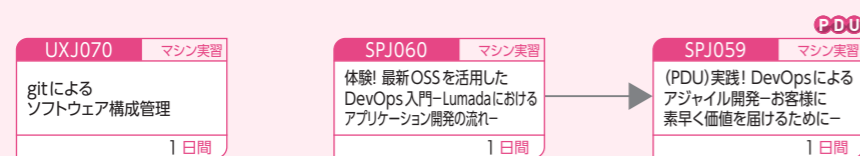
<中級検定受検者向け>



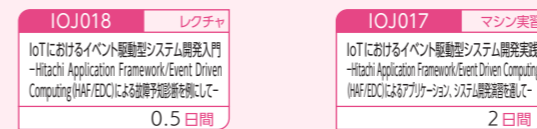
OSSを活用したIoTシステムを開発したい方



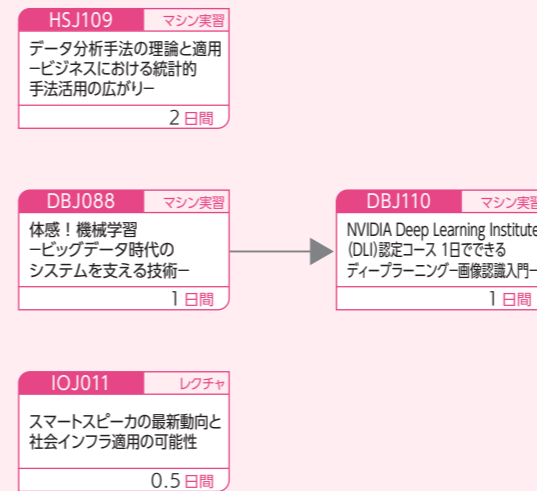
最新OSSを活用したDevOpsを知りたい方



Hitachi Application Framework/Event Driven Computingを利用したシステムを開発したい方



AIを活用したビジネスに携わる方



音声有/説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有/説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。



音声なし/説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。



初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。


休講 : 休講 (今期の定期開催はありません)


コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>


IOJ001 IoT/AI/Lumada
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>  <p>IoT概説</p> <p>0.5日間</p> </div> <div style="text-align: right;">  </div> </div>
IoTの全体像を理解します。
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> IoTとは何かを理解できる。 IoTのシステム構成を理解できる。 各社のIoTの動向を理解できる。 IoTの技術的なポイントを理解できる。
<p>対象者</p> <p>IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。</p>
<p>前提知識</p> <p>特に必要としません。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> IoTとは IoTシステムと関連技術 IoT技術動向 各社の動向
<p>備考</p> <p>このコースは、9:00～12:00の開催とさせていただきます。</p>


IOE002 IoT/AI/Lumada
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>  <p><eラーニング> IoT技術解説 セキュリティ編</p> <p>3日間</p> </div> <div style="text-align: right;">  </div> </div>
IoTシステムでのセキュリティ適用に関するポイントを事例解説と通して学習します。
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> IoTでのセキュリティの重要性を説明できる。 IoTでのセキュリティの考え方を説明できる。 IoTシステムに即したセキュリティを提案できる。
<p>対象者</p> <p>IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。</p>
<p>前提知識</p> <p>「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> IoTセキュリティの重要性 ITセキュリティとの異なり IoTシステムでのセキュリティ適用事例 業界ごとのセキュリティ技術（自動車・製造関連・医療関連など） セキュリティ技術：ホワイトリスト、SSL/TLSなど その他 <ul style="list-style-type: none"> 各種セキュリティガイドライン
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習終了日は3月31日になります。 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。



IOE003 IoT/AI/Lumada
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>  <p><eラーニング> IoT技術解説 IoTネットワーク編</p> <p>3日間</p> </div> <div style="text-align: right;">  </div> </div>
IoTネットワークの構築に必要な知識（電波特性・関連法令・ネットワークの種類）とともに、LPWAを使用したネットワークのシステム構成・セキュリティについて学習します。
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> IoT広域ネットワークで使用される技術について理解できる。 IoTエリアネットワークで使用される技術について理解できる。 IoTネットワークを構築するための関連知識について理解できる。
<p>対象者</p> <p>IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。</p>
<p>前提知識</p> <p>「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 無線関連の基礎知識 <ol style="list-style-type: none"> 電波特性 関連法令 その他 広域ネットワーク技術 <ol style="list-style-type: none"> LPWA <ul style="list-style-type: none"> LoRa、Sigfox、NB-IoT等 その他 エリアネットワーク技術 <ol style="list-style-type: none"> Wi-Fi その他 ZigBeeなど ネットワークセキュリティ技術概要
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習終了日は3月31日になります。 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。



IOJ016 IoT/AI/Lumada
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>  <p>体験! Node-REDによるIoTシステム入門 -Raspberry Piを使用した風車のリアルタイム監視から予兆診断まで-</p> <p>1日間</p> </div> </div>
ハードウェアデバイス/APIやオンラインサービスを接続するツールであるNode-REDを活用し、機器の監視から予兆診断、保守までを実行するIoTシステムの実装方法を学習します。IoTシステムのエッジとして使用されることが多いRaspberry Piを使用し、機器からセンサでデータ収集・処理を行います。風車のメンテナンスを事例に、顧客にとって有益なIoTシステムの設計、実装する演習を行い、実践力の強化を図ります。
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> IoTシステムにおけるデータ収集、加工、分析、可視化、予兆診断、保守などの処理の流れを説明できる。 Node-RED上で簡単なフローを作成できる。 Node-REDとRaspberry Piを連携させた、簡単なIoTシステムを設計、実装できる。
<p>対象者</p> <p>Node-REDを使用して、データ収集、加工、分析などの処理を行うIoTシステムを提案、設計、開発、実装する方。</p>
<p>前提知識</p> <ul style="list-style-type: none"> Windowsの操作ができること。 Linuxの基本的な操作（ls、cd、moreコマンド）ができること。
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> LumadaとNode-RED <ol style="list-style-type: none"> Lumadaの概要 LumadaにおけるNode-RED 風車の予兆診断デモ <ol style="list-style-type: none"> 風車保守最適化ソリューション 風車の予兆診断デモ Node-REDの処理フローとノード <ol style="list-style-type: none"> Node-REDの概要 処理フロー作成 ノードの紹介と主なフロー処理 Raspberry PiとNode-RED <ol style="list-style-type: none"> Raspberry Pi、Sense HATとNode-RED MQTTによるセンサデータ収集 データレイクとしてのElasticsearchの利用 風車の予兆診断デモアプリケーション <ol style="list-style-type: none"> 風車の予兆診断デモアプリケーションの概要 風車の予兆診断デモアプリケーションの詳細
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。


SPJ060 IoT/AI/Lumada
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>  <p>体験! 最新OSSを活用したDevOps入門 -Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ-</p> <p>1日間</p> </div> </div>
OSS (Redmine、Rocket.Chat、Git、Jenkins、Docker、Hubot) を活用したDevOps環境において、頻りに設計、開発、テストを行うアプリケーション開発手法を体験しながら学習します。DevOps環境の体験は、Lumada Competency Center を使います。
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> DevOpsの概要を説明できる。 DevOps環境で基本的なアプリケーションの開発の流れを説明できる。
<p>対象者</p> <p>DevOpsによるアプリケーション開発を行う予定の方。</p>
<p>前提知識</p> <p>システム開発に関する基礎知識があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 概要 <ol style="list-style-type: none"> デジタルリニューションとシステム開発における課題 DevOpsとは 最新OSSを活用したDevOps環境の概要 DevOps環境でのアプリケーション開発デモ <ol style="list-style-type: none"> デモ環境（研修環境）の概要 アプリケーション開発の流れ アプリケーション開発デモ DevOps環境のツールの機能と操作 <ol style="list-style-type: none"> プロジェクト管理 (Redmine) コミュニケーション (Rocket.Chat) ソースコード管理・ソースコードレビュー (Git/GitHub) 継続的インテグレーション (Jenkins) ChatOps (Hubot) サンプルによるDevOps体験 <ol style="list-style-type: none"> DevOps環境での開発フロー 演習 (プロジェクト管理) 演習 (開発) 演習 (リリース)
<p>備考</p> <p>このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。</p>


SPJ059 IoT/AI/Lumada
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>  <p>(PDU) 実践! DevOpsによるアジャイル開発 -お客様に素早く価値を届けるために- PDU</p> <p>1日間</p> </div> </div>
Redmineを用いたバグログを管理し、GitHubを使ってBDD（振る舞い駆動開発）などのアジャイル開発手法を実践的に学習します。実際の開発のシナリオに合わせて実習を行います。Lumada Competency Center上のPoC環境による開発を想定しています。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント (PDU：6.5ポイント) の取得が可能です。
<p>到達目標</p> <p>DevOps環境を用いた開発の流れを実行できる。</p>
<p>対象者</p> <p>DevOpsによるアプリケーション開発を行う予定の方。</p>
<p>前提知識</p> <p>「体験! 最新OSSを活用したDevOps入門-Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 概要 <ol style="list-style-type: none"> はじめに アジャイル開発における考え方 開発プロセス全体像 取り組み事例紹介 プロジェクト管理 <ol style="list-style-type: none"> プロジェクト方針 要件管理 (バグログ管理) 開発計画立案 (工数見積り、スプリント定義、タスク分割) 進捗管理 (カンバンによる進捗管理) 振り返り 開発 <ol style="list-style-type: none"> プルリクエスト駆動開発 GitHub Flowとブランチ戦略 振る舞い駆動開発 (BDD) 継続的インテグレーション (CI) 各種自動化 (ビルド・テスト・デプロイ) ペアプログラミング 改善 <ol style="list-style-type: none"> 開発作業の改善 製品・サービスの改善 ログ分析 事例紹介
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。


IOJ019 IoT/AI/Lumada
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>  <p>IoT技術解説 5G編</p> <p>0.5日間</p> </div> </div>
IoTシステム構築・関連製品の企画・構築を行う方を対象に、高速・低遅延の無線ネットワークとして、各種IoTシステムやコネクテッドカーへの適用が進む5Gの構成と機能を学習します。
<p>到達目標</p> <p>5Gを使用したIoTシステムの構築について説明できる。</p>
<p>対象者</p> <p>IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。</p>
<p>前提知識</p> <p>「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 5Gとは <ol style="list-style-type: none"> 5Gとは 4G (LTE) や既存LPWA (Sigfoxなど) との異なり 今後の適用 5G詳細技術 <ol style="list-style-type: none"> 5G New Radio Massive MIMO その他関連技術 IoTへの適用 <ol style="list-style-type: none"> 自動車関連 (コネクテッドカー・オートノマーカー) 医療関連 その他 関連事項 <ol style="list-style-type: none"> 3GPPや業界の動向 各社の5Gサービス
<p>備考</p> <p>このコースは、9:30～12:00の開催とさせていただきます。</p>

IOJ020 IoT/AI/Lumada
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>  <p>「IoTシステム技術検定 (基礎検定)」対策講座</p> <p>1日間</p> </div> <div style="text-align: right;">  </div> </div>
IoTの提案・企画を今後行う営業・SEに対して、「IoTシステムのデモンストレーション」、「座学」、「模擬試験」を使用し、IoTに関する基礎知識（考え方・用語）を紹介します。なお、このコースはMCPC主催「IoTシステム技術検定 基礎検定」についての対策講座です。
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> MCPC主催「IoTシステム技術検定 (基礎検定)」に合格できる技術力を修得する。 IoTシステムの概要、技術的なキーワードが理解できる。
<p>対象者</p> <p>SE・営業の若年層。これからIoTに携わる業務を行う営業・SEの方。</p>
<p>前提知識</p> <p>特に必要としません。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> デモンストレーション (IoTデバイス・IoTサーバなど) 技術ポイント解説 <ol style="list-style-type: none"> IoTシステム構築 センサ・アクチュエータ IoTデータ活用 (ビッグデータ・AI) IoTセキュリティ IoTシステムプロトタイプング 模擬試験
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 テキストとして「IoT技術テキスト 基礎編 [MCPC IoTシステム技術検定基礎対応]公式ガイド」を配布します (受講料に含まれます)。

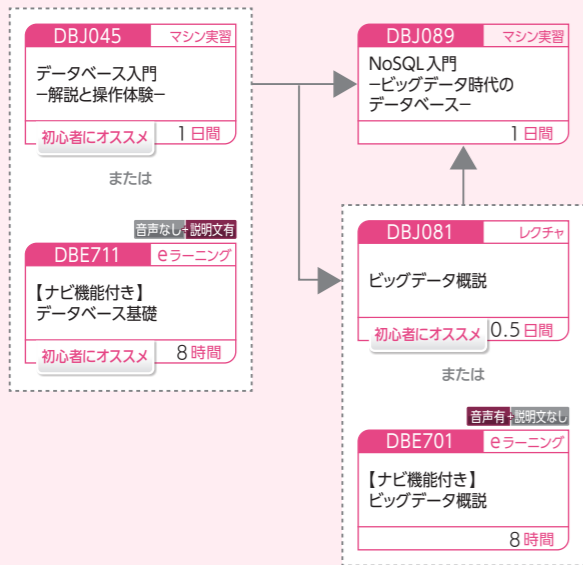
IOJ021 IoT/AI/Lumada
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>  <p>「IoTシステム技術検定 (中級)」対策講座</p> <p>2日間</p> </div> <div style="text-align: right;">  </div> </div>
IoT関連業務に携わっている方を対象に、模擬試験などを活用して、検定合格に必要な技術を効率的に修得していただきます。なお、このコースはMCPC主催「IoTシステム技術検定 中級検定」についての対策講座です。
<p>到達目標</p> <p>MCPC主催「IoTシステム技術検定 (中級)」に合格できる技術力を修得できる。</p>
<p>対象者</p> <p>IoTシステム構築に関連するSE/技術者の方。</p>
<p>前提知識</p> <p>IoT関連業務 (システム構築、製品開発など) に携わっている方。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 試験の概要 IoTシステム構築と構築技術 <ol style="list-style-type: none"> IoTシステムアーキテクチャ IoTサービスプラットフォーム センサ/アクチュエータと通信方式 <ol style="list-style-type: none"> IoTデバイス ネットワーク プロトコル AI分析とデータ活用 <ol style="list-style-type: none"> ビッグデータ分析技術 IoTデータ活用事例 セキュリティ対策とプライバシー保護 <ol style="list-style-type: none"> セキュリティ対策 情報セキュリティと法制度 IoTのプロトタイプング <ol style="list-style-type: none"> プロトタイプング
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 テキストとして「IoT技術テキスト 第2版」を配布します (受講料に含まれます)。

IOJ018 IoT/AI/Lumada
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>  <p>IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門 -Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC) による故障予知診断を例にして-</p> <p>0.5日間</p> </div> </div>
分散処理に対応したイベント駆動型システムで何が出来るのかを理解し、IoTの大量データを高速で柔軟に分析するための開発や運用の概要を学習します。Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC) の活用により、いかに効率よくイベント駆動型システムが開発できるかを学習します。※HAF/EDCは、Hitachi Application Framework/Event Driven Computingの略称です。
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 分散処理に対応したイベント駆動型システムの概要や効果を説明できる。 HAF/EDCを用いたシステム開発の概要を説明できる。
<p>対象者</p> <p>イベント駆動型システムの開発に携わる方。</p>
<p>前提知識</p> <p>システム開発に関する基礎知識があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> イベント駆動型システムとは <ol style="list-style-type: none"> IoTにおけるイベント駆動型システムが求められる背景 イベント駆動型システムの特徴 HAF/EDCを用いたシステムの一例 (産業機器の故障予知診断のデモ) 核となるHAF/EDCエンジン <ol style="list-style-type: none"> HAF/EDCの全体像 分散処理基盤の概要 イベント処理制御機能の概要 IoT共通フレームワーク基盤の概要 HAF/EDCのまとめ HAF/EDCの開発・運用支援環境 <ol style="list-style-type: none"> 高い生産性を実現する開発フレームワーク 設計・実装支援ツールの紹介とデモ 開発支援OSS群の活用
<p>備考</p> <p>このコースは、13:00～16:30の開催とさせていただきます。</p>

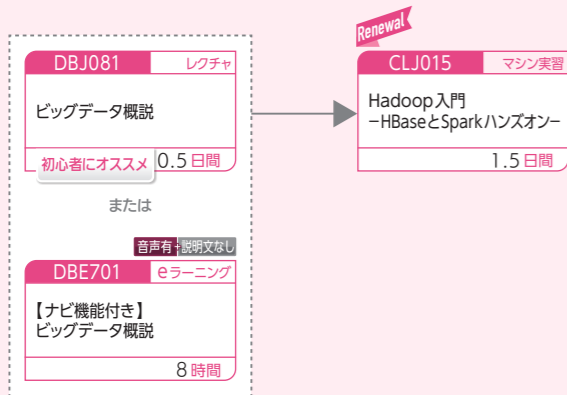
IOJ017 IoT/AI/Lumada
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>  <p>IoTにおけるイベント駆動型システム開発実践 -Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC) によるアプリケーション、システム開発演習を通して-</p> <p>2日間</p> </div> </div>
Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC) は、イベント駆動型のシステム開発基盤・アプリケーション実行基盤であり、IoTプラットフォーム [Lumada] のコアテクノロジーのひとつです。このコースは、HAF/EDCを活用したIoTシステム設計・開発を、マシン演習を通して学習します。HAF/EDCを活用した仮設検証 (PoC) の一連の流れを体験できる、開発者向けの実践的な内容を扱います。
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> イベント駆動型のアプリケーションの設計や実装ができる。 HAF/EDCを活用したIoTシステム開発の設計や実装ができる。
<p>対象者</p> <p>HAF/EDCの利用を検討する方。</p>
<p>前提知識</p> <p>「IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門-Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC) による故障予知診断を例にして-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> HAF/EDCの概要 <ol style="list-style-type: none"> 背景 HAF/EDCとは HAF/EDCの導入 <ol style="list-style-type: none"> 動作環境の構築 HAF/EDCのインストール HAF/EDCの環境設定 HAF/EDCを活用したIoTシステム設計・開発 <ol style="list-style-type: none"> IoT共通フレームワーク 演習題材の紹介 演習
<p>備考</p> <p>このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。</p>

DBJ088 IoT/AI/Lumada
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>  <p>体感! 機械学習 -ビッグデータ時代のシステムを支える技術-</p> <p>1日間</p> </div> </div>
ビッグデータでは収集したデータを活用する技術が必要です。このコースでは、データ活用技術の一つとして機械学習の導入を学習します。データを活用したシステムに向けた技術を修得できます。
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 機械学習の概要が説明できる。 ツールを用いた簡単な機械学習を用いた分析ができる。
<p>対象者</p> <p>ビッグデータ関連事業に携わる方。</p>
<p>前提知識</p> <p>基本的なプログラムの文法 (言語は問いません) を理解しており、かつ「ビッグデータ概説」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 機械学習の概要 <ol style="list-style-type: none"> 機械学習とは 機械学習の種類 機械学習のプロセス ビッグデータにおける機械学習の位置づけ 機械学習とデータマイニング 分析ツールを利用した機械学習 <ol style="list-style-type: none"> Rの概要 事例1 最適化 事例2 異常検知 事例3 数値予測 精度の確認 機械学習の実装
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

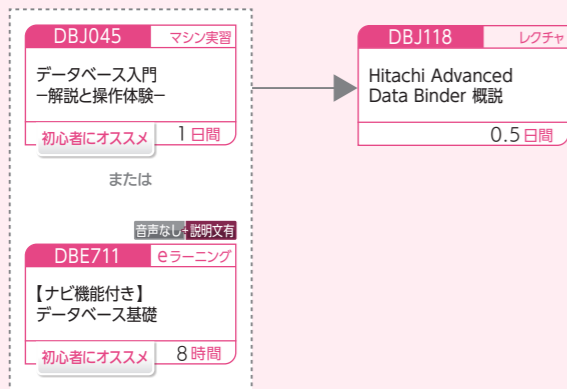
● NoSQLを使用したシステムを設計・開発する方



● Hadoopを使用したシステムを設計・開発する方



● Hitachi Advanced Data Binderを使用したシステムを設計・開発する方



音声有+説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

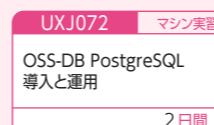
音声なし+説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

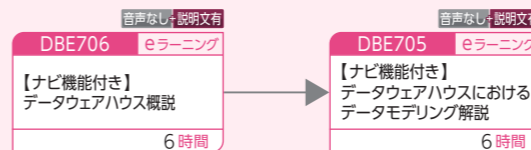
● Oracle Exadataを使用してデータベースを管理する方



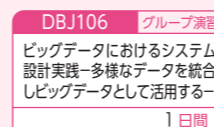
● OSS-DBを活用する技術を修得したい方



● データウェアハウスの概要や設計技術を修得したい方




● データ活用に向けシステムを設計する力を修得したい方





- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDMII
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- IT活用
- イノベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- IT基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画
- システム開発
- 要件定義/設計
- モデリング
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル


- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDMII
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- IT活用
- イノベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- IT基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画
- システム開発
- 要件定義/設計
- モデリング
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル


日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル


DBJ081 ビッグデータ
 ビッグデータ概説
0.5日間
ビッグデータでできることや活用事例を通して、さまざまな関連技術や活用手法の基礎を半日で学習します。
到達目標
・ビッグデータの概要を説明できる。 ・ビッグデータの関連技術とその必要性を説明できる。 ・ビッグデータの活用方法を説明できる。
対象者
ビッグデータの概要を修得したい方、ビッグデータ関連事業に従事する方。
前提知識
特に必要としません。
内 容
1. ビッグデータ概要 (1) ビッグデータで何ができるのか (2) ビッグデータとは (3) なぜ、ビッグデータが注目されているのか 2. ビッグデータ関連技術 (1) 並列・分散処理 (2) NoSQL (3) ストリームデータ処理 (4) 超高速データベースエンジン 3. データの活用～データ分析～ (1) データマイニング (2) 機械学習 4. ビッグデータに求められる人材 (1) ビッグデータに求められるスキル (2) 企業における取り組み
備考
・このコースは、13:00～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。


DBE701 ビッグデータ
 <eラーニング>【ナビ機能付き】ビッグデータ概説
8時間
ビッグデータでできることや活用事例を通して、さまざまな関連技術や活用手法の基礎を学習します。
到達目標
・ビッグデータの概要を説明できる。 ・ビッグデータの関連技術とその必要性を説明できる。 ・ビッグデータの活用方法を説明できる。
対象者
ビッグデータの概要を修得したい方、ビッグデータ関連事業に従事する方。
前提知識
特に必要としません。
内 容
1. ビッグデータ概要 (1) ビッグデータで何ができるのか (2) ビッグデータとは (3) なぜ、ビッグデータが注目されているのか 2. ビッグデータ関連技術 (1) 並列・分散処理 (2) NoSQL (3) ストリームデータ処理 (4) 超高速データベースエンジン 3. データの活用～データ分析～ (1) データマイニング (2) 機械学習 4. ビッグデータに求められる人材 (1) ビッグデータに求められるスキル (2) 企業における取り組み
備考
・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

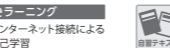
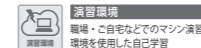
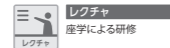
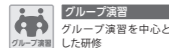
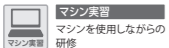
DBJ089 ビッグデータ
 NoSQL入門 ～ビッグデータ時代のデータベース～
1日間
NoSQLの基礎知識を、マシン実習を通して学習します。
到達目標
・NoSQLのデータモデルを説明できる。 ・さまざまなNoSQL製品の特長を説明できる。
対象者
これからNoSQLを使用したシステム構築を行う開発者や管理者の方。
前提知識
「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または【【ナビ機能付き】データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. NoSQLの概要 2. データモデル 3. データ分散 4. NoSQL製品の紹介
備考
・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

DBJ106 ビッグデータ
 ビッグデータにおけるシステム設計実践 ～多様なデータを統合し ビッグデータとして活用する～
1日間
設備保守支援システム、業務最適化支援システムからテーマを選択し、それを実現するためのシステムの初期設計を行います。どこにどのような装置やソフトウェアを配置し、それらをどのようにつなげるか検討し、議論することでデータ活用システムの設計力を身につけます。
到達目標
・システムを構成するうえで必要となる要素技術の全体像を説明できる。 ・ビッグデータシステムにおいて顧客要件から必要な技術を選択しシステムを設計できる。 ・設計したシステムの意図を他者に説明できる。
対象者
・ITエンジニア職、若手・中堅の方。 ・基幹DBや他のデータを、分析用に加工および統合するシステムを設計する方。 ・分析に適したデータ設計をする方。
前提知識
・データベース、仮想環境、ビッグデータに関する基礎知識があること。 ・基幹業務システムを構成する技術要素の基礎知識があること。
内 容
1. オリエンテーション 2. 利用する技術要素の概要 3. グループワーク 4. 発表
備考
・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。

CLJ015 ビッグデータ
 Hadoop入門 ～HBaseとSparkハンズオン～ Renewal
1.5日間
Hadoop/YARNの概要、HBaseの概要、Sparkの概要、それぞれ構築作業の実際についてハンズオンにて学習します。
到達目標
・Hadoop/MapReduceの概要と基本的な機能を理解できる。 ・カラム指向DB(HBase)の基本と機能を理解できる。 ・Sparkの基本と機能を理解できる。 ・Linux上でHadoopとSparkを実装できる。
対象者
クラウドやビッグデータ技術に興味があるSE・運用管理者の方。
前提知識
「Linuxシステム管理 前編」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. Hadoopの概要 2. ネットワーク構成(演習) 3. Hadoopの構成(演習) 4. HBaseの構成演習 5. Spark on YARN構成演習
備考
このコースは、初日は9:30～17:00、2日目は9:30～12:00の開催とさせていただきます。

DBE706 ビッグデータ
 <eラーニング>【ナビ機能付き】データウェアハウス概説
6時間
データウェアハウスの概念やデータウェアハウスの設計・構築方法および利用方法の基礎を学習します。
到達目標
・データウェアハウスの概念を理解し説明できる。 ・データウェアハウスの利用方法について理解し説明できる。 ・データウェアハウスに適する設計方法を理解し説明できる。
対象者
DSSシステムの管理者として、基本的な知識を必要とする方。
前提知識
「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または【【ナビ機能付き】データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. データウェアハウス登場の背景 2. 意思決定支援システムにおけるデータウェアハウス 3. データウェアハウスとは 4. OLAPとデータマイニング 5. 修了試験
備考
・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE705 ビッグデータ
 <eラーニング>【ナビ機能付き】データウェアハウスにおけるデータモデリング解説
6時間
基幹系データベース設計との相違点をふまえながら、データウェアハウスの設計手順について学習します。
到達目標
・トランザクションのACID特性について理解し説明できる。 ・さまざまなOLTPシステム構成について理解し説明できる。 ・DTPモデルの各種ソフトウェアの役割とAPIについて理解し説明できる。
対象者
データウェアハウスの設計・構築を行うための知識を必要とする方。
前提知識
【【ナビ機能付き】データウェアハウス概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. データウェアハウス概要 2. 基幹系データベース設計との相違点 3. データウェアハウスの概念設計 4. 修了試験
備考
・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

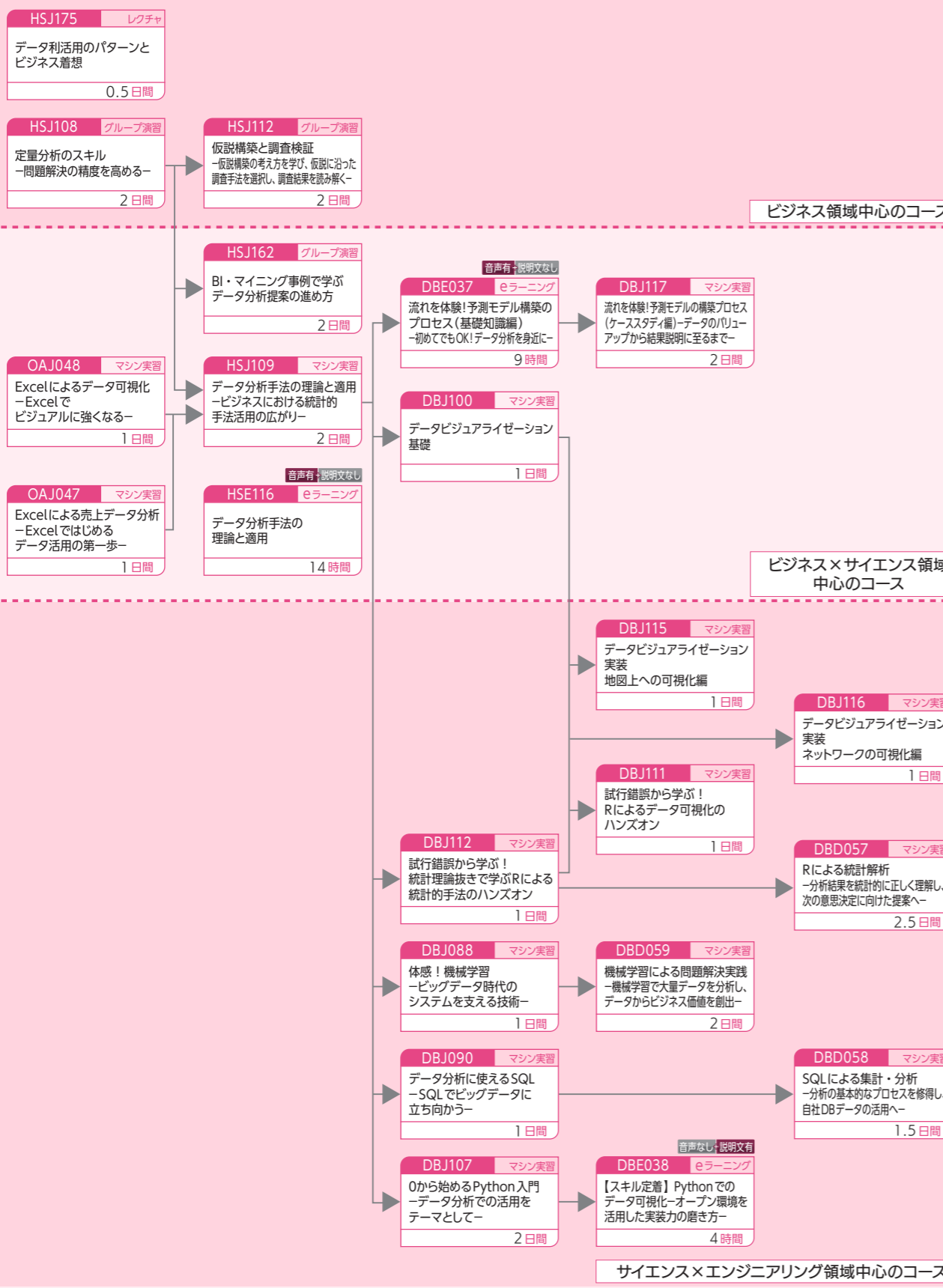


日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

データ分析

データ可視化、統計的機械学習手法の計画の立て方、手法、考察の仕方が修得できます。

● 定量的な分析能力を高めたい方



HSJ108 データ分析

定量分析のスキル -問題解決の精度を高める-

2日間

データ分析には一般的な分析の流れがあり、ビッグデータのような大量のデータを分析する時にこそ、その流れを意識する必要があります。このコースは、ビジネスにおける問題発見と解決の具体的な流れに従い、お客様の課題を捉え、具体的に提案・解決する能力を高めることを目的としています。

問題発見と解決とは、課題の構造化と仮説立案、分析結果(グラフ・チャート)をイメージしたデータ収集、多面的な評価軸で比較・分析することであり、これらも含めて、問題発見と解決のステップ全体を具体的に学習します。問題発見と解決の概念やスキルに関する講義だけではなく、サプライチェーンの実事例をもとに「どの地域を重点におくべきか、売り逃しはどこか、どこまで改善できるか」といったことを考えるケース演習と、ミニ演習を組み合わせており、大変実践的なものとなっています。ケース演習やミニ演習での失敗、気づき、成功体験を通して、大量のデータに自身が惑わされず何を読み取るか、またデータの意味をどう考え、扱うかということについて学習します。

到達目標

- 問題発見、解決のプロセスを理解し問題を定量的に捉えることができる。
- お客様のビジネス上の課題を構造的に捉え企画、提言ができる。

対象者

論理的思考を活用しながらビジネスにおける課題を数値的に捉えたい方、大量のデータを読み解き企画・提案につなげたい方、現状の業務課題を数値的に捉え解決したい方。

前置知識

「ロジカルシンキング基礎-論理的可視化と論理チェックのポイント-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- はじめに(ケース学習の概要と経験学習のご説明)
- 目的の明確化と意味合いの抽出の重要性
- 仮説立案の重要性と合理的決定の方法
- 仮説立案、解析準備、解析・検証のサイクル
- そして実務へ-実務での適用に向けた分析計画-
- 2日間の振り返り

備考

- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- データ操作などの作業効率向上をめざす方は、「データ分析手法の理論と適用-ビジネスにおける統計的手法活用の広がり-」コースのご受講を推奨します。
- 定量分析の実事例をもとに開発したケースを使用しています。
- ケース演習、ミニ演習はすべてグループ演習となっており、問題解決や定量分析の視点を広げながら学習します。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

OAJ048 データ分析

Excelによるデータ可視化 -Excelでビジュアルに強くなる-

1日間

データを活用するための第一歩はデータの可視化です。Excelを使用して、データを図やグラフに可視化する手順をマシン操作を通して学習します。業務で発生したデータの持つ意味や役割を自ら解釈し、他者が見てもわかりやすく見やすいグラフを作る手法を紹介します。

到達目標

- Excelを用いた基本的なデータ可視化ができる。
- 業務で発生したデータに対し、Excelによる可視化手法を用いて意味づけができる。

対象者

- 業務データを解釈してその意味を見出し、他者が見てわかりやすい図やグラフに可視化するスキルを修得したい方。
- 業務データはExcelにまとめたが、その活用方法を模索している方。

前置知識

特に必要としません。

内容

- グラフ作成に必要な知識
 - ビジネスの用途にあったグラフを選択する
- グラフ作成の基本
 - グラフの基本的な作り方
 - グラフの種類
- 応用グラフを作る
 - 複合グラフ
 - 絵グラフ
- グラフィカルなグラフを作る
 - 魅力あるグラフ

備考

- このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

OAJ047 データ分析

Excelによる売上データ分析 -Excelではじめるデータ活用の第一歩-

1日間

業務で利用するデータをどのように分析するか、一連の分析プロセスを理解しながら、Excelの分析機能を活用してその手順を、マシン操作を通して学習します。考察に活用できる法則や、データの意味づけ、データ間のみならずを整理する分析手法を紹介いたします。

到達目標

売上データに対する基本的なデータ分析ができる。

対象者

- 売上データに対し、データ分析する基礎的なスキルを修得したい方。
- 売上データは手元にあるが、その活用方法を模索している方。

前置知識

特に必要としません。

内容

- 売上データ分析の基本
 - 既存の売上データから法則性を見出す
 - 売上データのまとめ方
- 売上データを分析する
 - さまざまな法則性
 - 自社において必要な法則性とは
- 売上予測の立て方の基本
 - 売上予測の本来の目的とは
 - 売上予測の仕方
 - さまざまな関数
- 相関分析を使って売上予測をする
 - 相関分析とは
- 重回帰分析を使って売上予測をする
 - 重回帰分析とは
 - 重回帰分析で注目すべき数字

備考

- このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

HSJ112 データ分析

仮説構築と調査検証 -仮説構築の考え方を学び、仮説に沿った調査手法を選択し、調査結果を読み解く-

2日間

ビッグデータの分析であっても、分析結果から意味を解き、活用するのは人間です。このコースでは、問題解決における仮説構築と調査検証を具体的に遂行する思考力を高めることを目的としています。仮説構築とは、すでに分かっている事実から、帰納・演繹の思考体系を用い、仮説を構造的に展開する思考力です。また、調査検証とは、仮説を検証するためのデータ収集、仮説と収集したデータから分析手法を選択すること、適用結果と仮説の対比・解釈から成ります。これらを実践演習を通して学習します。

到達目標

- 得られている事実から仮説を構造化できる。
- 仮説構築と調査検証を繰り返し深い洞察ができる。
- 検証のための各調査手法を理解し目的にあわせて実行できる。

対象者

仮説構築の考え方を身につけビジネスデータの利用につなげたい方、調査手法を知り漠然とした問題を解決したい方。

前置知識

「ロジカルシンキング基礎-論理的可視化と論理チェックのポイント-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- 初期仮説構築のための思考と二次情報収集
 - 仮説構築のための情報収集前の思考
 - 情報収集結果から仮説構築する思考
 - 仮説を検証するための検証計画を立てる際の思考
 - 二次調査のソース(官公庁資料/市販出版物/IR資料/ソーシャルメディア/社内情報)
- 初期仮説の立案とヒアリング調査による検証
 - ヒアリング設計の考え方
 - ヒアリング技法(U&A調査/ラダリング法/コンセプトテスト)
- 解決策仮説の立案とアンケート調査による検証
 - 仮説・調査票・アンケート結果の可視化・考察の関連付け(購買行動分析/ブランドイメージ調査/コレスポンデンス分析/PSM分析/クラスター分析/重回帰分析/コンジョイント分析)

備考

- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ162 データ分析

BI・マイニング事例で学ぶデータ分析提案の進め方

2日間

データ活用提案をする際には、顧客要望や顧客の持つデータのターゲットに応じて、分析のストーリーを提示できる必要があります。このコースでは、どのような点に注意して提案活動を進めていくのかを実例の紹介・BIツール(QlikSense)やテキストマイニングツール(CoreExplorer)を用いた演習を交えて学習します。

到達目標

- BIツールやテキストマイニングツールでできることが理解できる。
- BIツールを含めた分析提案のパターンを理解できる。
- BIツールを含めた分析提案の各ターゲットの注意点を理解できる。
- データを前にして、ステークホルダーに提示する可視化(図表)が複数パターンイメージできる。

対象者

- データ分析の企画・提案をする/される立場の方。
- BIツールやテキストマイニングツールを活用した分析提案を検討および実行している方。
- BIツールやテキストマイニングツールの社内導入を検討および実行している方。

前置知識

提案書作成に関する基礎知識があり、かつ一般的な分析手法の知識があること。

内容

- はじめに
 - データ分析ツールの分類と各ツールの特徴
 - データ分析提案の進め方と各フェーズでの注意点
- BIツールを中心とした分析提案の進め方
 - 分析提案のプロセス
 - 要件ヒアリング/PoC(Proof of Concept:概念検証)/提案ベックの確定/見積の作成
 - 分析事例に見る気をつけるポイント
 - 特定APPへの帳票・分析機能追加事例
 - 既存BI環境のリプレイス事例
 - SaaS型サービスへの機能付加事例
 - UPへの分析機能追加事例
- データ・テキストマイニング提案の進め方
 - 分析におけるソリューション提案のプロセス
 - 要件ヒアリング/PoC/業務プロセスへの導入(システム化)提案
 - 分析事例に見る気をつけるポイント
 - 知財データのテキストマイニング事例
 - 故障報告書データのテキストマイニング事例
 - 小売でのVOC(Voice of customer:顧客の声)分析事例
 - ログデータ分析による故障予測事例

備考

- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ツールにはBIツール(QlikSense)、テキストマイニングツール(CoreExplorer)を用います。
- 演習内容、ご紹介する事例は、予告なく変更する場合があります。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ109 データ分析

データ分析手法の理論と適用 -ビジネスにおける統計的手法活用の広がり-

2日間

このコースでは、ビッグデータの分析やデータマイニングの根拠にある、データ分析の理論や作業スキルを学習します。また、理論や作業スキルにとどまらず、各分析手法をビジネスデータに適用する際の考え方もあわせて学習します。例えば、分析手法適用の際のインプットデータは、目的や仮説に基づいて抽出する必要があります。また、アウトプットの図表からは、「だから何が言えるのか」という、提言につながる考察を抽出する必要があります。このような、データを入力してからレポート作成するまでの一連の思考過程と作業を、Excelを利用した演習を通して学習します。

到達目標

- 分析の目的と仮説を分析手法適用のインプットに反映できる。
- 分析結果から意味を抽出し、提案や企画に活かすことができる。
- 統計における各種数式の意味が理解できる。
- Excelを用いて効率よく分析ができる。

対象者

データ分析におけるExcel活用を学びたい方、Excel操作にとどまらずデータ分析における考え方のポイントを知りたい方。

前置知識

「ロジカルシンキング基礎-論理的可視化と論理チェックのポイント-」コースを修了しているか、または同等の知識があり、かつExcelの基本的な操作経験があること。

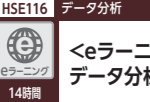
内容

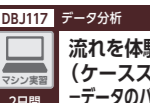
- データ分析手法の分類
 - 目的によるデータ分析手法の分類
 - データの種類によるデータ分析手法の分類
- データ分析手法
 - 分析のアウトプットの意味を考える
 - 分析のインプットデータをどうすべき考える(ヒストグラム/基本統計量/時系列分析/パレート分析/重回帰分析/散布図/重回帰分析/数量化I類/主成分分析/判別分析/クラスター分析)
- 確率と検定
 - 区間推定
 - 検定(t検定/独立性の検定/分散分析)
 - シミュレーションへの確率分布の適用
- そして実務へ
 - 分析計画の策定

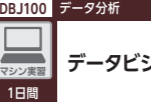
備考

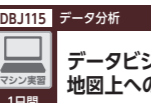
- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- このコースは、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

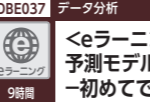
日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

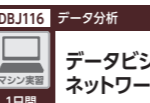
DBJ117	データ分析
	<eラーニング>データ分析手法の理論と適用
14時間	
到達目標	・分析の目的と仮説を分析手法適用のインプットに反映できる。 ・分析結果から意味を抽出し、提案や企画に活かすことができる。 ・統計における各種数式の意味が理解できる。 ・Excelを用いて効率よく分析ができる。
対象者	・データ分析におけるExcel活用を学びたい方。 ・Excel操作に留まらず、データ分析の考え方のポイントを知りたい方。 ・「データ分析手法の理論と適用」コースをじっくり再学習したい、集合コースを受け取る前に基礎知識を身につけておきたい方。 ・レベル自分のペースで学習したい方。
前置知識	Excelの基本的な操作経験をお持ちのこと。かつ、「ロジカルシンキング基礎ー論理的可視化と論理チェックのポイント」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. はじめに (1) データ分析とは何か? (2) どのような手順で分析計画を考えるのか? (3) どのように振り下げて分析するのか? 2. データ分析手法の種類 (1) データを分類すると? (2) 分析手法をデータの種類の分類すると? (3) 分析手法を目的で分類すると? (4) 問題解決のプロセスで分類すると? 3. QC手法の適用 (1) ヒストグラムと基本統計量 (2) 管理図の活用 (時系列図) (3) パレート分析 (4) 散布図と単回帰分析 (5) クロス集計とアソシエーション分析 4. 多変量解析の適用 (1) 重回帰分析 (2) 数量化理論1類 (3) 判別分析 (4) ロジスティック回帰分析 (5) 決定木分析 (分類木) (6) クラスタ分析 (k-means法) (7) 主成分分析 5. 確率と検定の適用 (1) 確率分布と検定手法の種類 (2) 区間推定 (3) t検定 (平均値の差の検定) (4) χ2検定 (独立性の検定) (5) F検定 (等分散性の検定) 6. そして実務へ
備考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、集合研修「データ分析手法の理論と適用ービジネスにおける統計的手法活用の広がり」コース (HSJ109) と同等の内容です。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法を確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ117	データ分析
	流れを体験! 予測モデルの構築プロセス (ケーススタディ編)ーデータのバリュウアップから結果説明に至るまでー
2日間	
到達目標	・予測モデル構築の一連の流れが具体的に分かる。特に、以下の点について具体的な考え方・やり方が身につく。 ・データの背景にある顧客業務を理解するためのコミュニケーション ・預かった生データを分析用のデータセットとして磨き上げる ・最適なモデルを決めるための複数の手法でのパフォーマンス比較
対象者	・データ分析案件において、分析作業を担当する、したい方。 ・データ分析提案をするにあたり、実際のモデル構築がどんな作業になるかを知っておく必要がある方。 ・モデリングの検討手順が分らず、データ分析の学習に迷われている方。 ・モデルの手法を体系的に学びたい方。
前置知識	「流れを体験! 予測モデル構築のプロセス (基礎知識編)」ー初めてでもOK! データ分析を身近にー「eラーニング」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. はじめに (1) オリエンテーション (2) 基礎知識編 (eラーニング) の学習内容のおさらい 2. ケース演習 (1) データから顧客の業務や運用を推測して質問に纏める (2) データ汚れの有無をデータ検査ノードや各種グラフを使って確認する (3) 複数の手法でモデリング (4) 精度評価とチューニング (5) レポート化 ・ケースターマ例1:製造メーカーにおける種別判別を99%を超える精度で判別するモデルの構築 ・ケースターマ例2:品質検査におけるばらつきの原因推定モデルの構築 ※ケースターマは最新のテーマへと随時変更していくため、予告なく変更いたします 3. データ分析専門家による事例紹介講演 4. おわりに
備考	このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

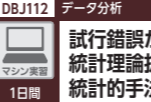
DBJ100	データ分析
	データビジュアライゼーション基礎
1日間	
到達目標	データ可視化について、計画を立てるプロセス・各手順での考え方を学習します。オープンソースのアプリケーションを使用したデータの可視化手順を学習します。 ※このコースはデータ可視化の「考え方」の基礎です。実装のプログラミングスキル向上は対象としておりませんのでご注意ください。
到達目的	役立つ可視化の計画を考える思考プロセスを理解できるオープンソースのアプリケーションを活用したデータの可視化の実装の手順のイメージを持てる(※ただし実装のためのプログラミングが中心ではございませんのでご注意ください)。
対象者	データの可視化スキルを必要とする方。例えば、オープンデータの有効活用のために、幅広いユーザーに使いやすい画面での公開を考える必要がある。データ活用の提案や構築において、一般的なチャートとは異なる魅せ方を必要とする。データ開示系のデータを利活用した新サービスを考案する必要がある方。
前置知識	プログラミングについてコードが読める程度の基礎知識を有すること。
内容	1. データビジュアライゼーション概要 (1) データビジュアライゼーションとは何か、なぜ必要なのか (2) どのようにすればデータビジュアライゼーションは実現できるか 2. データビジュアライゼーションの基本 (1) 何を表現するか (2) どう表現するか 3. webアプリを使った実装方法 (1) 実装ワークフローに沿った実装 (2) スキルアップのための試行錯誤の進め方 (3) 今後の学びのために役立つアプリの紹介 4. 可視化計画の立て方 5. まとめ (1) 今後のスキルの磨き方
備考	このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。


DBJ115	データ分析
	データビジュアライゼーション実装 地図上への可視化編
1日間	
到達目標	・地図の可視化手法の全体像を理解する。 ・オープンソースのアプリケーションを使用して、データを適切に加工し、可視化することができるようになる。
対象者	・位置情報に基づくデータを活用したい方。 ・可視化した図をプレゼンテーション資料に活かしたい方。 ・地図の可視化手法の全体像を理解し、適切な手段が何か判断できるようになりたい方。
前置知識	データを加工するため、テキストエディタやExcelなどの表計算アプリの利用経験があることが望ましい。 ※実装を主とした内容ですが、データ整形とアプリ操作が主のため、プログラミングスキルはなくともご受講いただけます。
内容	1. 地図可視化の概要 (1) 地図にまつわる基礎知識 2. 地図可視化の種類 (1) 地図の可視化の分類法と実例 (2) 階級分類と色の考え方 3. オープンソースを利用した可視化実習 (1) 必要なデータの加工方法 (2) いくつかの地図の作成方法
備考	このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

DBE037	データ分析
	<eラーニング>流れを体験! 予測モデル構築のプロセス (基礎知識編)ー初めてでもOK! データ分析を身近にー
9時間	
到達目標	このコースは、データマイニングの代表的な方法論である「CRISP-DM」に沿って、予測モデルを構築する一連の流れおよびモデルを構築するために必要な各種分析手法を学習します。受講者はソフトウェアをインストール可能なPCを用意いただくことを推奨します。お手元にPCを用意いただくことで、画面認識に従ってソフトウェアをインストールおよびハンズオンで確認しながら学習することができます。このコースを受講することで、今までよりもデータ分析を身近に感じていただくことができます。なお、このコースは「流れを体験! 予測モデルの構築プロセス (ケーススタディ編)」ーデータのバリュウアップから結果説明に至るまでー」コースを受講するための前提コースとなります。
到達目的	・データマイニングの基本プロセスを説明できる。 ・多変量解析やクラスター分析、決定木分析などデータマイニングの基本的な手法を説明できる。 ・「流れを体験! 予測モデルの構築プロセス(ケーススタディ編)」コースで使用するツールの基本操作を説明できる。
対象者	・データ分析ツールを表計算ソフトやワープロソフトなどと同じように使いこなしたいと考えている方。 ・データ活用案件において、アナリティクスを担当する必要がある、したい方。 ・データ分析提案をするにあたり、実際のモデル構築がどんな作業になるかを知っておく必要があると思われる方。 ・分析モデリングの検討手順が分らず、データ分析の学習に迷われている方。 ・予測モデルの手法を体系的に学びたい方。 ・「流れを体験! 予測モデルの構築プロセス(ケーススタディ編)」ーデータのバリュウアップから結果説明に至るまでー」コースを受講される方。
前置知識	・一次方程式の関数 (y=f(x)) がわかること。 ・ソフトウェアのインストールができること。 ・平均や分散、標準偏差など基本統計量について理解できていること。
内容	1. データマイニング概要 2. データの理解、記述 3. ツールのインストール 4. 演習データの説明 5. データの磨き上げ (バリュウアップ) 概要 6. データの磨き上げ (バリュウアップ) 操作 7. モデリング1 (多変量解析、クラスター分析、ニューラル・ネットワーク、決定木分析ほか) 8. モデリング2 (異常値検査、時系列分析ほか) 9. 全体まとめ 10. 「流れを体験! 予測モデルの構築プロセス (ケーススタディ編)」について ※このコースの内容は、予告なく変更する場合があります。 ※お手元にPCをご用意いただいた方は、適宜PC操作をハンズオンで学習いただけます。
備考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要ですよ。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法を確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

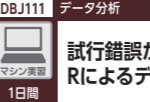
DBJ116	データ分析
	データビジュアライゼーション実装 ネットワークの可視化編
1日間	
到達目標	・ネットワーク構造の可視化手法の全体像を理解する。 ・オープンソースのアプリケーションを使用して、データを適切に加工し、可視化することができるようになる。
対象者	・ネットワーク・データを活用したい方。 ・可視化した図をプレゼンテーション資料に活かしたい方。 ・ネットワーク構造の可視化手法の全体像を理解し、適切な手段が何か判断できるようになりたい方。
前置知識	データを加工するため、テキストエディタやExcelなどの表計算アプリの利用経験があることが望ましい。 ※実装を主とした内容ですが、データ整形とアプリ操作が主のため、プログラミングスキルはなくともご受講いただけます。
内容	1. ネットワーク可視化の概要 (1) ネットワークにまつわる基礎知識 2. ネットワーク可視化の種類 (1) ネットワークの可視化の分類法と実例 3. オープンソースを利用した可視化実習 (1) 必要なデータの加工方法 (2) いくつかのネットワークの作成方法
備考	このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

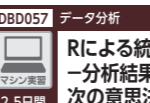
	マシ実習 マシンを使用した研修
	グループ演習 グループ演習を中心とした研修
	レクチャ 座学による研修
	演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習
	eラーニング インターネット接続による自己学習
	自己テキスト 自習書による自己学習

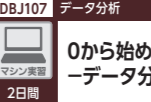
DBJ112	データ分析
	試行錯誤から学ぶ! 統計理論抜きで学ぶRによる統計的手法のハンズオン
1日間	
到達目標	OSSの統計解析向けのプログラミング言語、およびその開発実行環境であるRのインストール、基本操作を学習します。
到達目的	・Rの基本文法を修得し、基本的なデータ操作や、代表値 (平均値、標準偏差など) を求めることができる。 ・Rを用いてデータを適切な図表で表現できる。 ・Rを用いて各種分析手法を用いることができる。
対象者	データ分析におけるRの操作方法を学びたい方。
前置知識	「データ分析手法の理論と適用ービジネスにおける統計的手法活用の広がり」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. Rの概要 2. Rによるデータ操作の基礎 3. Rによるデータ分析 (1) 重回帰分析 (2) ロジスティック回帰分析 (3) クラスター分析
備考	このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

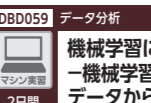
DBE038	データ分析
	<eラーニング>【スキル定着】Pythonでのデータ可視化ーオープン環境を活用した実装力の磨き方ー
4時間	
到達目標	さまざまなデータ可視化の実装を通して、実践で使えるレポートリを増やします。繰り返し実装することで、Pythonでのデータ活用の流れの定着を図ります。
到達目的	・Pythonを使った可視化の実装ができる。 ・オープンな環境を利用しどのように学び (自己学習) を深められいか理解できる。
対象者	・Pythonのライブラリを活用して可視化の実装を試したい方。 ・Pythonの基本は分かったので腕試ししたい方。
前置知識	「0から始めるPython入門ーデータ分析での活用をテーマとしてー」コースを修了しているか、または同等の知識 (Pythonを実装できる環境構築やPythonの基本構文・データ構造の理解) があること。
内容	1. データ可視化とは (1) データ可視化の目的 (2) データ可視化の種類 (3) データ可視化の手順 (4) データ可視化のセオリー (データインク比、データ濃度、表現方法の選択) 2. Pythonを使ったデータ可視化の進め方 (1) ライブラリの種類と目的に応じた選択 (2) 可視化に使える主なWebアプリとその選択 (3) 学習に使えるオープンデータとソースコード 3. Pythonによるさまざまなデータの可視化の紹介および実装 (1) 平行座標プロット (2) 散布図行列 (3) ヒートマップ (4) デンドログラム (5) ワードクラウド (6) コロプレス地図 (7) ネットワーク図 (8) アニメーションパブル図 ※ご紹介する可視化手法は予告なく変更する場合があります
備考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法を確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

休 講	休 講 今期の定期開催はありません
------------	-----------------------------

DBJ111	データ分析
	試行錯誤から学ぶ! Rによるデータ可視化のハンズオン
1日間	
到達目標	Rを通じて以下サイトにあるデータ可視化を実装します。https://www.r-graph-gallery.com/ Web上でグラフを作成するメリットは、 ・表現の幅が任意的に広がること。 ・試行錯誤により思い通りのグラフにブラッシュアップできることです。 試行錯誤するには、 ・サッとプログラミングでき、 ・どのような属性をどんな表現方法で追加するとよいか構想できる エンジニアリング×サイエンスの力が必要です。 このコースでは、実際にRで可視化のプログラミングを行うことを通して、その試行錯誤のやり方を学ぶことができます。
到達目的	・顧客の要望に合わせて適切に可視化方法を選ぶようになる。 ・さまざまなグラフをRを通じて実装できるようになる。 ・データ利活用を推進しており、分析の実作業に携わっている、携わる予定、携わりたい方。 ・顧客が知らないようなグラフも提示したいが、データ可視化のスキルが十分でないがゆえに、効果的なグラフを作成できていない方。
前置知識	「試行錯誤から学ぶ! 統計理論抜きで学ぶRによる統計的手法のハンズオン」コースを修了しているか、または同等の知識があり、かつRでのプログラミングの基礎知識をお持ちのこと。
内容	1. はじめに (1) データ可視化の目的 (2) データ可視化の種類 (3) データ可視化の手順 (4) データ可視化のセオリー (データインク比、データ濃度、表現方法の選択) 2. Rによるさまざまな可視化の紹介および実装体験 (1) 並行座標プロット (2) 散布図行列 (3) ヒートマップ (4) デンドログラム (5) ワードクラウド (6) コロプレス地図 (7) ネットワーク図 (8) アニメーションパブルチャート ※ご紹介する可視化手法は予告なく変更する場合があります。 3. おわりに (1) 学習内容の振り返り (2) 業務への活用の検討
備考	このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

DBD057	データ分析
	Rによる統計解析ー分析結果を統計的に正しく理解し、次の意思決定に向けた提案へー
2.5日間	
到達目標	分析結果を統計的に正しく理解し、適切な意思決定支援を行うために必要なスキルをケーススタディで学習します。分析の各プロセスに従いながら、モデル作成や評価の流れをRを用いて実践的に学習します。
到達目的	・検定などを用いて効果測定ができる (e.g.A/Bテスト、メールCTR比較)。 ・モデルの解釈と、チューニングが理解できる (SVM、ベイズ推定/MCMCなど)。 ・分析・効果測定の結果を統計的に正しく理解できる。 ・分析結果から意思決定に向けた施策提案ができる。 ・予測や分類の解析手法の使い方がわかる (e.g.回帰やクラスター分析)。
対象者	・分析結果を統計的に正しく理解したい方。 ・分析を活用して適切な意思決定支援をしたい方。
前置知識	Rのインストールができること。高校数学程度の知識をお持ちで (行列・ベクトル概念、Zの意味)、かつ「定量分析のスキルー問題解決の精度を高める」コースおよび、「試行錯誤から学ぶ! 統計理論抜きで学ぶRによる統計的手法のハンズオン」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. 基礎知識の習得ー分析のプロセス、基本統計量とデータの可視化ー 2. 統計・分析手法の基本と活用 (1) 確率分布、統計的仮説検定 (2) モデル作成と評価 (回帰分析と結果の見方、予測精度の評価) 4. 機械学習の応用 (モデリング) (1) 選択モデルの考え方 (2) RとJAGSの使い方。MCMCによる分析、結果の見方 3. 総合演習 (新規事業担当者として、スマホアプリの欠損や不整合を含む実データ分析から、小売店の販促施策の提案を作成) (1) 集計、統計量算出による現状把握ー仮設構築、分析課題設定 (2) モデル作成/評価ーモデルの結果から、提案作成 (3) 中晩/最終発表ー発表/講師フィードバック/ディスカッション このコースは、初日は14:00～18:00、2日目以降は9:00～18:00の開催とさせていただきます。
備考	・このコースは、ブレインパッド社との提携コースのため、ブレインパッド社の研修会場にて開催します。 ・コース実施に必要となる受講者の個人情報をブレインパッド社へ提供いたします。 ・開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、実事例をもとにしたケーススタディによる演習が中心です。 ・このコースで利用する実データは、予告なく変更される場合があります。 ・このコースは、マシン実習を通し、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。


DBJ107	データ分析
	0から始めるPython入門ーデータ分析での活用をテーマとしてー
2日間	
到達目標	データ分析の一連の流れをテーマとしてPythonの基本的な構文やデータ構造を修得します。
到達目的	・Pythonの基本構文・データ構造を理解することができる。 ・Pythonを使ってデータ分析の基本となるデータ加工、統計量の計算、可視化ができる。
対象者	これからPythonを利用したアプリケーション開発・データ分析を行う方。
前置知識	フローチャートで基本的なアルゴリズムを表現することができる。
内容	1. Python概要 2. データ分析の流れ (1) データを読み込む (2) データを加工する (3) 結果を集計する (4) 結果を検査する (5) 結果を出力する 3. 統計量の計算 4. グラフを使ったデータの可視化 5. 総合演習
備考	このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

DBD059	データ分析
	機械学習による問題解決実践ー機械学習で大量データを分析し、データからビジネス価値を創出ー
2日間	
到達目標	・機械学習の概念を理解し、ビジネス課題への適用方法がわかる。 ・モデルの解釈と、チューニングが理解できる (SVM、ベイズ推定/MCMCなど)。 ・オープンソース (R、JAGS) による機械学習の実装ができる。
対象者	大量データの分析に機械学習を活用し、ビジネスで成果を出したい方。
前置知識	高校数学程度の知識があり (行列・ベクトルの概念、Zの意味がわかる)、かつ「体感・機械学習ービッグデータ時代のシステムを支える技術ー」コース、および「Rによる統計解析ー分析結果を統計的に正しく理解し、次の意思決定に向けた提案へー」を修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. 分析のプロセスー機械学習入門【1日目】 (1) 機械学習の流れ、アルゴリズムの種類 2. サポートベクトルマシン (1) カルネ法、実例SVM、交差正当化 3. 解の推定 (1) ベイズ推定、マルコフ連鎖モンテカルロ法、収束判定 4. 機械学習の応用 (モデリング) (1) 選択モデルの考え方 (2) RとJAGSの使い方。MCMCによる分析、結果の見方 5. 総合演習 (新規事業担当者として、欠損や不整合を含むスマホアプリの実データの分析から、予測モデルを作成し、提案作成)【2日目】 (1) 集計、統計量算出による現状把握ー仮設構築、分析課題設定 (2) モデル作成/チューニング/評価ーモデルの結果から、提案作成 (3) 中晩/最終発表ー発表/講師フィードバック/ディスカッション このコースは、9:00～18:00の開催とさせていただきます。
備考	・このコースは、9:00～18:00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、ブレインパッド社との提携コースのため、ブレインパッド社の研修会場にて開催します。 ・コース実施に必要となる受講者の個人情報をブレインパッド社へ提供いたします。 ・開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、実事例をもとにしたケーススタディによる演習が中心です。 ・このコースで利用する実データは、予告なく変更する場合があります。 ・このコースは、マシン実習を通し、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。

データ分析

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

DBD058 データ分析
 SQLによる集計・分析 分析の基本的なプロセスを修得し、 自社DBデータの活用へー
1.5日間
分析の設計（指標やKPI、クロス集計の集計軸の考え方など）や、分析の際のデータハンドリング方法など、一連のデータ分析のプロセスをケーススタディを通して、実践的に学習します。

到達目標	・ SQLを用いて大量データのハンドリングができる。 ・ 問題解決のための分析設計(集計軸の設計)ができる。 ・ 自社DB上のデータに対し、集計・分析ができる。 ・ 集計・分析を通して、データに基づく改善提案ができる。
対象者	・ データ分析のプロセスの知識を実践に結びつけたい方。 ・ DB上の自社データを活用したい方。

前置知識 Excelでのピボットテーブル操作、もしくはAccessの利用経験をお持ちのこと、かつ「定量分析のスキル-問題解決の精度を高める-」コース、および「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容	1. 分析の基本 (1) 分析とは? / 基本的な分析プロセス 2. 分析とDB、SQL (1) Database / SQLとは? (2) 検索操作の基本 3. 分析視点でのSQL演習 (1) 分析プロセスのおさらい (2) 推移/利用/属性別集計 4. 総合演習(新規事業担当のビジネスケーススタディ) (1) 分析設計 - 現状把握と課題抽出 (2) 中間発表 - 課題の要因探索 - 改善提案作成 (3) 最終発表 - 発表/ディスカッション/まとめ
------------	--

備 考	・ このコースは、初日は14:00～18:00、2日目は9:00～18:00の開催とさせていただきます。 ・ このコースは、ブレインパッド社との提携コースのため、ブレインパッド社の研修会場にて開催します。 ・ コース実施に必要なご受講者の個人情報をブレインパッド社へ提供いたします。 ・ 開始日10営業日前を過ぎてもキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・ このコースは実事例をもとにしたケーススタディ演習が中心です。スマホアプリの実データ(欠損や不整合を含む)を利用します。研修で利用する実データは予告なく変更することがあります。 ・ このコースは、マンシ実習を通し、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。
------------	--

サイバーセキュリティ

サイバー攻撃に伴う予防およびインシデント発生時の初動の対応するためのスキルが修得できます。

- エンドユーザに対してよくある攻撃と、その対処方法を修得したい方

音声なし・説明文有
SCE011 eラーニング
サイバー攻撃対応基礎 (知識修得編)
3 時間

- インシデント発生時の対処方法を修得したい方

音声なし・説明文有
SCJ049 グループ演習
サイバー攻撃対応 コミュニケーション訓練
0.5 日間

- 社会人としてのセキュリティ意識を身につけたい方

音声なし・説明文有
SCE708 eラーニング
【ナビ機能付き】 情報セキュリティテラシー -セキュリティの必要性と対策-
4 時間

※コース詳細はセキュリティ講座をご覧ください。

音声有・説明文有	：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有・説明文なし	：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし・説明文有	：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ	：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。
----------	--



休 講	休 講 今期の定期開催はありません
-----	----------------------


コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

 マシン実習 マシンを使用しながらの研修	 グループ演習 グループ演習を中心とした研修	 レクチャ 座学による研修	 演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習	 eラーニング インターネット接続による自己学習	 自習テキスト 自習書による自己学習
---	---	--	--	---	---

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

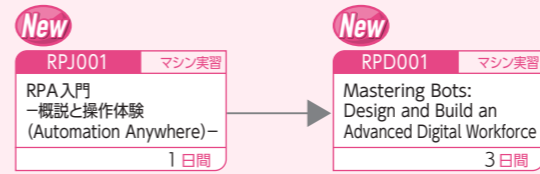
SCE011	サイバーセキュリティ
	<eラーニング>
	サイバー攻撃対応基礎 (知識修得編)
3週間	
サイバー攻撃に関して最低限必要な基礎知識の解説と、インシデント発生時の対応方法を解説します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> サイバー攻撃に伴う予防の対応を説明できる。 サイバー攻撃に伴うインシデント発生時の初動の対応を説明できる。
対象者	情報システムを運用・管理する方。
前提知識	ITに関する基礎的な知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 基礎知識修得編 <ol style="list-style-type: none"> 日常業務での注意点 サイバー攻撃への対処 開発時の注意点 脆弱性情報の収集と対策検討 インシデント発生時の備え まとめ 体験学習編 <ol style="list-style-type: none"> 標的型攻撃による情報漏えい ランサムウェア感染による業務妨害 Webアプリケーションの脆弱性とサービス妨害攻撃 内部不正、過失による自社からの情報漏えい サイバー攻撃を防ぐために
備考	<ul style="list-style-type: none"> 学習終了日は3月31日になります。 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

SCJ049	サイバーセキュリティ
	サイバー攻撃対応 コミュニケーション訓練
0.5日間	
セキュリティインシデントを疑似体験するコースです。参加者は、事業責任者、システム担当者、広報などに代わり、セキュリティインシデントのボードゲームを使用し、インシデント発生時の迅速な意思決定、関係者とのコミュニケーションを疑似体験します。	
到達目標	サイバー攻撃に伴うインシデント発生時の初動の対応ができる。
対象者	情報システムを運用・管理する方。
前提知識	ITに関する基礎的な知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> セキュリティインシデントとは グループワークによるコミュニケーション訓練 各グループ発表 講評
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、14:00～17:00の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。



RPA(Robotic Process Automation)製品を使用して業務自動化のロボットを開発するために必要な基礎知識と技術が修得できます。

Automation Anywhereを使って業務自動化のロボットを開発する方



- 音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

RPJ001	RPA
	RPA入門 概説と操作体験 (Automation Anywhere) -
1日間	
RPA (Robotic Process Automation)の基礎について学習し、RPA製品 (Automation Anywhere Enterprise)によるロボット作成を体験します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> RPAの概要や導入事例が説明できる。 RPA製品 (Automation Anywhere Enterprise)の概要が説明できる。 RPA製品 (Automation Anywhere Enterprise)を使用して基本的な業務自動化ロボットの作成・実行ができる。
対象者	RPAの導入を検討している方、RPAの基礎から学習したい方。
前提知識	Microsoft Windowsの操作経験があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> RPA概要 Automation Anywhere Enterpriseの紹介 業務自動化ロボット作成体験
備考	このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

RPD001	RPA
	Mastering Bots: Design and Build an Advanced Digital Workforce
3日間	
Automation Anywhere Enterpriseを実際に使用することで、単純なものからやや複雑な業務を自動化するためのボット開発方法について、マシン実習を通して修得します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Automation Anywhere Enterpriseのプラットフォーム、アーキテクチャ、コンポーネントについて説明できる。 単純なタスク、ボットを作成するためのレコーダー、エディター、さまざまな基本コマンドについて説明できる。 中高程度の複雑なボットを自身で開発できる。 RPAとそのユースケースについて説明できる。
対象者	RPA製品 (Automation Anywhere Enterprise)を使用して業務の省力化・自動化をする方。
前提知識	RPAについて基礎的な知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> Introduction Web Control Room Bot Creator MetaBot Bot Insight
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 このコースは、Automation Anywhere社認定コースです。 このコースは、Automation Anywhere社が提供するテキストを使用します。 このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。

休講 休講 今期の定期開催はありません

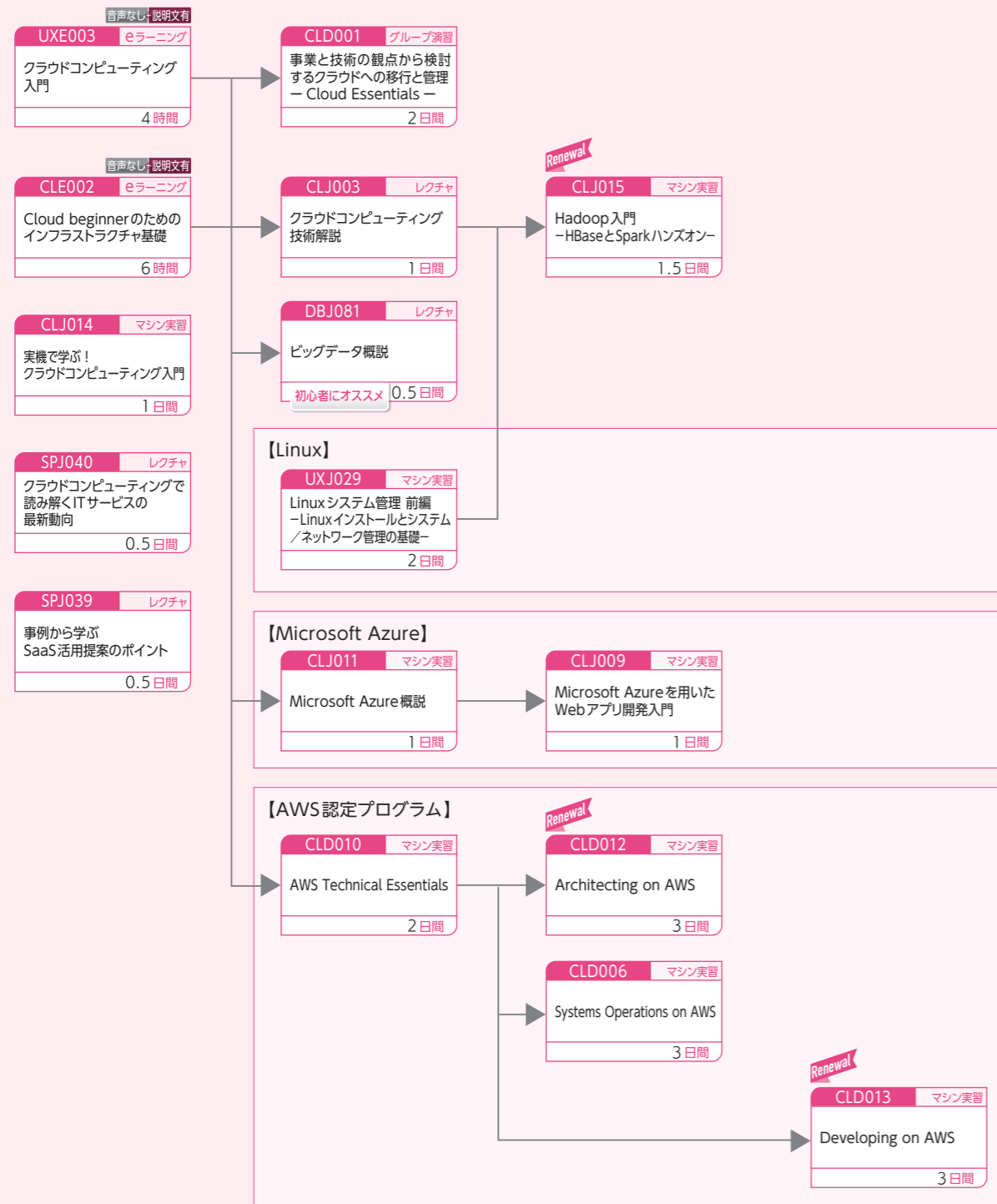
日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

 マシン実習 マシンを使用しながらの研修	 グループ演習 グループ演習を中心とした研修	 レクチャ 座学による研修	 演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習	 eラーニング インターネット接続による自己学習	 自己学習 自習書による自己学習
---	---	--	--	---	---

クラウド / サーバ仮想化

クラウド / サーバ仮想化やという最新システムについての基礎知識と技術が修得できます。

● クラウド基盤の基礎知識や技術を修得したい方



● サーバ仮想化の基礎知識や技術を修得したい方

- CLJ005 マシン実習 1日間: 実機で学ぶ! サーバ仮想化入門 - VMware vSphere, Microsoft Hyper-V, KVM -
- CLE703 eラーニング 3時間: 【ナビ機能付き】ストレージ関連者向けサーバ仮想化技術概説

【Microsoft】

- CLJ010 マシン実習 1日間: 実践! Hyper-Vのインストールから可用性向上まで - Windows Server 2016編 -

【VMware】

- VMJ006 マシン実習 2日間: VMware vSphere システム構築実習 [V6.5] - 実装編 -
- VMD010 マシン実習 5日間: VMware vSphere: Install, Configure, Manage [V6.7]

【Linux】

- UXJ076 マシン実習 1日間: Linuxにおけるコンテナ環境の管理 - Kubernetes編 -

● VMware認定資格の取得をめざす方

< VMware Certified Professional (VCP : VMware 認定プロフェッショナル) >

- VMD010 マシン実習 5日間: VMware vSphere: Install, Configure, Manage [V6.7]

- 音声有・説明文有**: 学習の説明画面とナレーション (説明テキスト) で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし**: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有**: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者にオススメ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 VMware 認定資格

VMware 認定資格とは、VMwareソリューションの導入・展開を担う技術者を育成するために、VMware社が提供している認定プログラムです。主なVMware認定資格には、VMware Certified Professional (VCP) - VMware 認定プロフェッショナルがあります。

詳しくは、日立アカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/license/vmware/index.html>



休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

資格 アマゾン ウェブ サービス (AWS) 認定資格

AWS 認定資格は、AWS プラットフォームで稼働するアプリケーションの設計、デプロイ、管理に必要なスキルと技術知識を有する IT プロフェッショナルであることを証明します。認定資格を取得することにより AWS に関してスキルや知識を有していることを証明できるだけでなく、所属組織が AWS ベースのアプリケーションを運用構築ができる人材を有していることを証明します。

詳しくは、日立アカデミーのwebサイトにてご確認ください。

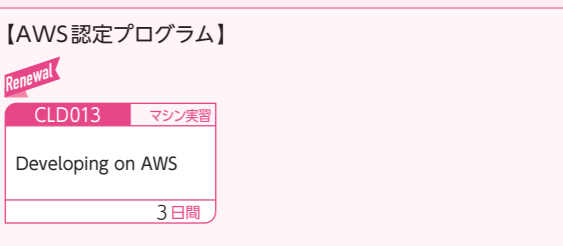
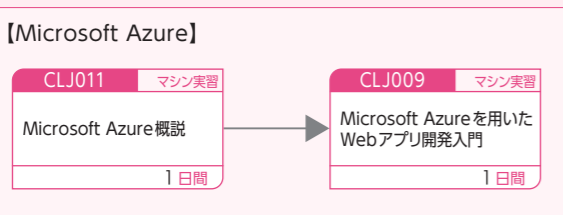
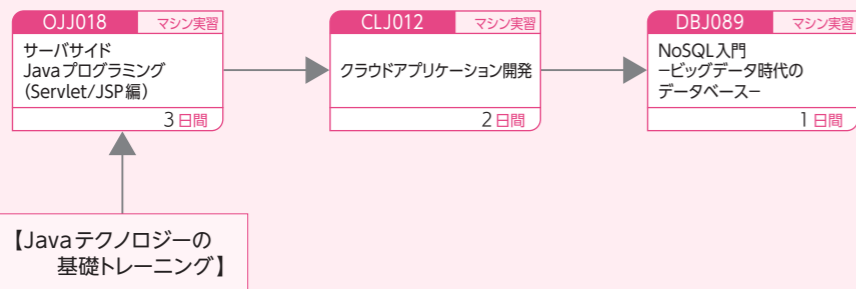
<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/license/aws/index.html>

- マシン実習**: マシンを使用しながらの研修
- グループ演習**: グループ演習を中心とした研修
- レクチャ**: 座学による研修
- 演習環境**: 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習
- eラーニング**: インターネット接続による自己学習
- 自習テキスト**: 自習書による自己学習

● デスクトップ仮想化の基礎知識や技術を修得したい方

<p>CLE702 eラーニング</p> <p>【ナビ機能付き】 デスクトップ仮想化概説</p> <p>4 時間</p>	<p>CLJ007 マシン実習</p> <p>実機で学ぶ! デスクトップ仮想化入門 -Citrix XenDesktopとVMware vSphere-</p> <p>1 日間</p>
---	---

● クラウド環境で動作するアプリケーションを開発する方



- 音声有 + 説明文有** : 学習の説明画面とナレーション (説明テキスト) で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有 + 説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし + 説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

<p>CLE703 クラウド/サーバ仮想化</p> <p><eラーニング>【ナビ機能付き】 ストレージ関連者向け サーバ仮想化技術概説</p> <p>3時間</p>
<p>VMware・Hyper-Vなどのサーバ仮想化環境で日立ストレージを動作させる場合のシステム構成・ポイントサーバ仮想化の基本技術を交えて学習します。</p>
<p>到達目標 VMware・Hyper-Vなどのサーバ仮想化環境で日立ストレージを動作させる場合のシステム構成・ポイントサーバ仮想化の基本技術を理解できる。</p>
<p>対象者 特に必要としません。</p>
<p>前提知識 特に必要としません。</p>
<p>内容 1. サーバ仮想化概要 2. 代表的なサーバ仮想化製品 3. サーバ仮想化環境でのストレージ関連設定 4. 修了試験</p>
<p>備考 ・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</p>

<p>CLJ005 クラウド/サーバ仮想化</p> <p>実機で学ぶ!サーバ仮想化入門 -VMware vSphere、 Microsoft Hyper-V、KVM-</p> <p>1日間</p>
<p>サーバ仮想化の基礎を解説し、市場で大きなシェアを持っているVMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVMを利用したサーバ仮想化方法を実機で学習します。</p>
<p>到達目標 ・サーバ仮想化の概要を説明できる。 ・各種製品 (VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVM) をインストールしそれらの製品を使用して仮想サーバを作成できる。</p>
<p>対象者 サーバ仮想化の提案、構築を行う営業、SEの方。</p>
<p>前提知識 特に必要としません。</p>
<p>内容 1. サーバ仮想化の概要 2. VMware vSphereの概要と特徴 (1) 演習1: VMware vSphereのインストールと仮想サーバの作成 3. Hyper-Vの概要と特徴 (1) 演習2: Microsoft Hyper-Vのインストールと仮想サーバの作成 4. KVMの概要と特徴 (1) 演習3: KVMのインストールと仮想サーバの作成</p>
<p>備考 ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</p>

<p>CLJ007 クラウド/サーバ仮想化</p> <p>実機で学ぶ!デスクトップ仮想化入門 -Citrix XenDesktopと VMware vSphere-</p> <p>1日間</p>
<p>・仮想デスクトップ用仮想マシンの作成から、管理、クライアントでの接続までの一連の作業を実機ベースで行い、デスクトップ仮想化環境を構成する各種サーバ類の役割を学習します。 ・複数の仮想デスクトップ構成パターンを実装し、各方式の特徴 (長所/短所) を学習します。</p>
<p>到達目標 デスクトップ仮想化の実現に必要なシステムインフラの構成と役割を説明できる。</p>
<p>対象者 デスクトップ仮想化ソリューションを提案・構築する営業、SEの方。</p>
<p>前提知識 サーバ仮想化の基礎知識があること。</p>
<p>内容 1. デスクトップ仮想化の仕組み (1) デスクトップ仮想化とは (2) デスクトップ仮想化のシステム構成 2. 仮想デスクトップの作り方 (1) 仮想デスクトップへの接続の流れ (2) 仮想デスクトップ用仮想マシンの作成 (3) 仮想デスクトップ接続用クライアント 3. デスクトップ仮想化 導入の注意点 (1) ライセンス (2) デスクトップ仮想化システムのボトルネックについて</p>
<p>備考 ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</p>

<p>CLJ014 クラウド/サーバ仮想化</p> <p>実機で学ぶ! クラウドコンピューティング入門</p> <p>1日間</p>
<p>AWSとMicrosoft Azureの概要や違いを実機を操作しながら学習します。</p>
<p>到達目標 ・AWSとMicrosoft Azureの概要を理解し、基本的な違いを説明できる。 ・仮想マシンの起動など、AWSとMicrosoft Azureの操作コンソールで基本的な操作ができる。</p>
<p>対象者 これからクラウドを利用・提案するうえで、主要なパブリッククラウドを比較検討したい方。</p>
<p>前提知識 コンピュータの基礎知識をお持ちのこと。</p>
<p>内容 1. クラウドコンピューティングの概要 2. AWS 3. Microsoft Azure 4. AWSとMicrosoft Azureの比較</p>
<p>備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。</p>

<p>CLE702 クラウド/サーバ仮想化</p> <p><eラーニング>【ナビ機能付き】 デスクトップ仮想化概説</p> <p>4時間</p>
<p>デスクトップを仮想化することで得られるメリット/デメリットと、その実現の仕組みを学習します。また、デスクトップ仮想化の2大製品であるVMware ViewとCitrix XenDesktopの特徴を紹介しします。</p>
<p>到達目標 ・デスクトップを仮想化することでのメリット/デメリットが説明できる。 ・デスクトップ仮想化の実現に必要な機能・役割を説明できる。 ・デスクトップ仮想化の2大製品であるVMware ViewとCitrix XenDesktopの特徴を理解できる。</p>
<p>対象者 デスクトップ仮想化製品をこれから扱うSEおよび営業の方。</p>
<p>前提知識 特に必要としません。</p>
<p>内容 1. デスクトップ仮想化の概念 (1) この章で学ぶこと (2) デスクトップの仮想化とは (3) デスクトップ仮想化のメリット・デメリット 2. デスクトップ仮想化のシステム構成 (1) この章で学ぶこと (2) デスクトップ仮想化のシステム構成 3. 代表的なデスクトップ仮想化製品について (1) この章で学ぶこと (2) VMware Horizon (with View) (3) Citrix XenDesktop (4) 日立SPC (5) VDIライセンスについて 4. 修了試験</p>
<p>備考 ・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</p>

<p>UXE003 クラウド/サーバ仮想化</p> <p><eラーニング> クラウドコンピューティング入門</p> <p>4時間</p>
<p>クラウドコンピューティングの基本的な内容、適用技術を学習します。</p>
<p>到達目標 クラウドコンピューティングの概要を説明できる。</p>
<p>対象者 クラウドコンピューティングに関する基礎的な知識を必要とする方。</p>
<p>前提知識 特に必要としません。</p>
<p>内容 1. クラウドコンピューティングとは (1) クラウドコンピューティングの定義 (2) クラウドコンピューティングの背景と出現 (3) クラウドコンピューティングの提供形態 (4) クラウドコンピューティングのサービスモデル (5) クラウドコンピューティングの歴史 (6) クラウドコンピューティングのメリット、デメリット (7) クラウドコンピューティングの動向 2. クラウドコンピューティングの適用 (1) パブリッククラウドの適用 (2) プライベートクラウドの構築と運用 (3) クラウドを支える基礎技術 3. 修了試験</p>
<p>備考 ・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</p>

休講 休講 今期の定期開催はありません

ITサービスマネジメント

情報システムを活用し、ビジネスを支援するITサービスの業務プロセスを管理・改善するITサービスマネジメントの基礎知識・手法が修得できます。

● システム運用管理に関する基礎知識を身につけたい方

<p>音声なし・説明文有</p> <p>ITE701 eラーニング</p> <p>【ナビ機能付き】 運用管理概説</p> <p>初心者におすすめ 6時間</p>	<p>ITJ008 グループ演習</p> <p>情報システム運用入門 —運用からITサービスへ—</p> <p>1日間</p>
--	---

● ITIL®に関する知識を修得したい方

<p>PDU</p> <p>ITJ012 レクチャ</p> <p>(PDU) ITIL® ファンデーション (認定試験付)</p> <p>3日間</p>
--

● システム開発・運用を担当する方

<p>音声なし・説明文有</p> <p>ITE006 eラーニング</p> <p>SLAにおける サービスレベル設計の基礎</p> <p>4時間</p>	<p>ITJ009 グループ演習</p> <p>IT運用における ヒューマンエラー予防</p> <p>1日間</p>
--	--

<p>HSJ062 グループ演習</p> <p>事例から学ぶ システムトラブル対策の考え方 —高信頼性システム実現のために—</p> <p>1日間</p>	<p>HSJ018 グループ演習</p> <p>システムトラブルの予防と是正 —ISMS・システム監査の 視点から—</p> <p>2日間</p>
---	---

<p>ITJ004 グループ演習</p> <p>システム運用の現状分析・ 設計力養成ワークショップ</p> <p>2日間</p>	<p>CLD001 グループ演習</p> <p>事業と技術の観点から検討 するクラウドへの移行と管理 — Cloud Essentials —</p> <p>2日間</p>
--	--

音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

● JP1を使用してシステムを運用管理する方

<p>Renewal</p> <p>JPJ277 マシン実習</p> <p>JP1操作入門</p> <p>1日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ278/JPJ278T レクチャ</p> <p>JP1エンジニア機能概説—</p> <p>1日間</p>			
<p>Renewal</p> <p>JPJ279 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 統合管理1—システム監視—</p> <p>2日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ280/JPJ280T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 統合管理2—システム設定—</p> <p>2日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ281/JPJ281T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 統合管理セットコース</p> <p>4日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ282/JPJ282T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理</p> <p>2日間</p>	
<p>Renewal</p> <p>JPJ283 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 —ジョブ定義・監視—</p> <p>2日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ284/JPJ284T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 —システム設定・運用管理—</p> <p>2日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ285/JPJ285T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ジョブ管理セットコース</p> <p>4日間</p>	<p>JPJ102 マシン実習</p> <p>JP1/AJS3エキスパート 育成講座—開発編—</p> <p>1日間</p>	<p>JPJ103 マシン実習</p> <p>JP1/AJS3エキスパート 育成講座—運用編—</p> <p>1日間</p>
<p>Renewal</p> <p>JPJ288 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 —ネットワーク管理基盤—</p> <p>2日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ289/JPJ289T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 —システムリソース管理—</p> <p>1日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ290/JPJ290T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース</p> <p>3日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ286 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル IT運用自動化</p> <p>2日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ287/JPJ287T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル バックアップ管理</p> <p>1日間</p>
<p>Renewal</p> <p>JPJ291 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1 —資産管理編—</p> <p>1日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ292 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2 —セキュリティ管理編—</p> <p>1日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ293/JPJ293T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3 —配布管理編—</p> <p>1日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ294/JPJ294T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース</p> <p>3日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ295/JPJ295T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル セキュリティ管理</p> <p>1日間</p>
<p>Renewal</p> <p>JPJ298 レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント ジョブ管理—システム設計編—</p> <p>1日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ299/JPJ299T レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント ジョブ管理—チューニング編—</p> <p>1日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ300/JPJ300T レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント 資産・配布管理</p> <p>1日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ296/JPJ296T レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント 統合管理</p> <p>1日間</p>	
<p>Renewal</p> <p>JPJ297/JPJ297T レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント パフォーマンス管理</p> <p>1日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ301/JPJ301T レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント ネットワーク管理</p> <p>1日間</p>			

資格 ITIL®認定資格

ITIL® [Information Technology Infrastructure Library] は、英国政府が作成したITサービスマネジメントのベストプラクティスがまとめられた書籍です。ITIL®は、システム運用管理を中心とした幅広い分野で広く利用され、現在、ITサービスマネジメントの世界的な業界標準として普及しています。ITIL®認定資格は、ITIL®をベースとしたITサービスマネジメントに関するスキルを証明する資格です。

詳しくは、日立アカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/license/itil/index.html>

休講 休講
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMI
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

ITE701	ITサービスマネジメント
	<eラーニング>【ナビ機能付き】運用管理概説
6時間	
システム運用管理の必要性や、管理項目を学習します。また、各担当の役割や各運用管理の作業内容を、演習を通して理解を深めます。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ITサービスとITシステムの運用管理の必要性の関係を理解し、説明できる。 運用管理の体制と各担当の作業概要を説明できる。 システム運用の管理項目の種類や作業概要を説明できる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> これから運用業務に携わる方。 システムサービスの企画・設計に携わる方で、運用管理の知識が必要な方。
前提知識	ITの基本用語を知っていること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> ITサービスマネジメント概要 <ol style="list-style-type: none"> サービスとは ITサービスとITシステム 運用管理概要 <ol style="list-style-type: none"> 運用管理の目的 有用性、保証 運用管理の活動 <ol style="list-style-type: none"> 安定したサービスを提供するための活動 サービスを安全に変更するための活動 より良いサービスを提供するための活動 修了試験
備考	<ul style="list-style-type: none"> 学習終了日は3月31日になります。 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

ITJ008	ITサービスマネジメント
	情報システム運用入門 -運用からITサービスへ-
1日間	
システム運用の必要性、作業項目、体制について、基本的な考え方を講義と演習を通して学習します。演習を通して、システム運用を行ううえで必要な活動への理解を深めます。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> システム運用の管理項目の種類や役割を説明できる。 ITサービスとITシステムの運用管理の必要性の関係を理解し、説明できる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> これから情報システムの運用業務に携わる方。 システムサービスの企画・設計に携わる方で運用管理の知識が必要な方。
前提知識	ITの基本的な用語についての知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> ITサービスマネジメント概説 <ol style="list-style-type: none"> サービスとITサービス <ul style="list-style-type: none"> サービスとは ITサービスとは サービスの有用性と保証 ITサービスの管理 <ul style="list-style-type: none"> ITサービスのライフサイクル 運用管理概説 <ol style="list-style-type: none"> 運用管理の目的 運用管理の対象 運用管理の体制 運用管理の活動 <ol style="list-style-type: none"> 安定したITサービスを提供するための活動 <ul style="list-style-type: none"> 日常の活動 障害発生時の対応 障害対策 災害対策 ITサービスを安全に変更するための活動 <ul style="list-style-type: none"> 変更管理、リリース・展開管理 資産・構成管理 より良いITサービスを提供するための活動 <ul style="list-style-type: none"> 運用改善サイクル、ナレッジ管理
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 このコースは、【ナビ機能付き】運用管理概説】eラーニングコース(ITE701)と同等の内容です。eラーニングをご受講済の方は、申し込めないようご注意ください。

ITJ012	ITサービスマネジメント
	(PDU) ITIL® ファンデーション (認定試験付) PDU
3日間	
ITIL®は、ITサービスマネジメントのベストプラクティスです。このコースでは、ITIL®にて紹介されたライフサイクルモデルを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:18ポイント)の修得が可能です。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ITサービスマネジメントの中枢となる分野と概念を説明できる。 組織におけるITIL®実装の有益性を説明できる。 ITIL®ファンデーション資格の取得をめざす方。特に必要としません。
対象者	ITIL®ファンデーション資格の取得をめざす方。
前提知識	特に必要としません。
内容	<ol style="list-style-type: none"> プラクティスとしてのサービスマネジメント サービスライフサイクル サービスストラテジ サービスデザイン サービストランジション サービスオペレーション 継続的サービス改善 技術とアーキテクチャ 試験対策 認定試験
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:00~17:30の開催とさせていただきます。 このコースは、認定試験「ITIL® Foundation」が含まれています。受験当日、本人を確認できる顔写真付き証明書(免許証、従業員証、パスポートなど)を忘れずにご持参ください。ご持参いただかない場合は、受験が無効になることがありますので、ご注意ください。 このコースをご受講の場合、受講者の個人情報を試験機関に提供いたします。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 当社はPeopleCert®の認定教育事業者(ATO)であるITプレナズ社の認定アフィリエイトです。

ITE006	ITサービスマネジメント
	<eラーニング>SLAにおけるサービスレベル設計の基礎
4時間	
ITサービスの設計要素として、キャパシティ、可用性、継続性の項目を学習します。サービスレベルに基づくサービス設計の基礎を身につけます。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ITサービスのキャパシティ、可用性、継続性を説明できる。 キャパシティ、可用性、継続性の基本的な設計ができる。
対象者	ITサービスの設計を行う方。
前提知識	ITIL®の概要、用語の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> ITサービスの設計の概要 可用性管理の設計 キャパシティ管理の設計 継続性管理の設計 情報セキュリティの設計 修了試験
備考	<ul style="list-style-type: none"> 学習終了日は3月31日になります。 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

ITJ009	ITサービスマネジメント
	IT運用におけるヒューマンエラー予防
1日間	
IT運用現場で起こり得るヒューマンエラーについて、講義と演習を通して学習します。トラブル・事故事例から、ヒューマンエラーの影響と発生メカニズムを理解します。演習では、自職場での効果的なヒューマンエラー防止策を立案します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> IT運用の現場で起こるヒューマンエラーについて理解できる。 ヒューマンエラーが起こるメカニズムを理解し、未然に防ぐ方法を理解できる。 効果的なヒューマンエラー防止策を実施できる。 チームのヒューマンエラーを無くすための指導やプロセス改善を考慮することができる。
対象者	IT運用に携わっている方、IT運用の部署のチームリーダーまたはリーダーになる方。
前提知識	IT運用の基礎知識があること。IT運用の実務経験があることが望ましい。
内容	<ol style="list-style-type: none"> IT運用の事故・トラブル ヒューマンエラーとは ヒューマンエラーの防止策
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

ITJ004	ITサービスマネジメント
	システム運用の現状分析・設計力養成ワークショップ
2日間	
システム運用管理において、現状の課題分析を行い、運用管理ツール(JP1)の導入による運用改善の策定を通して、システム運用設計のスキルを修得します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> システム運用の課題を認識し、解決策を考えることができる。 ITサービスの改善プロセスを理解し実行できる。
対象者	運用業務に携わる方、運用を考慮したシステム企画・設計を行う方。
前提知識	【ナビ機能付き】運用管理概説】eラーニングコースを修了しているか、または運用管理の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション <ol style="list-style-type: none"> サービス改善のアプローチ 現状の運用理解と運用課題の洗い出し <ol style="list-style-type: none"> システムにより提供されるサービスの目的を確認 現状の運用を確認 運用管理の改善 <ol style="list-style-type: none"> サービスで提供すべきゴール(KPI)を設定 改善後の運用設計 <ol style="list-style-type: none"> ゴールを達成するための運用の設計 ゴール達成度の評価方法の設計(測定項目と測定基準)
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 このコースは、運用ツールとしてJP1製品を活用し、運用業務の設計を行います。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

IT 基本

IT 技術者の前提として求められる知識が修得できます。

● ITの基礎力を身につけたい方

SJJ009 レクチャ コンピュータ基礎 初心者におすすめ 5日間	音声なし; 説明文有 SJE701 eラーニング 【ナビ機能付き】 コンピュータ基礎 -ハードウェア編- 初心者におすすめ 8時間	音声なし; 説明文有 SJE702 eラーニング 【ナビ機能付き】 コンピュータ基礎 -ソフトウェア編- 初心者におすすめ 8時間	音声なし; 説明文有 SJE703 eラーニング 【ナビ機能付き】 コンピュータ基礎 -情報の基礎理論編- 初心者におすすめ 4時間
音声なし; 説明文有 SJE704 eラーニング 【ナビ機能付き】 コンピュータ基礎 -情報システム編- 初心者におすすめ 4時間	音声なし; 説明文有 SCE708 eラーニング 【ナビ機能付き】 情報セキュリティリテラシー -セキュリティの必要性と対策- 初心者におすすめ 4時間	音声なし; 説明文有 CBE006 eラーニング アルゴリズムの基礎 -フローチャート編- 初心者におすすめ 16時間	休講 CBJ001 レクチャ アルゴリズムの基礎 -フローチャート編- 初心者におすすめ 2日間
NWJ103 レクチャ ネットワーク基礎 初心者におすすめ 2日間	音声なし; 説明文有 NWE706 eラーニング 【ナビ機能付き】 ネットワーク基礎 I -イーサネットの仕組み- 初心者におすすめ 12時間		音声なし; 説明文有 NWE707 eラーニング 【ナビ機能付き】 ネットワーク基礎 II -TCP/IPの仕組み- 12時間
音声なし; 説明文有 DBE711 eラーニング 【ナビ機能付き】 データベース基礎 初心者におすすめ 8時間	SJJ030 マシン実習 アプリケーション開発者の ための文字コード入門 -アプリケーションの文字付けを学ぶ- 1日間	音声有; 説明文なし ESE701 eラーニング 【ナビ機能付き】 組み込みシステムとは 初心者におすすめ 7時間	音声なし; 説明文有 NWE712 eラーニング 【ナビ機能付き】 基礎から学ぶ ネットワーク運用管理 12時間
			DBJ045 マシン実習 データベース入門 -解説と操作体験- 初心者におすすめ 1日間
			UXJ070 マシン実習 gitによる ソフトウェア構成管理 1日間


● ITエンジニアをめざす方


SJJ009 レクチャ コンピュータ基礎 初心者におすすめ 5日間	音声なし; 説明文有 SCE708 eラーニング 【ナビ機能付き】 情報セキュリティリテラシー -セキュリティの必要性と対策- 初心者におすすめ 4時間	音声有; 説明文なし OJJ016 マシン実習 Javaプログラミング1 (基本文法編) 初心者におすすめ 3日間	音声有; 説明文なし OJJ017 マシン実習 Javaプログラミング2 (基本クラス編) 2日間
休講 CBJ001 レクチャ アルゴリズムの基礎 -フローチャート編- 初心者におすすめ 2日間	NWJ103 レクチャ ネットワーク基礎 初心者におすすめ 2日間	または 音声有; 説明文なし OJE702 eラーニング 【ナビ機能付き】 Javaプログラミング1 (基本文法編) 初心者におすすめ 24時間	または 音声有; 説明文有 OJE020 eラーニング 【スキル定着】 Javaプログラミング1 (前編) 4時間
DBJ045 マシン実習 データベース入門 -解説と操作体験- 初心者におすすめ 1日間		音声有; 説明文有 OJE021 eラーニング 【スキル定着】 Javaプログラミング1 (後編) 4時間	音声有; 説明文なし OJE703 eラーニング 【ナビ機能付き】 Javaプログラミング2 -基本クラス編- 16時間


音声有; 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
 音声有; 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
 音声なし; 説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。


初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。


休講 休講
 今期の定期開催はありません


SJJ009	IT基本
	コンピュータ基礎
5日間	
情報処理技術者として必要となる基礎知識を学習します。	
到達目標	・コンピュータの動作原理や情報システムの仕組みを説明できる。 ・ネットワークやデータベースの基本を説明できる。 ・システム開発の手順と各工程の作業を説明できる。
対象者	これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. コミュニケーションネットワークとコンピュータシステム 2. 入出力装置 3. 記憶装置 4. 中央処理装置 5. オペレーティングシステム 6. 情報処理技術の基礎と理論 7. ファイル編成とデータベース 8. 通信ネットワークシステム 9. 情報セキュリティ 10. 情報システムとRASIS 11. 情報システムの開発
備 考	このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。


SJE701	IT基本
	<eラーニング>【ナビ機能付き】 コンピュータ基礎 —ハードウェア編—
8時間	
情報処理技術者として必要なハードウェアの基礎知識を学習します。	
到達目標	情報処理技術者として必要なハードウェアの基礎知識について説明できる。
対象者	これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. コンピュータとは (1) コンピュータとは (2) コンピュータの5大基本機能 (装置) 2. 記憶装置 (1) 記憶階層 (2) 主記憶装置 (3) 半導体 (IC) メモリ (4) ハードディスクドライブ (HDD) (5) その他の補助記憶装置 3. CPU (1) CPUの構成要素 (2) 制御装置 (3) 演算装置 (4) バス (5) CPUの高速化 4. 入出力装置 (1) 入力装置 (2) 出力装置 (3) I/O (Input/Output) 5. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース(SJJ009)と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJE702	IT基本
	<eラーニング>【ナビ機能付き】 コンピュータ基礎 —ソフトウェア編—
8時間	
情報処理技術者として必要なソフトウェアの基礎知識を学習します。	
到達目標	情報処理技術者として必要なソフトウェアの基礎知識について説明できる。
対象者	これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. OSの制御プログラム (1) タスク管理 (2) 記憶管理 (3) ジョブ管理 (4) ファイル管理 2. 言語 (1) 言語プロセッサ (2) 主記憶装置 (3) プログラムの作成と実行 (4) プログラム言語の種類とプログラムの性質 3. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース(SJJ009)と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJE703	IT基本
	<eラーニング>【ナビ機能付き】 コンピュータ基礎 —情報の基礎理論編—
4時間	
情報処理技術者として必要な情報基礎理論の基礎知識を学習します。	
到達目標	情報処理技術者として必要な情報基礎理論の基礎知識について説明できる。
対象者	これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. データの表現 2. 基数 3. 固定小数点数 4. 浮動小数点数 5. 精度 6. 論理演算 7. 論理回路 8. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース(SJJ009)と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJE704	IT基本
	<eラーニング>【ナビ機能付き】 コンピュータ基礎 —情報システム編—
4時間	
情報処理技術者として必要な情報システムの基礎知識を学習します。	
到達目標	情報処理技術者として必要な情報システムの基礎知識について説明できる。
対象者	これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. システム構成 (1) システムの形態 (2) 処理形態 2. システム性能 (1) CPUの性能 (2) システムの性能 3. システムの信頼性 (1) RASIS (2) 稼働率 (3) 高信頼システム (4) RAID 4. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース(SJJ009)と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJJ030	IT基本
	アプリケーション開発者のための 文字コード入門 —アプリケーションの文字化けを防ぐ—
1日間	
代表的な文字セットと符号化方式を、バイナリエディタを使用した演習を通して学習します。外字や重複文字、改行コードの扱いなど、文字コードが関係するさまざまな問題について扱います。	
到達目標	・代表的な符号化文字集合と符号化方式を説明できる。 ・符号化された文字の実体を確認し文字化けの理由を説明できる。 ・外字や改行コード、全角半角など、ソフトウェアでの文字の扱いに関する諸問題を説明できる。
対象者	コンピュータ上で文字の扱いに関する基礎的な知識を修得したい方。
前提知識	Windowsの基本的な操作経験があり、2進数や16進数への基数変換について理解していること。
内 容	1. はじめに 2. コンピュータでの文字の扱い方 3. 代表的な符号化文字集合 4. 代表的な文字符号化方式 5. 文字コードが関係する諸問題 6. プログラミング言語と文字コード
備 考	このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

ESE701	IT基本
	<eラーニング>【ナビ機能付き】 組込みシステムとは
7時間	
組込みシステム技術者の全体的な技術基礎力向上のために、組込みシステムで用いられるハードウェア、ソフトウェアに関する技術を学習します。	
到達目標	・組込みシステムで用いられるハードウェア、ソフトウェアに関して説明できる。 ・組込みソフトウェアが動作するしくみを説明できる。 ・リアルタイムOSの概要を説明できる。
対象者	組込みソフトウェアを開発する方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. 組込みシステムとは 2. 組込みシステムの基本アーキテクチャ 3. 組込み製品の開発に必要な知識 4. マイコンを利用したソフトウェア開発の基礎 (1) 組込みソフトの開発環境 (2) 入出力制御の概要 (3) 割り込み 5. リアルタイムOSとは (1) リアルタイムOSの機能と役割 (2) タスクと状態遷移 (3) リアルタイムOSの種類 (4) リアルタイムOSを使用したシステム構築手順 6. 組込みシステムに関する新技術 7. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

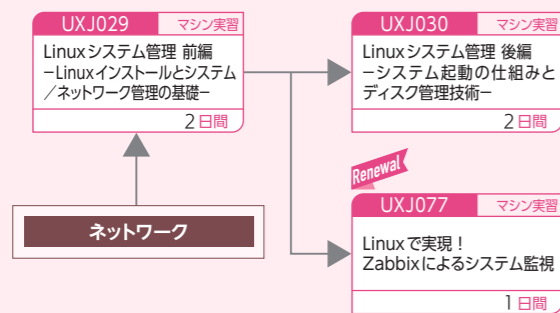
オープンソースソフトウェア(OSS)

OSSの概要や活用方法を理解し、OSSによるシステム運用やサーバ構築に関する技術が修得できます。

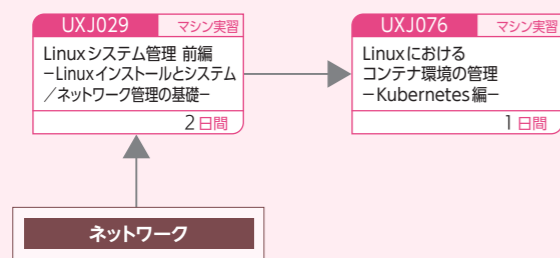
● OSSを利用する方



● OSSを使用してシステムを運用・管理する方



● 仮想環境を構築・管理する方



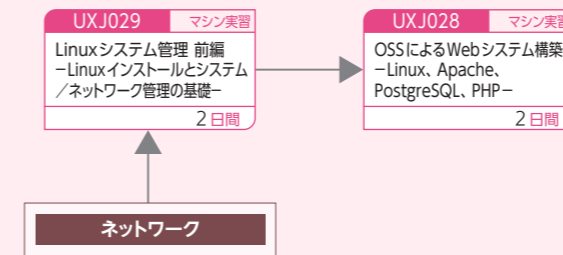
音声有+説明文有：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

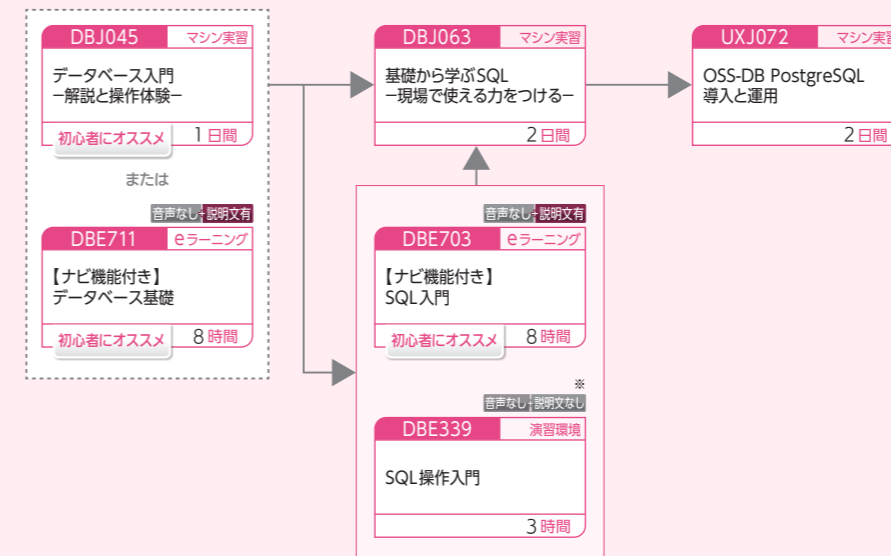
音声なし+説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● OSSによるサーバ構築をする方



● PostgreSQL を使用してデータベースを管理・運用する方



※：「DBE339<演習環境>SQL操作入門」は「DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門」の修了後のご受講をお薦めします。

UXE004 オープンソースソフトウェア(OSS)

<eラーニング>
オープンソースソフトウェア(OSS)概説

3時間

OSのビジネスモデルや活用領域の紹介を通して、さまざまな分野におけるOSSの利活用手法の基礎を学習します。

到達目標

- ・OSSの概要を説明できる。
- ・OSSの活用方法を説明できる。
- ・OSSが活用されている分野を理解できる。

対象者

- ・OSSの概要を修得したい方。
- ・OSS関連事業に従事する方。

前提知識

特に必要としません。

内容

1. OSSとは
2. OSSの活用領域
3. OSS活用におけるコンプライアンス

備考

- ・学習終了日は3月31日になります。
- ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

UXJ077 オープンソースソフトウェア(OSS)

Linuxで実現! Zabbixによるシステム監視

1日間

LinuxシステムにZabbixを用いたシステム監視を学習します。また、マシン実習を通して、Zabbixの設定および操作を体験します。

到達目標

- ・システム監視でよく使う監視項目について説明できる。
- ・Zabbixによる監視システムを構築できる。

対象者

Linuxシステムを運用・管理する方。

前提知識

「Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. システム監視の概要
2. Zabbixの概要
3. Zabbixのインストールおよび設定
4. 運用監視

備考

このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

UXJ076 オープンソースソフトウェア(OSS)

Linuxにおけるコンテナ環境の管理 -Kubernetes編-

1日間

コンテナの概要と、コンテナ環境の自動展開やスケーリングといった運用を行うためのツールとして良く利用されるKubernetesを学習し、マシン演習で実際に体験します。

到達目標

コンテナの概要を修得し、コンテナの管理の環境をKubernetesで構築できる。

対象者

ITエンジニア職、若手・中堅の方でコンテナを使ったマイクロサービスアーキテクチャが採用されることが多くなっている。そのコンテナを効率よく管理するツールとしてKubernetesを使用したい方。

前提知識

「Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. コンテナ
 - (1) コンテナ概要
 - (2) Dockerの基本機能
 - (3) Dockerの構築と操作
2. Kubernetes
 - (1) Kubernetesの概要
 - (2) Kubernetesのアーキテクチャ
 - (3) Kubernetesの構築
 - (4) Kubernetesの操作

備考

このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

UXJ028 オープンソースソフトウェア(OSS)

OSSによるWebシステム構築 -Linux, Apache, PostgreSQL, PHP-

2日間

OSからアプリケーションソフトウェアまでOSSだけを使用したWeb・DB連携サーバの構築方法を紹介します。各OSSの利用時の注意事項、WebサーバやDBサーバの設定方法などを紹介します。

到達目標

Linux上で、Apache、PostgreSQL、PHPを使ったWeb・DB連携システムを構築できる。

対象者

OSSでWebシステムの導入を検討している方。

前提知識

「Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. オープンソースソフトウェア(OSS)概要
2. Linuxとは
3. Apache
 - (1) Apacheのインストール
 - (2) Apacheの起動
 - (3) Apacheの設定
4. PostgreSQL
 - (1) PostgreSQLのアーキテクチャ
 - (2) PostgreSQLの環境構築
 - (3) psqlによる基本操作
 - (4) PostgreSQLの管理
5. PHP
 - (1) PHPのアーキテクチャ
 - (2) PHPの処理の流れ
 - (3) PHPの設定
 - (4) PHPプログラミングの基礎
 - (5) PostgreSQLとの連携

備考

- ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ072 オープンソースソフトウェア(OSS)

OSS-DB PostgreSQL 導入と運用

2日間

これからPostgreSQLを使用したシステム構築を行う開発者や管理者の方を対象に、PostgreSQLのインストールや基本的な設定、基本的な使い方について解説します。更にバックアップやリストア、PITRなどの運用管理、性能チューニング、障害対応について解説します。

到達目標

PostgreSQLを用いたデータベースシステムの構築や管理作業を行うことができる。

対象者

PostgreSQLを用いたデータベースシステムの構築や管理作業を行う方。

前提知識

データベースについての基礎知識があること。

内容

1. オープンソースデータベースの一般的特徴
2. インストール
3. 標準付属ツール
4. トランザクションとスキーマ
5. アーキテクチャ
6. セキュリティ
7. メンテナンス
8. 実行計画
9. 性能分析
10. 性能改善
11. 障害対応
12. PITR
13. Streaming Replication

備考

このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。

Linux

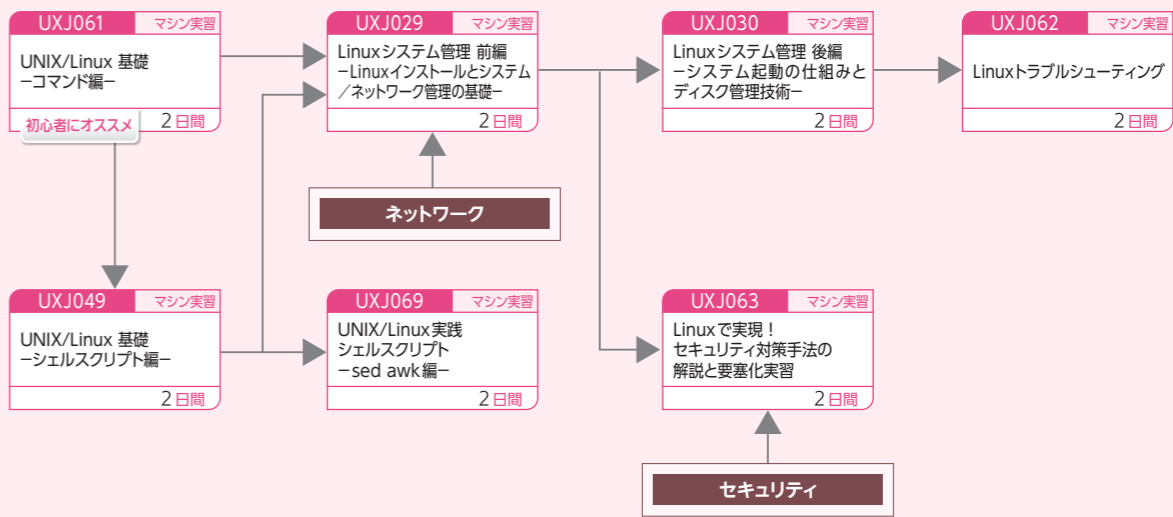
Linuxの機能や操作方法を理解し、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● UNIX/Linuxを利用する方

UXJ061 マシン実習
UNIX/Linux 基礎 -コマンド編-
初心者にオススメ 2日間

UXE303 eラーニング
【ナビ機能付き】
【マシン演習付き】
UNIX/Linux基本使用方法
初心者にオススメ 8時間

● Linuxを使用してシステムを構築・運用・管理する方




音声有 +説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有 +説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし +説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。


初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。


休講 休講 今期の定期開催はありません


コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>


日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル


UXJ061 Linux
 UNIX/Linux 基礎 ーコマンド編ー
2日間
UNIXおよびLinuxOSの基本機能とコマンドの基本操作を、マシン実習を通して学習します。
到達目標
・UNIX/Linuxの基本的な操作ができる。 ・ネットワークの基本コマンドを実行できる。
対象者
UNIXまたはLinux OSの初心者の方で基礎から学習したい方。
前提知識
コンピュータの基礎知識があること。
内 容
1. 概要 2. コマンドの基本操作 3. ファイルシステム 4. viエディタ 5. シェル 6. 知っておくと便利なシェルの機能 7. ネットワークの利用
備 考
・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。


UXJ049 Linux
 UNIX/Linux 基礎 ーシェルスクリプト編ー
2日間
シェルスクリプトの作成に必要なプログラミング技術を修得するとともに、シェルの機能をより深く理解することができます。
到達目標
・シェルスクリプトの概要を説明できる。 ・変数、配列、算術、文字列操作の基本操作ができる。 ・制御文の基本を説明できる。 ・関数を利用した簡単な応用スクリプトを作成できる。
対象者
UNIX/Linuxでシェルスクリプトの作成をする方、システム管理者の方。
前提知識
「UNIX/Linux基礎ーコマンド編ー」コース、または【【ナビ機能付き】【マシン演習付き】UNIX/Linux基本使用法】eラーニングを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. シェルとシェルスクリプトの概要 2. パラメータの取り扱い 3. 算術評価と文字列操作 4. 制御文(分岐/繰り返しなど) 5. 関数の利用 6. 実践的なシェルスクリプト
備 考
・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。


UXE303 Linux
 <eラーニング> 【ナビ機能付き】【マシン演習付き】 UNIX/Linux基本使用法
8時間
UNIX/Linuxの基本的なコマンドの機能、使用方法を学習します。
到達目標
・UNIX/Linuxの基本的な操作ができる。 ・ネットワークの基本コマンドを実行できる。
対象者
UNIX/Linux初心者の方で、基礎から学習したい方。
前提知識
オペレーティングシステムおよびネットワークに関する基本的な知識があること。
内 容
1. UNIX/Linux概要 2. ファイルシステムとコマンド 3. ファイルとディレクトリのパーミッション 4. viエディタ 5. シェルの機能 6. UNIX/Linuxのネットワーク操作 7. 修了試験
備 考
・サービス有効期限は21日間です。 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

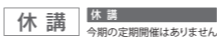
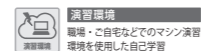
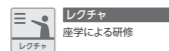
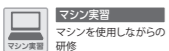
UXJ062 Linux
 Linuxトラブルシューティング
2日間
Linuxで発生するトラブルの原因分析方法と解決策を学習します。マシン実習では、運用中に実際に発生する可能性のあるトラブルを再現し、原因の分析と復旧作業を行います。
到達目標
・トラブル発生時の対応手順を説明できる。 ・Linuxシステムのトラブル発生時に、緊急ブート手段でブートできる。 ・Linuxシステムのトラブル発生状況から原因を究明し復旧できる。
対象者
Linuxシステムを運用・管理する方。
前提知識
「Linuxシステム管理 後編ーシステム起動の仕組みとディスク管理技術ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. トラブルシューティング概要 (1)トラブルの種類 (2)トラブルシューティングの流れ (3)情報の収集手段 (4)バックアップとリストア (5)トラブル発生時のLinux起動 2. ブート時のトラブルシューティング (1)ブートの仕組み (2)ブートデバイス関連のトラブルシューティング (3)ブートローダ関連のトラブルシューティング (4)init/systemd関連のトラブルシューティング 3. システム稼働中のトラブルシューティング (1)ログインの仕組み (2)ログイン関連のトラブルシューティング (3)ファイルシステムの仕組み (4)ファイルシステム関連のトラブルシューティング 4. ネットワークのトラブルシューティング (1)ネットワークコマンドと設定ファイル (2)ネットワークトラブルの原因と調査方法 (3)ネットワーク設定関連のトラブルシューティング
備 考
・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ063 Linux
 Linuxで実現! セキュリティ対策手法の解説と要基化実習
2日間
Linuxシステムを用いたセキュリティ対策手法を学習します。また、マシン実習を通して、SSH、Netfilter、Snort、Tripwireの設定および操作を体験します。
到達目標
・SSHを利用して、安全な通信ができる。 ・Netfilterを利用して、パケットフィルタリングを実装できる。 ・Snortを利用して、IDSを実装できる。 ・Tripwireを利用して、ファイルの改ざん検知ができる。
対象者
Linuxシステムを運用・管理する方。
前提知識
「Linuxシステム管理 前編ーLinuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. セキュリティの概要とLinuxにおけるセキュリティ対策 2. SSHによるセキュアリモートアクセス 3. NetfilterによるパケットフィルタリングとNAT 4. Snortによる侵入検知 5. Tripwireによるファイルの改ざんチェック
備 考
・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ069 Linux
 UNIX/Linux実践シェルスクリプト ーsed awk編ー
2日間
システム運用を効率化する実践的なシェルスクリプトを理解し、システム運用に必要なシェルスクリプトの作成方法を学習します。
到達目標
・正規表現が理解できる。 ・sed、awkのシェルスクリプトを業務で活用できる。 ・実践的なシェルスクリプトを作成できる。
対象者
・既存コースと同様UNIX/Linuxでシェルスクリプトの作成をする方。 ・UNIX/Linuxシステムを管理する方。
前提知識
「UNIX/Linux基礎ーシェルスクリプト編ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. パターンマッチングと正規表現 (1)シェルの種類とシェルスクリプト (2)変数による文字列の取り扱い (3)正規表現 2. sed (1)sedとは (2)sedを用いたテキスト編集 (3)sedの応用的な機能 3. awk (1)awkとは (2)基本的なawkプログラミング (3)awkの編集処理の流れと制御文 (4)awkの関数 4. 実践的なシェルスクリプトの作成
備 考
・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ029 Linux
 Linuxシステム管理 前編 ーLinuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎ー
2日間
Linuxシステムの管理や運用に必要な基礎知識を学習します。また、マシン実習を通して、インストール、ユーザ管理、およびネットワーク設定方法などのシステム管理作業を体験します。
到達目標
・Linuxをインストールできる。 ・Linuxシステムの運用・管理が必要となる、ユーザ管理、パッケージ管理およびログ管理などができる。 ・Linuxにてネットワークを利用するための設定ができる。
対象者
Linuxシステムをはじめて運用・管理する方。
前提知識
「UNIX/Linux基礎ーコマンド編ー」および「ネットワーク基礎ーLinux/Linux基礎ーコマンド編ー」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 IIーTCP/IPの仕組みー】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. Linuxシステム管理の基礎 2. Linuxのインストール 3. ネットワークの基本設定とサービス制御 4. ユーザ・グループ管理 5. パッケージ管理 6. ログの取得と管理 7. バックアップとリストア
備 考
・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・Linuxシステムの管理を行う方には、あわせて「Linuxシステム管理 後編ーシステム起動の仕組みとディスク管理技術ー」コースのご受講を推奨します。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ030 Linux
 Linuxシステム管理 後編 ーシステム起動の仕組みとディスク管理技術ー
2日間
Linuxシステムの起動の方法、およびディスク管理に必要な知識を学習します。また、マシン実習を通して、ファイルシステムの構築方法やLVMのディスク管理方法を体験します。
到達目標
・Linuxシステムの起動の仕組みを説明できる。 ・新規にパーティションやファイルシステムの作成ができる。 ・LVMやiSCSIによる高度なディスク管理ができる。
対象者
Linuxシステムを運用・管理する方。
前提知識
「Linuxシステム管理 前編ーLinuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. システムの起動 2. ファイルシステムの作成と管理 (1)ファイルシステムの作成手順 (2)ファイルシステムの修復 (3)ファイルシステムの管理 (4)ファイルシステムの使用量の制限 3. LVM概要と環境構築 4. LVMの管理 (1)LVMの特性変更 (2)LVMの拡張 (3)LVMの縮小 (4)LVMの削除 5. iSCSI (1)ストレージの共有 (2)iSCSIとは (3)iSCSIの設定 (4)iSCSIの冗長化
備 考
・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。



日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

Windows Server 2019の新機能を知りたい方

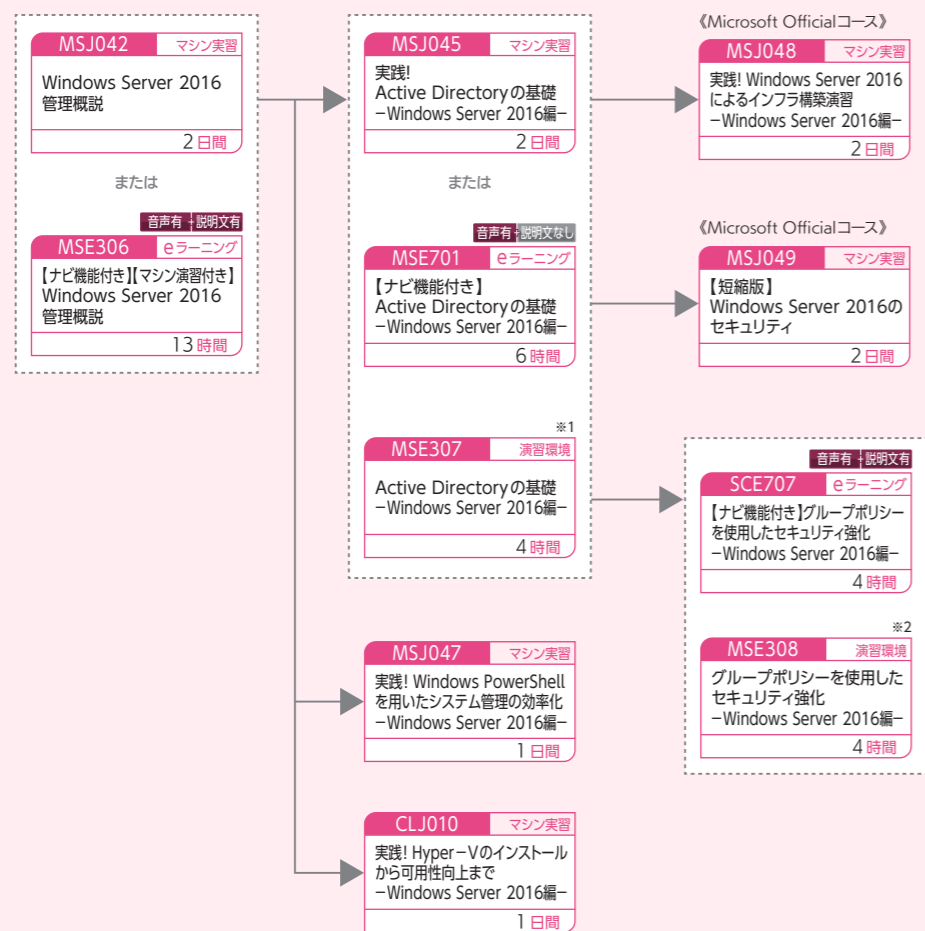
New

MSJ051 マシン実習

ここが新しい!
Windows Server 2019
新機能

1 日間

Windows Server 2016を使用してシステムを構築・運用・管理する方



※1:「MSE307<演習環境>Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-」は「MSE701<eラーニング>【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-」の修了後のご受講をお薦めします。

※2:「MSE308<演習環境>グループポリシーを使用したセキュリティ強化-Windows Server 2016編-」は「SCE707<eラーニング>【ナビ機能付き】グループポリシーを使用したセキュリティ強化-Windows Server 2016編-」の修了後のご受講をお薦めします。

音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

Windows Server 2012を使用してシステムを構築・運用・管理する方

MSE305 eラーニング
【ナビ機能付き】【マシン演習付き】
Windows Server 2012
管理概説
13 時間

MSE304 eラーニング
【マシン演習付き】
Active Directoryの基礎
13 時間

Microsoft Azureを使用してシステムを構築する方

CLJ011 マシン実習
Microsoft Azure 概説
1 日間

CLJ009 マシン実習
Microsoft Azureを用いた
Web アプリ開発入門
1 日間

SharePointを使用してポータルサイトを作成する方

OAE026 eラーニング
SharePointによる
社内ポータル作成入門
3 時間

資格 マイクロソフト認定資格

マイクロソフト認定資格は、Microsoft テクノロジーにおける専門知識を証明するものです。マイクロソフト認定プロフェッショナルは、コミュニティ リソースやツールにアクセスして、仲間とアイデアを交換して自身の知識やスキルを高めたり、キャリアの可能性を広げたりできます。

詳しくは、日立アカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/license/mcp/index.html>

Microsoft
CERTIFIED
Professional

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

MSE305 Microsoft

<eラーニング>【ナビ機能付き】【マシン演習付き】Windows Server 2012管理概説

Windows Server 2012 (R2) を使用してWindowsシステムを構築・運用・管理するために必要な技術の概要を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- Windows Server 2012 (R2) の概要が説明できる。
- ローカルユーザー、ドメインユーザーを管理できる。
- ファイルサーバーを構成し、資源を管理できる。
- Windows Server 2012 (R2) のトラブルシューティングを実施できる。

対象者

Windows Server 2012(R2)を使用しシステムを管理される方、またはWindows Server 2012(R2)の導入を検討している方。

前提知識

Windowsインターフェイスの十分な使用経験があり、「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- Windows Server 2012 (R2) 概要
- Windows Server 2012 (R2) のインストール
- サーバー管理ツール
- ワークグループ環境のアカウント管理
- ドメイン環境のアカウント管理
- ポリシーの概要
- ディスクの管理
- アクセス許可の設定
- ファイルサーバーの構築
- サーバーの監視
- サーバーのバックアップ
- 修了試験

備考

- サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前にお読みください】
 - 説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
 - このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 - このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
 - <https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
 - このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 - 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるPCにてご参照ください。
 - 学習開始日10営業日前を過ぎてもキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
 - このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 - お申し込みの前にお読みください。お申し込み方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

MSE304 Microsoft

<eラーニング>【マシン演習付き】Active Directoryの基礎

Windows Server 2012 (R2)にActive Directoryをインストールし、ドメインの構築・運用・管理するために必要な技術を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- Active Directoryの概要と実装方法が説明できる。
- Active Directoryを使用してドメイン環境を管理できる。
- グループポリシーを実装できる。
- Active Directoryのバックアップと復元ができる。

対象者

Active Directoryを設計・構築・管理する方。

前提知識

【【ナビ機能付き】【マシン演習付き】Windows Server 2012 管理概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- Active Directoryドメインサービスの概要
- Active Directoryドメインサービスの実装
- Active Directoryドメインのオブジェクト管理
- グループポリシーの実装と管理
- Active DirectoryドメインサービスとDNS
- サイトとグローバルカタログサーバーの構成
- 複数ドメイン環境の構成
- Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元
- 修了試験

備考

- サービス有効期限は21日間です。
- 【お申し込み前にお読みください】
 - 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
 - このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 - このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
 - <https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
 - このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 - 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
 - 学習開始日10営業日前を過ぎてもキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
 - このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 - お申し込みの前にお読みください。お申し込み方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OAE026 Microsoft

<eラーニング>SharePointによる社内ポータル作成入門

SharePointを利用したポータルサイトの構築を学習します。

到達目標

SharePointを利用して、ポータルサイトを構築することができる。

対象者

- 職種、年齢層にかかわらずSharePointでサイトを構築される方。
- SharePointでサイトを構築する必要があるが、サイトを構築する方法がわからない方。

前提知識

特に必要としません。

内容

- SharePointの概要
- SharePointの代表的なアプリ
- SharePointのサイト構築
- SharePointのサイト管理
- Outlookとの連携
- SharePoint 2010ベースのワークフローの実装
- 修了試験

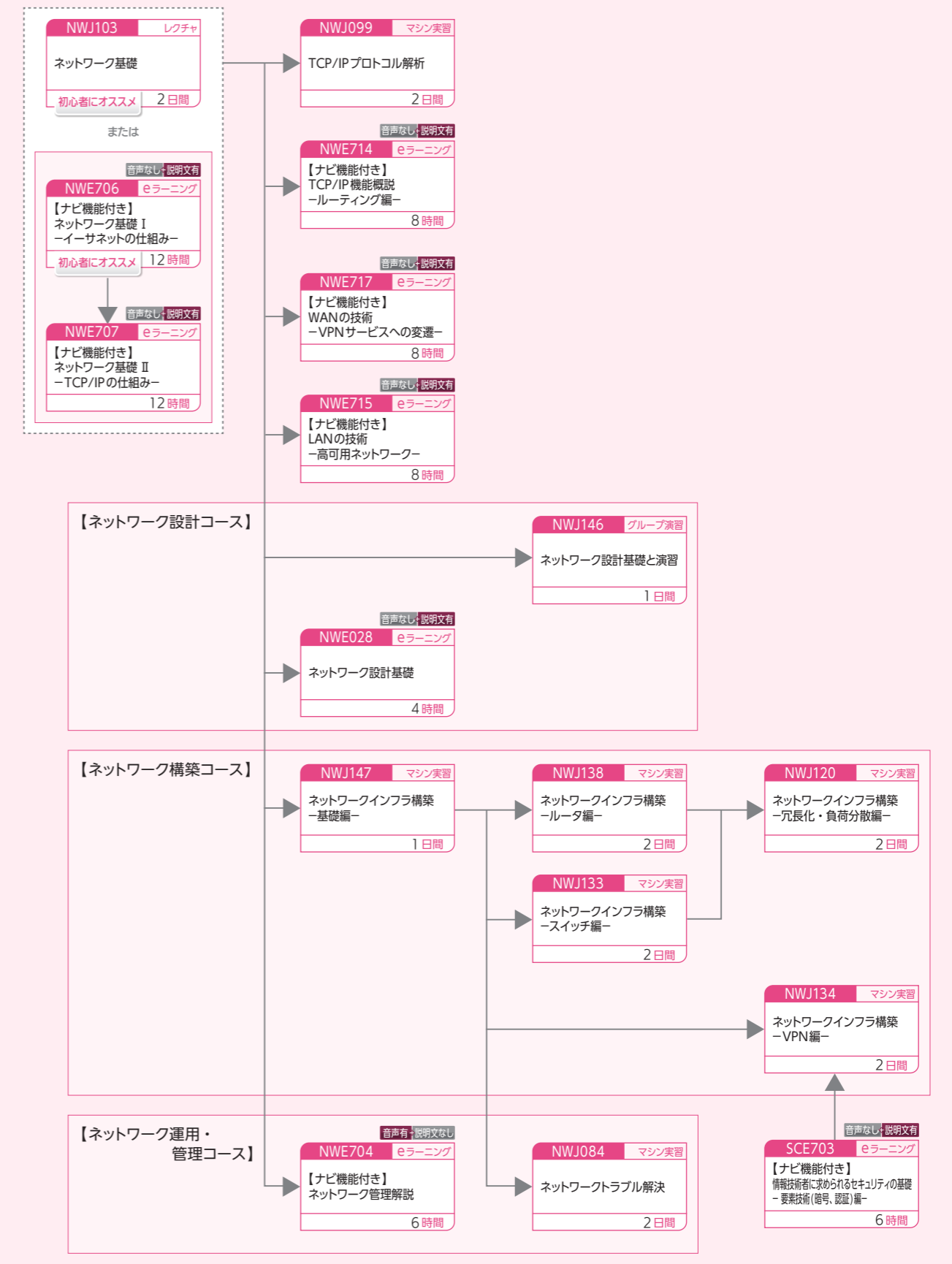
備考

- 学習終了日は3月31日になります。
- 説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前にお読みください。お申し込み方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

ネットワーク

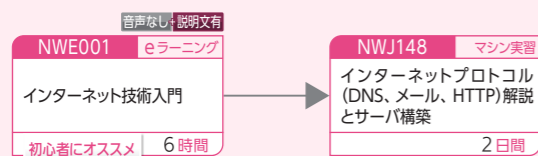
ネットワークの構成を理解し、LANおよびWANに接続したシステム設計・構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● ネットワークを設計・構築・運用する方、技術を詳しく学びたい方

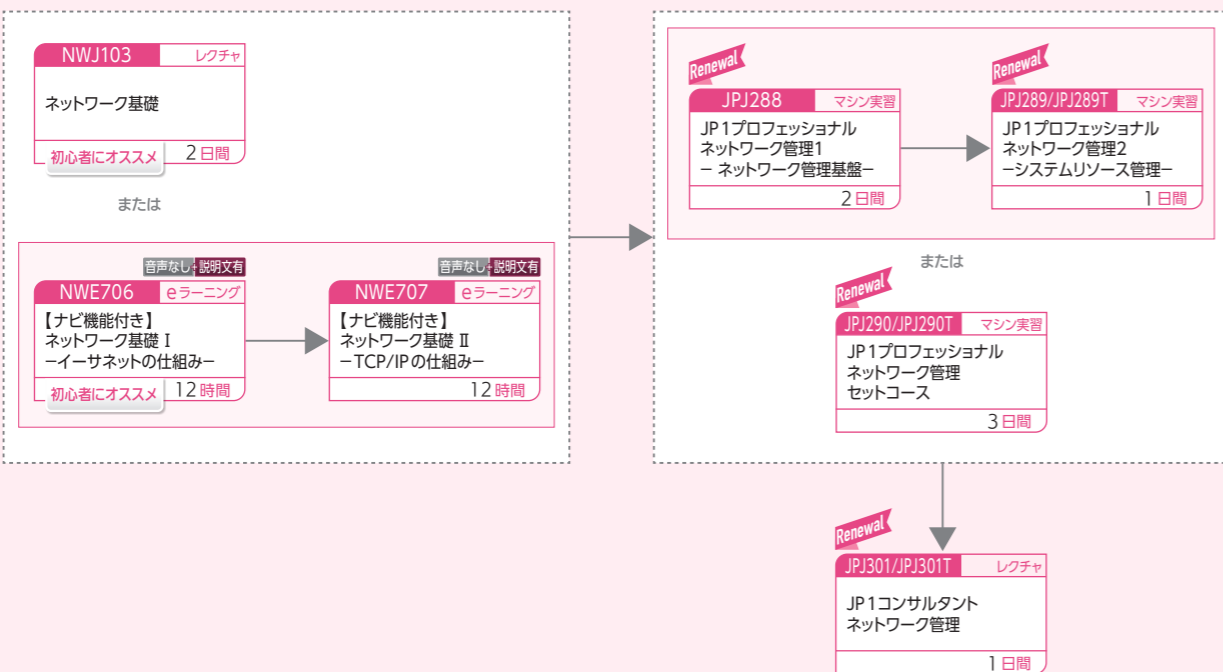


日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

インターネットサーバを構築・運用・管理する方



JP1 ネットワーク管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



ワイヤレスネットワークを設計・構築・運用する方、技術を幅広く学びたい方



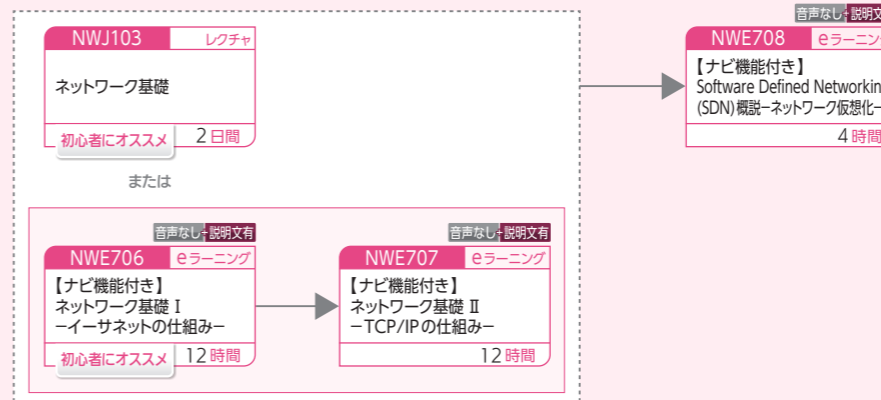
音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

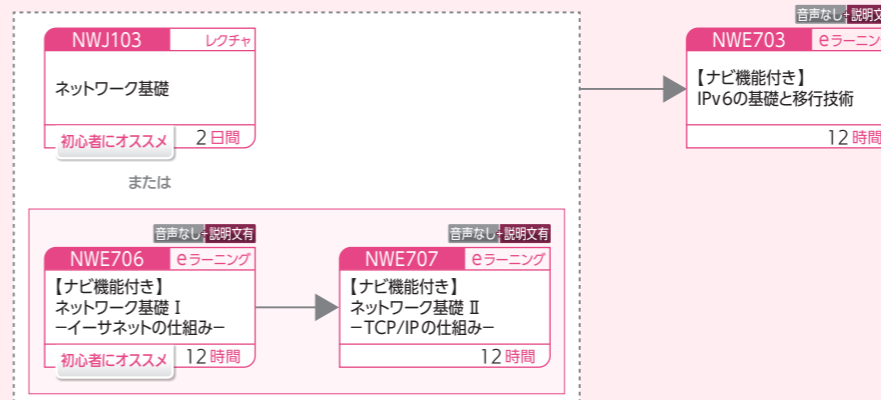
音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

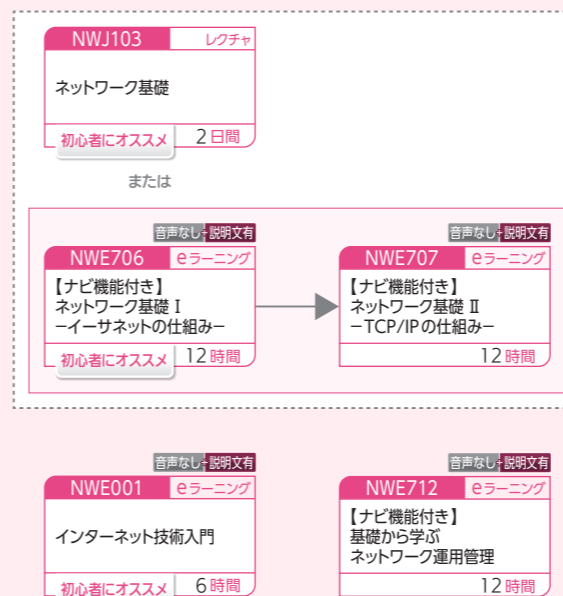
ネットワークの最新動向を学びたい方



IPv6ネットワークを構築・運用・管理する方、技術を詳しく学びたい方



ネットワークシステム、インターネットを利用する方



休講 : 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
HIRDB
<p>OpenTP1</p> VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
<p>Pentaho</p> デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
<p>データ分析</p> サイバーセキュリティ
RPA
<p>クラウド/サーバ仮想化</p> IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
<p>オープンソースソフトウェア(OSS)</p> Linux
Microsoft
<p>ネットワーク</p> ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
<p>情報処理技術者試験対策</p> ITリテラシ
<p>プロジェクト マネジメント</p> コンプライアンス
<p>ビジネス / ヒューマン</p> グローバル

NWJ103	ネットワーク
<div><div><div><div><div></div><div>ネットワーク基礎</div></div></div><div><div><div></div><div>2日間</div></div></div></div></div>	
<div><div><div><div><div></div><div>コンピュータネットワークで利用される技術や、コンピュータネットワークの構築に必要な基礎知識を総合的に学習します。</div></div></div></div></div>	
到達目標	・LANの構成要素（ハード/ソフト）について説明できる。 ・OSI基本参照モデルに対応したネットワークの基本動作を説明できる。 ・イーサネット、IPv4、TCP/UDPの基本について説明できる。
対象者	ネットワーク技術者をめざす方、業務の中でネットワークの基礎知識を必要とする方、小規模なネットワークを構築・運用する方。
前置知識	特に必要としません。
内 容	1. ネットワークの基礎知識 2. プロトコル 3. ネットワークインタフェース層 4. インターネット層 5. トランスポート層 6. アプリケーション層 7. ネットワーク機器 8. インターネット
備 考	このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

NWE715	ネットワーク
<div><div><div><div><div></div><div><eラーニング>【ナビ機能付き】LANの技術－高可用ネットワーク－</div></div></div><div><div><div></div><div>8時間</div></div></div></div></div>	
<div><div><div><div><div></div><div>VLAN、無線LAN、負荷分散装置など、LANを構築するうえで必要な知識を学習します。</div></div></div></div></div>	
到達目標	・VLAN、無線LANの基礎を説明できる。 ・負荷分散装置、冗長化技術の基礎について説明できる。 LAN技術の基礎的な知識を必要とする方。
対象者	LAN技術の基礎的な知識を必要とする方。
前置知識	「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ－TCP/IPの仕組み－」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. LANの構築 2. リンクアグリゲーション 3. STP 4. VRRP 5. 負荷分散 6. VLAN 7. ネットワーク・ストレージ 8. 無線LAN 9. LANデバイス 10. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWE706	ネットワーク
<div><div><div><div><div></div><div><eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅰ－イーサネットの仕組み－</div></div></div><div><div><div></div><div>12時間</div></div></div></div></div>	
<div><div><div><div><div></div><div>ネットワークの階層構造、および各階層におけるプロトコルの概要、LANで使われる基礎技術について、イーサネットを中心に学習します。</div></div></div></div></div>	
到達目標	・ネットワークの階層構造、プロトコルの役割について説明できる。 ・イーサネットの基礎技術、機器について説明できる。
対象者	ネットワークに関する基礎的な知識を必要とする方。
前置知識	特に必要としません。
内 容	1. ネットワークの基礎知識 2. プロトコル 3. ネットワークの通信例 4. アプリケーションプロトコル 5. TCP/UDP 6. IP 7. 伝送媒体 8. イーサネット 9. LANデバイス 10. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWE707	ネットワーク
<div><div><div><div><div></div><div><eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ－TCP/IPの仕組み－</div></div></div><div><div><div></div><div>12時間</div></div></div></div></div>	
<div><div><div><div><div></div><div>TCP/IPの概要をインターネット層、トランスポート層、アプリケーション層を中心に解説します。</div></div></div></div></div>	
到達目標	・TCP/IPの基礎的な説明ができる。 ・IP関連プロトコルの基礎的な説明ができる。 ・TCP/IP上のアプリケーションの基礎的な説明ができる。
対象者	TCP/IPの基礎的な知識を必要とする方。
前置知識	「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅰ－イーサネットの仕組み－」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. TCP/IPの概要 2. IP 3. アドレス解決（ARP） 4. ICMP 5. TCP/UDP 6. IP関連技術 7. リモート・ログイン(Telnet) 8. ファイル転送（FTP） 9. 名前解決（DNS） 10. WWW（HTTP） 11. 電子メール 12. IPv6 13. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWJ099	ネットワーク
<div><div><div><div><div></div><div>マシシ実習</div></div></div><div><div><div></div><div>TCP/IPプロトコル解析</div></div></div></div></div>	
2日間	
<div><div><div><div><div></div><div>LANアナライザを用いてTCP/IPのシーケンスを視覚的にとらえることにより、TCP/IPの内部的な動作を学習します。</div></div></div></div></div>	
到達目標	TCP/IPの内部的な動作を説明できる。
対象者	TCP/IPについてネットワーク内部での動作を把握し、知識を深めたい方。
前置知識	「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ－TCP/IPの仕組み－」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. TCP/IPの構造 2. TCP/IPのデータの流れ 3. 各プロトコルヘッダの構造 4. ICMPメッセージの種類 （1）Echo Request、Echo Reply （2）Redirect （3）Time Exceeded 5. 各アプリケーションの動作 （1）ftp （2）telnet 6. シーケンス確認（演習） （1）TCP/IPレベルのシーケンス （2）アプリケーションのシーケンス
備 考	このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

NWE717	ネットワーク
<div><div><div><div><div></div><div><eラーニング>【ナビ機能付き】WANの技術－VPNサービスへの変遷－</div></div></div><div><div><div></div><div>8時間</div></div></div></div></div>	
<div><div><div><div><div></div><div>VPNをはじめとするWANサービスの概要と、サービスを構成する基礎技術を学習します。</div></div></div></div></div>	
到達目標	・代表的なWANサービスの基礎技術を説明できる。 ・VPN（広域イーサネット、IP-VPN、インターネットVPN）について技術とサービスの特性を説明できる。
対象者	WANサービスの基礎的な知識を必要とする方。
前置知識	「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ－TCP/IPの仕組み－」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	序章. WANサービスの変遷 1. WANの利用 2. 伝送技術とデータリンク層プロトコル 3. 専用線 4. PSTN・ISDN 5. xDSL・FTTH 6. 無線アクセス回線 7. 広域イーサネット 8. IP-VPN 9. インターネットVPN 10. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWE028	ネットワーク
<div><div><div><div><div></div><div><eラーニング>ネットワーク設計基礎</div></div></div><div><div><div></div><div>4時間</div></div></div></div></div>	
<div><div><div><div><div></div><div>ネットワークシステムの計画、設計において必要な基礎知識を学習します。</div></div></div></div></div>	
到達目標	ネットワークシステムの計画、設計工程に必要な基礎知識を説明できる。
対象者	ネットワークシステムの計画、設計をする方、ネットワークシステムの設計を依頼する方。
前置知識	「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ－TCP/IPの仕組み－」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. ネットワーク設計・構築の全体像 2. LANの設計 3. 拠点間接続の設計 4. インターネット接続の設計 5. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWE001	ネットワーク
<div><div><div><div><div></div><div><eラーニング>インターネット技術入門</div></div></div><div><div><div></div><div>6時間</div></div></div></div></div>	
<div><div><div><div><div></div><div>WWWや電子メールの仕組み、WebアプリケーションやFTPの概要を学習します。</div></div></div></div></div>	
到達目標	・Webアプリケーションの概要を説明できる。 ・Webページ記述言語の概要について説明できる。 ・インターネットでの通信の仕組みについて説明できる。 ・FTPの概要について説明できる。
対象者	インターネットの基礎的な知識を必要とする方。
前置知識	特に必要としません。
内 容	1. インターネットの基礎知識 2. インターネットでの通信の仕組み （1）ドメイン名 （2）インターネットでの通信の仕組み 3. 電子メールの仕組み （1）電子メールとは 4. WWWの仕組み （1）Webページの記述言語 5. Webアプリケーションの技術概要 6. Webのセキュリティに関わる基礎知識 7. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWJ148	ネットワーク
<div><div><div><div><div></div><div>マシシ実習</div></div></div><div><div><div></div><div>インターネットプロトコル（DNS、メール、HTTP）解説とサーバ構築</div></div></div></div></div>	
2日間	
<div><div><div><div><div></div><div>インターネットプロトコルの動作とインターネットサーバの構築方法について理解を深めます。</div></div></div></div></div>	
到達目標	・DNSプロコルの動作と基本的なメッセージが説明できる。 ・SMTP/POP3の動作と基本的なメッセージが説明できる。 ・HTTPの動作と基本的なメッセージが説明できる。
対象者	ネットワークサーバの構築・運用に携わる方。
前置知識	「インターネット技術入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. インターネットの概要 2. DNSの仕組みとサーバ構築 （1）名前解決の概要 （2）DNSの動作 （3）DNSプロトコルメッセージ 3. メール仕組みとサーバ構築 （1）メールシステム概要 （2）メールデータフォーマット （3）SMTPプロトコルメッセージ （4）POP3プロトコルメッセージ 4. Webの仕組みとサーバ構築 （1）Webの仕組みとHTMLファイル （2）HTTPプロトコルメッセージ
備 考	このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
HIRDB
<p>OpenTP1</p> VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
<p>Pentaho</p> デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
<p>データ分析</p> サイバーセキュリティ
RPA
<p>クラウド/サーバ仮想化</p> IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
<p>オープンソースソフトウェア(OSS)</p> Linux
Microsoft
<p>ネットワーク</p> ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
<p>情報処理技術者試験対策</p> ITリテラシ
<p>プロジェクト マネジメント</p> コンプライアンス
<p>ビジネス / ヒューマン</p> グローバル

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

NWJ138 ネットワーク
<div><div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div><div><div><div></div><div>2日間</div></div></div></div></div> <div>ネットワークインフラ構築 ールータ編ー</div>
LANでのルーティング技術について、ルータを使ったマシン実習を通して学習します。
到達目標 小規模ネットワークにおけるルーティング設定ができる。
対象者 ルータを使用したネットワークを構築、管理する方。
前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎ⅡーTCP/IPの仕組みー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 1. ルータの基本操作 2. ルーティングの基礎 3. スタティックルーティング 4. ダイナミックルーティング(シングルエリアOSPF) 5. ダイナミックルーティング(マルチエリアOSPF) 6. ダイナミックルーティング(BGP) 7. 経路再配布
備 考 ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

NWJ133 ネットワーク
<div><div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div><div><div><div></div><div>2日間</div></div></div></div></div> <div>ネットワークインフラ構築 ースイッチ編ー</div>
L3スイッチを使ったマシン演習を通し、VLAN、リンクアグリゲーション、STP、ルーティング、フィルタリング、運用管理について学習します。
到達目標 L3スイッチによるネットワークを構築できる。
対象者 LANスイッチを使用したネットワークを構築、管理する方。
前提知識 「ネットワークインフラ構築ー基礎編ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 1. スイッチの概要 2. スイッチの基本操作(コンフィギュレーション、ミラーポート) 3. VLAN(ポートVLAN、タグVLAN、VLAN間ルーティング) 4. リンクアグリゲーション 5. STP(RSTP、MSTP) 6. パケットフィルタリング(ACL) 7. 運用管理(SNMP、Syslog)
備 考 このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

NWJ120 ネットワーク
<div><div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div><div><div><div></div><div>2日間</div></div></div></div></div> <div>ネットワークインフラ構築 ー冗長化・負荷分散編ー</div>
高可用ネットワークを実現するための冗長化技術および負荷分散技術について、マシン実習を通して学習します。
到達目標 ・冗長化技術を用いたネットワークを設計・構築できる。 ・負荷分散技術を用いたネットワークを設計・構築できる。
対象者 ネットワークインフラを設計、構築、管理する方。
前提知識 「ネットワークインフラ構築ースイッチ編ー」および「ネットワークインフラ構築ールータ編ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 1. L2冗長化・負荷分散(STP、RSTP、MSTP) 2. L3冗長化・負荷分散(OSPF、RIP) 3. ゲートウェイ冗長化(VRRP) 4. ロードバランサによる負荷分散 5. NIC冗長化(チーミング) 6. 総合演習
備 考 このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

NWE704 ネットワーク
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>6時間</div></div></div></div></div> <div><eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク管理解説</div>
ネットワークの運用管理の対象となる項目(構成管理・性能管理・障害管理等)と、ネットワーク運用管理において利用するプロトコル、各種管理ツールの特徴について学習します。
到達目標 ・ネットワークの管理項目(構成管理・性能管理・障害管理等)について説明できる。 ・セキュリティを確保した、小規模・中規模な無線LAN環境が構築できる。 ・各種管理ツールの利用方法・特徴について説明できる。 ・SNMPによるネットワーク管理の構成要素と、要素の概要を説明できる。
対象者 情報システムにおけるネットワークの運用管理を行う方。
前提知識 「ネットワークインフラ構築ー基礎編ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 1. ネットワーク管理の概要 2. 資産・構成管理 3. 性能管理 4. 障害管理 5. ネットワーク管理ツール 6. SNMPを用いたネットワーク管理 7. 修了試験
備 考 ・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWJ109 ネットワーク
<div><div><div><div><div></div><div>マシン実習</div></div></div><div><div><div></div><div>2日間</div></div></div></div></div> <div>無線LAN環境構築</div>
無線LAN技術の基礎知識および発展的な知識について、マシン実習を通して学習します。
到達目標 ・無線LANで利用される代表的な技術について説明できる。 ・セキュリティを確保した、小規模・中規模な無線LAN環境が構築できる。 ・無線LANシステムの要件定義から、設計・構築・運用までの全体的な流れを説明できる。
対象者 無線LANを利用したネットワークを設計、構築・運用する方、業務で無線LANについての知識を必要とする方。
前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎ⅡーTCP/IPの仕組みー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 1. 無線LANの概要 2. 物理層に関わる技術 3. データリンク層に関わる技術 4. 無線LAN規格の動向 5. 無線LANのセキュリティ技術 6. 大規模な無線LAN環境構築技術 7. 無線LANの設計・導入
備 考 このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

NWE708 ネットワーク
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>4時間</div></div></div></div></div> <div><eラーニング>【ナビ機能付き】Software Defined Networking (SDN) 概説ーネットワーク仮想化ー</div>
Software Defined Networking (SDN) の概要を学習します。
到達目標 Software Defined Networking (SDN) の概要を説明できる。
対象者 Software Defined Networking (SDN) 技術に興味のある方、ネットワーク仮想化技術に興味のある方。
前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎ⅡーTCP/IPの仕組みー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 1. Software Defined Networking (SDN) の概要 2. Software Defined Networking (SDN) の要素技術 3. Software Defined Networking (SDN) の活用例 4. 修了試験
備 考 ・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWE712 ネットワーク
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>12時間</div></div></div></div></div> <div><eラーニング>【ナビ機能付き】基礎から学ぶネットワーク運用管理</div>
ネットワークの管理項目として、構成管理、性能監視、障害運用を学習します。また、ITシステムの運用管理におけるネットワーク管理の位置づけと運用管理の体制について学習します。
到達目標 ・ネットワークの基礎技術を理解したうえで、運用管理の手法や、活用されている技術について説明できる。 ・ITシステムの運用管理におけるネットワークの管理の位置づけと運用管理体制について説明できる。
対象者 ・ネットワークの運用管理技術について、ネットワークの基礎技術の復習をしながら学習を進めたい方。 ・運用管理を切り口にネットワークの基礎技術を修得したいITエンジニアや営業の方。
前提知識 特に必要としません。
内 容 1. ネットワーク管理の概要 (1) ネットワーク管理の必要性 (2) ネットワーク管理の概要 2. 構成管理 (1) 構成管理とは (2) 物理構成 (3) 論理構成 3. 性能監視 (1) 性能監視とは (2) 監視のための方法 4. 障害運用 (1) 障害運用とは (2) 障害対応作業 5. ITシステムからみたネットワーク管理と運用管理の体制 (1) 運用管理の対象 (2) 運用管理の体制 6. 修了試験
備 考 ・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

休 講
休 講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

ネットワーク

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

151

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

ハードウェア

サーバ・ストレージシステムの構築・活用に有効なハードウェア技術が修得できます。

● SAN関連業務に携わる方

音声有 <small>+</small> 説明文なし
SJE705 eラーニング
【ナビ機能付き】SAN概説
5時間

● サーバ・ストレージシステムを活用・構築する方

音声有 <small>+</small> 説明文なし
SJE016 eラーニング
Fibre Channel概説 日立ストレージ・ホストの接続を理解するために
4時間

音声有 <small>+</small> 説明文なし
SJE028 eラーニング
SCSI入門 ストレージインタフェースを理解するために
2時間

● サーバ製品の設計・システム構築に携わる方

音声有 <small>+</small> 説明文なし
SJE018 eラーニング
SAS (Serial Attached SCSI) 入門 ストレージインタフェースを理解するために
2時間

● HDDを含む製品の開発に携わる方

音声有 <small>+</small> 説明文なし
SJE017 eラーニング
SATA入門
2時間

音声有 + 説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有 + 説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし + 説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

SJE705 ハードウェア
eラーニング
<eラーニング>【ナビ機能付き】SAN概説
5時間

SAN (Storage Area Network) およびSAN関連製品に携わっていくためのSANの基礎知識を学習します。

到達目標	SANの全体像が説明できる。
対象者	SAN関連業務に従事する方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. SANとは 2. SANトポロジ (FC-SAN、IP-SAN) 3. SANソリューション バックアップ、ディザスタリカバリ、ストレージ仮想化 4. ストレージ管理 5. NAS (Network Attached Storage) / データアーカイブ 6. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJE016 ハードウェア
eラーニング
<eラーニング>Fibre Channel概説 日立ストレージ・ホストの接続を理解するために
4時間

ホスト・ストレージ間接続に使用されるFibre Channelについての基礎知識を学習します。

到達目標	・Fibre Channelに関する用語を使いこなすことができる。 ・サーバ・ストレージ製品で使用されているFibre Channel技術を理解できる。
対象者	日立ストレージに関する業務を担当している方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. Fibre Channelの歴史と特徴 2. Fibre Channelハードウェア (1) メディアタイプ (2) FC-Switch 3. Fibre Channel基本事項 (1) トポロジ (2) アドレス構成 4. 覚えておきたいキーワード 5. Fibre Channel詳細/各レイヤの詳細 6. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJE028 ハードウェア
eラーニング
<eラーニング>SCSI入門 ストレージインタフェースを理解するために
2時間

ホスト (UNIX・Windows) とストレージ (HDD) を接続するインタフェースであるSCSIの基本事項について、パラレルSCSIを中心に学習します。

到達目標	・パラレルSCSIのシステム構成を説明できる。 ・パラレルSCSIの動作概要を説明できる。 ・シリアルSCSIの種類と特徴を説明できる。
対象者	サーバ・ストレージなどSCSIを使用した製品に関する業務を担当する方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. SCSIとは 2. パラレルSCSI概要 (1) ハードウェア (2) システム構成 3. パラレルSCSI詳細 (1) コマンド体系 (2) ステータス、センスデータ (3) コマンドシーケンス 4. 関連事項 Command Queuing機能 5. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJE018 ハードウェア
eラーニング
<eラーニング>SAS (Serial Attached SCSI) 入門 ストレージインタフェースを理解するために
2時間

SASの基本知識を学習します。

到達目標	・SASのシステム構成を説明できる。 ・SASの動作概要を説明できる。 ・SASのSATAデバイスサポートを説明できる。
対象者	サーバ・ストレージなどHDDを使用した製品に関する業務を担当する方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. SASとは 2. SAS概要 (1) ハードウェア (2) システム構成 3. SAS詳細 (1) データ転送 (2) コマンド体系 (3) コマンドシーケンス 4. SASのSATAデバイスサポート 5. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJE017 ハードウェア
eラーニング
<eラーニング>SATA入門
2時間

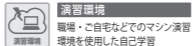
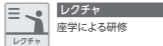
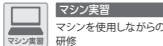
SATAの機能・システム構成・内部動作を学習します。

到達目標	・SATAの機能、システム構成を説明できる。 ・SATAの内部動作を理解できる。
対象者	サーバ・ストレージなどHDDを使用した製品に関する業務を担当する方。
前提知識	PCの構造を理解していること。
内 容	1. ATAとは (1) 歴史 (2) ATAのシステム的な位置づけ 2. パラレルATA (1) システム構成 (2) レジスタインタフェース (3) 基本的なシーケンス 3. シリアルATA (SATA) (1) パラレルATAとの異なり/システム構成 (2) 基本的なシーケンス (3) 独自機能 コマンドキューイング・SAS連携 4. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

休 講 休 講
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル



セキュリティ

個人情報保護や情報セキュリティに関する基礎知識、セキュリティを考慮したシステム構築・管理に必要な技術が修得できます。

● セキュリティの最新動向を知りたい方

SCJ041 レクチャ

セキュリティ最新動向

0.5日間

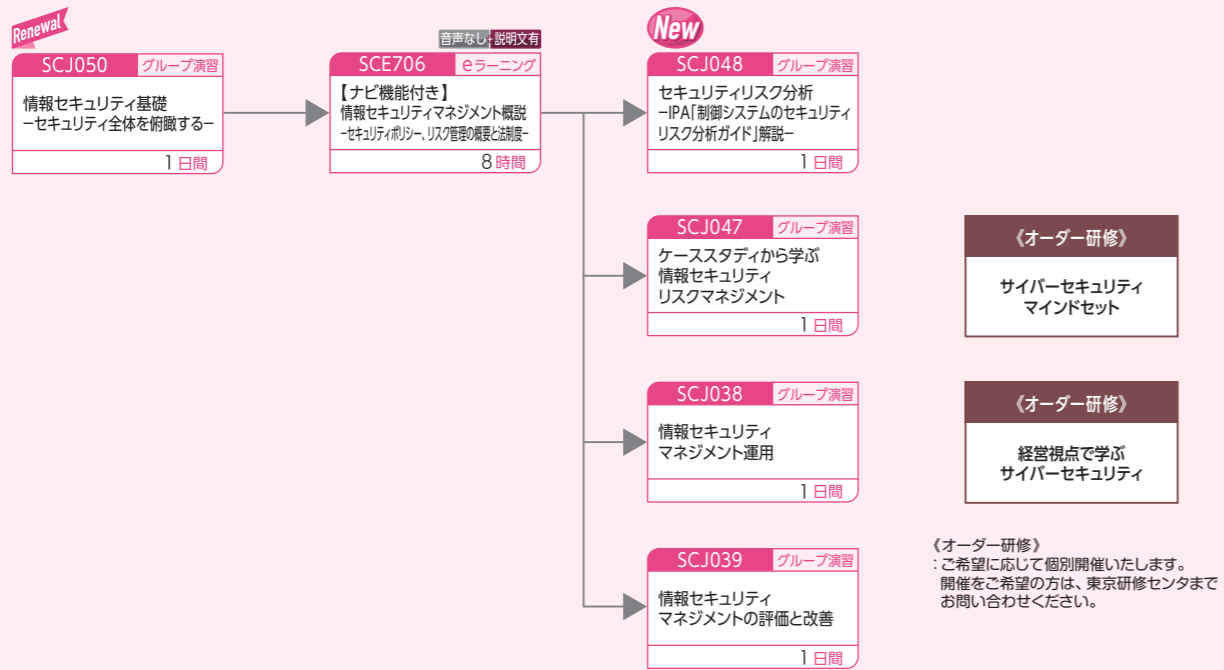
● 社会人としてのセキュリティ意識を身につけたい方

SCE708 eラーニング

【ナビ機能付き】
情報セキュリティリテラシー
-セキュリティの必要性と対策-

初心者におすすめ 4時間

● 企業内の情報セキュリティを管理する方

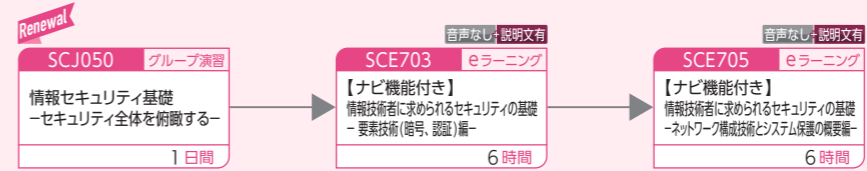


● セキュリティインシデント対応の基礎を身につけたい方

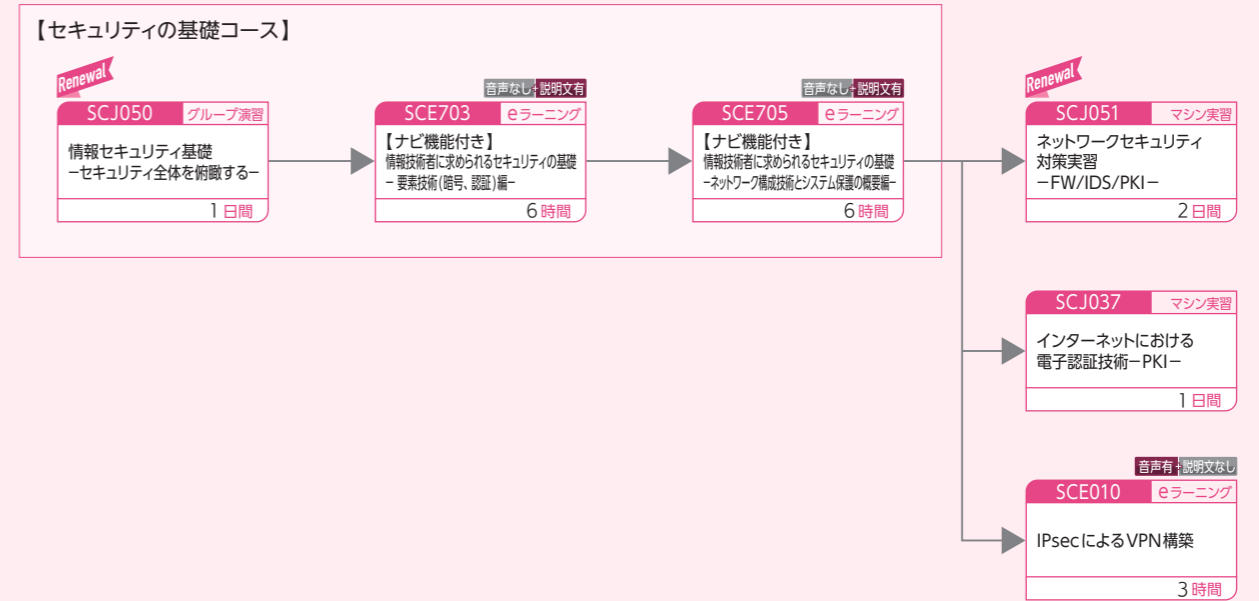
SCE011 eラーニング
サイバー攻撃対応基礎
(知識修得編)
3時間

SCJ049 グループ演習
サイバー攻撃対応
コミュニケーション訓練
0.5日間

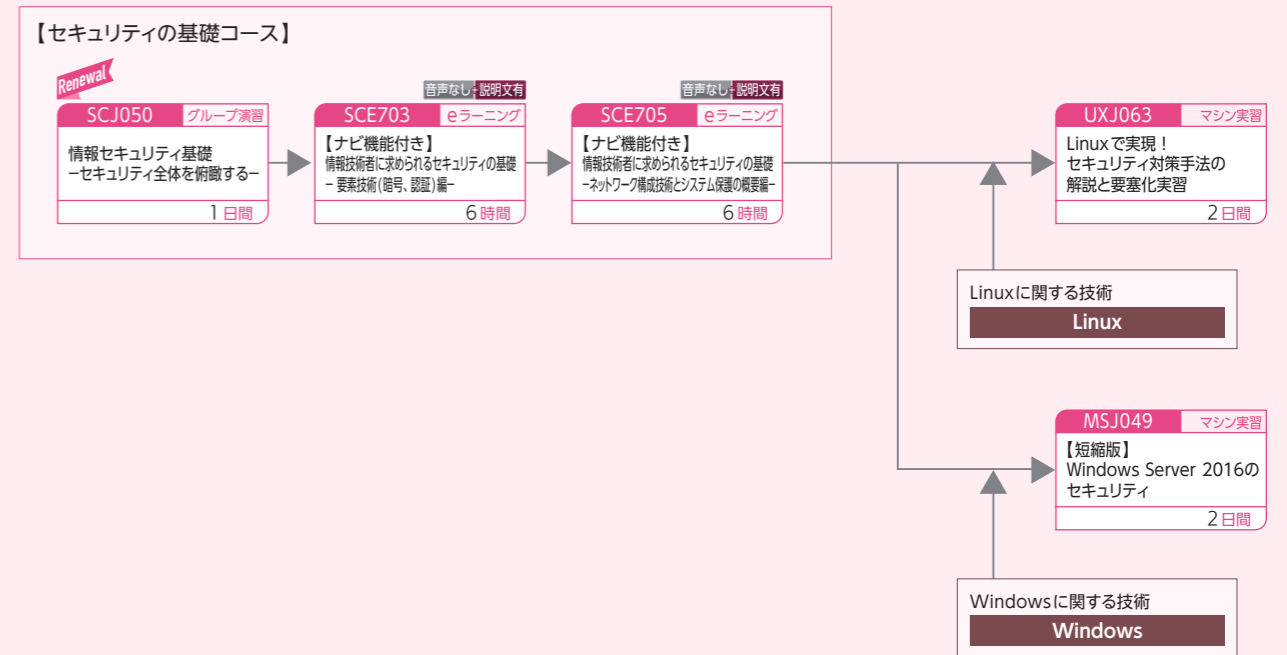
● 情報システムを構築・運用する方 (セキュリティの基礎)



● ネットワークシステムを構築・運用する方



● Windows、Linuxで情報システムを構築・運用・管理する方



音声有+説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

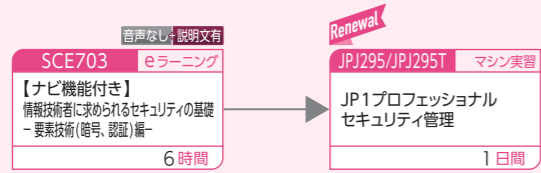
休講 休講
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

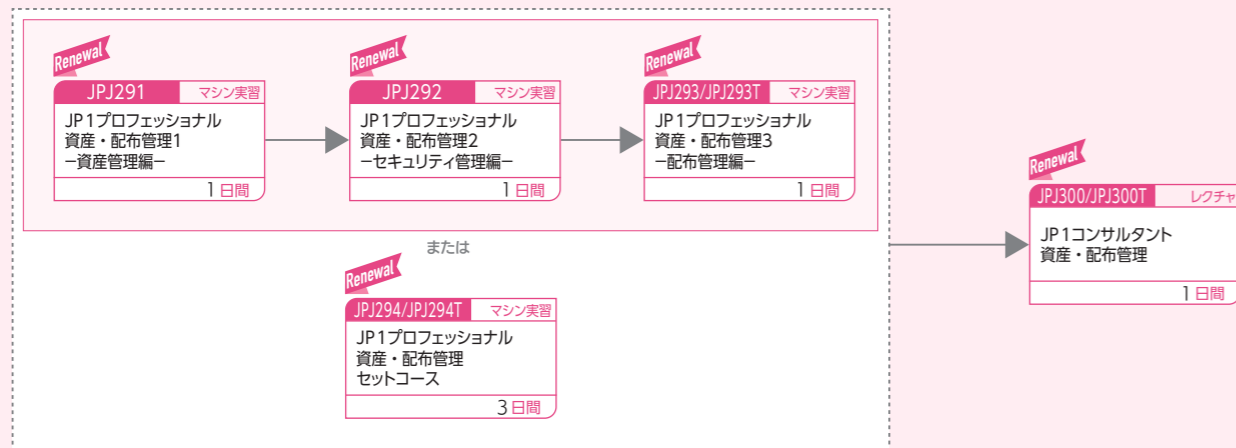
- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDMII
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- IT活用
- イノベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- IT基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画
- システム開発
- 要件定義/設計
- モデリング
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDMII
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- IT活用
- イノベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- IT基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画
- システム開発
- 要件定義/設計
- モデリング
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

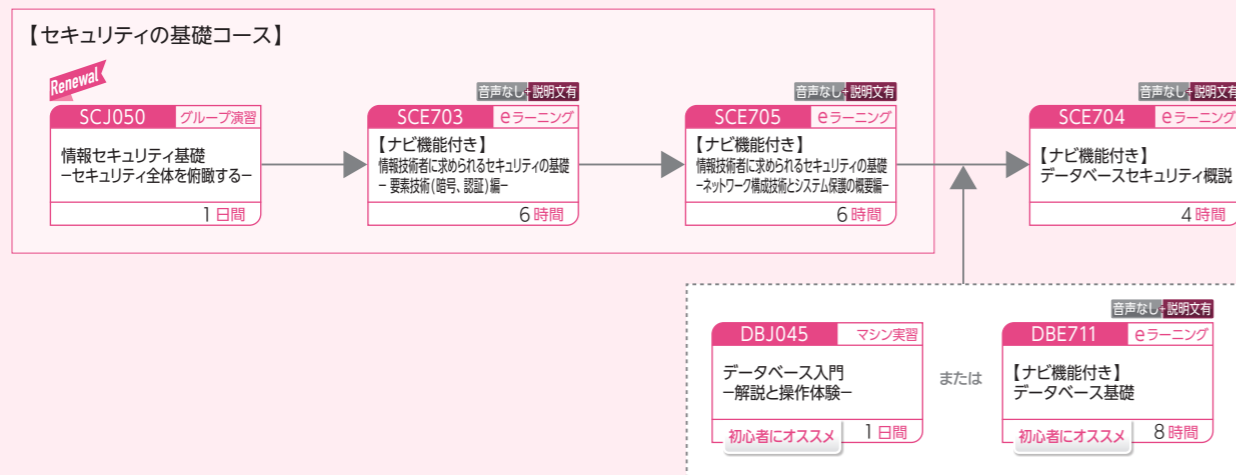
● JP1セキュリティ管理製品を使用してシステムを構築・運用する方



● JP1資産・配布管理製品を使用してシステムを構築・運用する方



● データベースを構築・運用する方



音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

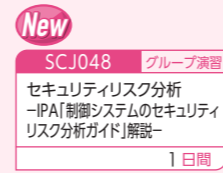
音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

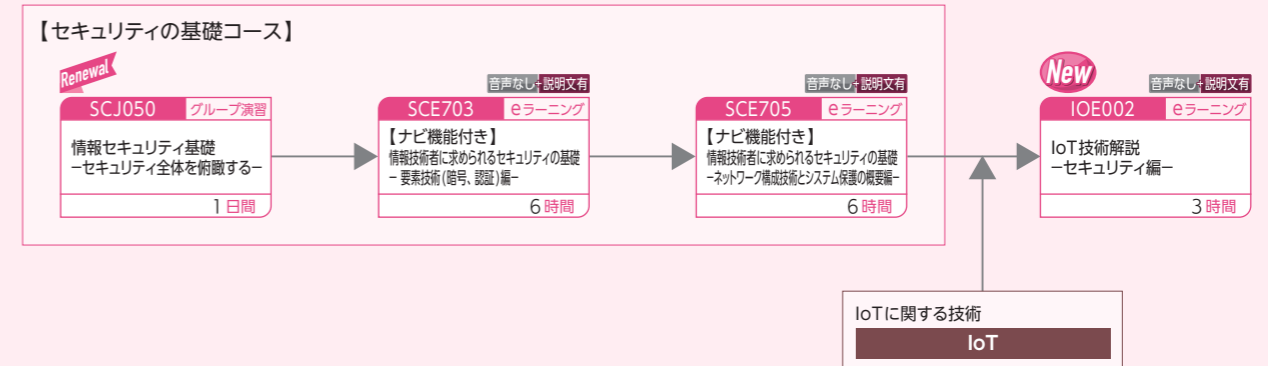
初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習 (マシンを使用しながらの研修) | グループ演習 (グループ演習を中心とした研修) | レクチャ (座学による研修) | 演習環境 (職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習) | eラーニング (インターネット接続による自己学習) | 自習テキスト (自習書による自己学習)

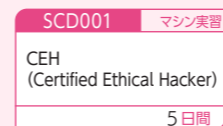
● 制御システムを構築・運用・管理する方



● IoTのシステムを構築・運用・管理する方



● ホワイトハッカーをめざす方



資格 EC-Council認定資格

EC-Council認定資格は、EC-Council Internationalが「情報セキュリティ技術者として、一定水準以上の技術力を持つこと」を認定する資格です。

詳しくは、日立アカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/license/ecc/index.html>

休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

SCE010 セキュリティ技術

3週間

<eラーニング>IPsecによるVPN構築

IPsecを利用したVPN構築方法について学習します。

到達目標 ・VPNの概要やメリットが説明できる。
・IPsecの仕組みが説明できる。

対象者 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理/構築する方。

前置知識 【【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎要素技術（暗号、認証）編-】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. VPN概要
(1) VPNを実現する技術
(2) VPNの接続形態
(3) VPNプロトコル
2. IPsec解説
(1) IPsecの概要
(2) セキュリティアソシエーション(SA)とパラメータ
(3) SA管理と鍵管理
3. 修了試験

備考 ・学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SCJ037 セキュリティ技術

1日間

インターネットにおける電子認証技術 -PKI-

このコースでは、マイナンバー制度などの公共情報システムやインターネット上の電子取引において、取引相手やデータの信頼性・安全性を確保するために不可欠な電子認証技術であるPKI(Public Key Infrastructure)の概要を学習します。

到達目標 ・PKIとは何か、機能や役割の概要を説明できる。
・PKIの構成要素である、電子署名、電子証明書、暗号化の仕組みや技術の概念を説明できる。
・情報システムにおいてPKIがどのように利用されているかについて説明できる。

対象者 情報システムを運営・管理する方、電子取引システムを構築する方。

前置知識 【【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎要素技術（暗号、認証）編-】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. PKIの概要
2. 暗号技術と電子署名
3. 認証局と電子証明書
4. PKIによる電子認証のしくみ
5. PKIの活用
6. 電子認証関連法規と公共機関におけるPKIの利用

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
※別途ご案内いたします。

SCD001 セキュリティ技術

5日間

CEH (Certified Ethical Hacker)

最新のセキュリティ脅威、高度の攻撃ベクトルと、最新のハッキングの技術、手法、ツール、巧みな技、情報セキュリティ対策のリアルタイムでの実演/美用に重点を置いた、エシカル・ハッキング/情報システム・セキュリティ監査の統合型プログラムを学習します。
・18のモジュールから、最新のセキュリティ脅威、ハッキング技術を構造的に学習します。

到達目標 最新のセキュリティ脅威、ハッキング技術を構造的に理解できる。

対象者 情報セキュリティの責任者/監査人/専門家、サイト管理者の方。

前置知識 「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎II-TCP/IPの仕組み-eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. エシカル・ハッキング概論
2. フットプリンティングおよび偵察
3. ネットワークのスキャン
4. 列挙
5. システムのハッキング
6. マルウェアの脅威
7. スニффイング
8. ソーシャル・エンジニアリング
9. サービス妨害攻撃(DoS攻撃)
10. セッション・ハイジャック
11. Webサーバのハッキング
12. Webアプリケーションのハッキング
13. SQLインジェクション
14. 無線ネットワークのハッキング
15. モバイル・プラットフォームのハッキング
16. IDS、ファイアウォール、ハニーポットの回避
17. クラウド・コンピューティング
18. 暗号化

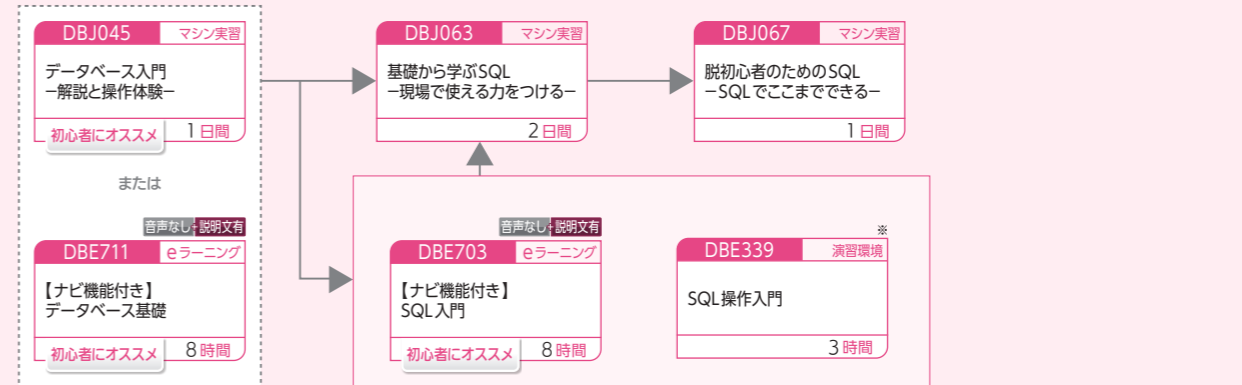
備考 ・このコースは、10:00~18:00の開催とさせていただきます。
・このコースは、EC-Councilの認定コースです。
・このコースは、グローバルセキュリティエキスパート(株)(GSX社)との提携コースのため、GSX社の研修会場にて開催いたします。
・開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。
・受講料の中に受験料(1回分)が含まれています。受験は後日となります。申込み方法等は研修中に説明があります。
・コースの受講登録には、会社名、氏名(漢字およびローマ字)、E-mailアドレスが必要です。これらの登録情報は、GSX社に提供いたします。

※別途ご案内いたします。

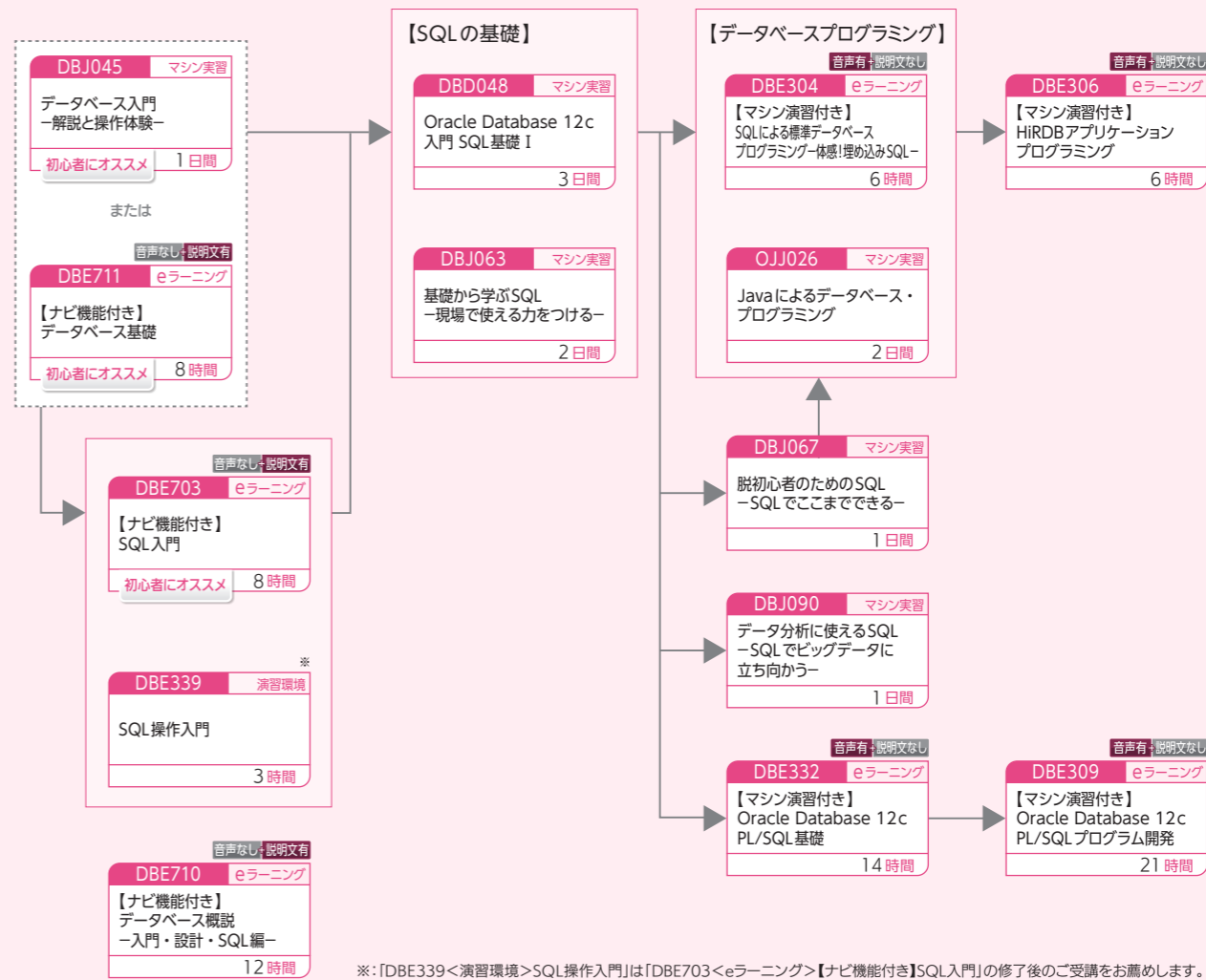
データベース

データベースの概念を理解し、データベースシステムを構築するための技術が修得できます。

データベースを利用する方



データベースを利用したアプリケーションを開発する方



音声有+説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

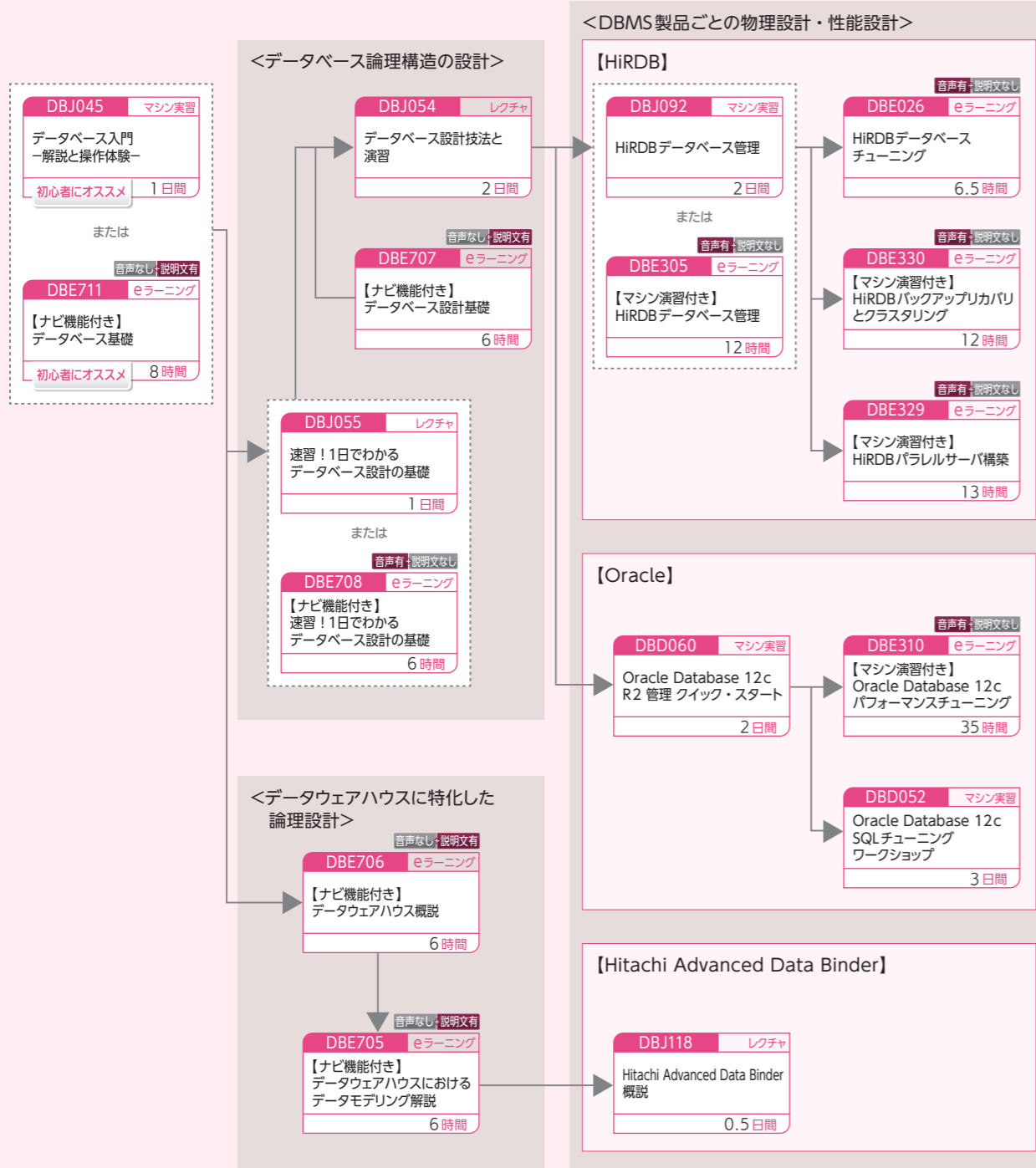
音声なし+説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

データベースを設計する方



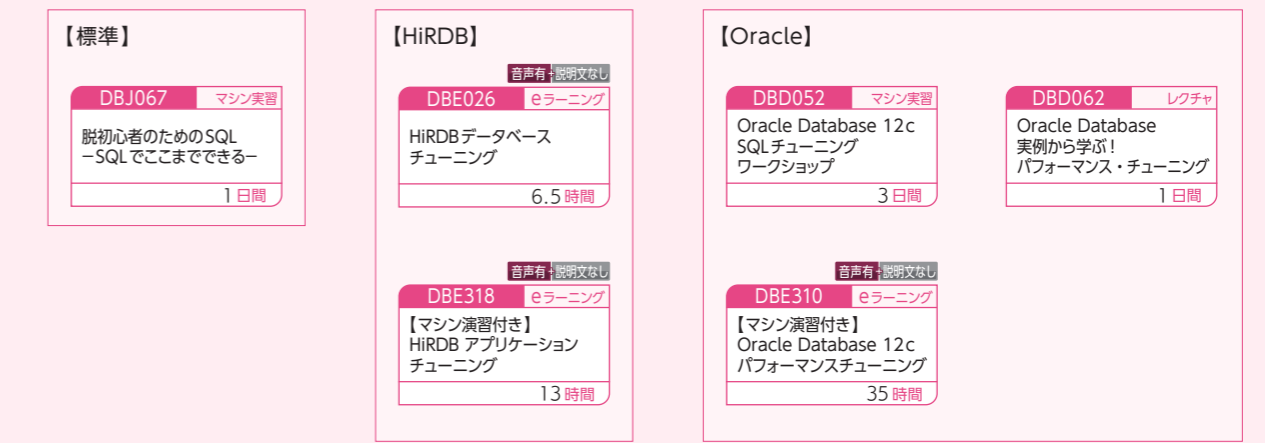
音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

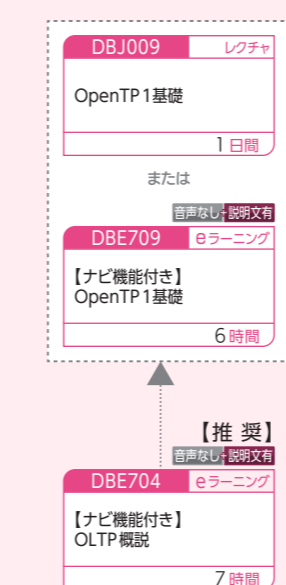
データベースのチューニング方法を修得したい方



データウェアハウスに特化した論理設計を修得したい方



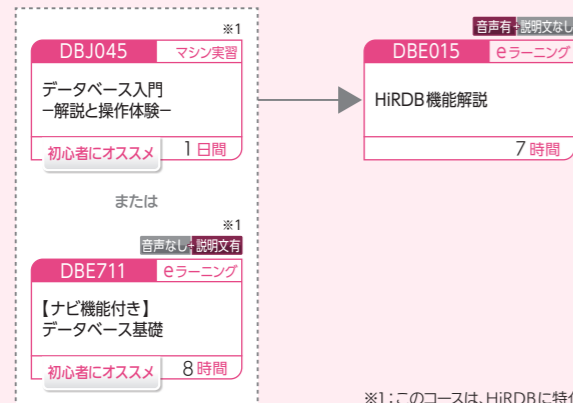
オンライントランザクション処理 (OLTP) やTPモニターの概要を修得したい方



休講 休講 今期の定期開催はありません

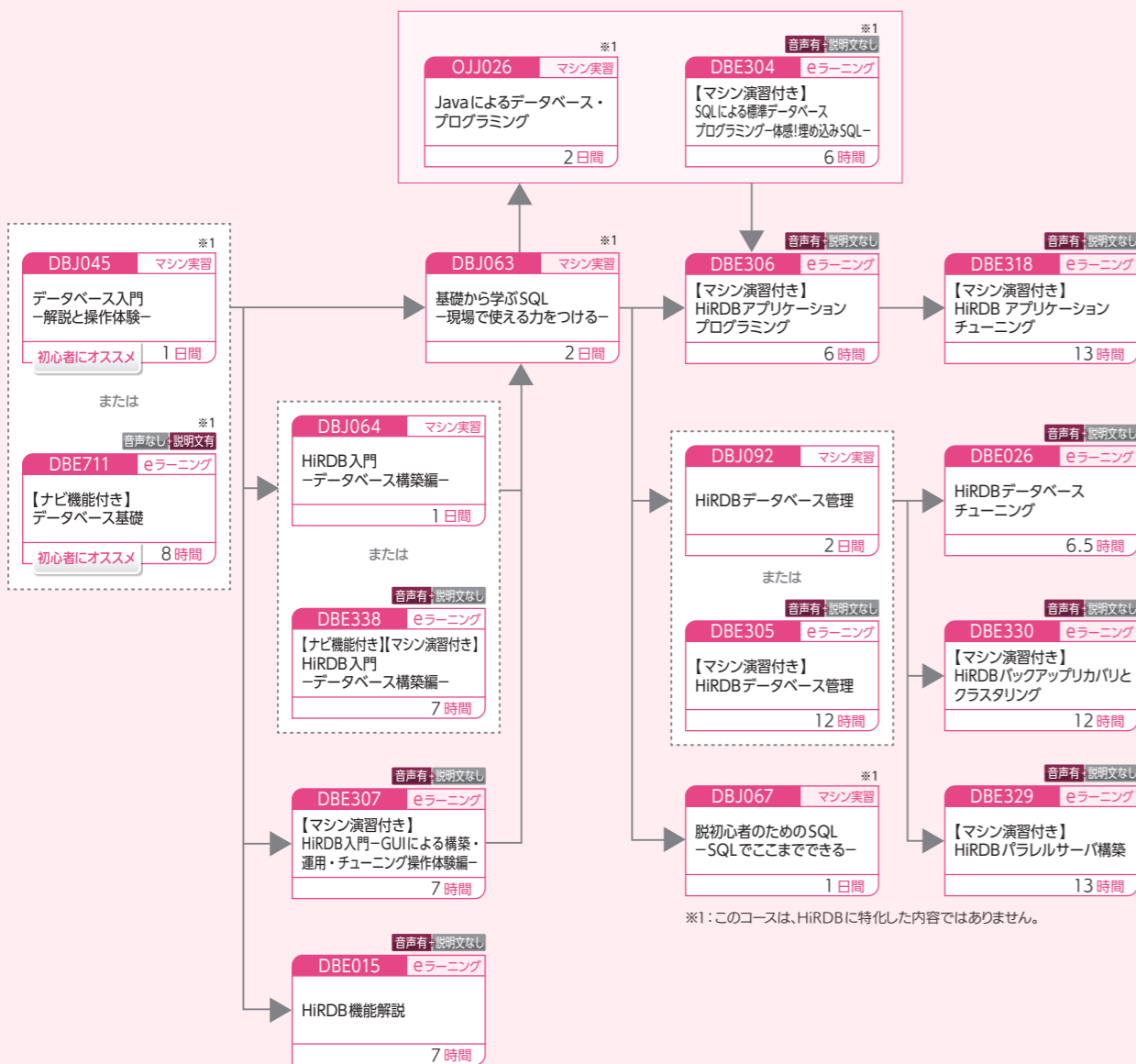
コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

● HiRDBの概要を修得したい方



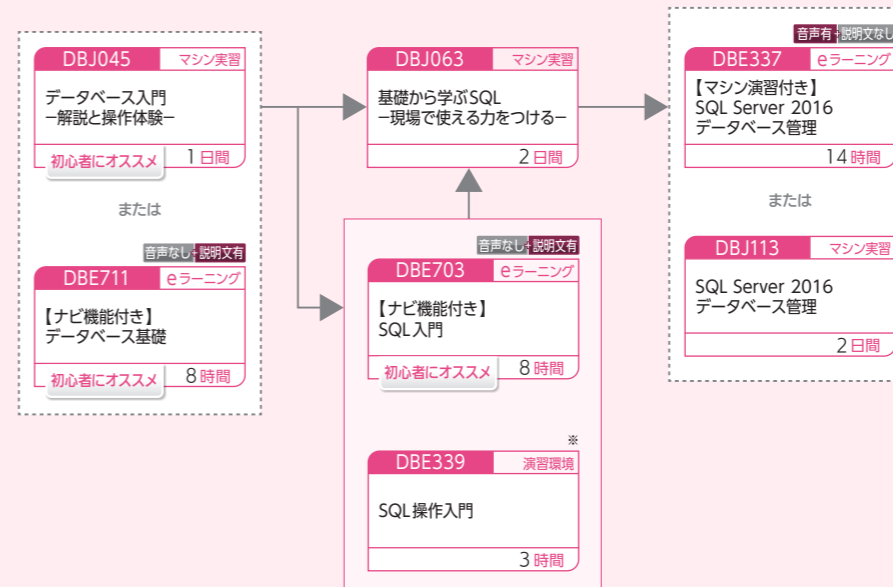
※1: このコースは、HiRDBに特化した内容ではありません。

● HiRDBを使用してデータベースを構築・運用・アプリケーションプログラム開発をする方



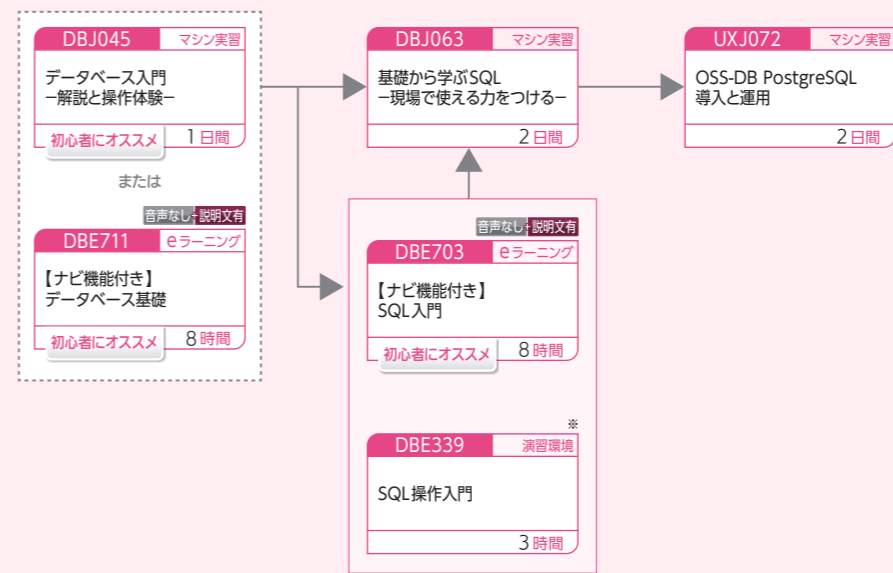
※1: このコースは、HiRDBに特化した内容ではありません。

● SQL Server 2016 を使用してデータベースを管理・運用する方



※: 「DBE339<演習環境>SQL操作入門」は「DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門」の修了後のご受講をお勧めします。

● PostgreSQL を使用してデータベースを管理・運用する方



※: 「DBE339<演習環境>SQL操作入門」は「DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門」の修了後のご受講をお勧めします。

音声有+説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品

JP1

uCosminexus Application Server

HiRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/VOSK

XDM/PDMII

Hitachi Advanced Data Binder

日立ストレージ

Pentaho

デジタルトランスフォーメーション

IT活用

イノベーション

IoT/AI/Lumada

ビッグデータ

データ分析

サイバーセキュリティ

RPA

クラウド/サーバ仮想化

ITサービスマネジメント

システム基盤

IT基本

オープンソースソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

ハードウェア

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画

システム開発

要件定義/設計

モデリング

プログラミング

情報処理技術者試験対策

ITリテラシ

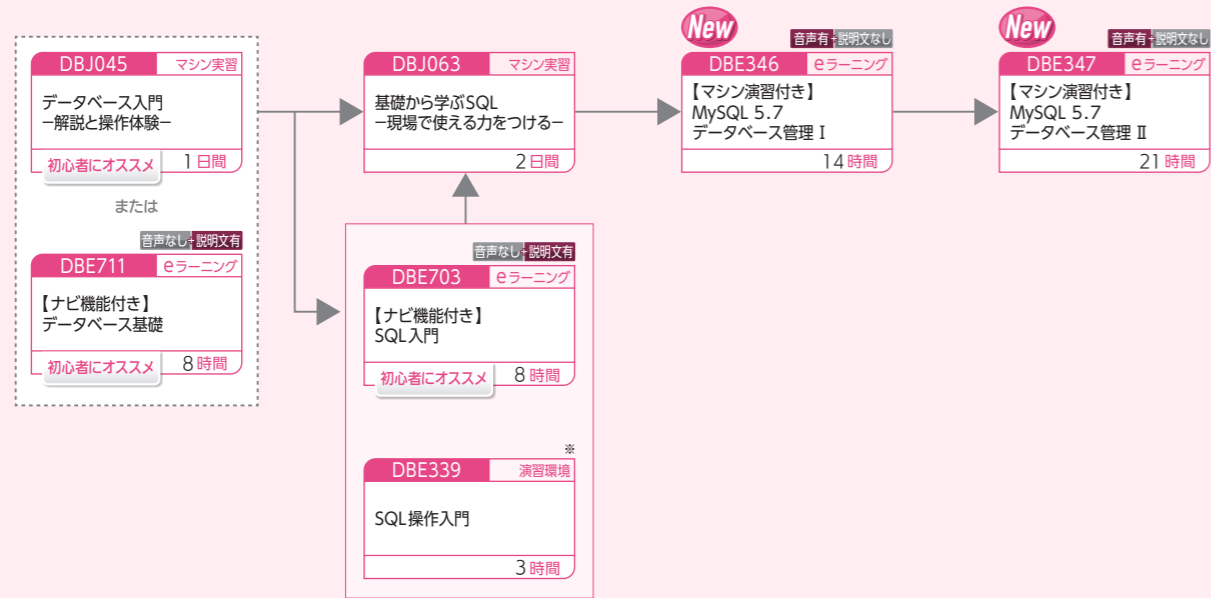
プロジェクトマネジメント

コンプライアンス

ビジネス/ヒューマン

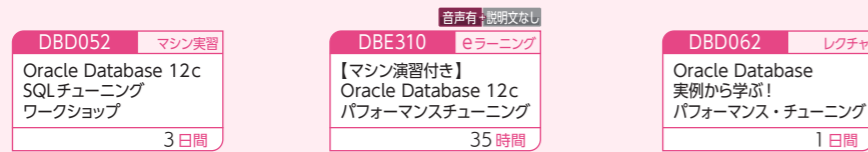
グローバル

MySQL を使用してデータベースを管理・運用する方

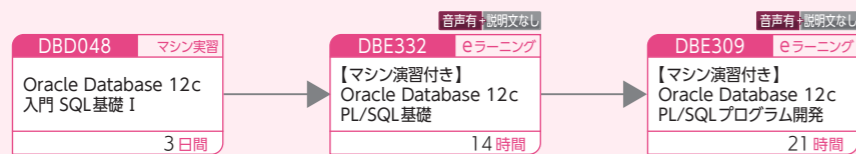


※: [DBE339<演習環境>SQL操作入門]は[DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門]の修了後のご受講をお薦めします。

Oracleのチューニング方法を修得したい方



Oracleを使用してPL/SQLによるアプリケーションを開発する方



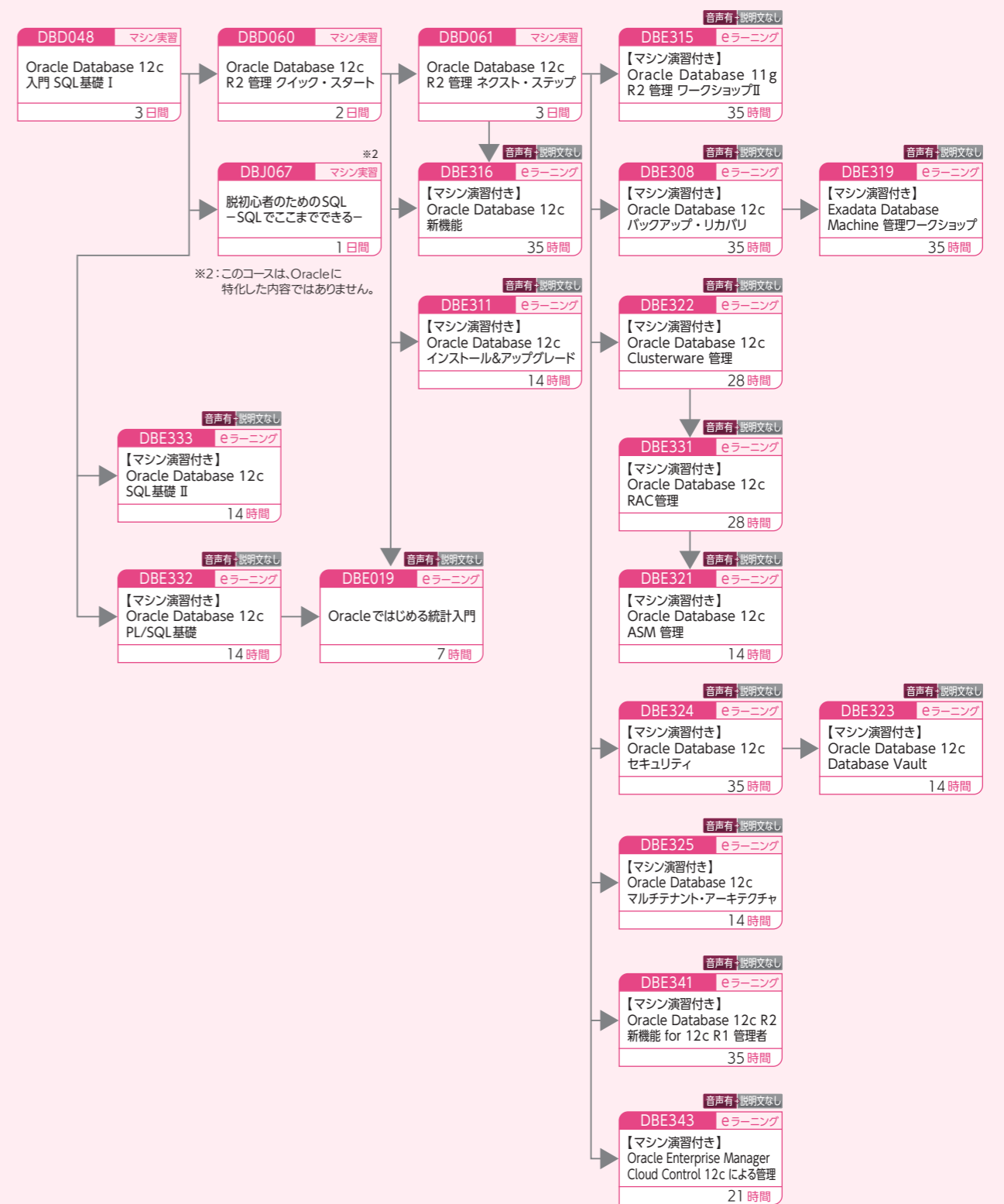
音声有+説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

Oracleを使用してデータベースを設計・運用する方

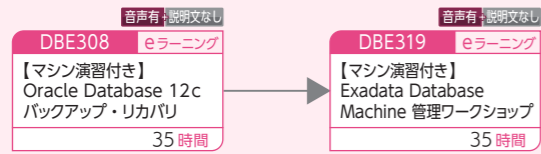


※2: このコースは、Oracleに特化した内容ではありません。

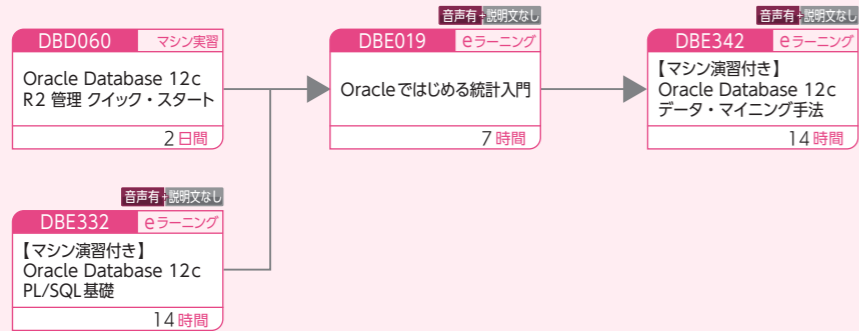
休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

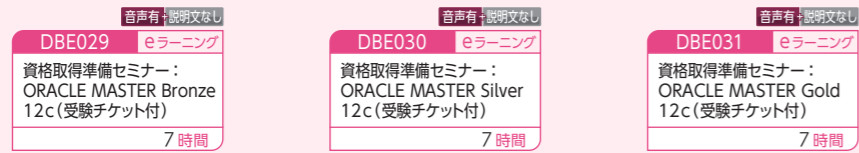
● Oracle Exadataを使用してデータベースを管理・運用する方



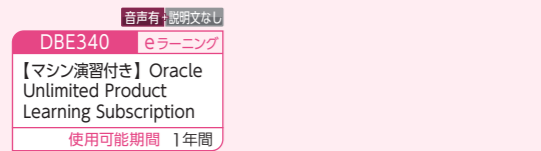
● Oracleを使用してデータ分析をする方



● ORACLE MASTER 資格取得をめざされている方



● Oracle全般の技術を修得したい方



音声有・説明文なし：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 オラクル認定技術者制度

オラクル認定技術者制度とは、日本オラクル社が世界で高い評価を受けているOracle製品に関する技術者を認定する制度です。認定を受けるためには、日本オラクル社の試験に合格する必要があり、合格した試験科目の組み合わせにより認定技術資格を取得できます。

詳しくは、日立アカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/license/oramas/index.html>



DBJ045 共通
データベース入門
—解説と操作体験—
 1日間

データベースの基礎知識やDBMSの基本機能、SQLによるデータ操作方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
 ・データベースとデータモデルを理解し説明できる。
 ・DBMSの基本機能を理解し説明できる。
 ・基本的なSQLを発行しリレーショナルデータベースを操作できる。

対象者
 データベースにアクセスするアプリケーションを開発する方、データベースを管理・運用する方。

前提知識
 特に必要としません。

内容
 1. データベースとデータモデル
 2. DBMSの基本機能
 (1) データ独立性
 (2) データの機密保護
 (3) トランザクション
 (4) 同時実行制御
 (5) 整合性制約
 (6) 障害回復
 (7) インデックス
 3. SQL概要
 (1) リレーショナルデータベースの基本操作
 (2) SQLの種類
 (3) SQL構文

備考
 ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。

DBE711 共通
<eラーニング>【ナビ機能付き】
データベース基礎
 8時間

データベースの基礎やDBMSの基本機能を学習します。

到達目標
 ・データベースとデータモデルを理解し説明できる。
 ・DBMSの基本機能を理解し説明できる。

対象者
 データベースにアクセスするアプリケーションを開発する方、データベースを管理、運用する方。

前提知識
 特に必要としません。

内容
 1. データベースの概念
 2. DBMS基本機能
 3. データモデル
 4. データベース設計
 5. 修了試験

備考
 ・学習終了日は3月31日になります。
 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ063 共通
基礎から学ぶSQL
—現場で使える力をつける—
 2日間

リレーショナルデータベースを操作するためのSQL、トランザクションを制御するためのSQL、オブジェクトを作成するためのSQLの文法と機能を学習します。

到達目標
 ・リレーショナルデータベースの表の検索ができる。
 ・リレーショナルデータベースに行の追加、削除、値の更新ができる。
 ・SQLを用いてトランザクションの制御ができる。
 ・リレーショナルデータベース上にオブジェクトの作成ができる。

対象者
 SQLの知識を必要とする方。

前提知識
 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
 1. リレーショナルデータベースとSQLの概要
 2. SQLによるデータ検索
 (1) 全件検索
 (2) 探索条件
 (3) 結合
 (4) 集合関数
 (5) グループ化
 (6) 並び替え
 (7) 集合演算
 (8) 副問合せ
 3. SQLによるデータ追加/更新/削除
 4. SQLによるトランザクションの制御
 5. SQLによるデータ定義
 (1) 表の定義
 (2) ビューの定義
 (3) インデックスの定義

備考
 ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
 ・このコースでは、ISO標準のSQL文法を解説します。
 ・演習ではPostgreSQLを用いますが、学習内容はいかなる製品でも使用可能です。

DBE703 共通
<eラーニング>【ナビ機能付き】
SQL入門
 8時間

リレーショナルデータベースを操作するためのSQLの基礎を学習します。

到達目標
 ・データ操作をするSQLについて、基本的な機能と文法を理解し説明できる。
 ・データ定義をするSQLについて、基本的な機能と文法を理解し説明できる。
 ・トランザクション制御をするSQLについて、基本的な機能と文法を理解し説明できる。

対象者
 リレーショナルデータベースを管理・運用する方、リレーショナルデータベースのアプリケーションを開発する方。

前提知識
 リレーショナルデータベースの基礎知識があること。

内容
 1. リレーショナルデータベースとSQL
 2. データ操作文 (DML)
 (1) 検索処理
 (2) 追加処理
 (3) 更新処理
 (4) 削除処理
 3. データ定義文 (DDL)
 (1) 表の定義
 (2) 参照制約
 (3) ビュー表
 4. データ制御文 (DCL)
 (1) データの確定
 (2) データの取り消し
 5. 修了試験

備考
 ・学習終了日は3月31日になります。
 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE339 共通
<演習環境>SQL操作入門
 3時間

基本的なSQL文の構築や実行方法を、マシン操作を通して学習します。このコースは、クラウド上に演習環境をセットアップしたマシンと、演習題材を利用できるマシン演習環境サービスです。

到達目標
 SQLによる基本的なデータ操作ができる。

対象者
 基本的なSQL文の構築や実行方法を、マシン操作を通して学習したい方。

前提知識
 「【ナビ機能付き】SQL入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
 1. SQL実行環境
 2. SQL実行演習

備考
 ・サービス有効期限は21日間です。
 ・このコースは、演習問題と、それに必要なデータ、マシン環境が利用できるマシン演習環境サービスです。
 ・このコースの学習要領・学習利用環境をご確認のうえ、お申し込みください。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/mc/index.html>
 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

DBJ055 共通
速習!1日でわかる
データベース設計の基礎
 1日間

具体的な業務を想定しながら、リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に必要な基礎知識を、机上演習を通して学習します。

到達目標
 リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に関する基礎的な手法を理解し説明できる。

対象者
 リレーショナルデータベースの設計に関する知識を必要とする方。

前提知識
 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
 1. データベース設計の概要
 2. ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計
 (1) ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計の流れ
 (2) 正規化
 (3) ER図の作成
 (4) 確認作業—トップダウンアプローチの観点からの確認—
 3. データベース物理設計
 (1) テーブル関連図とテーブル定義書の作成
 (2) 領域配置図の作成
 4. データベース性能設計
 (1) インデックス設計

備考
 このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。

休講 休講 今期の定期開催はありません

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

DBE310	Oracle
<div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c パフォーマンス・チューニング</div>	
35時間	
 <div>SQLチューニング・アドバイザ、SQLアクセス・アドバイザ、自動ワークロード・リポジトリや自動データベース診断モニタなどのOracle Database自動チューニング機能の使い方を学習します。</div>	
到達目標	<div><ul style="list-style-type: none">DB統計およびストリックを使用したパフォーマンス問題が認識できる。チューニング診断を活用できる。チューニング・ツールの目的と使用方法を理解できる。問題のあるSQL文を認識できる。</div>
対象者	Oracleデータベースのパフォーマンス・チューニング知識を必要とする方。
前提知識	「Oracle Database 12c 管理 ネット・ステップ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<div><ol style="list-style-type: none">パフォーマンス・チューニング概要基本ツールを使用した監視自動ワークロード・リポジトリ(AWR)の使用問題の認識問題のあるSQL文の認識オプティマイザの適用SQL計画管理変更の管理メトリックおよびアラートの使用AWR関連ツールの使用サービスを使用したアプリケーションの監視ベースライン共有パールのチューニングパツファ・キャッシュのチューニングPGAおよび一時領域自動メモリー管理ブロック領域使用量のチューニングI/Oのチューニングまとめ</div>
備考	右ページ右下※1をご参照ください。

DBE315	Oracle
<div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 11g R2 管理 ワークショップⅡ</div>	
35時間	
 <div>バックアップ・リカバリのアーキテクチャおよびテクニックや、メモリーを効果的に管理する方法、パフォーマンスの評価およびチューニング・タスクを行う方法について学習します。</div>	
到達目標	<div><ul style="list-style-type: none">Recovery Managerを使用したDBのBackUpおよびリカバリができる。最適なリカバリのためのOracle Databaseの構成ができる。データベースに適した柔軟なメモリー構成が使用できる。リソースを適切に割り当てるためのDB・インスタンスの構成ができる。</div>
対象者	Oracleデータベースを運用する方、ORACLE MASTER Gold Oracle Database 11gの資格取得をめざす方。
前提知識	「Oracle Database 11g 管理 クイック・スタート」および「Oracle Database 11g 管理 ネット・ステップ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<div><ol style="list-style-type: none">Oracle Databaseの主要な概念およびツールリカバリ可能性のための構成Recovery Managerのリカバリ・カタログの使用</div>
備考	<div><ul style="list-style-type: none">このコースは、旧「Oracle Database 11g R2 管理 ワークショップⅡ」コース（集合研修）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。右ページ右下※1をご参照ください。</div>

DBE319	Oracle
<div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div><eラーニング>【マシン演習付き】Exadata Database Machine 管理ワークショップ</div>	
35時間	
 <div>Exadata Database Machine (X3/X4/X5対応) のさまざまな機能と構成、およびExadata Storage Serverによって実現される独自の機能に重点を置いて学習します。</div>	
到達目標	ExaDataのベスト・プラクティスを理解し、実装することによってExadata Database Machineの効率性と効果を最大化する事ができる。
対象者	Exadata Database Machine(X3/X4/X5対応) を管理する方。
前提知識	Clusterware, ASM および RAC を含む、Oracle Database 12cに関する十分な知識があること、および Unix/Linuxの実用的な知識があること。
内容	<div><ol style="list-style-type: none">Exadata Storage Serverの構成I/Oリソース管理データベース・パフォーマンスを最適化するための推奨事項スマート・スキャンの使用統合の推奨ストレージ構成Exadata Database Machine へのデータベースの移行Oracle DBFS を使用したバルク・データ・ロードExadata Database Machine のプラットフォーム監視：はじめにExadata Database Machineを監視するための Enterprise Manager Cloud Control 12cの構成Exadata Storage Servers の監視データベース・サーバーの監視InfiniBandネットワークの監視その他のExadata Database Machineコンポーネントの監視その他の役立つ監視ツールバックアップとリカバリExadata Database Machineのメンテナンス・タスクExadata Database Machineのパッチ適用</div>
備考	右ページ右下※1をご参照ください。

DBE322	Oracle
<div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c Clusterware 管理</div>	
28時間	
 <div>一般的なクラスタの概念と Oracle Clusterware のアーキテクチャについて学習します。</div>	
到達目標	<div><ul style="list-style-type: none">Grid Infrastructure をインストールし、標準的なクラスタおよび Oracle Flex Cluster を構成できる。クラスタ内のノード管理について理解し、ポリシー・ベースのクラスタ管理を行うことができる。</div>
対象者	Oracle Database 12cを管理する方。
前提知識	Clusterware, ASM および RAC を含む、Oracle Database 12cに関する十分な知識があること。
内容	<div><ol style="list-style-type: none">Oracle Clusterware のアーキテクチャGrid Infrastructure のインストールクラスタ・ノードの管理従来の Clusterware の管理ポリシーベースのクラスタ管理Oracle Clusterware のトラブルシューティングアプリケーションの高可用性</div>
備考	右ページ右下※1をご参照ください。

DBE311	Oracle
<div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c インストール&アップグレード</div>	
14時間	
 <div>Oracle Database 12c ソフトウェアのインストールの詳細や、既存の Oracle Database から Oracle Database 12c へのアップグレード方法を学習します。</div>	
到達目標	<div><ul style="list-style-type: none">スタンドアロン・サーバー用の Oracle Grid Infrastructure のインストールができる。Oracle Restart を使用したコンポーネントの管理ができる。Oracle Database 12c へのアップグレードができる。</div>
対象者	Oracle Databaseの管理やサポートを担当する方。
前提知識	「Oracle Database 12c 管理 クイック・スタート」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<div><ol style="list-style-type: none">Oracle Database 12c 概要スタンドアロン・サーバー用のOracle Grid InfrastructureのインストールOracle DatabaseソフトウェアのインストールDBCA を使用した Oracle Database の作成Oracle Restart の使用Oracle Database 12c へのアップグレードの概要Oracle Database 12c へのアップグレードの準備Oracle Database 12c へのアップグレードアップグレード後の作業の実行Oracle Data Pump を使用したデータの移行</div>
備考	右ページ右下※1をご参照ください。

DBE323	Oracle
<div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c Database Vault</div>	
14時間	
 <div>Oracle Database Vaultを有効化し、レルム、ルール・セット、コマンド・ルール、セキュア・アプリケーション・ロールを用いてデータベース・インスタンスのセキュリティを管理する方法を学習します。</div>	
到達目標	Oracle Database Vaultを使ったデータベースのセキュリティ管理ができる。
対象者	Oracle Database 12cを運用する方、Oracle Database 12cを管理する方。
前提知識	SQLおよびPL/SQLに対する基本的な知識があること。
内容	<div><ol style="list-style-type: none">Database Vaultの概要Database Vaultの構成権限の分析Configuring Realmsレルムの構成ルール・セットの定義コマンド・ルールの構成ルール・セットの拡張セキュア・アプリケーション・ロールの構成Database Vaultレポートによる監査ベスト・プラクティスの実装</div>
備考	本ページ右下※1をご参照ください。

DBE331	Oracle
<div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c RAC管理</div>	
28時間	
 <div>Oracle Database 12c RAC アーキテクチャの理解、RAC データベースを構成方法、マルチテナント環境での RAC データベースの管理に加えて、バックアップ・リカバリや RAC 環境での高可用性について学習します。</div>	
到達目標	<div><ul style="list-style-type: none">RAC データベース環境を構成できる。RAC データベースの管理を行うことができる。RAC データベースのバックアップ・リカバリを行うことができる。RAC データベースの高可用性機能について説明できる。</div>
対象者	Oracle Database 12c RACデータベースを管理する方。
前提知識	Clusterware, ASM および RAC を含む、Oracle Database 12cに関する十分な知識があること。
内容	<div><ol style="list-style-type: none">Oracle RAC アーキテクチャOracle RAC の構成と管理バックアップ・リカバリRAC の監視とチューニングRAC 環境での高可用性RAC One Note</div>
備考	本ページ右下※1をご参照ください。

休 講	休 講
	今期の定期開催はありません

DBE321	Oracle
<div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c ASM 管理</div>	
14時間	
 <div>Oracle ASMのアーキテクチャやACSFの管理方法について、Oracle Database 12cでの機能強化点を含めて学習します。</div>	
到達目標	<div><ul style="list-style-type: none">Oracle ASM や ACSF の 管理を行うことができる。Flex ASM を構成することができる。ACSF監査やACSF暗号化、高可用性NFSなど Oracle Cloud File System の高度なデータ・サービスについて説明できる。</div>
対象者	Oracle Database 12cを管理する方。
前提知識	Clusterware, ASM および RAC を含む、Oracle Database 12cに関する十分な知識があること。
内容	<div><ol style="list-style-type: none">Oracle ASM インスタンスの管理Flex ASMASM ディスク・グループの管理ASM ファイル、ディレクトリおよびテンプレートの管理Oracle Cloud File System の管理</div>
備考	本ページ右下※1をご参照ください。

DBE324	Oracle
<div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c セキュリティ</div>	
35時間	
 <div>Oracleの認証、権限とロールの管理に加えて、Oracle Label Security, データベース暗号化、およびOracle Data Reductionなどを使用した機密データを保護する方法を学習します。</div>	
到達目標	OracleのOracle Label Security, データベース暗号化、およびOracle Data Reductionなどを使用した、機密データ保護の方法を理解できる。
対象者	Oracle Database 12cを運用する方、Oracle Database 12cを管理する方。
前提知識	Oracle Database 12cに関する十分な知識があること。
内容	<div><ol style="list-style-type: none">セキュリティ要件についてセキュリティ・ソリューションの選択基本的なデータベース・セキュリティの実装ネットワーク上のデータの保護ユーザーの基本認証および厳密認証の資料グローバル・ユーザー認証の構成プロキシ認証の使用権限とロールの使用権限分析の使用アプリケーション・コンテキストの使用仮想プライベート・データベースの実装Oracle Label Securityの実装データのリダクションOracle データ・マスキングの使用透過的機密データ保護の使用暗号化の概念とソリューションDBMS_CRYPTO パッケージによる暗号化透過的データ暗号化の使用データベース・ストレージのセキュリティ統合監査の使用ファイアグレイズ監査の使用</div>
備考	本ページ右下※1をご参照ください。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advance Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

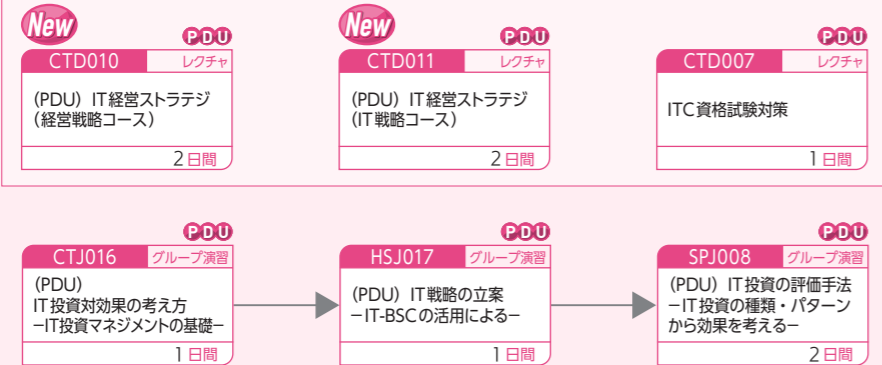
コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

IT戦略・IS企画

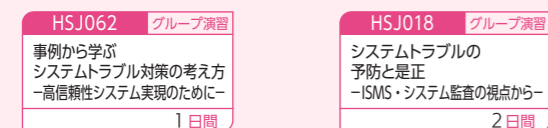
IT戦略・企画立案やプロセス評価、BA(Business Analysis)に関する知識や手法が修得できます。

● 経営戦略/IT戦略の立案・強化をお考えの方

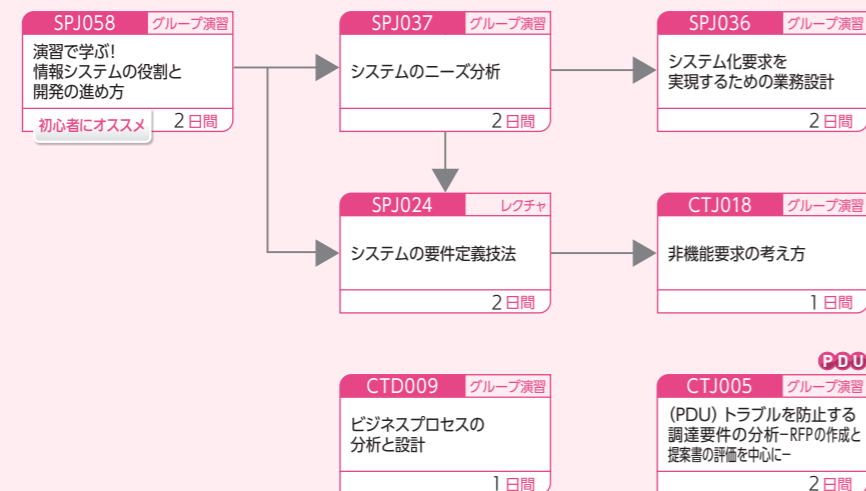
<ITコーディネータ関連コース>



● 内部統制の向上・強化をお考えの方



● システム企画/要件定義に携わる方



音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

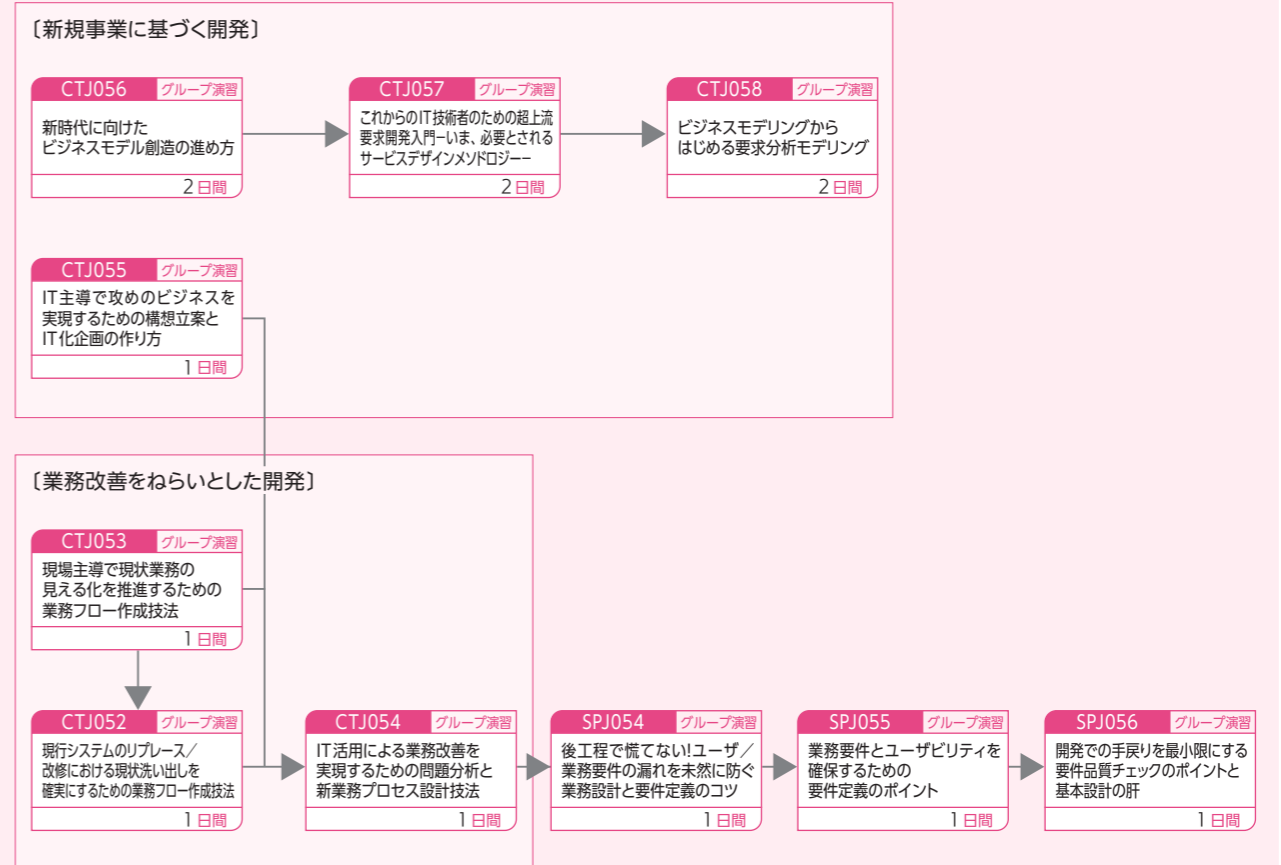
音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

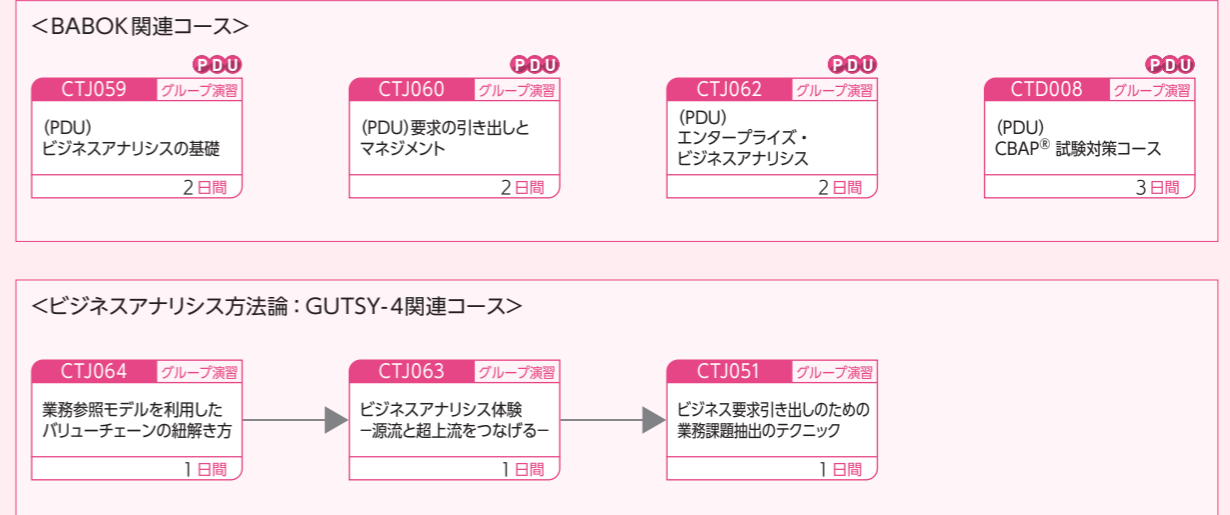
初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

● システム企画/要件定義に携わる方(特に、現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたってお悩みの方向け)



● ビジネスアナリシスに取り組まれる方、関心をお持ちの方



● 情報システム部門でベンダー・マネジメントに携わる方

休 講	CTJ046	グループ演習	CTJ026	グループ演習
	情報システム導入を成功させる要件定義とベンダー折衝の実践ポイント	1 日間	情報システムのユーザテスト移行・切替・本番稼働の準備実務	1 日間
	CTJ005	グループ演習	CTJ022	グループ演習
	(PDU) トラブルを防止する調達要件の分析-RFPの作成と提案書の評価を中心に-	2 日間	情報システム部門のための開発工程におけるベンダー・マネジメント	2 日間

● システムエンジニア (SE) でサブベンダーのマネジメントに携わる方

PDU	CTJ037	グループ演習
	(PDU) SEのためのベンダーマネジメント	2 日間

● 保守開発に携わる方

SPJ033	グループ演習
	保守開発におけるトラブル対策の考え方
	1 日間

音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

HSJ017	IT戦略・IS企画
グループ演習	(PDU) IT戦略の立案 -IT-BSCの活用による-
1 日間	PDU

「ビジネスに役立つIT投資」を実践するために必要となるIT戦略立案プロセスに関する知識や限られた経営資源で最高のITパフォーマンスを引き出す戦略面でのポイントを、講師による解説、ケーススタディ演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6.5ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・IT戦略の基礎知識を理解できる。
・経営者が納得するIT企画書を作成できる。

対象者 IT戦略立案を担当する方、システム企画を担当する方、システムアナリスト・システムエンジニア・セールスエンジニアの方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内 容

1. 今なぜIT戦略なのか
 - (1) クラウゼヴィッツの戦略論
 - (2) 経営トップはIT戦略に関与しているか
 - (3) IT部門は経営戦略を意識しているか、ほか
2. IT戦略の基礎知識
 - (1) 全体最適化
 - (2) 組織体制
 - (3) 情報化投資ほか
3. ITバランススコアカード(IT-BSC)による戦略マネジメント
 - (1) ビジョンと戦略
 - (2) IT-BSCの標準フレームワーク
 - (3) IT投資マネジメントへの応用ほか
4. 経営者が納得するIT企画書
 - (1) どれだけの費用が発生するのか
 - (2) どれだけの効果が期待できるのか
 - (3) IT投資企画書のフレームワークほか
5. まとめ

備 考 ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

CTJ005	IT戦略・IS企画
グループ演習	(PDU) トラブルを防止する調達要件の分析 -RFPの作成と提案書の評価を中心に-
2 日間	PDU

情報システムの開発/導入は重要な投資案件であるにも関わらず、処理能力不足や予算超過など、多くの失敗事例が報告されています。これらの中には調達要件の分析不備が原因と推定されるケースも少なくありません。システム要件を的確に伝えるRFPの作成、ベンダからの提案書の合理的な評価方法、および信頼性を向上させるIT契約書の締結などに関する知識を、演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：12ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・RFPの作成と提案書の合理的な評価ができる。
・信頼性の高いIT契約を締結できる。

対象者 情報システム部門でシステム企画/調達等を担当する方、システムアナリスト・プロジェクトマネージャ・システムエンジニア・セールスエンジニアの方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内 容

1. IT調達が抱える課題と調達要件分析の重要性
2. プロジェクト調達マネジメント/IT調達ガイドライン
3. 要件を的確に伝えるRFP（提案依頼書）
 - (1) 演習：新システム導入に関するRFP検討
4. 合理的な提案書評価
 - (1) 演習：ベンダからの提案書評価
5. 信頼性を向上させるIT契約書

備 考 ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

SPJ008	IT戦略・IS企画
グループ演習	(PDU) IT投資の評価手法 -IT投資の種類・パターンから 効果を考える-
2 日間	PDU

IT投資に対するユーザー企業の評価は依然として厳しい状況が続いています。このような状況を解決しIT投資を生かすためには、経営陣の積極的な関与はもちろん、IT投資の目標を明確にし、目標に対する費用対効果について適切な評価ができるモデルを構築する必要があります。BSC、IT-BSC、SLMを、演習を通して体験するとともに、IT投資効果を戦略的投資、基盤への投資、保守への投資の観点から把握し、IT投資の評価モデル構築へのアプローチを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：13ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・IT投資の評価モデル構築へのアプローチを理解できる。
・IT投資の種類・パターンから見た効果を把握できる。

対象者 いかに効果的なIT投資を行うか心砕いておられるIT部門/ユーザー部門およびベンダの方、中小企業診断士・システムアナリスト・プロジェクトマネージャの方、またはこれらをめざす方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内 容

1. IT投資の実態と評価の状況
2. 情報化におけるコストの内訳、構造
3. IT投資の種類・パターンからみた効果把握のアプローチ
4. BSC(バランススコアカード)、IT-BSC(ITバランススコアカード)へのアプローチ、演習
5. SLM(サービレベルマネジメント)へのアプローチ、演習
6. IT投資評価モデル構築へのアプローチ

備 考 ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

SPJ033	IT戦略・IS企画
グループ演習	保守開発におけるトラブル対策の考え方
1 日間	

既存システムの修正や改良といった「保守開発」におけるトラブル対策の実践的知識を学習します。保守開発を進めるうえで留意すべきトラブル対策のポイントを、講師による解説とグループ演習を通して理解することができま。

到達目標 ・保守開発の現状と課題が説明できる。
・保守開発プロセスにおいて強化すべき改善ポイントが提言できる。
・保守開発で発生したシステムトラブルの原因分析と対策立案を実践できる。

対象者 プロジェクトマネージャ、保守開発担当者、品質管理担当者、内部監査担当者の方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内 容

1. 今なぜ保守開発のトラブル対策なのか
 - (1) 保守開発の現状
 - (2) 保守開発プロセスが抱える課題
2. 保守開発マネジメント概論
 - (1) 保守開発に関連するガイドライン
 - (2) トラブル防止に向けた取り組み
3. 保守開発プロセスの改善提言
 - (1) 保守開発段階での品質管理とは
 - (2) 保守開発計画と工数見積りのレベルアップ
 - (3) 開発環境とテスト環境の強化ポイント
4. 保守開発トラブルのマネジメント
 - (1) トラブル関連情報の収集と傾向分析
 - (2) ヒューマンファクタ分析の応用
 演習：保守開発におけるトラブルの事例研究
5. まとめ

備 考 ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

CTJ016	IT戦略・IS企画
グループ演習	(PDU) IT投資対効果の考え方 -IT投資マネジメントの基礎-
1 日間	PDU

IT投資の提案者や評価者が身につけておきたいIT投資マネジメントに関する実践的スキルを、講師による解説、グループ演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・我が国のIT投資マネジメントの現状を再確認できる。
・IT投資マネジメントが抱える課題とそれを解決する各種方法論を理解できる。
・IT投資マネジメントシステムの構築手順を理解できる。

対象者 ITプロジェクトの提案及び評価を担当する方、および候補の方。または興味をお持ちの方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内 容

1. 今なぜIT投資マネジメントなのか
 - (1) 我が国のIT投資を取り巻く環境
 - (2) IT投資マネジメントが抱える課題
2. IT投資マネジメント概論
 - (1) IT投資マネジメントに関するガイドライン
 - (2) ITIM成熟度モデル
3. IT投資マネジメントシステムを構築する
 - (1) IT投資マネジメントプロセス
 - (2) ITバランススコアカード
 - (3) ITプロジェクトの費用対効果分析
 - (4) IT投資ポートフォリオモデル
4. まとめ

備 考 ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

CTD010	IT戦略・IS企画
レクチャ	(PDU) IT経営ストラテジ (経営戦略コース) PDU
2 日間	New

IT経営推進のマネジメントプロセスとして、経営課題を引き出し、経営改革を実現するために「経営戦略プロセス」を中心に学習します。このコースでは企業ケース事例を用いながら、IT経営表現領域の経営戦略策定から、経営戦略実行、経営戦略評価段階にいたるまでの一連のIT経営を推進する手順を学習します。このコースは、IT経営推進プロセスガイドライン Ver.3.1に準拠し、ITコーディネータ協会のIT経営体感ケース研修の認定コースとされているため、ITコーディネータ資格取得をめざす人にとっての推奨研修になっています。

※IT戦略、IT利活用プロセスについては、別コースの【IT経営ストラテジ(IT戦略コース)】で学習が可能です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：16ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・IT経営の戦略策定と評価のポイントについて理解できる。
・経営者視点に基づいた経営戦略の策定に関するポイントを理解できる。

対象者 ・IT提案に経営者視点を加味したい方。
・IT戦略の前工程を学びたい方。
・経営企画業務に携わる方。
・経営改革または業務改革を提案する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容

1. IT経営推進プロセス ガイドラインの理解
2. 変革認識プロセスの理解
3. 持続的成長認識プロセスの理解とまとめ

備 考 ・このコースは、9:30～18:30の開催とさせていただきます。
・このコースは、富士ゼロックス総合教育研究所との提携コースのため、富士ゼロックス総合教育研究所で開催します。
・コース実施に必要なご受講者の個人情報富士ゼロックス総合教育研究所へ提供いたします。
・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

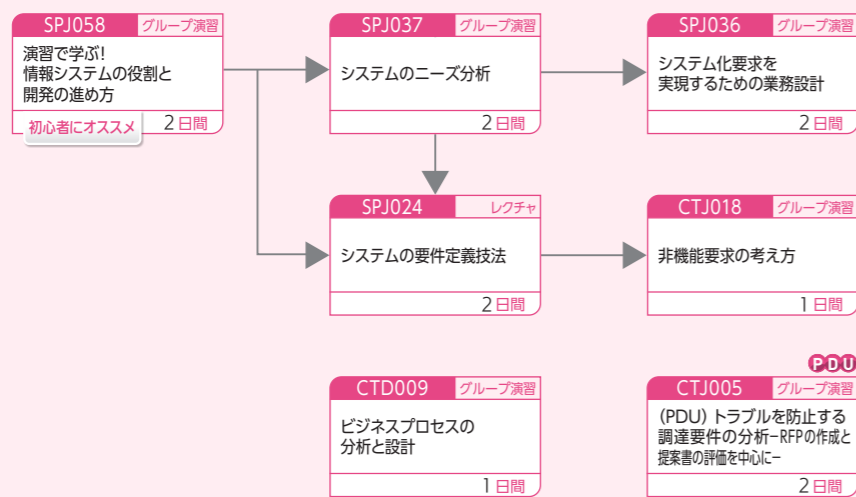
要件定義/設計

情報システムの開発に必要な基礎知識や、開発手順、分析、設計技法が修得できます。

● 初めて情報システムの開発に携わる方



● システムの分析・要件定義を担当する方



音声有+説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

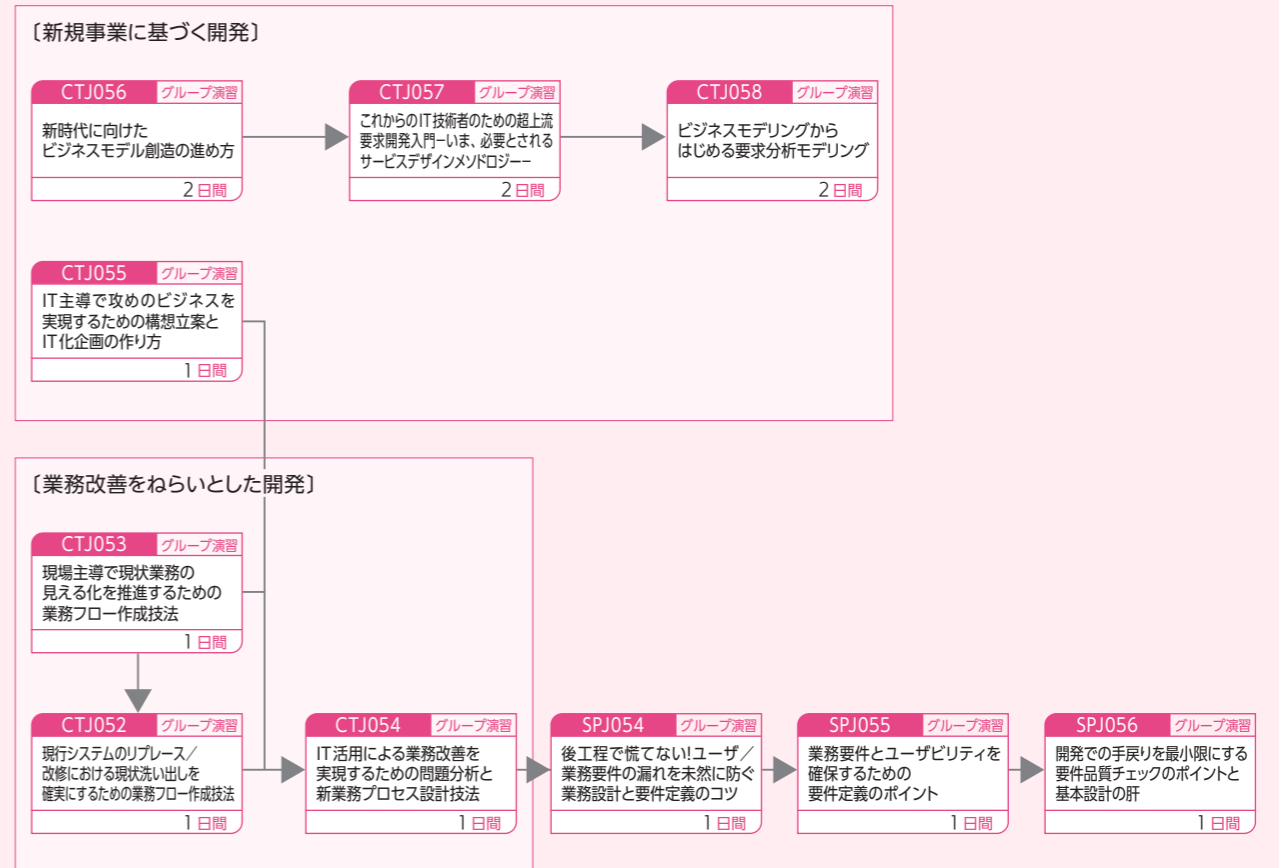
音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

● システム企画/要件定義に携わる方(特に、現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたってお悩みの方向け)

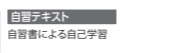
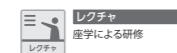
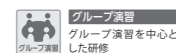


● システム開発の設計を担当する方



休講 休講
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>



休講 休講
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

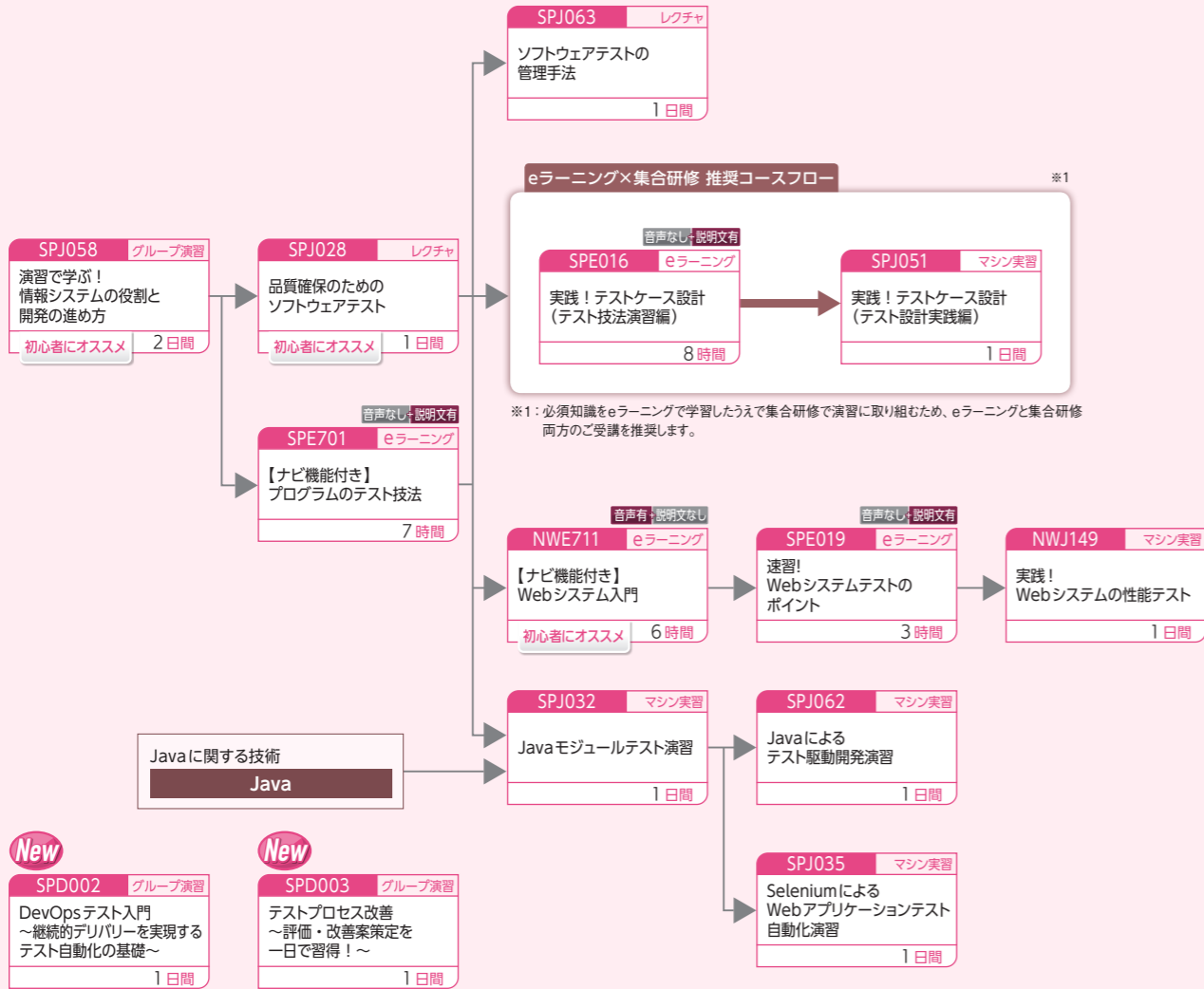
システムの最新動向や事例を把握したい方

SPJ040 レクチャ クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向 0.5日間	SPJ039 レクチャ 事例から学ぶSaaS活用提案のポイント 0.5日間	IOJ011 レクチャ スマートスピーカーの最新動向と社会インフラ適用の可能性 0.5日間
--	--	--

DevOpsによるアプリケーション開発の流れを理解したい方

SPJ060 マシン実習 体験! 最新OSSを活用したDevOps入門-Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ- 1日間	SPJ059 マシン実習 (PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発-お客様に素早く価値を届けるために- 1日間	UXJ070 マシン実習 gitによるソフトウェア構成管理 1日間
---	---	--

システムまたはプログラムのテストを担当する方



音声有/説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有/説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし/説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

SPJ058 要件定義/設計
グループ演習
演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方
2日間

情報システムを開発・発注するうえで必要な基礎知識として、工程別に作業内容や作業目的を学習します。加えて開発プロジェクトの計画・統制・終結の側面から、代表的な仕事(見積り、契約など)についても学習します。

到達目標
・情報システムの役割を説明できる。
・開発プロセスおよび作業工程における作業概要を説明できる。
・開発方法論、代表的な成果物の表記法を説明できる。

対象者
これからシステムを企画、開発する方。

前提知識
「コンピュータ基礎」コースを修了しているか、またはコンピュータの基礎知識があること。

内容
1. 情報システムとは
(1)市場、定義、役割
2. 情報システムの開発
(1)作業と作業順序
(2)開発プロセス
(3)開発方式
3. 情報システムの維持・メンテナンス
(1)情報システムの寿命と保管場所
(2)必要な作業
4. 情報システムに関わる人
(1)プロジェクト・ステークホルダ
(2)職種
5. 情報システムのコスト
(1)見積り
(2)契約
6. 情報システムを支える技術
(1)サーバ、冗長化、クラウド、ビッグデータ
7. 演習
(1)業務分析、データ分析、機能分析

備考
・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

SJE707 要件定義/設計
eラーニング
<eラーニング>【ナビ機能付き】システム開発の基礎
4時間

システム設計の手法について基礎的な知識を学習します。

到達目標
システム設計に必要な作業について、手順や内容を説明できる。

対象者
・システム設計をこれからはじめる方。
・システム設計の基礎知識を身につけたい方。

前提知識
特に必要としません。

内容
1. システム開発と設計の役割
2. システムの品質と設計手法
3. 基本から詳細設計概略
(1)段階的詳細化のレベル
(2)業務機能設計
(3)実現方式設計(アーキテクチャ)
(4)外部インタフェース設計(遷移、レイアウト)
(5)パッチ処理設計
(6)データ基本設計(論理DB設計)
(7)プログラム詳細設計
(8)共通部品設計
(9)データ詳細設計
4. その他の開発手法
5. 修了試験

備考
・学習終了日は3月31日になります。
・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SPJ037 要件定義/設計
グループ演習
システムのニーズ分析
2日間

顧客の業務に一步踏み込み、的確なシステム化要件を導き出すまでの一連の基本動作を、ニーズ分析の進め方の解説と演習を通して学習します。

到達目標
・ニーズ分析の基礎を説明できる。
・顧客の業務に一步踏み込み的確なシステム化要件を導き出すまでの一連の基本動作を理解できる。

対象者
システム開発プロジェクトにおいて、システムのニーズ分析を行う方。

前提知識
情報システムに関する基礎知識があること。

内容
1. ニーズ分析の位置づけと意義
(1)「上流工程」で行うべきこと
(2)ニーズ分析の全体プロセス
(3)ニーズ分析の意義
2. ニーズ分析のプロセス
(1)準備フェーズ
(2)分析フェーズ

備考
・このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

SPJ036 要件定義/設計
グループ演習
システム化要求を実現するための業務設計
2日間

ニーズ分析に基づく業務アプリケーションの基本設計トレーニングです。システム設計の前提となる要求仕様定義を、業務の仕組みを念頭に確実に実行するための手法を修得します。

到達目標
・業務設計の進め方を説明できる。
・要求仕様定義を、業務の仕組みを念頭に確実に実行することができる。

対象者
業務モデリングに関心のある方。

前提知識
特に必要としません。

内容
1. 業務設計の位置づけと意義
(1)「上流工程」で行うべきこと
(2)業務設計の全体プロセス
(3)業務設計の意義
2. 業務設計のプロセス
(1)業務プロセスデザインフェーズ
(2)アプリケーションデザインフェーズ

備考
・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。
・このコースは、「ビジネスアプリケーション設計」コースの内容改訂および名称を変更したものです。

SPJ024 要件定義/設計
レクチャ
システムの要件定義技法
2日間

システム化による問題解決を図る際に求められる"システムが提供すべき機能"の導出方法について学習します。また、要件定義書を策定するうえで必須となる考え方について演習を通して学習します。非機能要件については、性能、セキュリティなどの観点から整理しておくべき事項を紹介します。

到達目標
・要件定義工程の作業概要、考慮すべき点を説明できる。
・要件定義工程で作成すべき成果物を説明できる。
・システム開発プロジェクトにおいて要件定義に携わる方。「演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

対象者
システム開発プロジェクトにおいて要件定義に携わる方。

前提知識
「演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
1. 要件とは
(1)定義
(2)各要件の内容
2. 要件定義と前後の作業
(1)共通フレームでの位置付け
(2)一般的な位置付け
(3)現状調査
(4)問題点分析・課題設定
(5)基本設計
3. 要件定義
(1)業務の表記法
(2)業務の検討
(3)アプリケーションの検討
(4)データの検討
(5)非機能要件の検討

備考
このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

CTJ018 要件定義/設計
グループ演習
非機能要求の考え方
1日間

非機能要求グレードの意義や要求項目の定義を正しく理解し、非機能要件を的確に分析・仕様化するための知識修得をめざします。

到達目標
・非機能要求の概要を説明できる。
・非機能要求を規定する際の勘所を理解できる。
・非機能要求グレードの活用方法を説明できる。

対象者
上流工程を担当するシステムエンジニアの方。

前提知識
「演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

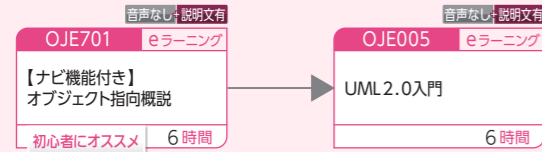
内容
1. 非機能要求とは
(1)定義
(2)業務、実現手段との関係
(3)ステークホルダとの関係
(4)非機能要求間の関係
2. 非機能要求グレードとは
(1)概要
(2)非機能要求グレード活用手順
(3)非機能要求グレード活用事例
3. ケーススタディ演習(非機能要求の分析)
4. まとめ

備考
・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

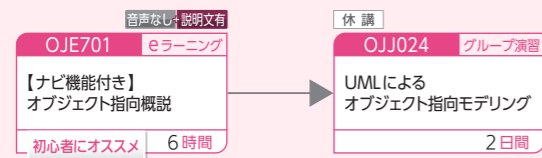
モデリング

オブジェクト指向の基本概念やUMLによるシステム分析、設計、プログラミングが修得できます。

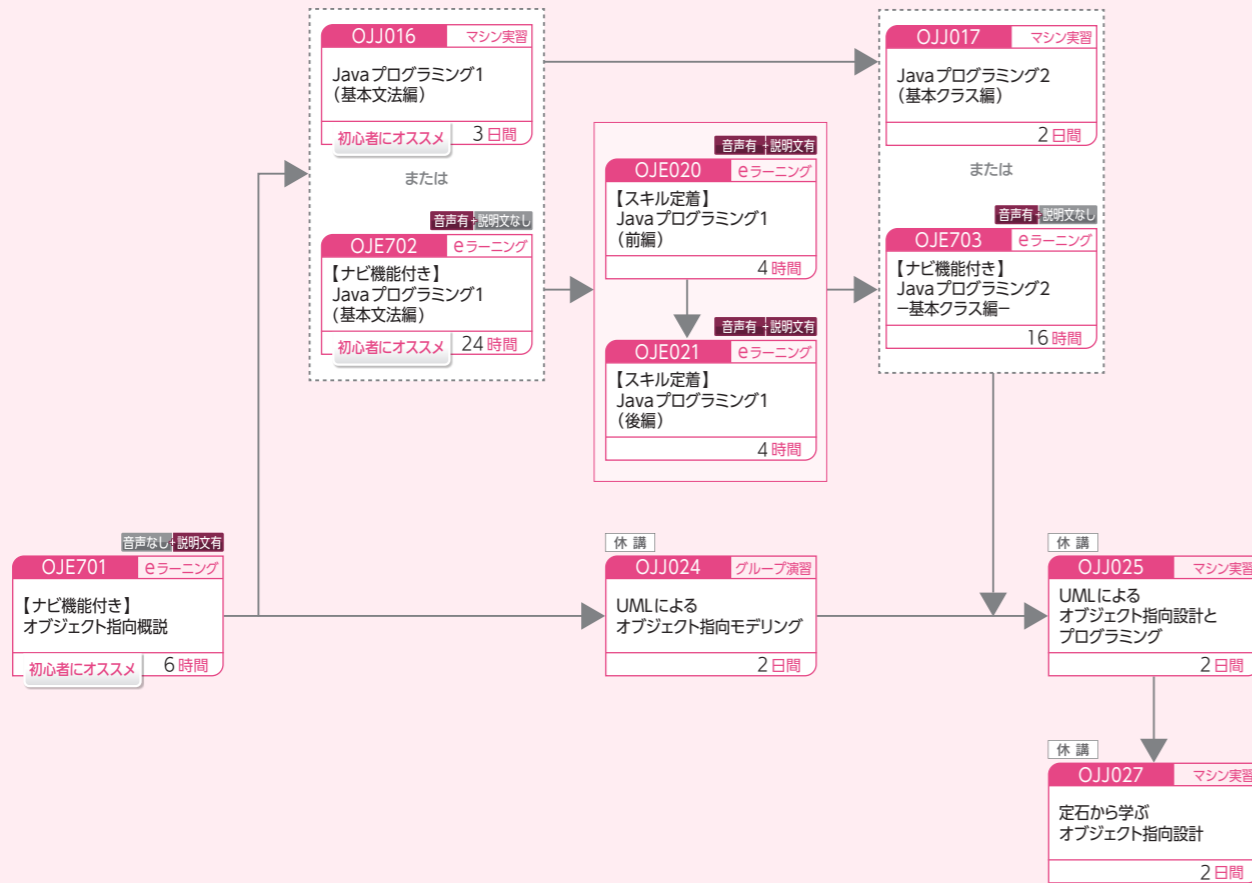
● UMLを初めて学習する方、または導入を検討する方



● UMLを適用してシステム分析をする方



● UMLを適用したシステム開発で設計・プログラミングをする方



音声有 + 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有 + 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし + 説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

OJE701 モデリング
<eラーニング>【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説
6時間
<p>オブジェクト指向の考え方と基本概念、およびオブジェクト指向による開発の流れを学習します。</p>
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> オブジェクト指向の基本概念(オブジェクト、クラス、カプセル化、継承、ポリモフィズムなど)を説明できる。 オブジェクト指向による開発の流れを説明できる。 UML(Unified Modeling Language)の役割、概要を説明できる。
対象者
これからオブジェクト指向による情報システム開発に携わる方。
前提知識
特に必要としません。
内容
<ol style="list-style-type: none"> オブジェクト指向概要 UML概要 オブジェクト指向の基本概念 <ol style="list-style-type: none"> オブジェクト クラス 関連 継承 多態性 オブジェクト指向開発手順の概要 修了試験
備考
<ul style="list-style-type: none"> 学習終了日は3月31日になります。 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OJE005 モデリング
<eラーニング>UML2.0入門
6時間
<p>UML(Unified Modeling Language)のコースケース図、クラス図、シーケンス図の書き方・読み方を学習します。</p>
到達目標
<p>UML(Unified Modeling Language)の各種ダイアグラムについて、役割、記述内容を説明できる。</p>
対象者
これからUMLを利用する方。
前提知識
【【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
<ol style="list-style-type: none"> UMLとは UMLリファレンス オブジェクト指向言語(Java、C++)へのマッピング UMLの導入 修了試験
備考
<ul style="list-style-type: none"> 学習終了日は3月31日になります。 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OJJ024 モデリング
UMLによるオブジェクト指向モデリング
2日間
<p>UMLを用いたモデリングによるシステム分析の手順および技法を紹介いたします。</p>
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> UMLのクラス図を読み理解できる。 問題記述からUMLのクラス図を作成できる。
対象者
オブジェクト指向を適用した情報システム開発プロジェクトに参画し、分析モデリングを行う方。
前提知識
【【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
<ol style="list-style-type: none"> 背景 <ol style="list-style-type: none"> 現実とソフトウェアのギャップ 要求とソフトウェアのギャップ ソフトウェアの開発に必要な作業 思考方法 モデリングスキルの修得 <ol style="list-style-type: none"> UMLを知る UMLを読む UMLを書く モデルを作る モデリングスキルの向上
備考
<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願い致します。
休講
※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

OJJ025 モデリング
UMLによるオブジェクト指向設計とプログラミング
2日間
<p>UMLで記述された分析モデルを設計モデルへ洗練する手順と、設計モデルをJavaでプログラミングする手順を紹介いたします。</p>
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> UMLのクラス図、シーケンス図を基にJavaでプログラミングできる。 分析モデルを基に、実装できるレベルまで洗練し設計モデルを作成できる。
対象者
オブジェクト指向を適用した情報システム開発プロジェクトに参画し、分析・設計モデリングを行う方。
前提知識
「UMLによるオブジェクト指向モデリング」コースを修了(同コースで作成した分析モデルを利用します)し、かつJavaのプログラミング経験があること。
内容
<ol style="list-style-type: none"> モデリングの概要 <ol style="list-style-type: none"> モデルの価値 モデルの種類 モデラーの種類 モデリングスキルの修得 <ol style="list-style-type: none"> UMLを知る 分析モデルを読む 分析モデルを洗練する モデルを実装する モデリングスキルの向上
備考
<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 前提コースとなる「UMLによるオブジェクト指向モデリング」コースで作成した分析モデルを設計・実装します。 このコースでは、ソフトウェア開発支援ツールを使用します。 このコースは、マシン実習を通し、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願い致します。
休講
※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

OJJ027 モデリング
定石から学ぶオブジェクト指向設計
2日間
<p>アプリケーションの仕様変更・追加、およびリファクタリングを行う過程を通して、デザインパターンを理解し、より良いモデルやプログラムを作成する手順を学習します。</p>
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> デザインパターンの学習方法を説明できる。 クラス設計における留意点を説明できる。 インタフェース、抽象クラスの効果的な使い方を説明できる。
対象者
オブジェクト指向を適用した情報システム開発プロジェクトに参画し、設計・プログラミングを行う方。
前提知識
「UMLによるオブジェクト指向モデリング」コース、および「UMLによるオブジェクト指向設計とプログラミング」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
<ol style="list-style-type: none"> 理論から学ぶ <ol style="list-style-type: none"> 結合度と凝縮度など デザインパターンから学ぶ <ol style="list-style-type: none"> 導入するうえでの留意点 学習するうえでの留意点 導き出した設計・実装におけるセオリー
備考
<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
休講
※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

休講 休講 今期の定期開催はありません

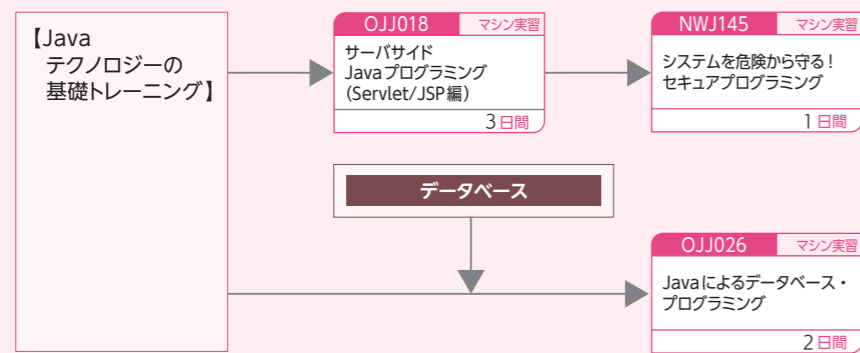
プログラミング

各種プログラミング言語を使用したアプリケーション開発を行うために必要な基本文法やプログラミング技術、Webアプリケーションの開発技術が修得できます。

● Java言語を使用してプログラムを開発する方 (Javaテクノロジーの基礎トレーニング)



● サーバサイド・テクノロジーを使用してアプリケーションを開発する方 (Java EEテクノロジーのトレーニング)



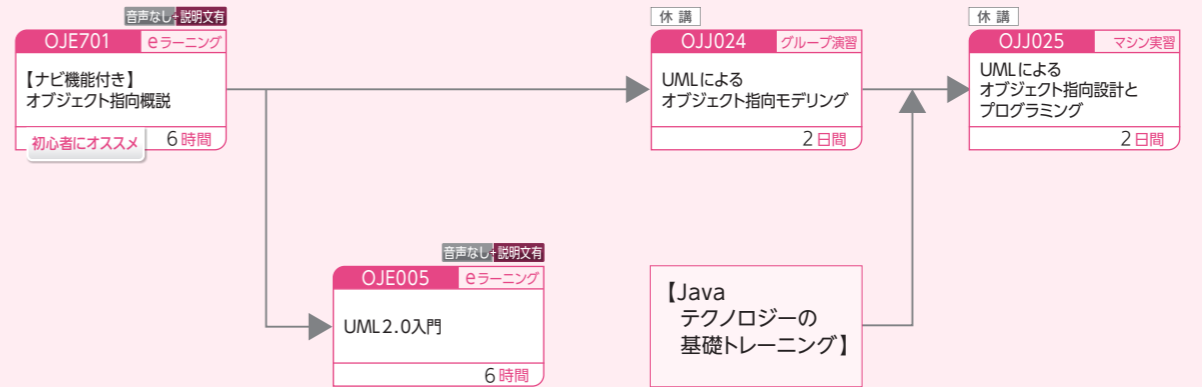
- 音声有+説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有+説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし+説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● Python言語を使ってアプリケーション開発する方

DBJ107 マシン実習
0から始めるPython入門
-データ分析での活用をテーマとして-
2日間

● Javaオブジェクト技術を使用してシステムを分析・設計する方



● Java言語の資格取得をめざす方

OJE022 eラーニング 資格試験準備セミナー：OCJP Bronze SE 7/8 (受験チケット付) 7時間

OJE023 eラーニング 資格試験準備セミナー：OCJP Silver SE 8 (受験チケット付) 7時間

OJE024 eラーニング 資格試験準備セミナー：OCJP Gold SE 8 (受験チケット付) 7時間

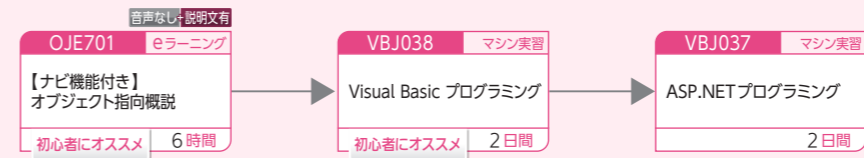
● COBOLを使用してプログラムを開発する方



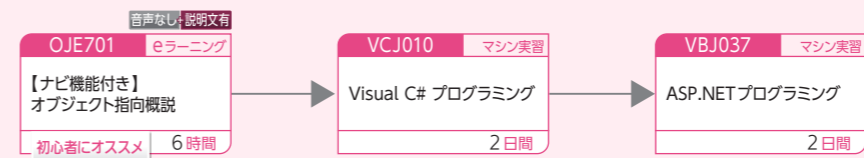
● C言語を使用してプログラムを開発する方



● Visual Basic を使用してアプリケーションを開発する方



● Visual C# を使用してアプリケーションを開発する方



音声有+説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

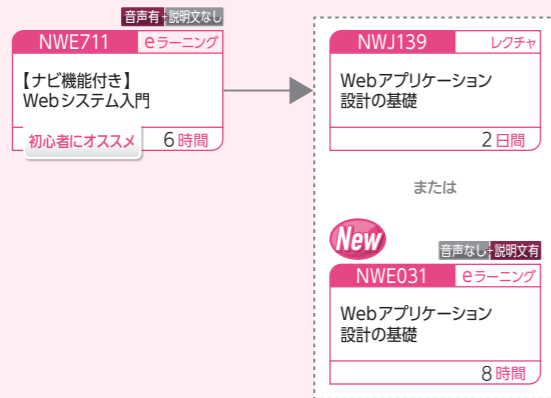
音声なし+説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

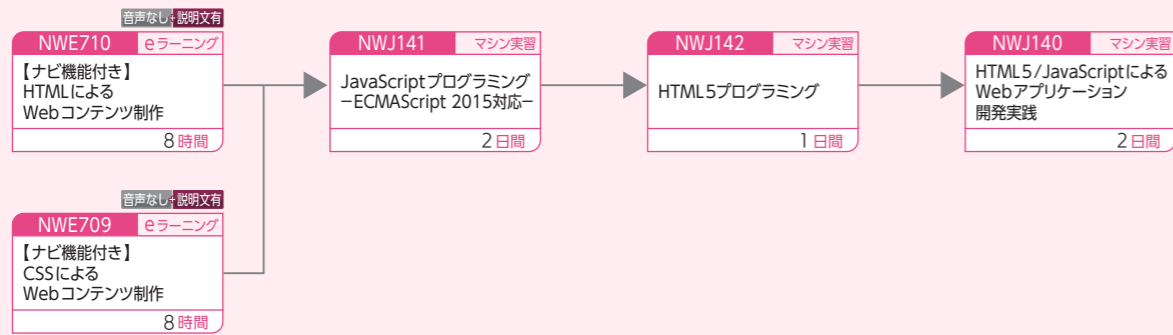
休講: 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

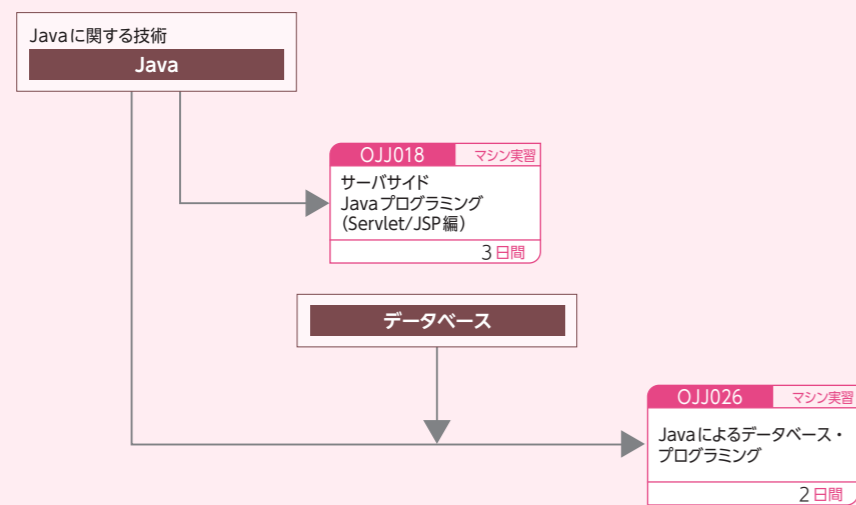
Webアプリケーションの開発技術について幅広く知りたい方



Webコンテンツを制作する方



Java EEテクノロジーのトレーニング (サーバサイド・テクノロジーを使用してアプリケーションを開発する方)



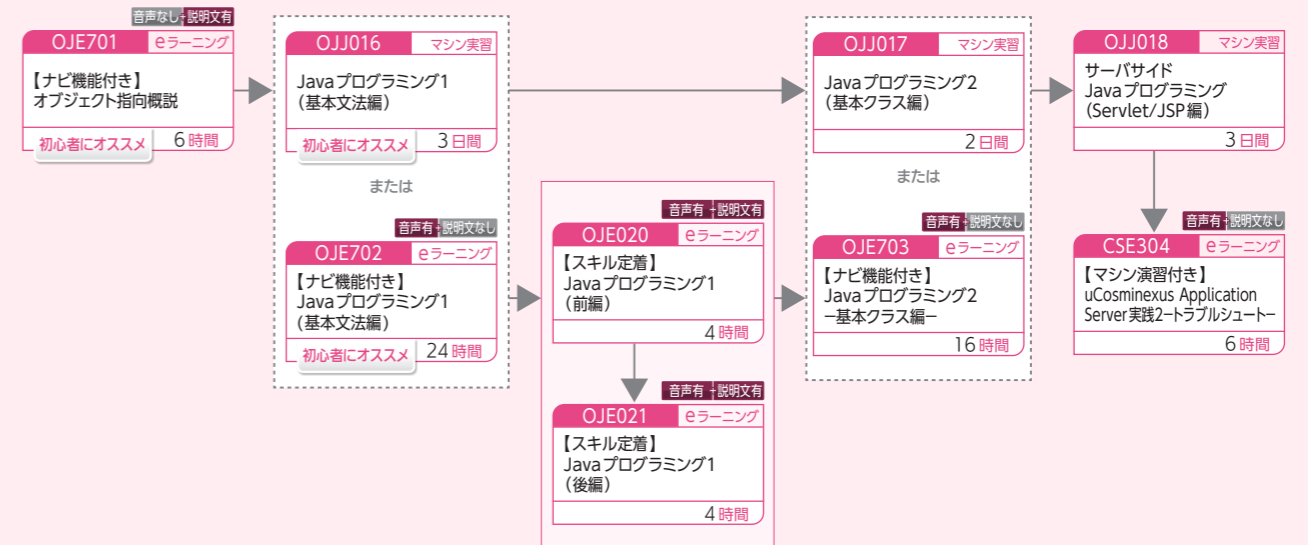
音声有、説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有、説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

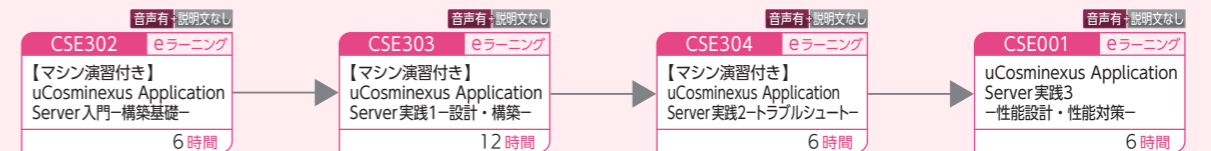
音声なし、説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

uCosminexus Application Serverを使用してWebアプリケーションの開発をする方



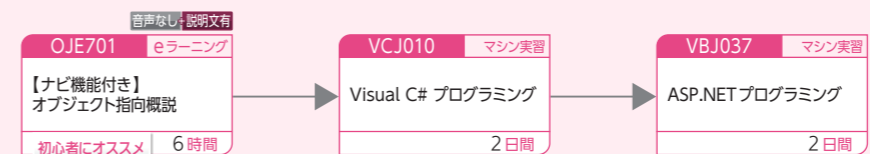
uCosminexus Application Serverを使用したWebシステムの性能設計・性能対策をする方



Visual Basicを使用してWebアプリケーションを開発する方



Visual C#を使用してWebアプリケーションを開発する方



日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

スマートデバイスの導入を検討する方

音声有 ・ 説明文なし
NWE029 eラーニング
スマートデバイス活用システムの提案概説
3 日間

スマートデバイスに対応したWebアプリケーションを設計する方

NWJ144 マシン実習
スマートフォンの特性を踏まえたWebアプリケーション設計の考え方
1 日間

iPhone・iPadアプリケーションを開発する方

NWJ129 マシン実習
体験！iPhone・iPadアプリケーションの開発
1 日間

NWJ131 マシン実習
体験！SwiftではじめるiPhoneアプリケーションの開発
1 日間

Androidアプリケーションを開発する方

NWJ135 マシン実習
体験！Androidアプリケーションの開発
1 日間

スマートスピーカを用いたシステムの企画や開発に携わる方

IOJ011 レクチャ
スマートスピーカの最新動向と社会インフラ適用の可能性
0.5 日間

音声有 ・ 説明文有 ：	学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有 ・ 説明文なし ：	収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし ・ 説明文有 ：	学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習
マシンを使用しながらの研修

グループ演習
グループ演習を中心とした研修

レクチャ
座学による研修

演習環境
職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習

eラーニング

マシン実習

eラーニング
インターネット接続による自己学習

自習テキスト
自習書による自己学習

CBJ001 共通
レクチャ
2 日間
アルゴリズムの基礎 －フローチャート編－
休講
プログラミングに必要なアルゴリズムの基礎を、フローチャートを用いた演習を通して学習します。
到達目標
・フローチャートの処理記号を説明できる。 ・合計と平均を求めるアルゴリズムを説明できる。 ・最大値、最小値を求めるアルゴリズムを説明できる。 ・スタックのアルゴリズムを説明できる。 ・素数を求めるアルゴリズムを説明できる。 ・探索（逐次探索、二分探索）のアルゴリズムを説明できる。 ・整列（交換法、選択法、挿入法）のアルゴリズムを説明できる。 ・文字列検索のアルゴリズムを説明できる。
対象者
プログラム設計やプログラム開発を行う方。
前提知識
特に必要としません。
内 容
1. アルゴリズムとは 2. フローチャートの書き方 3. 基本的なアルゴリズム （1）合計・平均 （2）最大値・最小値 4. 探索 （1）逐次探索 （2）二分探索 5. 整列 （1）整列（交換法） （2）整列（選択法） （3）整列（挿入法） 6. 文字列の処理
備 考
このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。 ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

CBE006 共通
eラーニング
16 時間
<eラーニング>アルゴリズムの基礎 －フローチャート編－
プログラミングに必要なアルゴリズムの基本的な考え方をフローチャートを利用して学習します。
到達目標
・フローチャートの処理記号を説明できる。 ・合計・平均、最大値・最小値など基本的なアルゴリズムを説明できる。 ・基本的な探索、整列のアルゴリズムを説明できる。 ・文字列検索のアルゴリズムを説明できる。 ・コントロールブレイク、マッチングのアルゴリズムを説明できる。
対象者
プログラム設計やプログラム開発を行う方。
前提知識
特に必要としません。
内 容
1. アルゴリズムとは 2. フローチャートの書き方 3. 基本的なアルゴリズム （1）合計、平均の求め方 （2）最大値、最小値の求め方 （3）スタックの考え方 （4）素数の求め方 4. 探索（逐次探索、二分探索） 5. 整列（交換法、選択法、挿入法） 6. 文字列の処理 7. 事務処理での活用 （1）コントロールブレイク （2）ファイル併合、照合、更新 8. 修了試験
備 考
・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OJJ016 Java
マシン実習
3 日間
Javaプログラミング1 (基本文法編)
Java言語の基本文法とオブジェクト指向プログラミングの基本知識を、マシン実習を通して学習します。
到達目標
・Java言語の基本的な文法が説明できる。 ・Java言語でオブジェクト指向プログラミングができる。これからJava言語でアプリケーションを開発する方。
対象者
これからJava言語でアプリケーションを開発する方。
前提知識
コンピュータの基礎知識があること。
内 容
1. Java言語とははじめ 2. 基本文法 3. クラス 4. インタフェース 5. ポリモフィズム 6. 継承 7. 例外 8. パッケージ
備 考
・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、Java SE7以降に対応しています。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、【【ナビ機能付き】Javaプログラミング1（基本文法編）】eラーニングコース(OJE702)とは内容が異なります。

OJE702 Java
eラーニング
24 時間
<eラーニング>【ナビ機能付き】Javaプログラミング1 (基本文法編)
Java言語の基本文法とオブジェクト指向プログラミングの基本知識を学習します。演習ファイルをダウンロードし、ご自身のPCでの実機演習を通して、より理解を深めます。
到達目標
・Java言語の特徴を説明できる。 ・Java言語でオブジェクト指向プログラミングができる。これからJava言語でアプリケーションを開発する方。
対象者
これからJava言語でアプリケーションを開発する方。
前提知識
【【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. Javaの概要 2. 基本文法 3. クラスとオブジェクト 4. 継承 5. ポリモフィズム 6. 例外処理 7. 修了試験
備 考
・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。） ・ダウンロードした演習ファイルを使って演習するためには、お使いのPCにJDKがインストールされている必要があります。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、集合研修「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース(OJJ016)とは内容が異なります。


OJE020 Java
eラーニング
4 時間
<eラーニング>【スキル定着】Javaプログラミング1 (前編)
複数のテーマでJavaプログラム作成とリファクタリングの演習を繰り返し、プログラミングスキルの定着化をめざします。
到達目標
・オブジェクト指向を考慮した、拡張性、保守性の高いJavaプログラムを作成できる。 ・Javaプログラム作成の際に、必要な情報を自身で調べることができる。
対象者
・これからJava言語によるアプリケーション開発を行う方。 ・Javaのプログラミングスキルの定着をめざす方。
前提知識
「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. 分岐構文、繰り返し構文を用いたプログラム 2. オブジェクト指向プログラミング 3. 例外を用いたプログラム 4. パッケージを用いたプログラム 5. プログラムのリファクタリング
備 考
・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。


OJE021 Java
eラーニング
4 時間
<eラーニング>【スキル定着】Javaプログラミング1 (後編)
複数のテーマでJavaプログラム作成とリファクタリングの演習を繰り返し、プログラミングスキルの定着化をめざします。また、単純なプログラミングスキルだけでなく、設計書に基づいて仕様を把握するスキルの向上を同時にめざします。
到達目標
・オブジェクト指向を考慮した、拡張性、保守性の高いJavaプログラムを作成できる。 ・Javaプログラム作成の際に、設計書を元に必要な情報を自身で調べてプログラムを作成できる。
対象者
・これからJava言語によるアプリケーション開発を行う方。 ・Javaのプログラミングスキルの定着をめざす方。
前提知識
「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. オブジェクト指向プログラミング 2. プログラムのリファクタリング 3. 設計書に基づいたプログラミング
備 考
・学習終了日は3月31日になります。 ・説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

プログラミング


日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advance Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル


日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
HIRDB
<p>OpenTP1</p> VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
<p>Pentaho</p> デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
<p>データ分析</p> サイバーセキュリティ
RPA
<p>クラウド/サーバ仮想化</p> IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
<p>オープンソースソフトウェア(OSS)</p> Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル


OJJ017	Java
 マシン実習	Javaプログラミング2 (基本クラス編)
2日間	
到達目標	・APIドキュメントからクラス、メソッドの使い方を把握できる。 <p>・参照の一致と内容の一致の違いを説明できる。</p> <p>・マルチスレッドプログラムの作成方法を説明できる。</p> <p>・ファイル入出力プログラムの作成方法を説明できる。</p>
対象者	これからJava言語でアプリケーションを開発する方。
前提知識	「Javaプログラミング 1 (基本文法編)」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. APIドキュメント 2. 文字列を扱うクラス 3. Objectクラス 4. ラッパークラス 5. スレッド 6. 入出力 7. コレクション
備 考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 <p>・このコースの内容は、Java SE7以降に対応しています。</p> <p>・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</p>


OJJ026	Java
 マシン実習	Javaによるデータベース・プログラミング
2日間	
到達目標	Javaプログラムからデータベースへの一般的なアクセス方法を学習します。
到達目標	JDBCを利用してデータベースにアクセスするプログラミングができる。
対象者	Java言語でデータベース連携を伴うアプリケーションを開発する方。
前提知識	「Javaプログラミング 2 (基本クラス編)」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があり、かつSQLの基礎知識があること。
内 容	1. データベースプログラミング概要 2. JDBCによる基本的なデータベース利用 3. トランザクション制御 4. O/Rマッピング
備 考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 <p>・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</p>


マシ実習	グループ演習	レクチャ	演習環境	eラーニング	自習テキスト
マシン実習	マシン実習を中心とした研修	座学による研修	職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習	eラーニングインターネット接続による自己学習	自習書による自己学習

OJE703	Java
 eラーニング	<eラーニング>【ナビ機能付き】Javaプログラミング2 –基本クラス編–
16時間	
到達目標	・APIドキュメントからクラス、メソッドの使い方を把握できる。 <p>・参照の一致と内容の一致の違いを説明できる。</p> <p>・マルチスレッドプログラムの作成方法を説明できる。</p> <p>・ファイル入出力プログラムの作成方法を説明できる。</p>
対象者	これからJava言語でアプリケーションを開発する方。
前提知識	「Javaプログラミング 1 (基本文法編)」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. APIドキュメント 2. 文字列を扱うクラス 3. Objectクラス 4. ラッパークラス 5. スレッド 6. 入出力 7. コレクション 8. 修了試験
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 <p>・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)</p> <p>・ダウンロードした演習ファイルを使って演習するためには、お使いのPCにJDKがインストールされている必要があります。</p> <p>・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。</p> <p>・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</p>


OJJ018	Java
 マシン実習	サーバサイドJavaプログラミング (Servlet/JSP編)
3日間	
到達目標	要素技術を順に組み合わせてWebアプリケーションを構築する過程を通して、JavaEEによるWebアプリケーション構築に必要なスキルを学習します。
到達目標	・ServletおよびJSPを作成できる。 <p>・MVCモデルに則したWebアプリケーションの特徴を説明できる。</p> <p>・Webアプリケーションの実行時に発生するエラーに対処できる。</p>
対象者	これからJavaEEによるWebアプリケーションの開発に携わる方。
前提知識	「Javaプログラミング 2 (基本クラス編)」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. Webアプリケーションとは 2. 静的なWebページ 3. 動的なWebページ 4. 静的、動的なWebページの連携 5. HTMLとプログラムの分離 6. HTML、Servlet、JSPの連携 7. HTML、Servlet、JSP、Beanの連携 8. Webアプリケーションの設計
備 考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 <p>・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</p>


OJJ032	Java
 マシン実習	Javaプログラミング3 –StreamAPI、モジュールシステム編–
2日間	
到達目標	このコースは、JavaSE8で追加されたStreamAPI、JavaSE9で追加されたモジュールシステムなどについて、マシン演習を通して学習します。
到達目標	・Javaにおけるラムダ式の概要を説明できる。 <p>・StreamAPIを利用した一連の操作手順を説明できる。</p> <p>・Javaのモジュールシステムの概要を説明できる。</p>
対象者	・Java言語でアプリケーションを開発する方。 <p>・StreamAPI、モジュールシステムといった機能を開発に活用したい方。</p>
前提知識	「Javaプログラミング2 (基本クラス編)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. java.util、Functionインタフェースとラムダ式 2. java.util.Optionalクラス 3. StreamAPI 4. java.time/パッケージ 5. モジュールシステム 6. Jshell
備 考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 <p>・研修内容は予告なく変更となる可能性があります。</p> <p>・このコースは、旧コース (OJJ021)「ハンズオンJava8/9新機能」コースと同内容となっています。</p>

OJJ020	Java
 マシン実習	実践! Javaプログラミング
2日間	
到達目標	Javaアプリケーション開発者に必要な実用的かつ保守性の高いプログラムの作成ノウハウを学習します。
到達目標	・開発効率を向上するための機能を利用したプログラミングができる。 <p>・プログラムの実行効率を向上する際の観点を説明できる。</p> <p>・変更容易性を意識したプログラミングの効果や観点を説明できる。</p>
対象者	ITエンジニア職、若手・中堅の方でJavaでアプリケーションを開発する方。
前提知識	「Javaプログラミング2 (基本クラス編)」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. 設計におけるノウハウ (1) 凝集度と結合度 (2) アクセス範囲を限定する 2. プログラミングにおけるノウハウ (1) EoDを意識したプログラミング (2) 実行効率を意識したプログラミング (3) 変容易性を意識したプログラミング 3. 開発演習
備 考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 <p>・このコースの内容は、Java SE7以降に対応しています。</p>

NWJ145	Java
 マシン実習	システムを危険から守る！セキュアプログラミング
1日間	
到達目標	Webアプリケーションのセキュリティ脆弱性の作りこみ防止技術と適切な設計・対策について学習します。
到達目標	・Webアプリケーションで作りこみやすいセキュリティ脆弱性の特徴を説明できる。 <p>・セキュリティ脆弱性の作りこみ防止を考慮してプログラムを作成できる。</p>
対象者	Webアプリケーションを実装する方。
前提知識	「サーバサイドJavaプログラミング–Servlet/JSP編–」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. Webアプリケーションのしくみ 2. hiddenフィールドの書き換え 3. SQLインジェクション 4. クロスサイトスクリプティング 5. クロスサイトリクエストフォージェリ
備 考	このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

OJE022	Java
 eラーニング	<eラーニング>資格試験準備セミナー：OCJP Bronze SE 7/8 (受験チケット付)
7時間	
到達目標	Oracle Certified Java Programmer, Bronze SE 7/8 資格試験の出題内容を模擬問題とインストラクターによる詳しい解説でキャッチアップすることができます。また、試験を受験いただけるように、受験チケット：Oracle認定資格オンライン試験用が1枚付いています。
到達目標	Oracle Certified Java Programmer, Bronze SE 7/8 資格試験 (1Z0-814: Java SE 7/8 Bronze) の出題内容を理解できる。
対象者	OCJP Bronze SE 7/8 資格取得をめざす方。
前提知識	「Javaプログラミング1 (基本文法編)」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. はじめに 2. Java言語のプログラムの流れ 3. データの宣言と使用 4. 演算子と分岐文 5. ループ文 6. オブジェクト指向コンセプト 7. クラス定義とオブジェクトの生成、使用 8. 継承とポリモフィズム
備 考	・サービス有効期間は180日間です。 <p>・本ページ右下※2をご参照ください。</p>

OJJ028	Java
 マシン実習	Javaによる保守開発のためのリファクタリング
2日間	
到達目標	ソースの可読性を高めるテクニックや既存のソースコードを読解するうえで、留意すべきポイントを学習します。
到達目標	・可読性に留意して簡単なリファクタリングができる。 <p>・保守性、再利用性を意識してソースコードを読む。</p>
対象者	Javaでアプリケーションを開発される方。
前提知識	「Javaプログラミング2 (基本クラス編)」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. 保守作業概要 2. リファクタリング概要 3. コードの理解向上 4. テスト時の工夫
備 考	このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

OJE025	Java
 eラーニング	<eラーニング>【マシン演習付き】Java SE 7 パフォーマンス・チューニング
21時間	
到達目標	Javaのパフォーマンスチューニングの具体的な方法論やノウハウを学習します。
到達目標	Javaプログラミングにおけるパフォーマンスチューニングについて説明できる。
対象者	Javaアプリケーションの開発業務に携わる方。
前提知識	「Javaプログラミング2 (基本クラス編)」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. コースの概要 2. Java 仮想マシンおよびパフォーマンスの概要 3. JVMおよびJavaガベージ・コレクション 4. Java ガベージ・コレクタ 5. コマンドラインからのJVMの監視 6. Mission Control および JVM 監視ツール 7. Java Flight Recorder 8. オペレーティング・システムのパフォーマンスの監視 9. パフォーマンス・プロファイリング・ツール 10. プロファイリングを使用したパフォーマンス問題のトラブルシュート 11. ガベージ・コレクションのチューニング 12. 言語レベルでの考慮事項とガベージ・コレクション
備 考	・このコースは、日本オラクル (株) が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF) を使用します。 <p>・このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日以内の連続した6日間です。</p> <p>・本ページ右下※2をご参照ください。</p>

日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
HIRDB
<p>OpenTP1</p> VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advance Data Binder
日立ストレージ
<p>Pentaho</p> デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
<p>データ分析</p> サイバーセキュリティ
RPA
<p>クラウド/サーバ仮想化</p> IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
<p>オープンソースソフトウェア(OSS)</p> Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

日立製品
JP1
uCosminhexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMI
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバーセキュリティ
RPA
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

NWE029 スマートデバイス

<eラーニング> スマートデバイス活用システムの提案概説

3時間

スマートデバイスの概要と、エンタープライズ分野でスマートデバイスを活用するうえで検討すべきポイントを学習します。

到達目標 スマートデバイスの特徴や、エンタープライズシステムへ適用するうえで検討すべき事項を説明できる。

対象者 スマートデバイスに関心のある方、スマートデバイスの導入に携わる方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. スマートデバイスの概要
2. 目的の明確化
3. スマートデバイスの管理
4. システムへの導入方式
5. アプリケーション開発方式
6. アプリケーション開発を支える技術

備考

- ・学習終了日は3月31日になります。
- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースは、「スマートデバイス概説と導入の考え方」eラーニングコースの内容改訂および名称を変更したものです。

NWJ144 スマートデバイス

スマートフォンの特性を踏まえたWebアプリケーション設計の考え方

1日間

スマートフォン用Webブラウザから利用するWebアプリケーションを開発するうえで必要となる、スマートフォンの特性を踏まえた画面設計や高速化手法の考え方を学習します。

到達目標

- ・スマートフォンに対応したWebアプリケーションにおける画面設計の留意点を説明できる。
- ・非同期通信やキャッシュを用いて、スマートフォンに対応したWebアプリケーションを高速化する手法を説明できる。

対象者 スマートフォンに対応したWebアプリケーションを設計する方。

前提知識 「Webアプリケーション設計の基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. スマートフォンに対応したWebアプリケーションとは
 - (1) PC向けWebアプリケーションとの比較
 - (2) ネイティブアプリケーションとの比較
2. スマートフォンの特性を踏まえた画面設計
 - (1) UIレイアウト・デザインの考え方
 - (2) 代表的なライブラリ
3. Webアプリケーションの高速化
 - (1) ネットワーク環境に留意したWebアプリケーション設計の考え方
 - (2) 非同期通信と事前読み込み
 - (3) キャッシュ
4. セキュリティへの配慮

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

NWJ135 スマートデバイス

体験! Androidアプリケーションの開発

1日間

PC環境を用いたAndroidアプリケーション開発の体験を通して、Androidアプリケーションの開発手順を学習します。

到達目標

- ・Androidが提供するアプリケーションフレームワークの役割を説明できる。
- ・Androidアプリケーション開発の流れについて説明できる。

対象者 これからAndroidを利用したアプリケーションの開発に携わる方。

前提知識 Java言語に関する基本的な知識があることが望ましい。

内容

1. Androidアプリケーションフレームワークの概要
2. Android開発環境構築
3. Androidアプリケーション開発の流れ
4. Androidアプリケーションの作成
 - (1) 画面遷移を伴うプログラムを作る
 - (2) バックグラウンドで動作するプログラムを作る
 - (3) データストアへのアクセスを伴うプログラムを作る
 - (4) 何らかの通知により起動するプログラムを作る

備考

- ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

NWJ129 スマートデバイス

体験! iPhone・iPadアプリケーションの開発

1日間

iPhone・iPadアプリケーションの開発に必要な基礎知識を学習するとともに、Objective-Cの基礎知識についても学習します。

到達目標

- ・iOSアーキテクチャの概要を説明できる。
- ・iOSアプリケーション作成の手順を説明できる。

対象者 iPhone・iPadアプリケーションを設計・開発する方。

前提知識 何らかの言語を使用したアプリケーション開発の経験があること。

内容

1. iOSアーキテクチャ
2. Objective-C概要
3. アプリケーション開発の手順
4. 画面遷移
5. 色々なUIの紹介

備考

- ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

NWJ131 スマートデバイス

体験! SwiftではじめるiPhoneアプリケーションの開発

1日間

Swiftを使って基本的なiPhoneアプリケーションを開発できるスキルを修得します。

到達目標 Swiftを使って基本的なiPhoneアプリケーションを開発できる。

対象者 これからiPhoneアプリケーションの開発をはじめめる方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. iOS概要
2. Swift概要
3. アプリケーション開発の手順
4. 画面遷移
5. 基本的な機能の紹介

備考

- ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

情報処理技術者試験対策

情報処理技術者試験の資格取得に向け、知識や解答技法が修得できます。

● 情報処理技術者試験の取得をめざす方

<eラーニング 春期秋期試験対策>

【IP】ITパスポート試験対策

Renewal 音声なし+説明文なし
SJE293 eラーニング
 集中演習 2020年 春期
 ITパスポート試験【IP】
 80時間

【FE】基本情報技術者試験対策

Renewal 音声なし+説明文なし
SJE294 eラーニング
 集中演習 2020年 春期
 基本情報技術者試験【FE】
 200時間

【AP】応用情報技術者試験対策

Renewal 音声なし+説明文なし
SJE295 eラーニング
 集中演習 2020年 春期
 応用情報技術者試験【AP】
 162時間

【SG】情報セキュリティマネジメント試験対策

Renewal 音声なし+説明文なし
SJE296 eラーニング
 集中演習 2020年 春期
 情報セキュリティ
 マネジメント試験【SG】
 162時間

【SC】情報処理安全確保支援士試験対策

Renewal 音声なし+説明文なし
SJE300 eラーニング
 集中演習 2020年 春期
 情報処理安全確保支援士試験
 【SC】
 162時間

<eラーニング 春期試験対策>

【DB】データベーススペシャリスト試験対策

Renewal 音声なし+説明文なし
SJE298 eラーニング
 集中演習 2020年 春期
 データベーススペシャリスト
 試験【DB】
 162時間

【PM】プロジェクトマネージャ試験対策

Renewal 音声なし+説明文なし
SJE297 eラーニング
 集中演習 2020年 春期
 プロジェクトマネージャ試験
 【PM】
 162時間

【AU】システム監査技術者試験対策

Renewal 音声なし+説明文なし
SJE299 eラーニング
 集中演習 2020年 春期
 システム監査技術者試験
 【AU】
 162時間

- 音声有+説明文有**：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有+説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし+説明文有**：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声なし+説明文なし**：学習の説明画面で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 情報処理技術者試験・情報処理安全確保支援士試験

情報処理技術者試験、および情報処理安全確保支援士試験は、「情報処理の促進に関する法律」に基づき、情報処理に関する一定水準以上の「知識・技能」を持っていることを、経済産業省が認定する国家試験です。

詳しくは、日立アカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/license/hcom/index.html>

ITリテラシ

情報の扱い方、特にコンピュータを利用して業務を行うための基礎的な知識や技術が修得できます。

● Excelを使用して表やグラフを作成する方



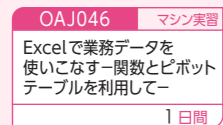
● Wordを使用して文書を作成する方



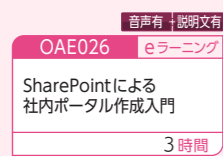
● PowerPointを使用してプレゼンテーション資料を作成する方



● Excelを使用してデータ活用をしたい方



● SharePointを使用してポータルサイトを作成する方



音声有 | 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有 | 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし | 説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

OAE027 Office 2016	
	<eラーニング> Excel 2016 基礎編
Microsoft Excel 2016の基礎的な知識・操作方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> データを入力できる。 表の体裁を整えることができる。 目的に応じて印刷できる。 表計算機能を活用できる。
対象者	Microsoft Excel 2016を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。
前提知識	特に必要としません。
内容	<ol style="list-style-type: none"> はじめに Microsoft Excel 2016の画面 データ入力の基本 目的に応じた印刷 表計算機能の活用 その他の便利な機能
備考	<ul style="list-style-type: none"> サービス有効期限は30日間です。 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft Excel 2016がなくても学習できます。) このコースは、ライトワークス社より提供いたします。 コース実施に必要なご受講者の個人情報をライトワークス社へ提供いたします。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OAE029 Office 2016	
	<eラーニング> Word 2016 基礎編
Microsoft Word 2016の基礎的な知識・操作方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 文書を作成できる。 文書の体裁を整えることができる。 文書の保存と印刷ができる。
対象者	Microsoft Word 2016を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。
前提知識	特に必要としません。
内容	<ol style="list-style-type: none"> はじめに Microsoft Word 2016の画面 文書作成の基本 文書の体裁を整える 文書の保存と印刷 その他の便利な機能
備考	<ul style="list-style-type: none"> サービス有効期限は30日間です。 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft Word 2016がなくても学習できます。) このコースは、ライトワークス社より提供いたします。 コース実施に必要なご受講者の個人情報をライトワークス社へ提供いたします。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OAE028 Office 2016	
	<eラーニング> Excel 2016 応用編
Microsoft Excel 2016について、より深い知識や効率的な操作方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> グラフを作成できる。 データベースを管理できる。 関数を利用できる。 マクロを作成できる。
対象者	Microsoft Excel 2016の基礎的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに高度な学習を必要とする方。
前提知識	「Excel 2016 基礎編」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> はじめに グラフの作成 データベースの管理 関数の基礎知識 マクロの作成 Excel VBA Excel Online
備考	<ul style="list-style-type: none"> サービス有効期限は30日間です。 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft Excel 2016がなくても学習できます。) このコースは、ライトワークス社より提供いたします。 コース実施に必要なご受講者の個人情報をライトワークス社へ提供いたします。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OAJ046 Office 2016	
	Excelで業務データを使いこなす関数とピボットテーブルを利用して
関数を使用してExcelにインポートしたダウンロードデータを整形する方法、ピボットテーブルを使用してデータの集計や分析をする方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 関数を効率よく入力し、データの整形ができる。 ピボットテーブルを使用してデータの集計や分析ができる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 業務で扱うデータを活用できるようになりたい方。 Excelの関数やピボットテーブルを使いこなしたい方。
前提知識	Microsoft Excelの基礎的な知識・操作方法を修得されていること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> ダウンロードデータをExcelにインポートする 関数を効率よく入力する ダウンロードデータを整形する ピボットテーブルを使用してデータの集計や分析をする
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

OAE031 Office 2016	
	<eラーニング> PowerPoint 2016 基礎編
Microsoft PowerPoint 2016の基礎的な知識・操作方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションを構成できる。 スライドの作成とデザインができる。 図形や画像を挿入できる。 スライドショーの準備と実行ができる。
対象者	Microsoft PowerPoint 2016を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。
前提知識	特に必要としません。
内容	<ol style="list-style-type: none"> はじめに Microsoft PowerPoint 2016の画面 プレゼンテーションの構成 スライドの作成とデザイン 図形や画像の挿入 スライドショーの準備と実行 その他の便利な機能
備考	<ul style="list-style-type: none"> サービス有効期限は30日間です。 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft PowerPoint 2016がなくても学習できます。) このコースは、ライトワークス社より提供いたします。 コース実施に必要なご受講者の個人情報をライトワークス社へ提供いたします。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

日立製品

JP1

uCosminexus
Application Server

HIRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/
VOSK

XDM/PDM II

Hitachi Advanced
Data Binder

日立ストレージ

Pentaho

デジタルトランス
フォーメーション

IT 利活用

イノベーション

IoT/AI/Lumada

ビッグデータ

データ分析

サイバー
セキュリティ

RPA

クラウド/
サーバ仮想化IT サービス
マネジメント

システム基盤

IT 基本

オープンソース
ソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

ハードウェア

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画

システム開発

要件定義 / 設計

モデリング

プログラミング

情報処理技術者
試験対策

ITリテラシ

プロジェクト
マネジメント

コンプライアンス

ビジネス/
ヒューマン

グローバル

OAE032 Office 2016

**<eラーニング>
PowerPoint 2016 応用編**

2時間

Microsoft PowerPoint 2016について、より深い知識や効率的な操作方法を学習します。

到達目標

- 表やグラフを挿入できる。
- アニメーションを活用できる。
- 動画を挿入、編集できる。
- マスターとテンプレートを活用できる。

対象者 Microsoft PowerPoint 2016の基礎的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに高度な学習を必要とする方。

前提知識 「PowerPoint 2016 基礎編」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- はじめに
- 表やグラフの挿入
- アニメーションの活用
- 動画の挿入、編集
- マスターとテンプレートの活用
- PowerPoint Online
- その他の便利な機能

備考

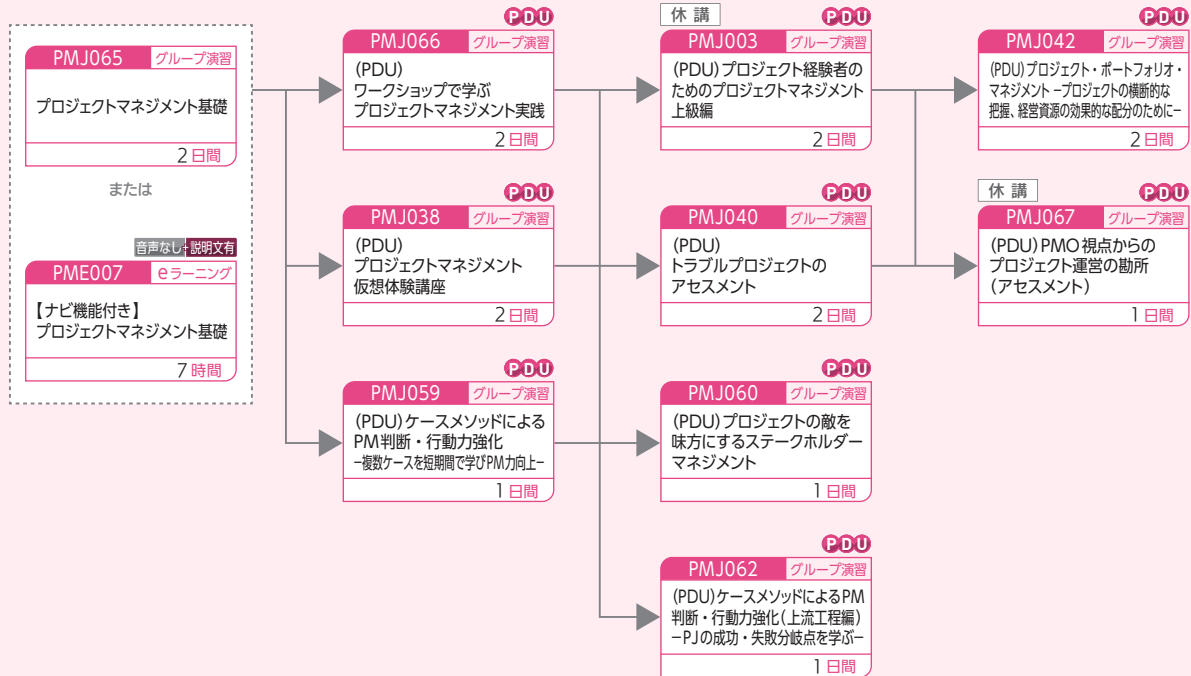
- サービス有効期限は30日間です。
- 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft PowerPoint 2016がなくても学習できます。)
- このコースは、ライトワークス社より提供いたします。
- コース実施に必要となる受講者の個人情報をライトワークス社へ提供いたします。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。



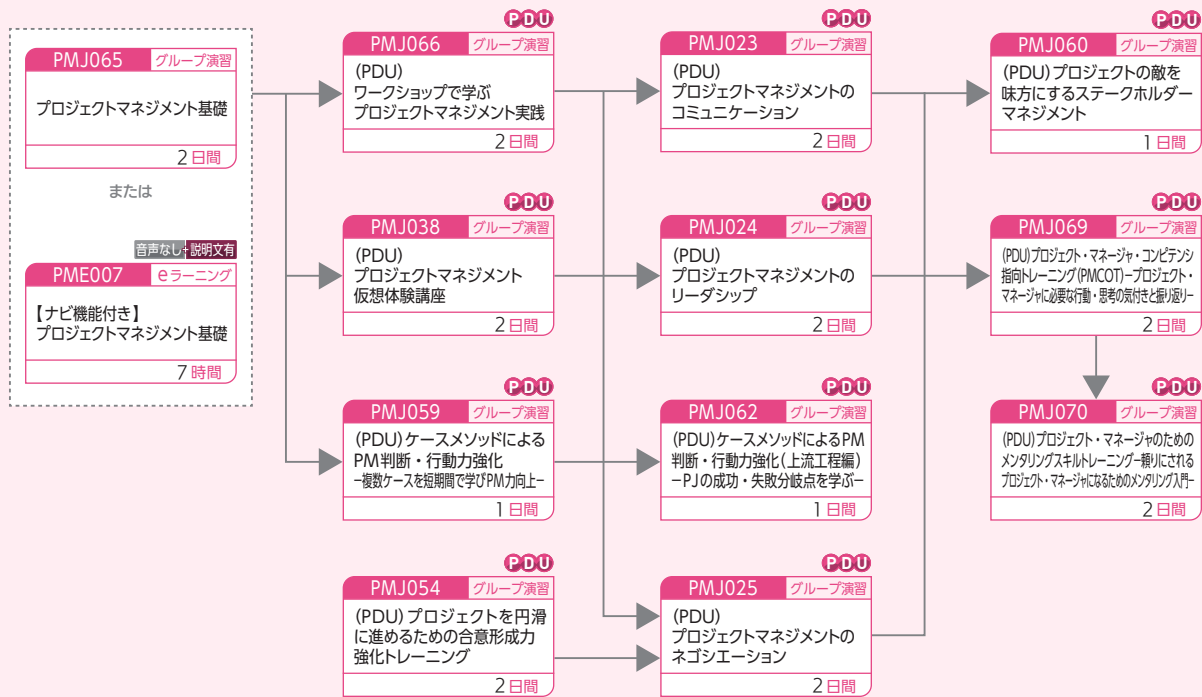
プロジェクトマネジメント

情報システム開発プロジェクトの計画・実行を行うために必要な知識や手順、技法が修得できます。

● プロジェクトマネージャをめざす方



● プロジェクトマネージャに必要なヒューマン系能力向上をめざす方



- 音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

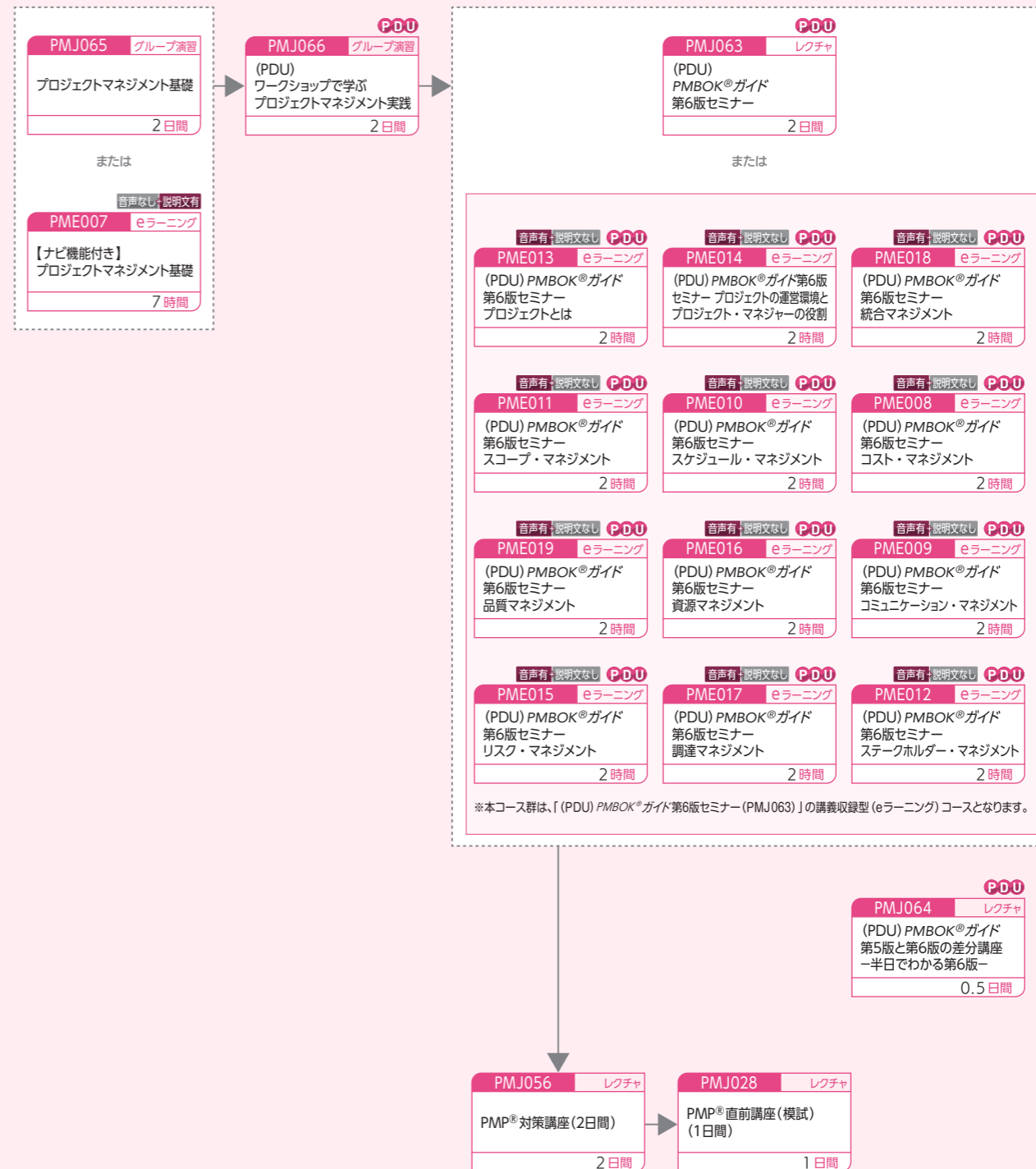
初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

休講 休講
今期の定期開催はありません

● プロジェクトマネージャに必要な専門能力向上をめざす方

● プロジェクトマネージャの国際資格PMP®の取得をめざす方



PMP® : Project Management Professionalの略で、米国PMI®(Project Management Institute)が認定する国際資格です。
 PDU : Professional Development Unitの略で、PMP®資格維持に必要な単位です。
 PMBOK®ガイドはプロジェクトマネジメント協会発行のA Guide to the Project Management Body of knowledgeの略称です。
 PMI®, PMP®, PMBOK®ガイド、PM Network®, PMI Today®, PMCDF®, R.E.P.ロゴは、プロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。

音声有、説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
 音声有、説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
 音声なし、説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

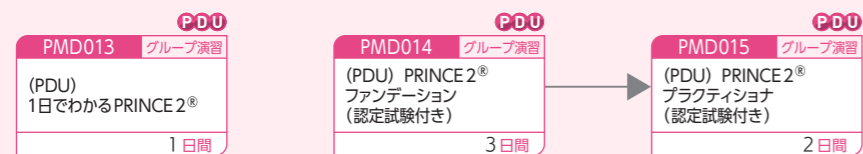
● アジャイル開発に携わる方、関心のある方



● PMP®資格維持を図る方 (PMP®資格維持に必要なPDUが取得できます)

日立講習会では、PMP®資格(米国PMI®認定)に対応したコースを多数提供しています。詳細は、ホームページをご覧ください。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/license/pmp/index.html>

● イギリス発祥プロジェクトマネジメント方法論～事業計画立案から事業の価値創造まで～



- 音声有・説明文有**：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有**：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

資格 PMP®資格(米国PMI®認定)

- Project Management Professional (PMP)®資格は、プロジェクトマネジメントの専門知識を有していることを証明するために、米国Project Management Institute (PMI)®が認定する資格です。
- PMP®の人気は世界的に非常に高く、資格受験者は年々増加を続けています。
- PMP®は、システム発注条件に記載されるケースも増えており、また、各社のプロジェクト・マネージャ資格認定制度においても認定要件である公的資格の一つに位置づけられることが多く、プロジェクト・マネージャをめざす方にとって人気の高い資格となっています。

詳しくは、日立アカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/license/pmp/index.html>



PMI R.E.P. ロゴはプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc.) の登録商標です。

● PDU 対象コース一覧

分野	コースコード	区分	コース名	日数*	PDU合計	テクニカル・プロジェクトマネジメント	リーダーシップ	ストラテジック&ビジネスマネジメント
デジタルトランスフォーメーション								
IoT/AI/Lumada	SPJ059		(PDU) 実践! DevOpsによるアジャイル開発 - お客様に素早く価値を届けるために -	1日	6.5	6.5	0	0
ITサービスマネジメント								
ITIL®	ITJ012		(PDU) ITIL® ファンデーション(認定試験付)	3日	18	5	8	5
IT戦略・IS企画								
IT戦略・IS企画	HSJ017		(PDU) IT戦略の立案-IT-BSCの活用による-	1日	6.5	0	0	6.5
	SPJ008		(PDU) IT投資の評価手法-IT投資の種類・パターンから効果を考える-	2日	13	0	0	13
	CTJ016		(PDU) IT投資対効果の考え方-IT投資マネジメントの基礎-	1日	6	0	0	6
	CTJ005		(PDU) トラブルを防止する調達要件の分析 -RFPの作成と提案書の評価を中心に-	2日	12	0	0	12
	CTD010	New	(PDU) IT経営ストラテジ(経営戦略コース)	2日	16	0	0	16
	CTD011	New	(PDU) IT経営ストラテジ(IT戦略コース)	2日	16	0	0	16
	CTD007		ITC資格試験対策	1日	8	0	0	8
	CTJ059		(PDU) ビジネスアナリシスの基礎	2日	14	5	0	9
	CTJ060		(PDU) 要求の引き出しとマネジメント	2日	14	13	0	1
	CTJ062		(PDU) エンタープライズ・ビジネスアナリシス	2日	15	5	0	10
	CTD008		(PDU) CBAP® 試験対策コース	3日	24	24	0	0
CTJ037		(PDU) SEのためのベンダーマネジメント	2日	14	10	0	4	

プロジェクトマネジメント

PMJ066		(PDU) ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践	2日	12	6	4	2
PMJ038		(PDU) プロジェクトマネジメント仮想体験講座	2日	14	8	6	0
PMJ059		(PDU) ケースメソッドによるPM判断・行動力強化 -複数ケースを短期間で学びPM力向上-	1日	7	3	2	2
PMJ062		(PDU) ケースメソッドによるPM判断・行動力強化(上流工程編) -PJの成功・失敗分岐点を学ぶ-	1日	7	3	2	2
PMJ003	休講	(PDU) プロジェクト経験者のためのプロジェクトマネジメント上級編	2日	12	6	4	2
PMJ040		(PDU) トラブルプロジェクトのアセスメント	2日	14	0	0	14
PMJ060		(PDU) プロジェクトの敵を味方にするステークホルダーマネジメント	1日	7	1	4	2
PMJ069		(PDU) プロジェクト・マネージャ・コンピテンシ指向トレーニング(PMCOT) -プロジェクト・マネージャに必要な行動・思考の気付きと振り返り-	2日	14	0	14	0
PMJ070		(PDU) プロジェクト・マネージャのためのメンタリングスキルトレーニング -頼りにされるプロジェクト・マネージャになるためのメンタリング入門-	2日	14	0	14	0
PMJ042		(PDU) プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント -プロジェクトの横断的な把握、経営資源の効果的な配分のために-	2日	14	0	0	14
PMJ067	休講	(PDU) PMO視点からのプロジェクト運営の勘所(アセスメント)	1日	6	3	2	1
PMJ023		(PDU) プロジェクトマネジメントのコミュニケーション	2日	14	10	4	0
PMJ024		(PDU) プロジェクトマネジメントのリーダーシップ	2日	14	0	14	0
PMJ054		(PDU) プロジェクトを円滑に進めるための合意形成力強化トレーニング	2日	13	5	3	5
PMJ025		(PDU) プロジェクトマネジメントのネゴシエーション	2日	14	0	14	0
PMJ048		(PDU) プロジェクトマネジメントの契約・調達マネジメント	2日	14	0	0	14
PMJ032		(PDU) プロジェクトマネジメントの品質マネジメント	2日	14	14	0	0
PMJ068		(PDU) プロジェクトマネジメントのリスクマネジメント	2日	14	10	4	0
PMD009		(PDU) プログラムマネジメント -より価値の高いプロジェクトを提供するために-	2日	16	8	0	8
PMJ039		(PDU) プロジェクトマネージャのためのファイナンシャルマネジメント	2日	14	0	0	14

休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>


分野	コースコード	区分	コース名	日数※	PDU合計	テクニカル・プロジェクトマネジメント	リーダーシップ	ストラテジック&ビジネスマネジメント
	PMJ041		(PDU) プロジェクトマネジメントの要求マネジメント	2日	14	10	4	0
	PME701		<eラーニング>【ナビ機能付き】(PDU) ファンクションポイント法基礎	4時間	4	4	0	0
	PMJ014		(PDU) ファンクションポイント法による見積り実践トレーニング -コストマネジメント実践-	2日	12	10	0	2
	PME005		<eラーニング> (PDU) 2時間でわかるファンクションポイント法	2時間	2	2	0	0
	PMJ053	休講	(PDU) Microsoft Office Projectによるタイムマネジメント	2日	14	14	0	0
	PMJ063		(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー	2日	14	14	0	0
	PME013		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー プロジェクトとは	2時間	2	2	0	0
	PME014		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー プロジェクトの運営環境とプロジェクト・マネジャーの役割	2時間	2	2	0	0
	PME018		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー 統合マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME011		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー スコープ・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME010		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー スケジュール・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME008		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー コスト・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME019		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー 品質マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME016		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー 資源マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME009		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー コミュニケーション・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME015		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー リスク・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME017		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー 調達マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME012		<eラーニング> (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー ステークホルダー・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PMJ064		(PDU) PMBOK®ガイド第5版と第6版の差分講座 -半日でわかる第6版-	0.5日	4	4	0	0
	SPJ045		(PDU) [リーダー向け]アジャイル開発における自律型チーム運営	1日	6	4.5	1.5	0
	PMJ061		(PDU) マネージャのための1日でわかる アジャイル・プロジェクトマネジメントの効用	1日	7	4	2	1
	PMD013		(PDU) 1日でわかるPRINCE2®	1日	7	2	4	1
	PMD014		(PDU) PRINCE2®ファンデーション (認定試験付き)	3日	21	6	10	5
	PMD015		(PDU) PRINCE2®プラクティショナ (認定試験付き)	2日	14	4	5	5
ビジネス/ヒューマン								
コミュニケーション	HSE117		<eラーニング> (PDU) リーダー向け報連相	4時間	4	1	2	1
	HSJ174		(PDU) ストラクチャード・コミュニケーション -会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える-	1日	7	0	7	0
	HSJ125		(PDU) アサーティブ・コミュニケーション -職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上-	1日	6.5	0	6.5	0
マネジメント/リーダーシップ	HSJ194	Renewal	(PDU) 半日でレベルアップ! コーチング実習	0.5日	3.5	0	3.5	0
	HSJ147		(PDU) 目標達成のためのコーチング実践	2日	14	1	5	8
	HSJ148		(PDU) 会議/プロジェクトを円滑に進めるための ファシリテーション・スキル向上	2日	14	4	5	5
	HSJ195	Renewal	(PDU) 部下のパフォーマンスを高める1 on 1 ミーティングと フィードバック	1日	7.5	0	5.5	2

※eラーニングコースの日数欄には、平均学習時間を記載しています。

分野	コースコード	区分	コース名	日数※	PDU合計	テクニカル・プロジェクトマネジメント	リーダーシップ	ストラテジック&ビジネスマネジメント
戦略・マーケティング	HSE107		<eラーニング> (PDU) 知っておくべきビジネスモデルの基本 -顧客のビジネスをより理解するために-	10時間	8	0	0	8
	HSJ181		(PDU) ソリューション提案のための経営と情報戦略 -経営・事業・情報戦略のあるべき関係性-	1日	6.5	0	0	6.5
	HSJ182		(PDU) ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向 -イノベーション実現のために-	1日	6.5	0	0	6.5
アカウントティング/ファイナンス	HSE705		<eラーニング>【ナビ機能付き】(PDU) 財務諸表の基礎知識	4時間	4	3	0	1
	HSE103		<eラーニング> (PDU) よくわかるファイナンス1 -投資の判断、リスクとリターン-	4時間	3.5	0	0	3.5
	HSE104		<eラーニング> (PDU) よくわかるファイナンス2- 企業価値評価-	4時間	2.5	0	0	2.5
	HSE105		<eラーニング> (PDU) よくわかるファイナンス3 -資金調達の方法-	6時間	3.5	0	0	3.5
	HSE106		<eラーニング> (PDU) よくわかるファイナンス4 -M&A、コーポレートガバナンス、財務計画-	6時間	3.5	0	0	3.5
ビジネスセンスアップ	HSE118		<eラーニング> (PDU) よくわかるビジネス・ミクロ経済1 -経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論-	6時間	3	0	0	3
	HSE098		<eラーニング> (PDU) よくわかるビジネス・ミクロ経済2 -不完全な情報、期待効用、行動経済学-	4時間	2.5	0	0	2.5
	HSE099		<eラーニング> (PDU) よくわかるマクロ経済1 -効率性と公平性、アダムスミスとケインズ-	4時間	2.5	0	0	2.5
	HSE100		<eラーニング> (PDU) よくわかるマクロ経済2 -GDP、為替、財政-	6時間	4	0	0	4
	HSE101		<eラーニング> (PDU) よくわかるマクロ経済3 -金融政策、ハイエク、フリードマン、シュンペーター-	4時間	2.5	0	0	2.5
	HSE102		<eラーニング> (PDU) よくわかるマクロ経済4 -景気循環、経済成長、格差社会と少子高齢化-	6時間	3.5	0	0	3.5
	HSE115		<eラーニング> (PDU) 中国古典に見る指導者の条件	10時間	7	0	7	0
	HSE113		<eラーニング> (PDU) 「貞観政要」に学ぶリーダーの心得	10時間	5	0	5	0
	HSE114		<eラーニング> (PDU) 「書経」に学ぶリーダーの心得	10時間	6	0	6	0
	HSE112		<eラーニング> (PDU) 「韓非子」のリーダー学	10時間	5	0	5	0
	HSE111		<eラーニング> (PDU) 孫子の兵法を現代に役立てる方法	10時間	8	0	8	0
	HSE110		<eラーニング> (PDU) リーダーに必要な人間力 三国志から学ぶリーダー学	10時間	7	0	7	0
グローバル								
	GBE010		<eラーニング> (PDU) グローバルビジネスの基礎 -ビジネスルールと多様性- (基本セット)	4時間	4	0	2	2
	GBE023		<eラーニング> (PDU) 中国ビジネスの鉄則	10時間	7	0	0	7
	GBE024		<eラーニング> (PDU) インドビジネスの鉄則	10時間	6	0	0	6

※eラーニングコースの日数欄には、平均学習時間を記載しています。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/ VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルランス フォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバー セキュリティ
RPA
クラウド/ サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソース ソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者 試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ ヒューマン
グローバル

PMJ067	プロジェクトマネジメント
	(PDU) プロジェクト運営の勘所 (アセスメント) PDU
1日間	

PMOとしての役割や考え方、PMOによって改善されるべきことなど、事例を交えてプロジェクト運営の改善点について学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。

到達目標 PMOの役割や考え方、PMOによって改善されるべきことなど、客観的な視点でのプロジェクト改善点を修得できる。


対象者 ・PMO組織の改善を検討している方。
・客観的な視点でプロジェクト改善を検討したいと考えている方。

前提知識 「(PDU) *PMBOK*®ガイド第5版セミナー」、または「(PDU) *PMBOK*®ガイド第6版セミナー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 1. PMOの考え方とあり方
(1) PMO視点でのプロジェクトマネジメントの見方
(2) PMOとしての役割とプロジェクト対応の考え方
2. PMO視点でのプロジェクト改善点と事例
(1) プロジェクト運営の改善点
(2) PMO運営の考え方
3. PMO視点として持つべきもの(演習)
講師：日立製作所のSE部門にてPMO実務経験のある専門家が講義します。

備考 ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®、PMP®, *PMBOK*®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。
--

PMJ023	プロジェクトマネジメント
	(PDU) プロジェクトマネジメントの コミュニケーション PDU
2日間	

プロジェクトマネージャ/リーダーが必要な対人関係を強化するコミュニケーション能力について、*PMBOK*®ガイドのコミュニケーション・マネジメントをベースに、ヒアリング能力・インタビュ能力・プレゼンテーション能力などの知識とスキルを、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。


到達目標 ・コミュニケーションマネジメントの知識を説明できる。
・コミュニケーション・スキルを実践できる。

対象者 プロジェクトマネジメント業務を行う方。

前提知識 プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 1. コミュニケーションの基本
2. プロジェクトにおけるコミュニケーション
3. インタビュースキル
4. ディスカッションスキル
5. プレゼンテーションスキル
6. 全体のまとめ

備考 ・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®、PMP®, *PMBOK*®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMJ024	プロジェクトマネジメント
	(PDU) プロジェクトマネジメントの リーダーシップ PDU
2日間	

リーダーシップの基礎知識、リーダーとしてのコンピテンシー、チーム内外でのコミュニケーションの基本、チームメンバの動機付けおよび育成方法について、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。


到達目標 ・リーダーシップの基礎知識、リーダーとしてのコンピテンシーを説明できる。
・チーム内外でのコミュニケーション、チームメンバの動機付けおよび育成方法について説明できる。

対象者 プロジェクトマネジメント業務を行う方。

前提知識 プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 1. リーダシップとマネジメント
(1) プロジェクトマネジメントにおけるリーダーシップの位置づけ
(2) リーダシップ・コンピテンシー など
2. 優秀なチームをリードする
(1) チームが持つポジティブな側面とネガティブな側面
(2) グループから成功するチームへの発展 など
3. 変革への対応プロセスと倫理
(1) 行動科学とモチベーション
(2) 価値観と対人関係スタイル など
4. 倫理とリーダーシップ
(1) 変化に適応するプロセス
(2) 倫理的行動のメリット など
5. リーダシップとコーチング
(1) なぜ今プロジェクトにおいてコーチングなのか
(2) カウンセリング・コーチング・ティーチング など

備考 ・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®、PMP®, *PMBOK*®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMJ032	プロジェクトマネジメント
	(PDU) プロジェクトマネジメントの 品質マネジメント PDU
2日間	

プロジェクトにおける品質マネジメントの概念、品質計画、プロセス改善手法などプロジェクトの成功に不可欠な最先端の品質マネジメントの基礎的な知識と実践的なスキルを、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。


到達目標 ・品質マネジメントの基礎的な知識を説明できる。
・品質マネジメントの実践的なスキルを実践できる。

対象者 プロジェクトマネジメント業務を行う方。

前提知識 プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 1. 品質運動の歴史
2. 品質と品質マネジメントの基本
3. 品質計画
4. 品質管理
5. 品質保証
6. 変更管理
7. プロセス改善
8. 品質に対するコミットメント

備考 ・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®、PMP®, *PMBOK*®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMJ068	プロジェクトマネジメント
	(PDU) プロジェクトマネジメントの リスクマネジメント PDU
2日間	

プロジェクトライフサイクルの全体を通したリスク・マネジメントのプロセス、および特に重要なリスクの影響の度合いを定性的・定量的に評価する技法を、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・リスクマネジメントの理論、考え方原則を説明できる。
プロジェクトに携わる主任技師、技師の方。
「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

前提知識 情報システムの高品質化(高信頼性化)を実現するための基本的考え方、および一連の施策について学習します。


対象者 情報システムの設計・開発を行う技術者の方、品質に関連する業務に携わる方。

前提知識 ソフトウェア開発に関する基礎知識があること。ソフトウェア開発経験があることが望ましい。

内 容 1. オリエンテーション
2. システムのニーズと特徴・ソフトウェア開発上の障害
3. ソフトウェアの特徴
4. ソフトウェアの信頼性の定義
5. 信頼性向上技術
6. 実践的品質評価方法
7. プロジェクト管理における考え方
講師：日立製作所のSE部門品質保証部に品質管理実務として担当している専門家が講義します。

備考 ・このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
・このコースは、「ソフトウェア開発の品質管理と信頼性」コースの名称を変更したものです。

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

PMD009	プロジェクトマネジメント
	(PDU) プログラムマネジメント ーより価値の高いプロジェクトを 提供するためにー PDU
2日間	

プログラムマネジメントはプロジェクトマネジメントの上位概念となり、組織の戦略とプロジェクトを関連付け、個々のプロジェクトだけでは対応できないベネフィット(売上増加、品質向上など)を得るために、一連のプロジェクト群をマネジメントします。このコースでは、プロジェクトマネジメントとの違いを確認しながらプログラムマネジメントの特徴について学習します。また、戦略実現に直結するプログラムマネジメントの知識・スキル修得とプログラムマネージャとしての役割と重要なフレームワークの一部ケーススタディを使いながら学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：16ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・プログラムマネジメントのライフサイクル全般と特に重要となるステークホルダマネジメント、ベネフィットマネジメントを中心にプログラムマネージャとしての必要な知識とスキルを修得できる。
・プロジェクトマネジメントの知識を持ったプログラムマネージャとして戦略的な価値を生み出すプロフェッショナル人材のベーススキルを修得できる。

対象者 上位プロジェクト・マネージャやプログラム・マネージャの方、経営企画・戦略部門マネージャ、PMOメンバの方。
特に必要とします。

前提知識 1. プログラムマネジメントとは
2. 組織戦略とプロジェクトとの関係
3. ベネフィットの定義(ベネフィット・マップ)
4. プログラムアーキテクチャとプログラムマネジメント計画
5. プログラムマネジメントの重要成功要因
(1) プログラム・ライフサイクル
(2) 戦略との整合
(3) プログラム・ガバナンス
(4) ベネフィット・マネジメント

備考 ・このコースは、9:30～18:30の開催とさせていただきます。
・このコースは、株式会社富士ゼロックス総合研究所主催の「プログラムマネジメント」を実施するものです。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®、PMP®, *PMBOK*®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

マシン演習 マシンを使用しながらの研修	グループ演習 グループ演習を中心とした研修	レクチャ 座学による研修
------------------------	--------------------------	-----------------


演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習	eラーニング インターネット接続による自己学習	自習テキスト 自習書による自己学習
-----------------------------------	----------------------------	----------------------


休講 今期の定期開催はありません


日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/ VOSK
XDM/PDMⅡ
Hitachi Advance Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルランス フォーメーション
IT 利活用
イノベーション
IoT/AI/Lumada
ビッグデータ
データ分析
サイバー セキュリティ
RPA
クラウド/ サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
IT 基本
オープンソース ソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画
システム開発
要件定義 / 設計
モデリング
プログラミング
情報処理技術者 試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ ヒューマン
グローバル

230
マシ
グル
レク
演習
eラー
自習
休
今
コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ https://www.hitachi-ac.co.jp/
231

- 日立製品
- JP1
- uCosminex Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDMII
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- IT 利活用
- イノベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- IT サービスマネジメント
- システム基盤
- IT 基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画
- システム開発
- 要件定義/設計
- モデリング
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

PMD013	プロジェクトマネジメント
 グループ演習	(PDU) 1日でわかるPRINCE2® PDU
1日間	
<p>PRINCE2®の考え方を理解し、組織の全てのプロジェクトで使用できる共通のプロセス、役割、および用語を提供し、効率的で有効なプロジェクト管理方法を学びます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 7ポイント)の取得が可能です。</p>	
到達目標	PRINCE2®の概要を説明できる。
対象者	ITエンジニア職、若手・中堅の方でPRINCE2®の資格は不要だが、概要を知りたい方。
前提知識	特に必要としません。
内容	<ol style="list-style-type: none"> プロジェクトとは <ol style="list-style-type: none"> プロジェクトの定義 プロジェクトと通常の業務との違い プロジェクトマネジメント手法の例 プロジェクトマネジメントの課題 <ol style="list-style-type: none"> どのような課題があると考えられるか プロジェクトマネジメントでよくある課題 課題に対してPM手法がどう対応できるか PRINCE2® <ol style="list-style-type: none"> 歴史・背景 特徴 コントロールの対象 組織レベル 役割 PRINCE2®手法の流れ プロセスモデル、成果物 まとめ
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMD014	プロジェクトマネジメント
 グループ演習	(PDU) PRINCE2®ファンデーション (認定試験付き) PDU
3日間	
<p>プロジェクト管理の手法として国際的なデファクトスタンダードであるPRINCE2®を学習します。PRINCE2®の基礎知識の修得を目的としています。研修の最後にPRINCE2®ファンデーション認定試験を受験します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 21ポイント)の取得が可能です。</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> PRINCE2®の概要を理解し、PRINCE2®でのプロジェクト管理の原則を理解できる。 品質管理、リスク管理、ビジネスケースや予算、納期の範囲でプロジェクトを完了する方法を理解できる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトマネジメントに従事している方。 PRINCE2®の導入を考えている方。
前提知識	特に必要としません。
内容	<ol style="list-style-type: none"> PRINCE2®のプロジェクト管理の手法 PRINCE2®の使用と実施の意味 プロジェクトへのPRINCE2®の原則の適用 品質、リスク、および利益の管理方法 既定のビジネス・ケースや予算、納期の範囲内でプロジェクトを完了する方法 さまざまなプロジェクト環境に合わせてPRINCE2®を調整する方法
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~18:00の開催とさせていただきます。 このコースは、株式会社ITプレナースジャパン・アジアパシフィック主催の「PRINCE2®ファンデーションコース」を実施するものです。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMD015	プロジェクトマネジメント
 グループ演習	(PDU) PRINCE2®プラクティショナ (認定試験付き) PDU
2日間	
<p>PRINCE2®の考え方を理解し、組織の全てのプロジェクトで使用できる共通のプロセス、役割、および用語を提供し、効率的で有効なプロジェクト管理方法を学びます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 14ポイント)の取得が可能です。</p>	
到達目標	組織の全てのプロジェクトで使用できる共通のプロセス、役割、および用語を提供し、効率的で有効なプロジェクト管理方法を理解できる。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトマネジメントに従事している方。 PRINCE2®の導入を考えている方。
前提知識	PRINCE2®ファンデーション認定資格をお持ちの方、またはPMP®資格をお持ちの方。
内容	<ol style="list-style-type: none"> はじめに 原則、テーマ、およびプロセス ビジネスケース 組織 課題のレビュー 品質 計画 リスク 変更 進捗と試験準備ガイド プロセスを利用したテーマのレビュー
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~18:00の開催とさせていただきます。 このコースは、株式会社ITプレナースジャパン・アジアパシフィック主催の「PRINCE2®プラクティショナコース」を実施するものです。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

コンプライアンス

個人情報保護や情報セキュリティ、内部統制といった、コンプライアンス意識向上に不可欠な知識が修得できます。

● モニタリング：内部統制が有効に機能しているかを継続的に監視する

HSJ062 グループ演習

事例から学ぶ
システムトラブル対策の考え方
-高信頼性システム実現のために-

1 日間

HSJ018 グループ演習

システムトラブルの予防と是正
-ISMS・システム監査の
視点から-

2 日間

● 記録管理：内部統制の状況の確認、不正の発見、不正の抑止効果、内部統制の有効性の説明のために、企業活動を網羅的かつ正確に記録として残し管理する

音声有+説明文なし

DBE015 eラーニング

HiRDB機能解説

7 時間

DBJ092 マシン実習

HiRDBデータベース管理

2 日間

または

音声有+説明文なし

DBE305 eラーニング

【マシン演習付き】
HiRDBデータベース管理

12 時間

● セキュリティ管理：内部統制を実現するシステムが不正にアクセスされることを防止・抑止するためのセキュリティを管理する

音声なし+説明文有

SCE708 eラーニング

【ナビ機能付き】
情報セキュリティリテラシー
-セキュリティの必要性と対策-

初心者におすすめ

4 時間

音声なし+説明文有

SCE706 eラーニング

【ナビ機能付き】
情報セキュリティマネジメント概説
-セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-

8 時間

音声なし+説明文有

SCE703 eラーニング

【ナビ機能付き】
情報技術者に求められるセキュリティの基礎
-要素技術(暗号、認証)編-

6 時間

音声有+説明文有：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

● システム運用管理：内部統制を実現する各システムが正しく導入・運用されることを保証するために管理する

<p>Renewal</p> <p>JPJ279 マシン実習</p> <p>JP 1 プロフェッショナル 統合管理1-システム監視-</p> <p>2日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ280/JPJ280T マシン実習</p> <p>JP 1 プロフェッショナル 統合管理2-システム設定-</p> <p>2日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ281/JPJ281T マシン実習</p> <p>JP 1 プロフェッショナル 統合管理セットコース</p> <p>4日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ282/JPJ282T マシン実習</p> <p>JP 1 プロフェッショナル パフォーマンス管理</p> <p>2日間</p>
<p>Renewal</p> <p>JPJ291 マシン実習</p> <p>JP 1 プロフェッショナル 資産・配布管理1-資産管理編-</p> <p>1日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ292 マシン実習</p> <p>JP 1 プロフェッショナル 資産・配布管理2-セキュリティ管理編-</p> <p>1日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ293/JPJ293T マシン実習</p> <p>JP 1 プロフェッショナル 資産・配布管理3-配布管理編-</p> <p>1日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ294/JPJ294T マシン実習</p> <p>JP 1 プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース</p> <p>3日間</p>
<p>Renewal</p> <p>JPJ295/JPJ295T マシン実習</p> <p>JP 1 プロフェッショナル セキュリティ管理</p> <p>1日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ296/JPJ296T レクチャ</p> <p>JP 1 コンサルタント 統合管理</p> <p>1日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ297/JPJ297T レクチャ</p> <p>JP 1 コンサルタント パフォーマンス管理</p> <p>1日間</p>	<p>Renewal</p> <p>JPJ300/JPJ300T レクチャ</p> <p>JP 1 コンサルタント 資産・配布管理</p> <p>1日間</p>
<p>音声なし、説明文有</p> <p>ITE701 eラーニング</p> <p>【ナビ機能付き】 運用管理概説</p> <p>初心者におすすめ 6時間</p>	<p>ITJ008 グループ演習</p> <p>情報システム運用入門 -運用からITサービスへ-</p> <p>1日間</p>	<p>ITJ009 グループ演習</p> <p>IT運用における ヒューマンエラー予防</p> <p>1日間</p>	<p>音声なし、説明文有</p> <p>ITE006 eラーニング</p> <p>SLAにおける サービスレベル設計の基礎</p> <p>4時間</p>
<p>ITJ004 グループ演習</p> <p>システム運用の現状分析・ 設計力養成ワークショップ</p> <p>2日間</p>	<p>PDU</p> <p>ITJ012 レクチャ</p> <p>(PDU) ITIL® ファンデーション (認定試験付)</p> <p>3日間</p>	<p>Renewal</p> <p>CLD001 グループ演習</p> <p>事業と技術の観点から検討 するクラウドへの移行と管理 - Cloud Essentials -</p> <p>2日間</p>	

音声有 + 説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有 + 説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし、説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修	グループ演習 グループ演習を中心とした研修	レクチャ 座学による研修	演習環境 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習	eラーニング インターネット接続による自己学習	自己テキスト 自習書による自己学習
------------------------	--------------------------	-----------------	----------------------------------	----------------------------	----------------------

HSJ062 コンプライアンス

事例から学ぶ システムトラブル対策の考え方 -高信頼性システム実現のために-

1日間

情報化社会におけるコンピュータシステムは、組織や社会のインフラを支えるという極めて重要な役割を担っています。これらのシステムに障害が発生すると、ビジネスに与える影響は非常に大きなものとなるため、今日の情報システムには高い信頼性と安全性が求められています。システムトラブル対策の実践的知識を学習します。IT技術者が開発段階や運用段階で実施すべきトラブル対策のポイント、解説とグループ演習を通して学習します。

到達目標

- システムトラブル発生状況とその対策実施状況を確認できる。
- 開発段階と運用段階で留意すべきトラブル対策のポイントを理解できる。
- システムトラブルマネジメントシステムの構築手順を理解できる。

対象者

プロジェクトマネージャ、システム開発担当者、システム運用担当者の方、システム品質管理担当者、ISMS導入担当者、内部監査担当者の方。

前提知識

情報化に関する基礎知識があること。

内容

- 今なぜシステムトラブル対策なのか
 - システムトラブル統計情報
 - トラブル防止に向けた取り組み
- 開発段階で実施するトラブル対策
 - 開発段階における留意事項
 - 開発段階での対策提言
- 運用段階で実施するトラブル対策
 - 運用段階における留意事項
 - 運用段階での対策提言
- システムトラブルをマネジメントする
 - トラブル情報の収集とその活用
 - 原因分析と対策立案
- まとめ

講師：前橋システムコンサルティング株式会社 代表取締役 前橋 雅夫氏（公認システム監査人）

備考

- このコースは、9:30～16:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ018 コンプライアンス

システムトラブルの予防と是正 -ISMS・システム監査の視点から-

2日間

情報システムの開発業務や運用業務で発生したトラブル事例を、予防処置と是正処置の観点から分析し、自らの職場において同様のトラブルを引き起こさないようにするためには何をすべきか、その対策ポイントについて研究・学習します。

到達目標

- 情報システムの開発業務や運用業務でトラブルを引き起こさないための対策ポイントを説明できる。
- システムトラブルの原因分析ならびに対策立案の手法を説明できる。
- ケーススタディ演習において、システムトラブルの原因分析ならびに対策方法を立案できる。

対象者

ISMS導入を担当する方、ISMS内部監査人、プロジェクトマネージャ、システム開発・運用を担当する方。

前提知識

情報化に関する基礎知識があること。

内容

- 今なぜシステムトラブルの予防と是正なのか
 - 情報セキュリティ対策の実施状況
 - システムトラブルの発生状況ほか
- 情報セキュリティ概論
 - 情報資産とは
 - 脅威と脆弱性ほか
- システムトラブルを未然に防止する
 - 物理的な事前対策
 - 技術的な事前対策
 - 管理的な事前対策
 - システム監査によるトラブル防止ほか
- システムトラブルの再発を防止する
 - セキュリティ事件・事故への対処
 - システムトラブル報告書
 - ヒューマンファクタ分析ほか
- まとめ
 - 危機管理の鉄則

講師：前橋システムコンサルティング株式会社 代表取締役 前橋 雅夫氏（公認システム監査人）

備考

- このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

休講 休講
今期の定期開催はありません

ビジネス/ヒューマン

仕事を進めるうえで必要となるスキル(ロジカルシンキング、コミュニケーション、ライティング、リーダーシップ、業務知識など)が修得できます。

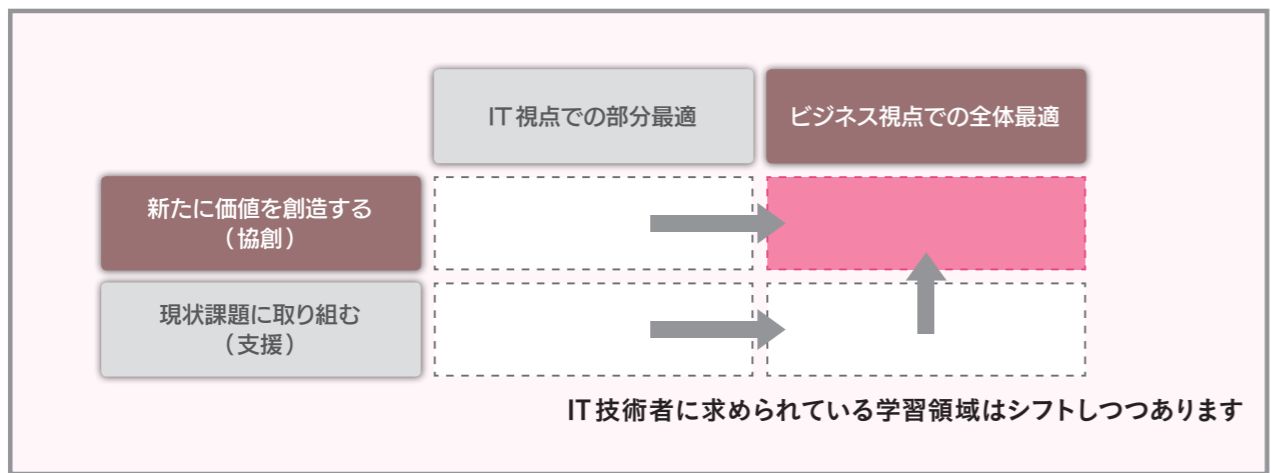
ビジネススキル修得のための推奨講座体系～変化の激しい時代を生き抜くために～

今後、IT技術者は何を学ぶべきか

ITが融合した市場・社会でのパラダイムシフトに企業が応えるためには、企業活動とITとの融合を継続的に進化(深化)させていく必要があります。ビジネスプロセス=ITシステムという現在、IT部門・技術者は「ITシステムを作るだけの人」で良いのでしょうか。ITがビジネスのあらゆる場面を支えるインフラとなり、ユーザー部門がIT部門・技術者に期待する関わり方は、「支援」ではなく「一体」に、そして「結果の共有」まで、全工程をマネジメントすることが求められるようになりました。

また、経営戦略の具現化・課題解決のために、ITの知見を軸としながらも、ITのみの視点にとどまらず、ビジネスの視点で全体最適な解決策を提案することが期待されています。

ITという技術を社会やビジネスで役立たせるには、「現実の場」とITを結びつけ、協創することが不可欠です。ビジネス推進と一体となって、ビジネスでの結果の共有を実践するために、IT技術者は使命の拡大に合わせて学習の領域を広げていくことが望まれています。



確実なスキルアップを促す講座体系の特長

上記のような要請を踏まえ日立講習会では、システム計画系やプロジェクトマネジメント系の講座体系に、ビジネススキル系のコースを追加し、段階的に拡充を図って参りました。

ビジネススキルの修得は「なかなか効果が見えないもの」といわれます。

そこで日立講習会では、日立グループ向けのビジネス教育のノウハウを活用し、最短期間で修得できるよう、各項目の最終的な到達レベルを定義したうえで、その修得までに最適な時間を導き出しています。また、修得内容に一貫性を持たせつつ、必要最小限の項目で構成しています。

講座体系を活用したコースの選び方

次ページの講座体系では、ビジネス推進のスキルとして欠かせない四分野(問題解決、人・組織・リーダーシップ、戦略・マーケティング・セールス、財務)を縦軸に採り、横軸にレベル感や難易度を表現しました。お客様内での階層別育成の実施状況や、対象者の方の経験年数・業務経験・職位と照らし合わせて、コースをご検討ください。

また、P.242以降では、ビジネススキルの講座群を目的別のコースフローで掲載しています。こちらでは、今必要なスキル修得に最適なコース選択のために、「速引き」でコースを見つけていただけるように整理しました。

実績豊富な日立講習会のビジネス/ヒューマン講座をご活用いただければ幸いです。

問題解決能力修得の共通ステップ	ビジネスの問題解決の基本を理解し、意識を高める	各自のビジネスにおける問題解決を実行する	先の見えない困難な状況下でも合理的な解を立案し、組織を導く	
レベル	入門	基礎	応用・中級	上級
問題解決	HSJ116 / 2日間 ロジカルシンキング基礎 ー論理の可視化と論理チェックのポイントー	HSJ170 / 2日間 イノベティブ思考ー単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかたー	問題解決のための コンセプチュアル総合コース	
ライティング	HSE070 / 8時間 eL 文書作成力向上 トレーニング	HSJ161 / 1日間 文書作成力向上 トレーニング(演習編)	HSE064 / 4時間 eL ロジカルライティング (基礎知識編)	HSJ160 / 1日間 ロジカルライティング (演習編)
プレゼンテーション	HSJ154 / 2日間 ロジカルプレゼンテーション基礎			
意思決定	HSE072 / 4時間 eL 意思決定のスキル ー合理と心理を理解したうえでの意思決定ー		HSJ137 / 1日間 意思決定のスキルIIーディジ マンマネジメントを実践するためにー	
交渉	HSE711 / 4時間 eL [ナビ機能付き] 協創を 生み出す交渉(基礎知識編)	HSJ145 / 1日間 協創を生み出す交渉 (基礎演習編)	HSJ146 / 1.5日間 協創を生み出す交渉 (実践演習編)	HSJ185 / 1日間 行動経済学を応用したパース エイション(読得)の スキルーハード交渉術を越えてー
コミュニケーション	HSE049 / 8時間 eL ビジネススキル基礎	HSJ124 / 1日間 リスニング力を高めるこ ミュニケーションスキルア ヅップ ー現場に活かせる建設的 コミュニケーションスキル の向上ー	コミュニケーション系総合 コース (各人・各組織の価値観や、 非言語部分までを含んだ、 「人の情念の変容に踏み込 む総合的ファシリテーショ ン講座」)	
人・組織・リーダーシップ	HSJ126 / 1日間 報連相のためのビジネス コミュニケーション基礎	HSJ127 / 2日間 情報を整理して伝えるこ ミュニケーション 技法ーロコス・バリス・ イトスを高めるー	HSJ125 / 1日間 (PDU)アサーティブ・こ ミュニケーション ー現場に活かせる建設 的コミュニケーション スキルの向上ー	
マネジメント/リーダーシップ	HSJ079 / 1日間 コーチング基礎	HSJ195 / 1日間 (PDU)部下のパフォー マンスを高める 1 on 1 ミーティングと フィードバック	HSJ147 / 2日間 (PDU)目標達成のため の コーチング実践	
	HSJ114 / 1日間 リーダシップの原理・ 原則	HSJ194 / 0.5日間 (PDU)半日でレベルア ヅップ! コーチング実習		
	HSJ187 / 1日間 共に勝つ人生戦略 ウィ ナーシップ研修 ービジネスパーソンとし て「本気づくり」に挑 戦するー		HSJ196 / 1日間 リーダのためのマイン ドフルネス基礎 ー成果発揮へのセルフ リーダシップとマイン ドフルー	
戦略・マーケティング・セールス			戦略基礎理論と応用	
戦略		戦略的思考基礎 (コンサルタントの 顧客対応ノウハウを学 ぶ)	HSJ182 / 1日間 (PDU)ITビジネスにお ける戦略の基本と 最新動向ーイノベー ション実現のためにー	
マーケティング			マーケティング基礎理 論と応用	
セールス		HSJ180 / 1日間 顧客協創を促すディス カッション ペーパーの作成・活用 の仕方		
財務	HSE709 / 8時間 eL [ナビ機能付き] WHY で学ぶ アカウンティング(基 礎知識編)			財務系総合コース
ファイナンス				

□ : 順次提供予定コース eL: eラーニング

確実なスキルアップを促す4つの講座群

問題解決スキル

ビジネスパーソンが修得すべき論理的思考をベースとした問題解決のためのスキルを身につけることができます。

戦略・マーケティング・セールススキル

顧客の環境変化や顧客との協創を考え、ビジネスアイデアを創造するスキルを修得できます。

人・組織・リーダーシップスキル

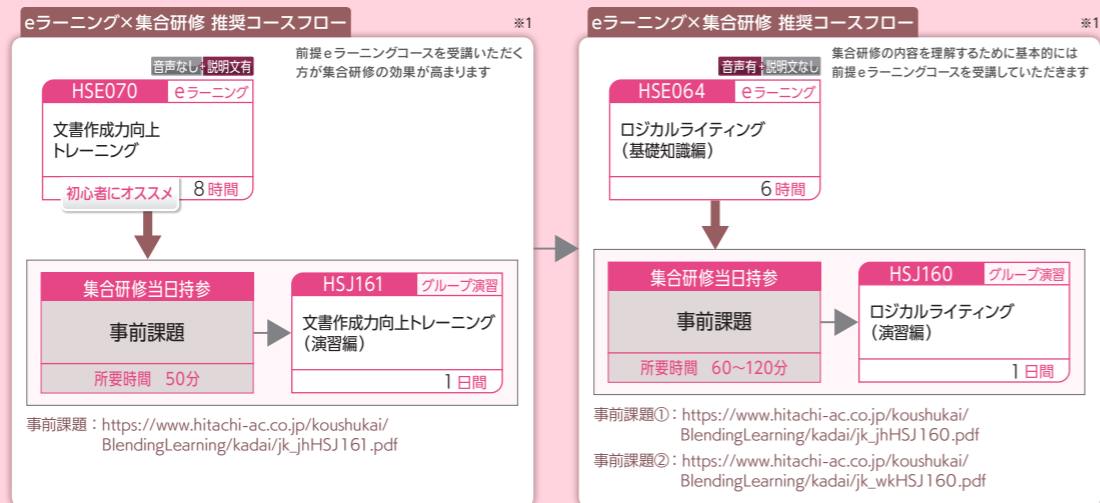
個人と組織が連携していくための真の対人能力を身につけ、「組織マネジメント」と「変革のリーダーシップ」を修得できます。

財務スキル

アカウンティングの本質から、連結経営、ファイナンス、経営分析を用いた経営改革のスキルを修得できます。

● 文書作成、プレゼンテーション力を高めたい方

文書作成の基本を押さえたい/押さえさせたい



指導・添削のポイントを知りたい

HSJ153 グループ演習
リーダー向け「文書添削と指導法」
1 日間

社内成果報告論文を書く

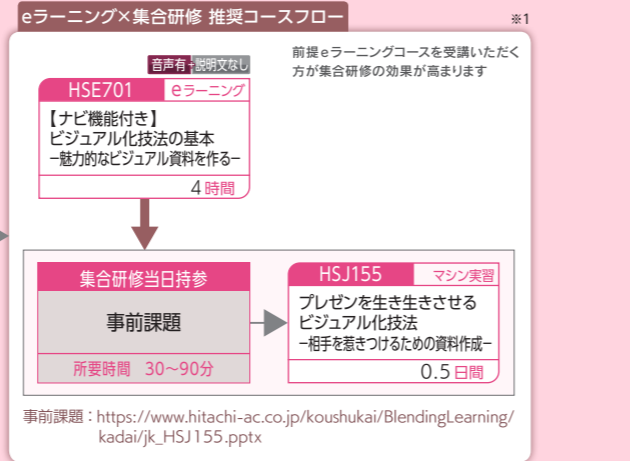
〈オーダー研修〉社内成果報告論文の書き方
〈オーダー研修〉成果報告論文向けプレゼンテーション研修
〈オーダー研修〉ご希望に応じて個別開催いたします。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

プレゼンテーションの準備プロセスを知りたい

HSJ154 グループ演習
ロジカルプレゼンテーション基礎
2 日間

Renewal **HSE127** eラーニング
ロジカルプレゼンテーション基礎 -レクチャ編-
8 時間

資料のデザインのポイントを知りたい

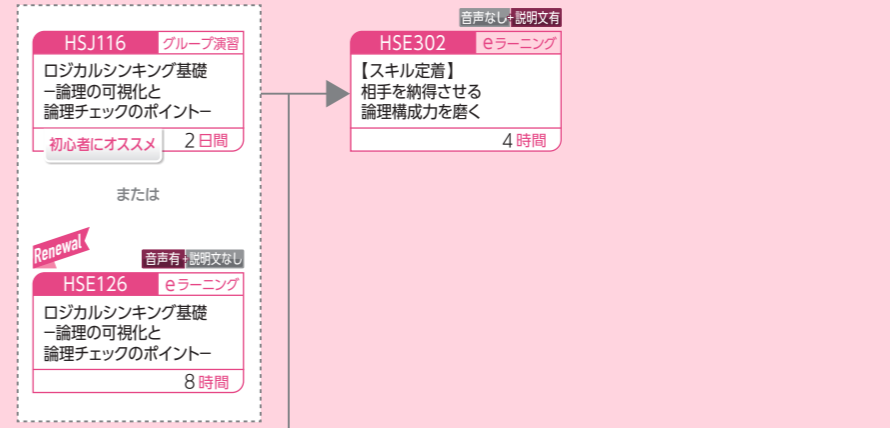


グローバルビジネスシーン

GBD001 グループ演習
情理と論理のグローバルコミュニケーション
-日本文化に敬意、人間力で考える戦略思考-
1 日間

● 論理的思考、問題発見・解決能力、発想力を高めたい方

問題解決のプロセス、論理的思考の技法を知りたい



論理的にアイデアを発想する手順を知りたい

HSE037 eラーニング
TRIZで学ぶ発想のパターン -科学的強制発想法-
4 時間

HSE066 eラーニング
思考技法の概要
4 時間

イノベティブに新しいことを考え出す必要性・考え方を知りたい

HSJ163 グループ演習
クリエイティブシンキング
1 日間

イノベティブな問題解決の場合の手順、思考技法を知りたい

HSJ170 グループ演習
イノベティブ思考
-単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせが-
2 日間

相互に関連する要因から成る問題の可視化を知りたい

HSJ157 グループ演習
システムシンキング基礎
-問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化する-
2 日間

問題解決の適用シーンを拡大するために、チーム・組織などのさまざまな立場(視座)で問題を捉えます

シーン別学習

戦略マップ/KPIツリーを作成することに応用する

PDU **HSJ181** グループ演習
(PDU)ソリューション提案のための経営と情報戦略-経営・事業・情報戦略のあるべき関係性-
1 日間

音声有+説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必要となります。

音声なし+説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者にオススメ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDMII
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- IT活用
- イノベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- IT基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画
- システム開発
- 要件定義/設計
- モデリング
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

プレゼンテーションの構成づくりに応用する

HSJ154 グループ演習
ロジカルプレゼンテーション基礎
2日間

Renewal
HSE127 eラーニング
ロジカルプレゼンテーション基礎
-レクチャ編-
8時間

文書構成に応用する

eラーニング×集合研修 推奨コースフロー ※1

集合研修の内容を理解するために基本的には前提eラーニングコースを受講していただきます

HSE064 eラーニング
ロジカルライティング(基礎知識編)
6時間

事前課題
所要時間 60~120分

HSJ160 グループ演習
ロジカルライティング(演習編)
1日間

事前課題①: https://www.hitachi-ac.co.jp/koushukai/BlendingLearning/kadai/jk_jhHSJ160.pdf
事前課題②: https://www.hitachi-ac.co.jp/koushukai/BlendingLearning/kadai/jk_wkHSJ160.pdf

意思決定に応用する

HSE036 eラーニング
QFD(品質機能展開)で学ぶマトリクス表の上手な使い方
-マトリクス表を使って「決める」を考える-
4時間

HSE072 eラーニング
意思決定のスキル
-合理と心理を理解したうえでの意思決定-
4時間

HSJ137 グループ演習
意思決定のスキルII
-ディシジョンマネジメントを実践するために-
1日間

テストケースの作成に応用する

eラーニング×集合研修 推奨コースフロー ※2

SPE016 eラーニング
実践! テストケース設計(テスト技法演習編)
8時間

SPJ051 マシン実習
実践! テストケース設計(テスト設計実践編)
1日間

ニーズ分析に応用する

SPJ037 グループ演習
システムのニーズ分析
2日間

仮説をもとに顧客と検証する

HSJ180 グループ演習
顧客協創を促すディスカッションペーパーの作成・活用の仕方
1日間

※1: 必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。集合研修は事前課題に取り組むことが前提となります。

※2: 必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。

音声有+説明有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

マシン実習: マシンを使用しながらの研修
グループ演習: グループ演習を中心とした研修
レクチャ: 座学による研修
演習環境: 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習
eラーニング: インターネット接続による自己学習
自己テキスト: 自己学習による自己学習

サービスマインドを高めたい方

HSJ152 グループ演習
SEのためのサービスマインド醸成-顧客対応の質を高め、他社と差別化を図る-
1日間

社会人としての基本動作を身につけたい方

HSE049 eラーニング
ビジネススキル基礎
初心者におススメ 8時間

HSJ126 グループ演習
報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎
初心者におススメ 1日間

HSE070 eラーニング
文書作成力向上トレーニング
初心者におススメ 8時間

Renewal
HSE123 eラーニング
報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎
-レクチャ編-
4時間

コミュニケーションスキルを高めたい方

【コミュニケーションスキルの基礎】

HSJ116 グループ演習
ロジカルシンキング基礎
-論理の可視化と論理チェックのポイント-
初心者におススメ 2日間

または

Renewal
HSE126 eラーニング
ロジカルシンキング基礎
-論理の可視化と論理チェックのポイント-
8時間

HSJ127 グループ演習
情報を整理して伝えるコミュニケーション技法
-ロゴス・パトス・エトスを高める-
2日間

HSE117 eラーニング
(PDU)リーダ向け報連相
4時間

HSJ124 グループ演習
リスニング力を高めるコミュニケーションスキルアップ-職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上-
1日間

Renewal
HSE124 eラーニング
リスニング力を高めるコミュニケーションスキルアップ
-レクチャ編-
4時間

Renewal
HSE125 eラーニング
アサーティブ・コミュニケーション
-レクチャ編-
4時間

PDU
HSJ125 グループ演習
(PDU)アサーティブ・コミュニケーション-職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上-
1日間

HSJ126 グループ演習
報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎
初心者におススメ 1日間

HSJ154 グループ演習
ロジカルプレゼンテーション基礎
2日間

New
HSJ197 グループ演習
自分を知り他者を知るコミュニケーションマネジメント
-DISCモデルによる-
2日間

Renewal
HSE123 eラーニング
報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎
-レクチャ編-
4時間

Renewal
HSE127 eラーニング
ロジカルプレゼンテーション基礎
-レクチャ編-
8時間

PDU
HSJ174 グループ演習
(PDU)ストラクチャード・コミュニケーション-会議を空戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える-
1日間

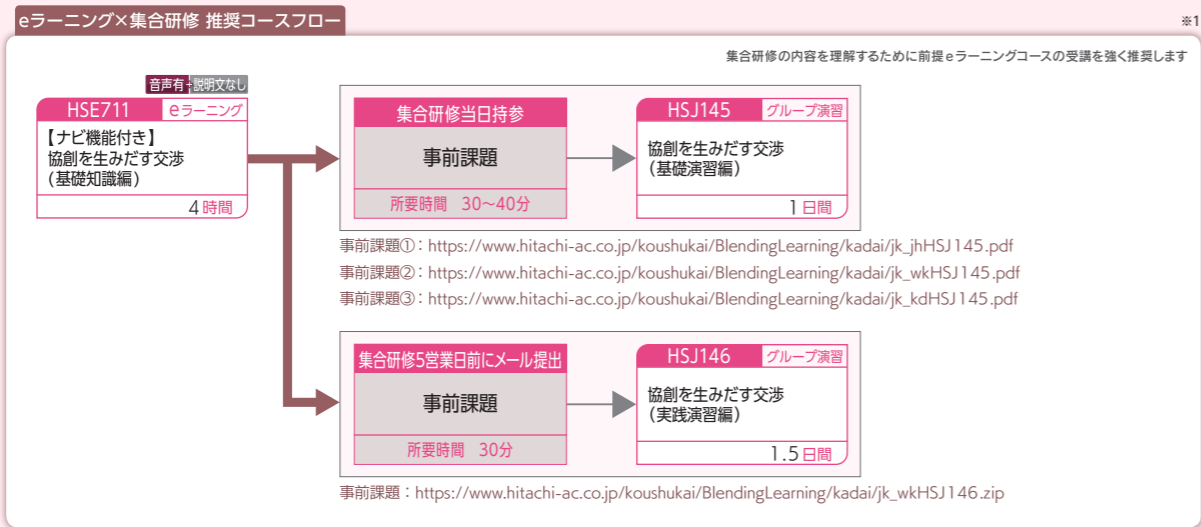
HSJ188 レクチャ
わたしを活かすキャリアデザイン
-人生100年時代のキャリアを考える-
1日間

休講: 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

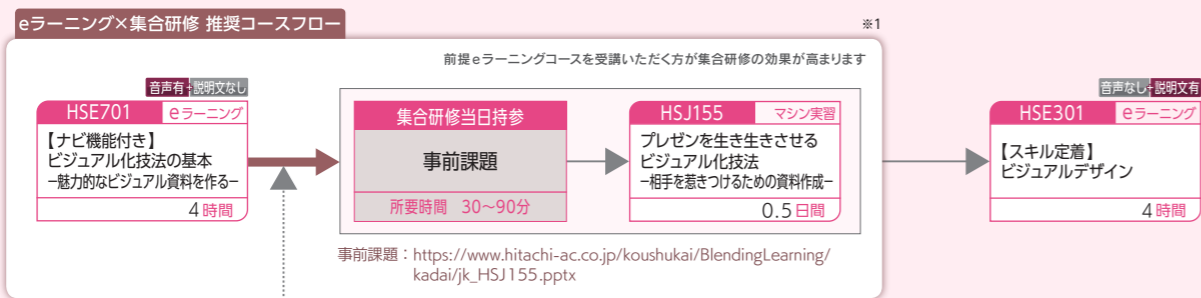
- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDMII
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- IT活用
- イノベーション
- IoT/AI/Lumada
- ビッグデータ
- データ分析
- サイバーセキュリティ
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- IT基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画
- システム開発
- 要件定義/設計
- モデリング
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

● ネゴシエーションスキルを高めたい方



HSJ185 グループ演習
 行動経済学を応用したパース
 エイション(説得)のスキル
 -ハード交渉術を越えて-

● ビジュアルデザインの基本スキルを身につけたい方



HSE708 eラーニング
 【ナビ機能付き】
 グラフィックトレーニング
 -思考を図解で強化する-

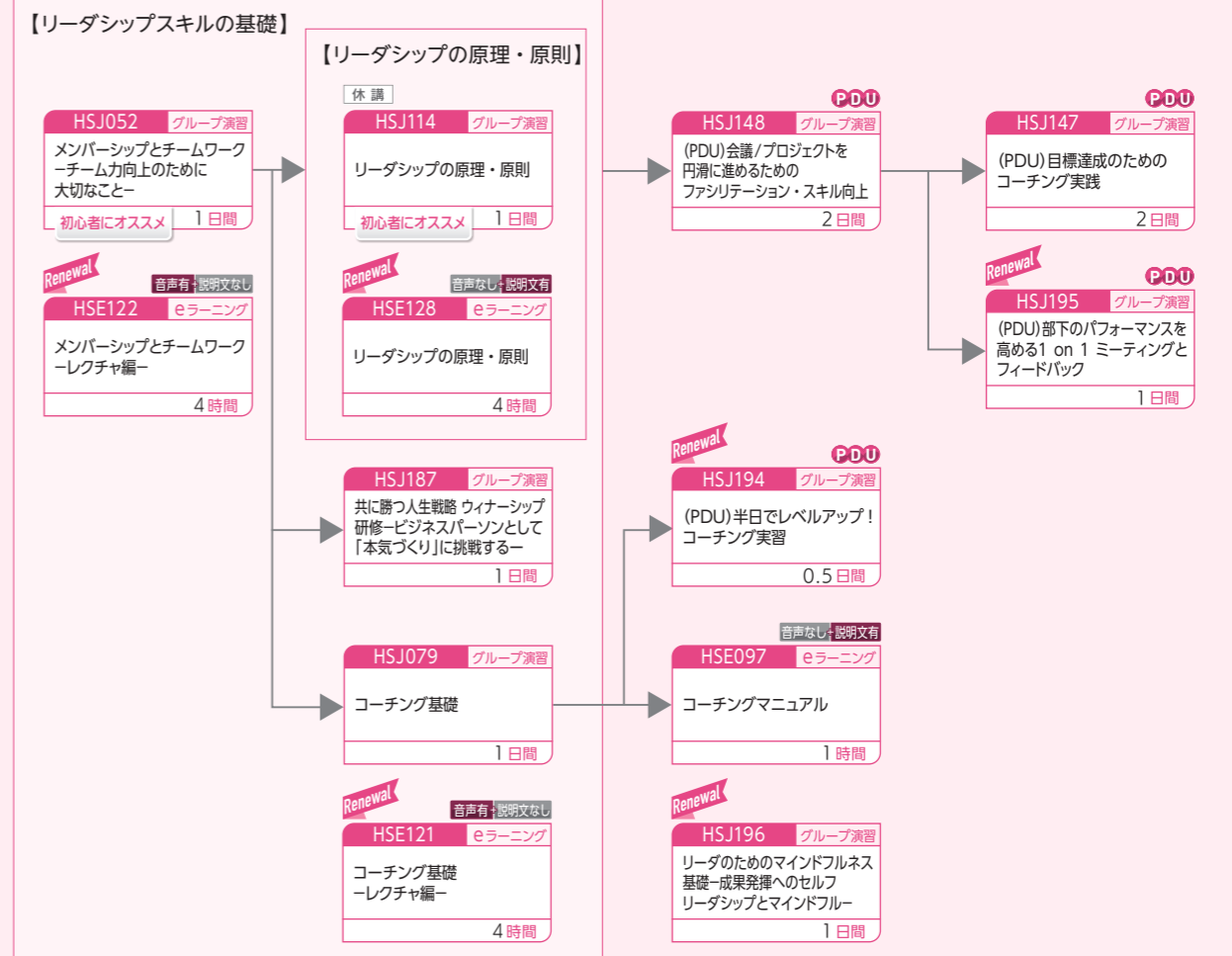
※1: 必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。集合研修は事前課題に取り組むことが前提となります。

- 音声有・説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

● リーダシップ能力を向上し、チームをマネジメントしたい方



● 事業、マーケティング戦略、セールスを学びたい方

※2

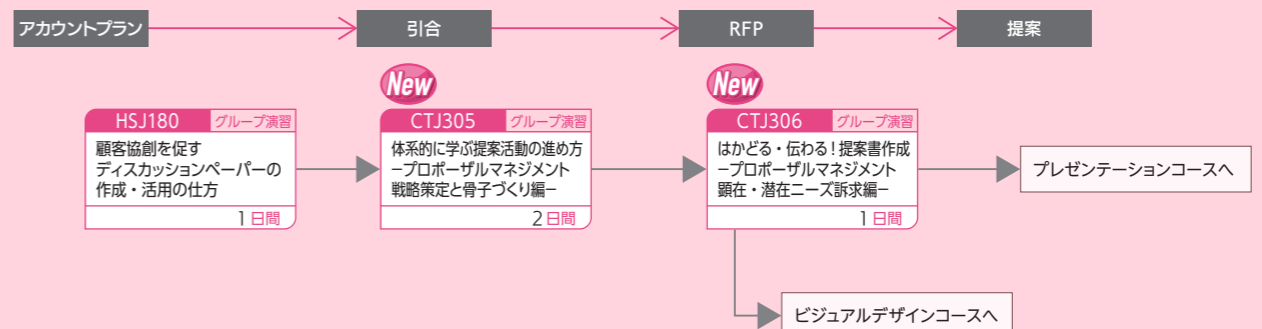
HSE107 eラーニング (PDU)
 (PDU)知っておくべき
 ビジネスモデルの基本
 -顧客のビジネスをより理解するために-

HSJ181 グループ演習 (PDU)
 (PDU)ソリューション提案の
 ための経営と情報戦略-経営・
 事業・情報戦略のあるべき関係性-

HSJ182 グループ演習 (PDU)
 (PDU)ITビジネスにおける
 戦略の基本と最新動向
 -イノベーション実現のために-

※2: SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

《フロント営業活動のプロセスに添った学習フロー》



休講 休講 今期の定期開催はありません

● アカウンティングに関するスキルを高めたい方

<p>音声なし、説明文有 eラーニング</p> <p>HSE709</p> <p>【ナビ機能付き】 WHYで学ぶアカウンティング (基礎知識編)</p> <p>初心者におすすめ 8時間</p>	<p>音声なし、説明文有 eラーニング</p> <p>HSE710</p> <p>【ナビ機能付き】 業務に活かす簿記入門</p> <p>初心者におすすめ 8時間</p>	<p>音声なし、説明文有 PDU eラーニング</p> <p>HSE705</p> <p>【ナビ機能付き】 (PDU)財務諸表の基礎知識</p> <p>初心者におすすめ 4時間</p>
---	---	---

● 中国古典を通して経営人間学を学びたい方

<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE115</p> <p>(PDU) 中国古典に見る 指導者の条件</p> <p>10時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE113</p> <p>(PDU) 「貞観政要」に学ぶ リーダーの心得</p> <p>10時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE114</p> <p>(PDU) 「書経」に学ぶリーダーの心得</p> <p>10時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE112</p> <p>(PDU) 「韓非子」のリーダー学</p> <p>10時間</p>
<p>音声有、説明文なし ※2 eラーニング</p> <p>HSE109</p> <p>経世済民の哲学としての 朱子学</p> <p>10時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE111</p> <p>(PDU) 孫子の兵法を 現代に役立てる方法</p> <p>10時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE110</p> <p>(PDU) リーダーに必要な人間力 三国志から学ぶリーダー学</p> <p>10時間</p>	

※2：SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

● ビジネス教養を身につけたい方

<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE118</p> <p>(PDU)よくわかるビジネス・ミクロ 経済 1-経済学の思考、費用分析、 市場経済、ゲーム理論-</p> <p>6時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE098</p> <p>(PDU)よくわかるビジネス・ミクロ 経済 2-不完全な情報、期待効用、 行動経済学-</p> <p>4時間</p>		
<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE099</p> <p>(PDU)よくわかるマクロ経済 1 -効率性と公平性、アダムスミス とケインズ-</p> <p>4時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE100</p> <p>(PDU)よくわかるマクロ経済 2 -GDP、為替、財政-</p> <p>6時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE101</p> <p>(PDU)よくわかるマクロ経済 3 -金融政策、ハイエク、フリードマン、 シュンペーター-</p> <p>4時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU eラーニング</p> <p>HSE102</p> <p>(PDU)よくわかるマクロ経済 4 -景気循環、経済成長、格差社会 と少子高齢化-</p> <p>6時間</p>
<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE103</p> <p>(PDU)よくわかるファイナンス 1 -投資の判断、リスクとリターン-</p> <p>4時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE104</p> <p>(PDU)よくわかるファイナンス 2 -企業価値評価-</p> <p>4時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>HSE105</p> <p>(PDU)よくわかるファイナンス 3 -資金調達の方法-</p> <p>6時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU eラーニング</p> <p>HSE106</p> <p>(PDU)よくわかるファイナンス 4 -M&A、コーポレートガバナンス、 財務計画-</p> <p>6時間</p>
<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>GBE023</p> <p>(PDU)中国ビジネスの鉄則</p> <p>10時間</p>	<p>音声有、説明文なし PDU ※2 eラーニング</p> <p>GBE024</p> <p>(PDU)インドビジネスの鉄則</p> <p>10時間</p>		

※2：SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

音声有、説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有、説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし、説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

● 英語力を高めたい方

<p>休講 音声有、説明文なし eラーニング</p> <p>HSE006</p> <p>TOEIC® TEST 完全達成 470</p> <p>初心者におすすめ 40時間</p>	<p>休講 音声有、説明文なし eラーニング</p> <p>HSE007</p> <p>TOEIC® TEST 完全達成 650</p> <p>40時間</p>	<p>休講 音声有、説明文なし eラーニング</p> <p>HSE008</p> <p>TOEIC® TEST 完全達成 730</p> <p>40時間</p>
--	---	---

休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
<p>HIRDB</p>
<p>OpenTP1</p> VOS3/VOS1/VOSK
<p>XDM/PDMⅡ</p> Hitachi Advanced Data Binder
<p>日立ストレージ</p>
<p>Pentaho</p>
<p>デジタルトランスフォーメーション</p>
<p>IT 利活用</p>
<p>インバーション</p>
<p>IoT/AI/Lumada</p>
<p>ビッグデータ</p>
<p>データ分析</p> サイバーセキュリティ
<p>RPA</p>
<p>クラウド / サーバ仮想化</p>
<p>IT サービス マネジメント</p>
<p>システム基盤</p>
<p>IT 基本</p>
<p>オープンソース ソフトウェア(OSS)</p>
<p>Linux</p>
<p>Microsoft</p>
<p>ネットワーク</p>
<p>ハードウェア</p>
<p>セキュリティ</p>
<p>データベース</p>
<p>IT 戦略・IS 企画</p>
<p>システム開発</p>
<p>要件定義 / 設計</p>
<p>モデリング</p>
<p>プログラミング</p>
<p>情報処理技術者 試験対策</p>
<p>ITリテラシ</p>
<p>プロジェクト マネジメント</p>
<p>コンプライアンス</p>
<p>ビジネス / ヒューマン</p>
<p>グローバル</p>

HSJ126	コミュニケーション
<div><div><div><div><div></div><div>グループ演習</div></div></div><div><div><div></div><div>レポート</div></div><div><div></div><div>レクチャ</div></div></div></div></div> <div><eラーニング> 報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎</div> <div>1日間</div>	
<div><div><div><div><div></div><div>社会人として身につけたい報連相（報告・連絡・相談）の重要性を、グループによる論議やロールプレイを行うことで学習します。</div></div></div></div></div>	
到達目標	・効率的な伝え方に必要なスキルを高められる。 ・報連相の重要なポイントをふまえ、質の高いアウトプットで仕事ができる。
対象者	新入社員、または若手社員の方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. 報連相の基本ポイント （1）なぜ報連相が必要なのかーPDCAサイクル （2）報連相とは （3）仕事における報連相のサイクル （4）報告 （5）連絡 （6）相談 2. コミュニケーションの基本とポイント （1）コミュニケーションとは何か （2）コミュニケーションの手段 （3）職場で求められるコミュニケーション能力 （4）仕事に対する基本姿勢 （5）言語と非言語コミュニケーション 3. 話し方 （1）ONEWAYでなくTWOWAYを心がける （2）話し方のポイント （3）話す技術 4. 聴き方 （1）聴き方のポイント （2）聴く技術 （3）良い聴き手となるために （4）質問
備 考	・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

マシン演習	マシンを使用しながらの研修
グループ演習	グループ演習を中心とした研修
レクチャ	座学による研修

演習環境	職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習
eラーニング	インターネット接続による自己学習
自習テキスト	自習書による自己学習

HSE123	コミュニケーション
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>レポート</div></div><div><div></div><div>レクチャ</div></div></div></div></div> <div><eラーニング> 報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎 ーレクチャ編ー</div> <div>4時間</div>	
<div><div><div><div><div></div><div>社会人として身につけたい報連相（報告・連絡・相談）の重要性を理解します。このコースは演習を含みません。演習を通して理解を深めたい方は、集合研修「報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎」コースの受講をお薦めします。</div></div></div></div></div>	
到達目標	・効率的な伝え方に必要なスキルを高められる。 ・報連相の重要なポイントをふまえ、質の高いアウトプットで仕事ができる。
対象者	新入社員、または若手社員の方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. 報連相の基本とポイント （1）なぜ報連相が必要なのか -PDCAサイクル （2）報連相とは （3）仕事における報連相のサイクル （4）報告 （5）連絡 （6）相談 2. コミュニケーションの基本とポイント （1）コミュニケーションとは何か （2）コミュニケーションの手段 （3）職場で求められるコミュニケーション能力 （4）仕事に対する基本姿勢 （5）言語と非言語コミュニケーション 3. 話し方 （1）ONEWAYでなくTWOWAYを心がける （2）話し方のポイント （3）話す技術 4. 聴き方 （1）聴き方のポイント （2）聴く技術 （3）良い聴き手となるために （4）質問
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

マシン演習	マシンを使用しながらの研修
グループ演習	グループ演習を中心とした研修
レクチャ	座学による研修

演習環境	職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習
eラーニング	インターネット接続による自己学習
自習テキスト	自習書による自己学習

HSJ127	コミュニケーション
<div><div><div><div><div></div><div>グループ演習</div></div></div><div><div><div></div><div>レポート</div></div><div><div></div><div>レクチャ</div></div></div></div></div> <div>情報を整理して伝えるコミュニケーション技法</div> <div>2日間</div>	
<div><div><div><div><div></div><div>論理的なコミュニケーションをとるための手法を、演習を通して学習します。</div></div></div></div></div>	
到達目標	・伝えたい情報を論理的に整理することができる。 ・状況や相手に合わせたコミュニケーションができる。
対象者	コミュニケーション力を高めたい方。
前提知識	「ロジカルシンキング基礎―論理の可視化と論理チェックのポイント―」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. ロジカルコミュニケーションの必要性 2. 情報の分析・整理法 3. 分かりやすく伝えるために 4. ロジカルコミュニケーションには根拠・感情・信頼が大切 5. ロジックだけでは人を動かせない 6. 積極的傾聴 7. 総合演習
備 考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

マシン演習	マシンを使用しながらの研修
グループ演習	グループ演習を中心とした研修
レクチャ	座学による研修

演習環境	職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習
eラーニング	インターネット接続による自己学習
自習テキスト	自習書による自己学習

HSJ124	コミュニケーション
<div><div><div><div><div></div><div>グループ演習</div></div></div><div><div><div></div><div>レポート</div></div><div><div></div><div>レクチャ</div></div></div></div></div> <div>リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップ</div> <div>1日間</div>	
<div><div><div><div><div></div><div>対話のスキルとして重要な2つの要素「傾聴」と「アサーション」のうち、「傾聴」を中心に学習します。</div></div></div></div></div>	
到達目標	・傾聴のポイントを説明できる。 ・自分の日頃の聴き方のクセを認識できる。 ・対話をスムーズにするための、自分の聴き方の改善点が分かる。
対象者	同僚や顧客との対話において自分の聴き方に問題を感じている方、現在の自分の聴き方で本当によいのか確認したい方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. リスニングとは 2. なぜ人の話を聞けないのか 3. 傾聴 4. 質問 5. リスニング演習 6. 批判を受け止める 7. 振り返り
備 考	・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・「(PDU) アサーティブ・コミュニケーション―職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上―」コースとあわせてのご受講を推奨します。

休 講	休 講 <p>今期の定期開催はありません</p>
------------	--------------------------

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

HSE124	コミュニケーション
<div><div><div><div><div></div><div>eラーニング</div></div></div><div><div><div></div><div>レポート</div></div><div><div></div><div>レクチャ</div></div></div></div></div> <div><eラーニング> リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップーレクチャ編ー</div> <div>4時間</div>	
<div><div><div><div><div></div><div>対話のスキルとして重要な2つの要素「傾聴」と「アサーション」のうち「傾聴」を中心に学習します。このコースは演習を含みません。演習を通して理解を深めたい方は、集合研修「リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップ」コースの受講をお薦めします。</div></div></div></div></div>	
到達目標	・傾聴のポイントを説明できる。 ・自分の日頃の聴き方のクセを認識できる。 ・対話をスムーズにするための、自分の聴き方の改善点が分かる。
対象者	同僚や顧客との対話において、自分の聴き方に問題を感じている方、現在の自分の聴き方で本当によいのか確認したい方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. リスニングとは 2. なぜアサーティブになれないのか 3. 傾聴 4. 質問 5. リスニング演習 6. 批判を受け止める
備 考	・学習終了日は3月31日になります。 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

休 講	休 講 <p>今期の定期開催はありません</p>
------------	--------------------------

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

HSJ125	コミュニケーション
<div><div><div><div><div></div><div>グループ演習</div></div></div><div><div><div></div><div>レポート</div></div><div><div></div><div>レクチャ</div></div></div></div></div> <div>(PDU) アサーティブ・コミュニケーション―職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上―</div> <div>1日間</div>	
<div><div><div><div><div></div><div>自他尊重のマインドに基づいて、自分の考えや気持ちを明快に伝えるアサーティブコミュニケーションを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6.5ポイント）の取得が可能です。</div></div></div></div></div>	
到達目標	・アサーティブの考えを理解できる。 ・自己主張が対人関係に与える重要性を認識できる。 ・自分の日頃の伝え方・聞き方を認識できる。 コミュニケーション能力を高めたい方。
対象者	新入社員、若手社員の方、チーム力を向上したいと考えている方。
前提知識	4年以上の業務経験があること。
内 容	1. アサーティブとは 2. なぜアサーティブになれないのか 3. それぞれの自己表現の特徴からみた考察 4. 考え方をアサーティブにする 5. なぜアサーティブを身につけるのか 6. アサーティブ行動になるために 7. アサーティブ演習 8. 振り返り
備 考	・このコースは、9:30～17:30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・「リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップ―職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上―」コースとあわせてのご受講を推奨します。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®ガイド</i> 、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

休 講	休 講 <p>今期の定期開催はありません</p>
------------	--------------------------

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
<p>HIRDB</p>
<p>OpenTP1</p> VOS3/VOS1/VOSK
<p>XDM/PDMⅡ</p> Hitachi Advanced Data Binder
<p>日立ストレージ</p>
<p>Pentaho</p>
<p>デジタルトランスフォーメーション</p>
<p>IT 利活用</p>
<p>インバーション</p>
<p>IoT/AI/Lumada</p>
<p>ビッグデータ</p>
<p>データ分析</p> サイバーセキュリティ
<p>RPA</p>
<p>クラウド / サーバ仮想化</p>
<p>IT サービス マネジメント</p>
<p>システム基盤</p>
<p>IT 基本</p>
<p>オープンソース ソフトウェア(OSS)</p>
<p>Linux</p>
<p>Microsoft</p>
<p>ネットワーク</p>
<p>ハードウェア</p>
<p>セキュリティ</p>
<p>データベース</p>
<p>IT 戦略・IS 企画</p>
<p>システム開発</p>
<p>要件定義 / 設計</p>
<p>モデリング</p>
<p>プログラミング</p>
<p>情報処理技術者 試験対策</p>
<p>ITリテラシ</p>
<p>プロジェクト マネジメント</p>
<p>コンプライアンス</p>
<p>ビジネス / ヒューマン</p>
<p>グローバル</p>

HSE109 ビジネスセンスアップ

<eラーニング>
経世済民の哲学としての朱子学

10時間

朱子学を通してモラルセンスの向上を学習します。経世済民(世の乱れを治め、人の苦しみを救うこと)をめざす実践的かつ人道的な朱子学ならびに陰陽五行、医学など中国思想を広く学習します。

到達目標 ・朱子学で使われる主要な用語を理解できる。
・朱子学の概要を理解できる。
・朱子学を自身のモラルセンス向上に役立てることができる。

対象者 ・自己のモラルセンスを高め、より良い社会、顧客価値を追求したい方。
・リーダーとしてコンプライアンス意識向上の必要性を感じている方。

前置知識 特に必要としません。

内容 1. 朱子学の誕生
(1) 朱子学とは
2. 朱子学から見た宇宙
(1) 世の中を構成する理と気を知る
3. 朱子学から見た人間
(1) 自分自身の法則を知り、道心にしたがう
4. 朱子学から見た人生
(1) 天命を来たすために困難に立ち向かい学ぶことで自分を鍛える
5. 朱子学から見た学問
(1) モラルセンスのある人になるために学ぶ
6. 朱子学から見た教育
(1) 本当の意味で豊かな社会を実現するための教育
7. 朱子学の展開
(1) これからのトップやリーダーに求められる素質とは

備考 ・サービス有効期限は56日間です。
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSE111 ビジネスセンスアップ

<eラーニング>
(PDU) 孫子の兵法を現代に役立てる方法 PDU

10時間

孫子の兵法の概要を理解したうえで、その教えを現代に活かすための考え方を学習します。このコースでは「孫子の兵法」に加え、戦国時代の「孫権の兵法」の両方を紹介します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 8ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・孫子の兵法の概要を理解できる。
・孫子の兵法を活用するための思考方法を会得できる。
・「孫子の兵法」に興味がある方。
・これから戦略を学び始める方で、古典を知っておきたい方。

対象者 ・孫子の兵法の概要を理解できる。
・「孫子の兵法」に興味がある方。
・これから戦略を学び始める方で、古典を知っておきたい方。

前置知識 特に必要としません。

内容 1. 孫武の兵法 始計から謀攻まで
(1) 中国兵法を現代のビジネスに活かすにあたり必要なこと
2. 孫武の兵法 軍形から虚实まで
(1) 戦わずして勝つ方法
3. 孫武の兵法 軍争から行軍まで
(1) 戦わずして勝つ方法
4. 孫武の兵法 地形から用間まで
(1) 状況や環境に応じてやり方を変える
5. 孫びんの兵法 擒虎ウ滑から殺士まで
(1) 成功には信用と正義が欠かせない
6. 孫びんの兵法 延気から将義まで
(1) イマジネーションを働かせて活用の方法を考えてみる
7. 孫びんの兵法 将徳から奇正まで
(1) 事前に準備をし、勝ちに行ける状態を作っておく
8. 修了試験

備考 ・サービス有効期限は56日間です。
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

HSE110 ビジネスセンスアップ

<eラーニング>
(PDU) リーダに必要な人間力 三国志から学ぶリーダー学 PDU

10時間

正史「三国志」にもとづき、主な登場人物一魏の曹操、蜀の劉備、呉の孫権、蜀の諸葛亮、魏の司馬懿らを取り上げ、彼らがこの激動の時代を、どう生き抜いたのか、また、リーダーとしてどんな長所を持っていたのか、そのあたりを中心に紹介します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 7ポイント)の取得が可能です。

到達目標 激動の時代を生きた「三国志」のリーダーから、現代を生きる知略と勇気を学ぶことができる。
3年以上の業務経験がある方。

対象者 特に必要としません。

前置知識 特に必要としません。

内容 1. 非常の人、曹操1
2. 非常の人、曹操2
3. 蜀の劉備
4. 呉の孫権
5. 戦略家、諸葛亮1
6. 名宰相、蜀の諸葛亮2
7. 権謀家、魏の司馬懿

備考 ・サービス有効期限は56日間です。
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

HSE006 TOEIC®試験対策

<eラーニング>
TOEIC® TEST 完全達成 470

40時間

TOEIC® TESTに向けてListening、Readingを学習します。

到達目標 TOEIC® TESTのスコア400点台後半を取得できる。

対象者 TOEIC® TESTのスコア500点台突破をめざす初級者の方。

前置知識 Windowsの基本的な操作経験があること。

内容 1. Listening
(1) エクササイズとクイズ
(2) 章末テスト
2. Reading
(1) エクササイズとクイズ
(2) 章末テスト
3. Vocabulary
(1) エクササイズとクイズ

備考 ・学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・Listening、Reading、Vocabularyの三つのセクションがあります。各セクションは、12個のユニットで構成されています。各ユニットには、エクササイズとクイズを収録しています。
・このコースの内容は、20~30時間の学習を想定しています。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

HSE007 TOEIC®試験対策

<eラーニング>
TOEIC® TEST 完全達成 650

40時間

TOEIC® TESTに向けてListening、Readingを学習します。

到達目標 TOEIC® TESTのスコア500点台後半を取得できる。

対象者 TOEIC® TESTのスコア600点台突破をめざす中級者の方。

前置知識 Windowsの基本的な操作経験があること。

内容 1. Listening
(1) エクササイズとクイズ
(2) 章末テスト
2. Reading
(1) エクササイズとクイズ
(2) 章末テスト
3. Vocabulary
(1) エクササイズとクイズ

備考 ・学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・Listening、Reading、Vocabularyの三つのセクションがあります。各セクションは、12個のユニットで構成されています。各ユニットには、エクササイズとクイズを収録しています。
・このコースの内容は、20~30時間の学習を想定しています。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

HSE008 TOEIC®試験対策

<eラーニング>
TOEIC® TEST 完全達成 730

40時間

TOEIC® TESTに向けてListening、Readingを学習します。

到達目標 TOEIC® TESTのスコア600点台後半を取得できる。

対象者 TOEIC® TESTのスコア700点台突破をめざす中上級者の方。

前置知識 Windowsの基本的な操作経験があること。

内容 1. Listening
(1) エクササイズとクイズ
(2) 章末テスト
2. Reading
(1) エクササイズとクイズ
(2) 章末テスト
3. Vocabulary
(1) エクササイズとクイズ

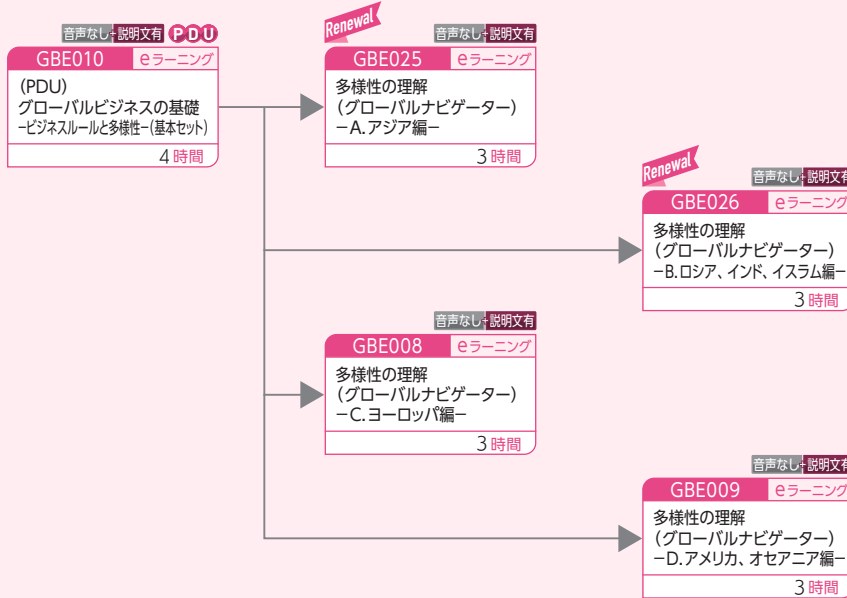
備考 ・学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・Listening、Reading、Vocabularyの三つのセクションがあります。各セクションは、12個のユニットで構成されています。各ユニットには、エクササイズとクイズを収録しています。
・このコースの内容は、20~30時間の学習を想定しています。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

グローバル

グローバルでビジネスを進めるうえで必要となるスキル（グローバルマインドセット、各国の動機付け要因、反発要因など）が修得できます。

● 多様性について理解を深めたい方



● グローバルなコミュニケーション力をつけたい方

GBD001 グループ演習
情理と論理のグローバルコミュニケーション-日本文化に根ざし、人間力で考える戦略思考-
1 日間

● 中国ビジネスを学びたい方

GBE023 (PDU) 中国ビジネスの鉄則
10 時間

※1: SBI 大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

● インドビジネスを学びたい方

GBE024 (PDU) インドビジネスの鉄則
10 時間

※1: SBI 大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

音声有+説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

休講 休講
今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立製品

JP1

uCosminexus
Application Server

HiRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/
VOSK

XDM/PDMI

Hitachi Advanced
Data Binder

日立ストレージ

Pentaho

デジタルトランス
フォーメーション

IT 利活用

イノベーション

IoT/AI/Lumada

ビッグデータ

データ分析

サイバー
セキュリティ

RPA

クラウド/
サーバ仮想化

IT サービス
マネジメント

システム基盤

IT 基本

オープンソース
ソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

ハードウェア

セキュリティ

データベース

IT 戦略・IS 企画

システム開発

要件定義/設計

モデリング

プログラミング

情報処理技術者
試験対策

IT リテラシ

プロジェクト
マネジメント

コンプライアンス

ビジネス/
ヒューマン

グローバル

東京地区

東京(大森)

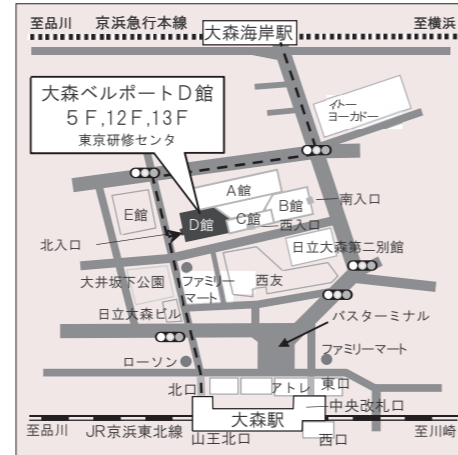
大森ベルポートD館5階・12階・13階

(株)日立アカデミー
東京研修センター品川区南大井6丁目26番3号(〒140-0013)
電話 (03) 5471-8962
FAX (03) 5471-2564

- JR京浜東北線 大森駅北口(改札を出て右)より徒歩約3分
- 京浜急行線 大森海岸駅より徒歩約5分

※当ビル西入口、または北入口、南入口よりアトリウムに入り、D館入口のエレベータにてご来場ください。
※エレベータは、7:30~9:30、12:00~13:00の時間帯は特別運転となりますので、ご入館の際にはご注意くださいようお願いいたします。

- 12階/13階へお越しの方 ▶D館正面入口の左側エレベータをご利用ください。
 - 5階へお越しの方 ▶D館正面入口の右側エレベータをご利用ください。
- ※「日立講習会受講ご案内(受講券)」に記載の研修室をご確認の上、直接研修室へお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



大阪地区

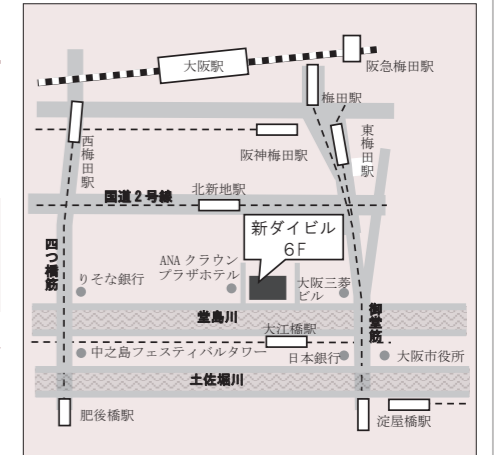
大阪

新ダイビル6階

(株)日立アカデミー
大阪研修センター大阪市北区堂島浜1丁目2番1号(〒530-0004)
電話 (06) 4797-7360
FAX (06) 4797-7361

- 京阪中之島線 大江橋駅より徒歩約2分
- 地下鉄御堂筋線/京阪本線 淀屋橋駅より徒歩約5分
- JR東西線 北新地駅より徒歩約5分
- 地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より徒歩約7分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



東京地区

提携コースの研修会場

会場地図は、当社Webサイト(<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/intro/bureau/index.html>)よりご確認ください。

開催地区	住所・会場名
六本木(FXLI)	〒106-0032 東京都港区六本木3-1-1 六本木ティーキューブ14階 (株)富士ゼロックス総合教育研究所
白金台(BrainPad)	〒108-0071 東京都港区白金台3-2-10 白金台ビル3階 (株)ブレインパッド
浜松町(GSX)	〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディアム4階 グローバルセキュリティエキスパート(株)東京本社
麹町(ITプレナーズ)	〒102-0083 東京都千代田区麹町2-3-3 FDC麹町ビル5階 (株)ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック
麻布台(SHIFT)	〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5 メソニック39MTビル11階 (株)SHIFT

名古屋地区

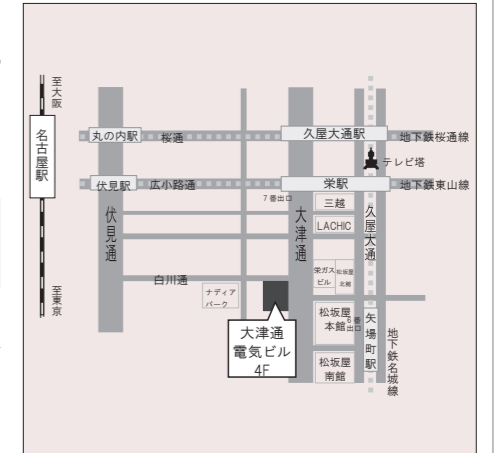
名古屋

大津通電気ビル4階

(株)日立アカデミー
名古屋研修センター名古屋市中区栄3丁目17番12号(〒460-8435)
電話 (052) 269-8940
FAX (052) 261-8276

- 地下鉄名城線 矢場町駅6番出口から西へ徒歩2分
- 地下鉄東山線 栄駅 サカエチカ7番出口から南へ徒歩5分

※4階にてコース別会場案内をご確認の上、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



広島地区

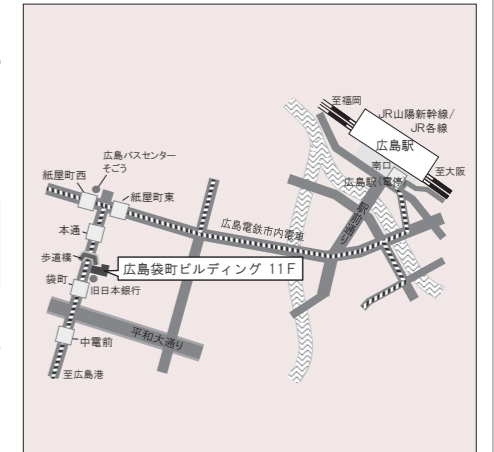
広島

広島袋町ビルディング11階

(株)日立アカデミー
広島研修センター広島市中区袋町5番25号(〒730-0036)
電話 (082) 546-6172
FAX (082) 546-6173

- 広島電鉄(市内電車)宇品線 袋町(電停)より徒歩約1分
- 広島バスセンターより徒歩約8分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



福岡地区

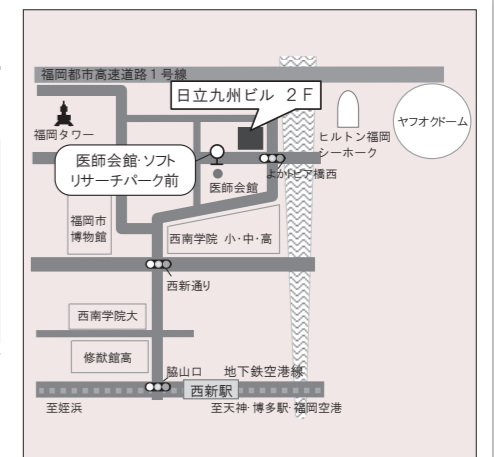
福岡

日立九州ビル2階

(株)日立アカデミー
福岡研修センター福岡市早良区百道浜2丁目1番1号(〒814-8577)
電話 (092) 844-7522
FAX (092) 844-7580

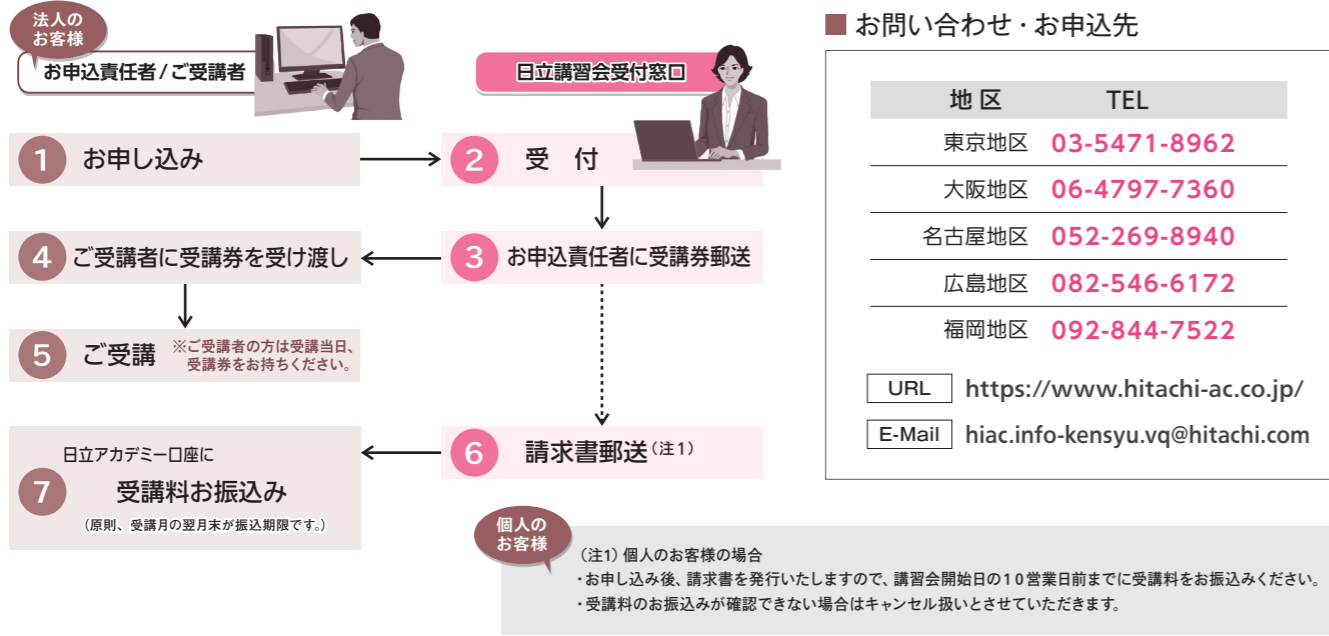
- 天神高速バスターミナル前(1A)のりばより、[302][W1][W2]などのバスに乗り、医師会館・ソフトリサーチパーク前にて下車。<所要時間:約20分>
- 博多バスターミナル1F(5)(6)のりばより、[306][312][直行]などのバスに乗り、医師会館・ソフトリサーチパーク前にて下車。<所要時間:約30分>(地下鉄の場合は、西新駅より約1.5kmです。バスまたは徒歩にてお越しください。)

※1階受付で「日立講習会受講ご案内(受講券)」を提示し、入館証をお受け取りのうえ、該当研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



5 お申込方法

日立講習会 集合研修のお申し込みからご受講までの流れ



お申し込み

●お申込責任者の方は、(株)日立アカデミーのホームページ(URL >>> <https://www.hitachi-ac.co.jp/>)からお申し込みいただくか、または「日立講習会お申込書(集合研修用)」をダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、ご受講希望地区の上記受付窓口までメール、または日立営業経由にてお申し込みください。ホームページをご利用できない場合は、ご受講希望地区の上記受付窓口までお問い合わせください。

なお、お申し込みの前には必ずコース内容および以下についてご確認ください。

- 日立製品研修
 - ・「日立製品研修受講規約」
 - ・「株式会社日立製作所個人情報保護に関して(保護方針と要旨)」
 - ・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」
- IT/ビジネス研修
 - ・「IT/ビジネス研修受講規約」
 - ・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」

上記についてお申込責任者および受講される本人がこれらについてご了承または同意のうえお申し込みください。

- お申し込みは、原則として講習会開始日の10営業日前までをお願いいたします。
- お申し込みの受付は、先着順にしておりますので、定員になり次第締め切らせていただきます。
- ご希望の講習会が最少開催人数に達しない場合には、やむを得ず中止にさせていただきます。あらかじめご了承ください。

受講料お支払い

- 法人のお客様の場合は、原則として受講月の月末締めで、請求書をお申込責任者の方にお送りいたします。請求書に記載のお振込み口座、期限(原則、受講月の翌月末)までにお振込みください。
- 個人のお客様の場合は、お申し込み後、請求書を発行いたします。講習会開始日の10営業日前までに請求書に記載の口座にお振込みください。受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセル扱いとさせていただきます。
- お振込手数料は、お客様のご負担でお願いいたします。

振込先銀行：三菱 UFJ 銀行 大森駅前支店
普通預金口座 口座番号 1105485
口座名称 (株)日立アカデミー

※日立製品研修は(株)日立製作所が提供する研修サービスです。
(株)日立アカデミーは(株)日立製作所からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修のお申込み受付請求書発行および受講料の受領については(株)日立製作所の代理人として対応します。

ご受講にあたって

- お申し込み受付後「日立講習会受講ご案内」(以下「受講券」といいます。)、お申込責任者の方へお送りします。

- 「受講券」には、お申込地区の地図や会場(研修室)、開催時間等を記載しておりますので、内容をご確認のうえ、ご受講当日に必ずお持ちください。
- 「受講券」が講習会開始日の1週間前までに到着しない場合は、お申し込みの受付窓口まで、お問い合わせください。
- 「受講券」発送後に諸事情により講習会の開催を中止させていただく場合がありますので、あらかじめご承知おください。
- 講習会で使用するテキスト教材等は、当日会場にてお渡ししております。事前のお引き渡しは行っておりません。
- 駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。
- ご受講中の方との連絡は「ご伝言」とさせていただきます。お電話でのお取り次ぎはできませんので、あらかじめご了承ください。また、ご受講中に携帯電話等の使用は、他のお客様へのご迷惑となりますので、ご遠慮いただいております。
- 研修会場内での撮影または録音は、禁止させていただきます。
- あらかじめ体調をご確認のうえ、講習会にご参加いただくようお願いいたします。インフルエンザなどの感染が懸念される場合は参加をお控えくださいますようお願いいたします。

変更・キャンセル

- ご都合により、受講者・受講日を変更、もしくはキャンセルされる場合は「日立講習会変更/キャンセル連絡票」をホームページからダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、講習会開始日の10営業日前までに、お申し込みの受付窓口までメールにてご連絡ください。

<キャンセル規定>

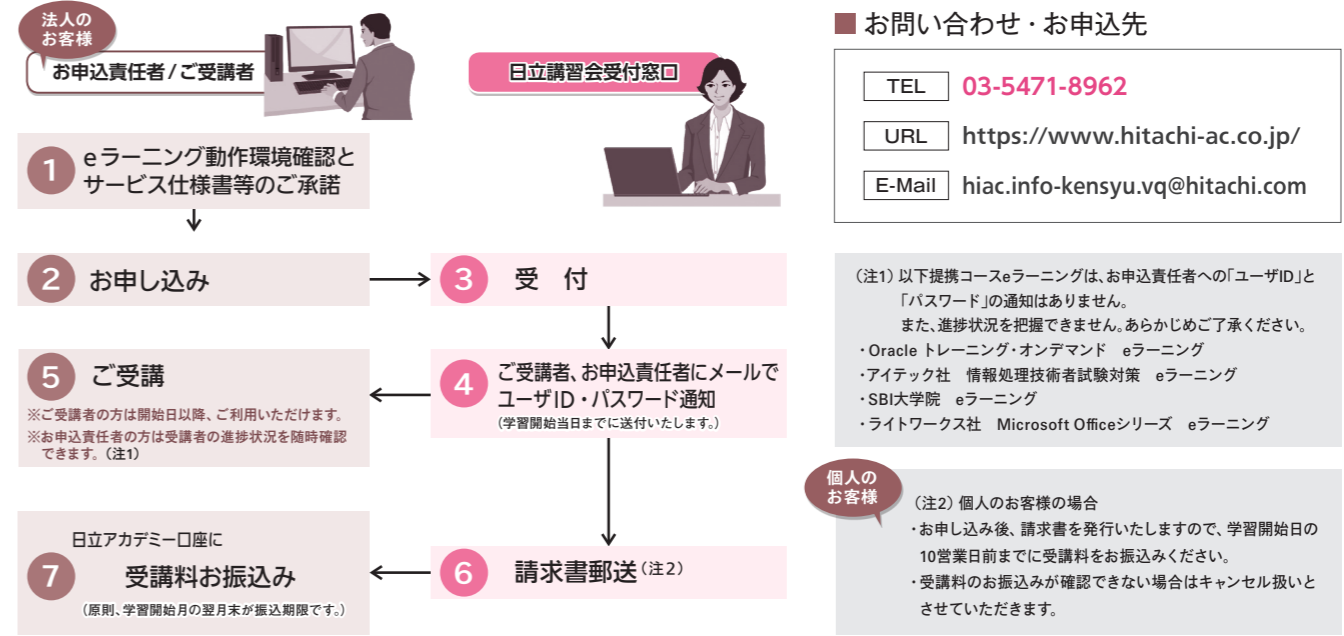
学習形態	受講者、受講日変更およびキャンセル締切日
集合研修	講習会開始日の10営業日前
eラーニング	学習開始日の10営業日前

- 変更・キャンセル締切日を過ぎての変更・キャンセルにつきましては、受講料を全額請求させていただきます。すでに受講料をお支払いいただいている場合は、受講料は返金いたしません。また、下記コースは個別に変更・キャンセル締切日を設定しております。詳細はホームページのコース詳細ページの備考に明記しておりますのでご確認ください。
- ・事前課題/事前学習ありコース

講習会開催時間

- コースカリキュラムの備考欄に開催時間をご案内しています。正式には、ご受講前に送付いたします「日立講習会受講ご案内」(受講券)をご確認ください。
- 講習会の進捗により終了時間が予定時刻を超える場合があります。あらかじめご了承ください。
- 開催時間が変更になる場合には「受講券」にてお知らせいたします。

日立講習会 eラーニングのお申し込みからご受講までの流れ



お申し込み

●お申込責任者の方は、(株)日立アカデミーのホームページ(URL >>> <https://www.hitachi-ac.co.jp/>)からお申し込みいただくか、または「日立講習会お申込書(eラーニング用)」をダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、上記のお申込先までメール、または日立営業経由にてお申し込みください。

なお、お申し込みの前には必ずコース内容、動作環境、eラーニングサービス仕様書(上記ホームページに掲載)、および以下についてご確認ください。

- 日立製品研修
 - ・「日立製品研修受講規約」
 - ・「株式会社日立製作所個人情報保護に関して(保護方針と要旨)」
 - ・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」
- IT/ビジネス研修
 - ・「IT/ビジネス研修受講規約」
 - ・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」

上記についてお申込責任者および受講される本人がこれらについてご了承または同意のうえお申し込みください。

動作環境はコースによって異なりますので、上記ホームページから各コースの動作環境をご確認ください。

- お申し込みは、原則として学習開始日の10営業日前までをお願いいたします(個人申し込みの場合は、15営業日前まで)。一部のコースにおきましては、人数制限がありますので定員になり次第締め切らせていただきます。
- ご受講にあたって、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となりますので、ご了承ください。

受講料お支払い

- 法人のお客様の場合は、原則として学習開始月の月末締めで、請求書をお申込責任者の方にお送りいたします。請求書に記載のお振込み口座、期限(原則、学習開始月の翌月末)までにお振込みください。
- 個人のお客様の場合は、お申し込み後、請求書を発行いたします。学習開始日の10営業日前までに請求書に記載の口座にお振込みください。受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセル扱いとさせていただきます。
- お振込手数料は、お客様のご負担でお願いいたします。
- ご入金のご確認ができなかった場合、やむを得ずご利用を停止させていただきます。あらかじめご了承ください。
- eラーニングの中止・変更等(株)日立製作所および(株)日立アカデミーの責に帰すべき場合は、お振込みいただいた受講料を返金いたします。

振込先銀行：三菱 UFJ 銀行 大森駅前支店
普通預金口座 口座番号 1105485
口座名称 (株)日立アカデミー

※日立製品研修は(株)日立製作所が提供する研修サービスです。
(株)日立アカデミーは(株)日立製作所からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修のお申込み受付請求書発行および受講料の受領については(株)日立製作所の代理人として対応します。

ご受講にあたって

- お申し込み受付後、学習開始日の当日までに、ご受講者とお申込責任者の方へ「ユーザID」と「パスワード」をメールにてご通知いたします。
- 「ユーザID」と「パスワード」の通知が届かない場合は、早急に上記のお申込先までお問い合わせください。
- お申込責任者の方は、受講者の進捗状況を随時確認できます。なお、以下提携コースeラーニングにつきましては、お申込責任者への「ユーザID」と「パスワード」の通知はありません。また、進捗状況を把握できません。あらかじめご了承ください。

- ・Oracle トレーニング・オンデマンド eラーニング
 - ・アイテック社 情報処理技術者試験対策 eラーニング
 - ・SBI大学院 eラーニング
 - ・ライトワークス社 Microsoft Officeシリーズ eラーニング
- eラーニングのご利用に際して通信に関わる費用は、お客様のご負担でお願いいたします。
 - 演習用データ、テキストサンプル等のWeb教材、プラグインソフトのダウンロードは、お客様の責任で実施するものであり、その結果生じる障害や損害はお客様のご負担でお願いいたします。

変更・キャンセル

- ご都合により、受講者・受講日を変更、もしくは、キャンセルされる場合は「日立講習会変更/キャンセル連絡票」をホームページからダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、学習開始日の10営業日前までに、お申し込みの受付窓口までメールにてご連絡ください。

<キャンセル規定>

学習形態	受講者、受講日変更およびキャンセル締切日
集合研修	講習会開始日の10営業日前
eラーニング	学習開始日の10営業日前

- 変更・キャンセル締切日を過ぎての変更・キャンセルにつきましては、受講料を全額請求させていただきます。すでに受講料をお支払いいただいている場合は、受講料は返金いたしません。また、下記コースは個別に変更・キャンセル締切日を設定しております。詳細はホームページのコース詳細ページの備考に明記しておりますのでご確認ください。
- ・アイテック社情報処理技術者試験対策eラーニングコース

基本動作環境

- eラーニングをご利用の場合には、パソコン、Web環境が必要となります。詳細につきましては、(株)日立アカデミーのホームページに各コースの動作環境を掲載しておりますので、お申し込みの前には必ずご確認ください。

TOPICS

1 日立講習会
コース活用例

2 開催コース/
スケジュール一覧

3 講座別コースフロー/
コースカリキュラム

4 研修会場

5 お申込方法

6 受講規約

5 お申込方法

株式会社日立製作所 個人情報保護に関して (保護方針と要旨)

Privacy Notice Highlights

制定日 2005年4月1日
改定日 2010年4月1日
株式会社 日立製作所 代表執行役 執行役社長
東原 敏昭

1. 個人情報保護に関する当社の考え方

株式会社日立製作所（以下「当社」といいます。）は、トータルソリューションを提供できるグローバルサプライヤーとして、当社の技術情報や、お客さまからお預かりする情報ははじめ様々な情報を取扱っております。このことから、当社ではこれら情報価値を尊重するために、情報管理体制の確立とその徹底に努めて参りました。このような経緯を踏まえ、当社における個人情報保護について、規則の制定および管理体制の確立を図ると共に、個人情報保護方針を定め、役員および従業員に周知させるとともに、一般の方が、容易に入手できる措置を講じるものとします。そして、この方針に従い個人情報の適切な保護に努めます。

2. 個人情報保護方針

(1) 個人情報管理規則の策定および個人情報保護マネジメントシステムの継続的改善

当社は、役員および従業員に個人情報保護の重要性を認識させ、個人情報を適切に利用し、保護するための個人情報管理規則を策定し、個人情報保護マネジメントシステムを着実に実施します。更に、維持し、継続的に改善します。

(2) 個人情報の収集・利用・提供および目的外利用の禁止

当社は、事業活動において、個人情報をお預かりしていることを考慮し、それぞれの業務実態に応じた個人情報保護のための管理体制を確立すると共に、個人情報の収集、利用、提供において所定の規則に従い適切に取扱います。また、目的外利用は行わない、およびそのための措置を講じます。

(3) 安全対策の実施並びに是正

当社は、個人情報の正確性および安全性を確保するため、情報セキュリティに関する諸規則に則り、個人情報へのアクセス管理、個人情報の持ち出し手段の制限、外部からの不正アクセスの防止等の対策を実施し、個人情報の漏洩、滅失またはき損の防止に努めます。また、安全対策上の問題が確認された場合など、その原因を特定し、是正措置を講じます。

(4) 法令・規範の遵守

当社は、個人情報の取扱いに関する法令、国が定める指針その他の規範を遵守します。また、当社の個人情報管理規則を、これらの法令および指針その他の規範に適合させます。

(5) 個人情報に関する本人の権利尊重

当社は、個人情報に関して本人から情報の開示、訂正もしくは削除、または利用もしくは提供の拒否を求められたとき、および苦情、相談の申し出を受けたときは、個人情報に関する本人の権利を尊重し、誠意をもって対応します。

3. プライバシーマークについて

当社は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会より、個人情報の適切な取扱いを行う事業者が付与されるプライバシーマークの付与認定を受けています。

4. 適用範囲

当社が事業で取扱う全ての個人情報に関する取扱いを定めるものです。

5. 個人情報保護の取組み

当社は、「個人情報保護に関する当社の考え方」および「個人情報保護方針」に基づき、個人情報を取り扱っている部門ごとに管理責任者を設置し、個人情報について細心の注意と最大限の努力をもって、保護、管理を行っております。

この取扱い要旨において「個人情報」とは、次の各号に該当する情報のうち、ご本人さまを識別することができる情報をいうものとします。

- 「お問い合わせ入力フォーム」その他の方法で入力され、ご本人さまから当社に提供された情報
- 前号の他、当社がご本人さまから提供を受けた情報

6. 個人情報の取扱い方針(取得・利用目的、第三者提供)

- 当社は、電機機械器具・情報通信機械器具・電子部品製造業および情報サービス業を主とした事業活動に関して、個人情報を各号の目的の達成に必要な範囲でのみ取得し、利用するものとします。また、ご本人さまに個人情報を提供いただく場合には事前にその使用目的を明示し、ご本人さまに同意をいただくものとします。
- 当社は、特定の条件のものを除き、あらかじめご本人さまの事前の同意を得ないで、ご本人さまの個人情報を第三者に提供しません。
- 当社は、当社のグループ会社と共同して事業活動を行う場合に必要となる、お名前並びに職場およびご自宅の住所、電話番号、FAX番号、電子メールアドレス等のご本人さまの個人情報につき、当該グループ会社に提供することがあります。

7. 個人情報の開示等の請求、または苦情のお申し出

当社が保有しているご本人さまの個人情報について、開示、訂正、追加、削除、利用停止、第三者提供の停止、若しくは利用目的の通知（以下「開示等」といいます。）を請求される場合または苦情をお申し出になる場合は、所定の手続きに則り請求をお願い致します。

8. その他重要事項

- ご本人さまからの個人情報の提供、事前同意の取得等、個人情報保護に関してご本人さまへのお願いがございます。
- 「個人情報保護に関して」の取扱いに関する連絡事項がございます。
- ウェブサイトにおけるクッキーおよび Web ビーコンの利用についての注意事項がございます。
- ご本人さまが当社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を録音させていただいております。
- 当社が提供している個々の個人情報取扱いサイトに関するご連絡がございます。

9. 認定個人情報保護団体

当社を管掌する認定個人情報保護団体[※]は、下記となります。

認定個人情報保護団体名
一般財団法人日本情報経済社会推進協会
個人情報保護苦情相談室

所在地
〒106-0032 東京都港区六本木1-9-9 六本木ファーストビル12F
電話番号
03-5860-7565, 0120-700-779

※個人情報保護法で規定されている、個人情報に関する苦情処理や情報提供を行う第三者機関。
当社の商品・サービスに関する問い合わせ先ではございません。

10. 連絡先

個人情報の開示等の請求および苦情のお申し出を除く、本取扱要旨に関するご質問・お問い合わせは、下記の方法にてご連絡ください。

郵送によるご連絡
〒101-8608 東京都千代田区外神田一丁目18番13号
株式会社日立製作所 情報セキュリティリスク統括本部
情報リスクマネジメント部

株式会社日立製作所 個人情報保護に関して (保護方針と要旨)
詳細は当社ホームページ
<http://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index.html>
をご覧ください。

株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して

制定年月日 2004年6月23日
最終改定年月日 2019年4月1日
株式会社 日立アカデミー
取締役社長 迫田 雷蔵



当社は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会より、個人情報の適切な取扱いを行う事業者が付与されるプライバシーマークの付与認定を受けています。

個人情報保護の理念

株式会社日立アカデミー（以下、「当社」といいます。）は人財育成のためのトータルソリューションの提供を通じて社会に貢献してまいります。そうした中で、当社は氏名、生年月日のような個人を特定できる情報（以下、「個人情報」と総称します。）が従業員のみならずお客さまにとりまして重要な情報であり、適切に扱われるべき情報であると認識しております。又、これら個人情報を利用し、保護することが当社の社会的責任であり、当社の事業の基本であると考えております。当社では個人情報を適切に取扱うべく役員、従業員に「個人情報保護方針」の周知徹底を図り、その実行、維持、改善に努めます。

株式会社 日立アカデミー 個人情報保護方針

- 個人情報の取得・利用・提供**
当社は、事業活動において、お客さまの情報をお預かりしていることを考慮し、各事業に応じた個人情報保護のための管理体制を確立します。又、個人情報の取得、利用、提供において、特定された利用目的の達成に必要な範囲を超えた個人情報の取扱いを行わないための適切な措置を講じます。
- 法令・規範の遵守**
当社は、個人情報の取扱いにおいて、当該個人情報の保護に適用される法令及び国が定める指針その他の規範を遵守します。又、これらの法令及び指針その他の規範に適合した、当社の個人情報管理規則を作成し、遵守いたします。
- 安全対策の実施**
当社は、個人情報の正確性及び安全性を確保するため、当社の情報セキュリティに関する諸規則に則り、個人情報へのアクセス管理、個人情報の持ち出し手段の制限、外部からの不正アクセスの防止等の対策を実施し、個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止及び是正に努めます。
- 個人情報に関する本人の権利尊重**
当社は、個人情報に関するご本人さまから求められる開示、内容の訂正、追加又は削除、又は苦情及び相談を求められた時は、個人情報に関するご本人さまの権利を尊重し、誠意を持って対応いたします。
- 個人情報保護マネジメントシステムの確立及び継続的改善**
当社は、役員及び従業員に個人情報保護の重要性を認識させ、個人情報を適切に利用し、保護するための個人情報保護マネジメントシステムを確立し、これを着実に実施します。更に、これを維持し、継続的に改善いたします。

個人情報の利用目的

当社は、次の利用目的の範囲内で利用するため、個人情報を収集させていただき場合がございます。

個人情報	利用目的
(1) お客さまに関する個人情報	<ul style="list-style-type: none">お客さまへの連絡のため研修サービス業務の運用・実施のため（受講案内・請求書発行、名簿・名札作成等の事務処理、ロイヤリティ支払いの確証、ご案内冊子送付）各種研修サービスご案内のためのDMや電子メール等の発送のため（商品/サービス/展示会等の情報や宣伝物等のご案内。委託先会社が独自に企画・開催するものも含む）教材販売業務の運用のため（教材発送、請求書発行）チケット販売業務の運用のため（チケット発送、請求書発行）より良い商品・サービス開発、サービス品質維持・改善のための調査・分析のためお客さまとの交渉、契約履行のため 上記の目的に必要な範囲で、お客さまの自社窓口部署または各種施策の取纏め部署に提供することがあります。
(2) お取引先、提携先に関する個人情報	<ul style="list-style-type: none">お取引先、提携先への連絡のためお取引先、提携先との各種研修サービスの運用・実施のためお取引先、提携先との交渉、契約履行のためお取引先、提携先との事業協力のため
(3) お取引先から委託を受けた個人情報	<ul style="list-style-type: none">お取引先への連絡のためお取引先から受託した各種研修サービスの運用・実施のためお取引先との契約履行のため
(4) イベント、展示会等で取得した個人情報	<ul style="list-style-type: none">連絡、イベントの関連情報のご提供商品またはサービスのご案内お取引先から委託を受けた調査、分析、宣伝、広告業務の遂行等 上記の目的に必要な範囲で、当社の関係会社、販売店、お取引先などに提供することがあります。
(5) 当社へ入社を希望される皆様に関する個人情報	<ul style="list-style-type: none">連絡、情報のご提供および採用選考採用選考に関わる業務委託
(6) 当社に派遣入場している皆様に関する個人情報	<ul style="list-style-type: none">構内秩序の維持、当社の財産又は営業秘密の管理上、本人特定するため法令に定められた義務を履行するため
(7) 上記以外の個人情報	<ul style="list-style-type: none">防犯のための監視カメラによる撮影と録画

Web サイトでの情報の取扱い

当社が運営する Web サイト（以下、「本 Web サイト」という。）を利用される方に関する情報を以下の通り取扱います。

A. 本 Web サイトへアクセスしたことを契機として機械的に取得される情報

当社は、閲覧された本 Web サイトのセキュリティ確保・ユーザビリティ向上のため、アクセスログおよび Cookie により、閲覧された方の情報を取得します。

- ・取得した個人情報は、当社規定に基づき厳重な管理を行います。
- ・取得する個人情報の取扱いを外部に委託する場合があります。
- ・取得した個人情報は、利用目的に応じて保存期間を設定し、保存期間終了後は速やかに削除、廃棄します。

B. クッキーおよび Web ビーコンの利用について

本 Web サイトの一部では、ご本人さまがより便利にご利用いただくために、クッキー (Cookie)*1 や Web ビーコン (クリア GIF)*2 を利用しております。ご本人さまは、ウェブブラウザの設定を変更することにより、クッキーの受け取りを拒否し、または、クッキーを受け取った場合に警告を表示させることができます。詳しくは、ご使用のブラウザの説明をご覧ください。また、ご本人さまは、クッキーの受け取りを拒否することによって、Web ビーコンを拒否することができます。しかし、クッキーの受け取りを拒否された場合には、本 Web サイトにて提供するサービスの全部または一部がご利用できなくなる場合もございますので、ご了承ください。

C. 本 Web サイトからリンクされている当社外の Web サイト

本 Web サイトからリンクされている当社外の Web サイトにおけるご本人さまの個人情報の安全性確保については、当社では責任を負いかねますので、ご承知おきください。

当社では、より良い個人情報保護を実現するために、また、法令、政省令、及びその他の規範の制改定に伴い、本ページに掲載いたしております個人情報保護方針を改定することがございます。定期的に当社のホームページにてご確認いただきますようお願いいたします。

本ページの内容は、掲載日以降に適用されるものといたします。

用語説明

- *1 **クッキー**：ウェブサイトを管理するウェブサーバとお客さまのウェブブラウザとの間で相互にやりとりされる情報のことをいいます。クッキーは、お客さまのコンピュータのディスクにファイルとして格納されることがあります。クッキーをご利用になりますと、ウェブサーバは特定のコンピュータがウェブサイト中のどのページを訪れたかを記録することが可能となります。但し、お客さまがお客さまご自身の個人情報をウェブサイト上で入力されない限り、当社はお客さまを特定、識別することはできません。
- *2 **Web ビーコン**：クッキーと一緒に機能し、ご本人さまが特定のページに何回アクセスされたかを知ることができる技術のことをいいます。但し、ご本人さまが、ご自身の個人情報をクッキーの受け取り時に入力されない限り、当社はご本人さまを特定、識別することはできません。

個人情報の目的外利用の禁止

取得した個人情報は、お客さまの承諾がない限り、および以下のいずれかに該当する場合を除き、利用目的の範囲を超えて利用したり、第三者へ開示または提供しません。

- ・法令に基づく場合
- ・人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、ご本人さまの同意を得ることが困難であるとき
- ・公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、ご本人さまの同意を得ることが困難であるとき
- ・国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、ご本人さまの同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき

個人情報の取扱いの委託

利用目的を達成するために、個人情報の取扱いを外部に委託する場合があります。その場合も、十分な個人情報保護水準を有する会社を選定するとともに、個人情報保護の覚書等を締結し、必要な管理・監督を行います。

開示・利用停止等手続きのご案内

個人情報に関して開示等の求め（利用目的の通知、開示、内容の訂正、追加または削除、利用の停止、消去および第三者への提供の停止）は、ご本人さまによる場合のほか、代理人による場合も受けさせていただきます。

A. 開示等の求めのお申し出先

下記窓口宛に所定の申請書および必要書類を添付の上、郵送にてお送りいただきますようお願い申し上げます。

- (1) お申し出先窓口 〒110-0015 東京都台東区東上野二丁目16番1号 上野イーストタワー 18階
株式会社日立アカデミー コンプライアンス推進センタ

- (2) 当社所定の申請書

- ・個人情報の開示等の請求書*

※：当社ホームページ (<https://www.hitachi-ac.co.jp/utility/privacy/index6.html>) をご覧ください。

- (3) ご本人さま確認のため、以下の書類を (2) 申請書とともに (1) に郵送ください。

- ・運転免許証、パスポート等の写真でご本人さま確認ができるものの写し（開示等の求めをするご本人さまの名前および住所が記載されているもの）
- ・住民票の写し（開示等の求めをする日前 30 日以内に作成されたもの）

- (4) 代理人の方が手続きをされる場合は、(2) 申請書、(3) ご本人さま確認書類に加え、以下の書類も郵送してください。

- ・代理人を証明する書類、代理人の運転免許証、パスポート等の写真で代理人確認ができるものの写し（開示等の求めをする代理人の名前および住所が記載されているもの）
- ・代理人の住民票の写し（開示等の求めをする日前 30 日以内に作成されたもの）
- ・代理人が弁護士の場合は、登録番号のわかる書類
- ・代理を示す旨の委任状

B. 開示等の求めに対するその他の注意事項

- ・個人情報保護法上対応を要しない場合、所定の書類に不備があった場合等には、開示等の求めに対応できないこともあります。
- ・開示等の求めにともない取得した個人情報は、開示等の求めに必要な範囲でのみ取り扱うものとします。開示等の求めに際しご提出いただきました書面は返却致しかねます。
- ・申請書の記載住所（日本国内）の請求者（代理人宛の場合は代理人）ご本人さま宛に書面によってご回答させていただきます。
- ・お問い合わせの内容によっては回答にお時間をいただく場合もございます。
- ・個人情報の消去の求めの場合において、当該個人情報を消去させていただいたときでも、個人情報の消去の求めの申請書、ご本人さま確認の書面、回答書の写しは保管させていただきます。
- ・個人情報の利用停止もしくは消去、または第三者への提供停止の求めの結果、当該個人情報に対するサービス等のご利用いただけなくなることをあらかじめご承知おきください。

個人情報に関するお問い合わせ

A. 個人情報の取扱いに関する苦情のお申し出に関して

個人情報の取扱いに関する苦情のお申し出に関しては「個人情報の取扱いに関する苦情申出書*」に必要事項をご記入いただき、郵送にてお問い合わせください。

- (郵送先) 〒110-0015 東京都台東区東上野二丁目16番1号 上野イーストタワー 18階
株式会社日立アカデミー コンプライアンス推進センタ

B. 個人情報に関するお問い合わせ（個人情報保護管理者）

当社の個人情報の取扱い全般に関するお問い合わせは、お問い合わせ入力フォーム*からご連絡ください。

※：当社ホームページ (<https://www.hitachi-ac.co.jp/utility/privacy/index7.html>) をご覧ください。

雇用関係助成金のご案内

人材開発支援助成金

人材開発支援助成金は、事業主等が雇用する労働者に対して、職務に関連した専門的な知識及び技能の習得を目的とした職業訓練等を計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。

●人材開発支援助成金

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html
(厚生労働省ホームページ)

※上記は2019年6月現在の内容です。

最新情報は、日立アカデミーのホームページをご覧ください。<https://www.hitachi-ac.co.jp/course/support/crjo/index.html>

他社所有商標に対する表示

- ・ Adobe, Adobeロゴ, Adobe Flash Player, Adobe Reader, Flash, Flex, MXML, ActionScriptは、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社)の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ アマゾン ウェブ サービス, Amazon Web Services, Amazon EC2 および Amazon Web Services ロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
- ・ Androidは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- ・ Automation AnywhereはAutomation Anywhere, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ BABOK®およびBusiness Analysis Body of Knowledge®, CCBA®, CBAP®は、International Institute of Business Analysisの登録商標です。
- ・ Ethernet/イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- ・ Ethernetは、米国Xerox Corp.の商品名称です。
- ・ Hadoopは、Apache Software Foundationの米国およびその他の国における商標です。
- ・ IBM, IBMロゴ, ibm.com, AIX, DataStageは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。
- ・ ITIL®, PRINCE2®, AXELOS Limitedの登録商標です。The Swirl logoはAXELOS社の商標です。
- ・ iPhone, iPad, iOS, iBooks, Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・ Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Microsoft, Azure, Visual Basic, Visual C++, Visual Studio, Windows, Windows Server, Windows PowerShell, SQL Server, Active Directory, Hyper-V, Excel, PowerPoint, Access, SharePoint, Internet Explorer, Silverlightは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- ・ NVIDIAは、米国NVIDIA Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ PentahoはHitachi Data Systemsの登録商標です。
- ・ OCUP, オーカップ, UML技術者資格試験は、(株)UML教育研究所の商標、または登録商標です。
- ・ OMG, UML, Unified Modeling Language, UMLロゴ, UML Certificationロゴ, MDA, Model Driven Architectureは、Object Management Group Inc.の商標または登録商標です。
- ・ Oracle, Oracle Database 11g, Oracle Database 12c, Java, JavaScript, Solarisは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ PMI®, PMP®, PMBOK®ガイド, OPM3®, CAPM®, PgMP®, PMI-ACP®, PMI-SP®, PMI-RMP®, PM Network®, PMI Today®, PMCDF®, R.E.P. ロゴはプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute Inc.) の登録商標です。
- ・ Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, JBossは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の登録商標です。
- ・ SAPは、SAP AGのドイツおよびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ TOEIC®は、Educational Testing Service (ETS) の登録商標です。
- ・ UNIXは、The Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。
- ・ VMware, VMware vSphere, ESXi, VMware vCenter, VMware View は、VMware, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

HITACHI
Inspire the Next

